

R 7 営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築
(担い手確保型)

図面目録											
建築工事											
通し 番号	図面番号	図面名	通し 番号	図面番号	図面名	通し 番号	図面番号	図面名	通し 番号	図面番号	図面名
01	A-00	表紙・目録	31	A-19	【庁舎棟】建具表2	61	A-305	備品詳細図1 (参考図)	69	S-01	【庁舎棟】構造特記仕様書
02	共-01, 02	営繕工事共通仕様書(1) (2)	32	A-20	【庁舎棟】建具表3	62	A-306	備品詳細図2 (参考図)	70	S-02	【庁舎棟】構造特記仕様書
03	共-03, 04	営繕工事共通仕様書(3) (4)	33	A-21	【庁舎棟】展開図1	63	A-307	備品詳細図3 (参考図)	71	S-03	【全棟共通】柱状図(1)
04	共-05, 06	営繕工事共通仕様書(5) (6)	34	A-22	【庁舎棟】展開図2	64	A-308	備品詳細図4 (参考図)	72	S-04	【全棟共通】柱状図(2)
05	建特-01, 02	建築工事特記仕様書(1) (2)	35	A-23	【庁舎棟】展開図3	65	A-309	備品詳細図5 (参考図)	73	S-05	【庁舎棟】伏図(1)
06	建特-03, 04	建築工事特記仕様書(3) (4)	36	A-24	【庁舎棟】展開図4	66	A-310	備品詳細図6 (参考図)	74	S-06	【庁舎棟】伏図(2)
07	建特-05, 06	建築工事特記仕様書(5) (6)	37	A-25	【庁舎棟】展開図5	67	A-311	備品詳細図7 (参考図)	75	S-07	【庁舎棟】軸組図(1)
08	建特-07, 08	建築工事特記仕様書(7) (8)	38	A-26	【庁舎棟】展開図6	68	A-312	備品詳細図8 (参考図)	76	S-08	【庁舎棟】軸組図(2)
09	建特-09, 10	建築工事特記仕様書(9) (10)	39	A-27	【庁舎棟】展開図7				77	S-09	【庁舎棟】部材リスト(1)
10	建特-11, 12	建築工事特記仕様書(11) (12)	40	A-28	【庁舎棟】家具配置図 サイン配置・詳細図1 (参考図)				78	S-10	【庁舎棟】部材リスト(2)
11	建特-13, 14	建築工事特記仕様書(13) (14)	41	A-29	【庁舎棟】家具・サイン詳細図2 (参考図)				79	S-11	【庁舎棟】架構配筋図
12	建特-15	建築工事特記仕様書(15)	42	A-30	【庁舎棟】部分詳細図1				80	S-12	【庁舎棟】構造詳細図
13	A-01	配置図・付近見取図	43	A-31	【庁舎棟】部分詳細図2				81	S-標1	【庁舎棟】RC構造標準図(1)
14	A-02	面積表	44	A-32	【庁舎棟】部分詳細図3				82	S-標2	【庁舎棟】RC構造標準図(2)
15	A-03	【庁舎棟】仕上表1	45	A-33	【庁舎棟】US詳細図 (参考図)				83	S-標3	【庁舎棟】RC構造標準図(3)
16	A-04	【庁舎棟】仕上表2	46	A-34	【庁舎棟】OA707詳細図 (参考図)				84	S-標4	【庁舎棟】RC構造標準図(4)
17	A-05	【庁舎棟】1階平面図	47	A-35	【庁舎棟】ALVSチェック表				85	S-標5	【庁舎棟】RC構造標準図(5)
18	A-06	【庁舎棟】2階平面図	48	A-101	【車庫・倉庫棟】平面図・立面図・仕上表				86	S-標6	【庁舎棟】RC構造標準図(6)
19	A-07	【庁舎棟】屋根伏図・ビット伏図	49	A-102	【車庫・倉庫棟】矩形図 部分詳細図						
20	A-08	【庁舎棟】立面図	50	A-103	【車庫・倉庫棟】平面詳細図 建具表						
21	A-09	【庁舎棟】断面図	51	A-104	【車庫・倉庫棟】建具詳細図						
22	A-10	【庁舎棟】矩計図1	52	A-201	現況外構図						
23	A-11	【庁舎棟】矩計図2	53	A-202	外構図 (本工事)						
24	A-12	【庁舎棟】矩計図3	54	A-203	外構図 (別途工事)						
25	A-13	【庁舎棟】屋外階段詳細図	55	A-204	【外構】部分詳細図1						
26	A-14	【庁舎棟】1階平面詳細図	56	A-205	【外構】部分詳細図2						
27	A-15	【庁舎棟】2階平面詳細図	57	A-301	仮設計画 参考図 (本工事)						
28	A-16	【庁舎棟】天井伏図	58	A-302	仮設計画 参考図 (別途工事)						
29	A-17	【庁舎棟】建具配置図	59	A-303	概略工事工程表 (参考)						
30	A-18	【庁舎棟】建具表1	60	A-304	備品リスト (参考)						

課 長	副課長	課長補佐	課長補佐	係 長	課 員	担 当

	徳島県土整備部営繕課		●工事名 R 7 営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)		●図面番号 A-00	株式会社 橘 建 築 事 務 所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明	
	設計	竣工	●図面名 表紙・目録		●縮尺 —		
	R7.7						

営繕工事共通仕様書

I. 工事概要

1. 工事名称

R7営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築（担い手確保型）

2. 工事場所

三好郡東みよし町中庄

3. 建物概要

建物名称	庁舎棟 車庫・倉庫棟		
構造・規模	RC造地上2階 S造地上1階		
敷地面積	2,179.07(m2)		
延床面積	479.0(m2)	171.64(m2)	
消防法施行例別表第1の区分	(15)項 (16)項口		

4. 工事種目

種目	工事概要
建築一式工事	改築工事

5. 猛暑を考慮した工期

猛暑による作業不能日数を次のとおり見込んでいる。

- ① 作業不能日数: 6 日間
- ② 観測地点:環境省が公表する四国地方_徳島_ 池田 地点
- ③ 気象状況により工期中に発生した猛暑による作業不能日数(当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する四国地方_徳島_ 池田 地点における WBGT値が31 以上となり、かつ受注者が契約工事単位で全作業を中断し、又は現場を閉鎖した時間を算定し、日数に換算したもの(小数点以下第一位を四捨五入する。))が ①の日数から著しく乖離した場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。
- ④ 作業不能日数の計算は「営繕工事における猛暑および熱中症対策に係る試行要領(案)」による。

6. その他

本工事は、資材価格高騰に対する特例措置について(令和4.12.9建設第686号)に基づく特例措置の対象工事である。

- ① 本工事は、資材価格高騰に対する特例措置について(令和4.12.9建設第686号)に基づく特例措置の対象工事である。
- ② 本工事は、下請次数を制限する試行工事である。
- 受注者は、下請次数が4次以上となる場合には、施工体制台帳の写し及び施工体系図の写しの提出に併せて理由書(様式第1号)を発注者に提出するものとする。
 - 受注者は、下請次数が4次以上となり、発注者からヒアリング等を求められた場合は、これに応じなければならない。

II. 営繕工事共通仕様書

1. 適用基準

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の下記による。

- 公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 令和4年版(以下「標仕」という。)
- 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編) 令和4年版
- 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編) 令和4年版
- 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 令和4年版(以下「改標仕」という。)
- 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編) 令和4年版
- 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編) 令和4年版
- 木造建築工事標準仕様書 令和4年版
- 建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)・同解説 令和5年版
- 建築工事標準詳細図 令和4年版(以下「標準図」という。)
- 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編) 令和4年版
- 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編) 令和4年版
- 敷地調査共通仕様書 令和4年版

また、次の図書(国土交通大臣官房官庁営繕部監修)を参考とする。

- 建築工事監理指針 令和4年版(以下「監理指針」という。)
- 建築改修工事監理指針 令和4年版
- 電気設備工事監理指針 令和4年版
- 機械設備工事監理指針 令和4年版

2. 優先順位

設計図書の優先順位は、次の順とする。

- ① 質問回答書(②から⑤に対するもの)
- ② 補足説明書
- ③ 特記仕様書(営繕工事共通仕様書を含む)
- ④ 図面
- ⑤ 公共建築工事標準仕様書等

3. 工事実績データの登録

- ① 受注者は、請負代金額が500万円以上の工事については受注・変更・しゅん工・訂正時に、工事実績情報サービス(コリンズ)に基づき、工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し監督員に提出して内容の確認を受けた上、次の期限までに登録機関に登録しなければならない。

- 受注時は、契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き14日以内とする。
- 登録内容の変更時は、変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き14日以内とする。
 - しゅん工時は、工事しゅん工承認後、土曜日、日曜日、祝日等を除き14日以内とする。
 - 訂正時は、適宜とする。
- なお、変更登録は工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、請負代金額のみの変更の場合は、原則として登録を必要としない。

- ② 受注者は、実績登録完了後、登録機関発行の「登録内容確認書」が受注者に届いた際には、速やかに監督員に提示しなければならない。
- なお、変更時としゅん工時の間が14日間に満たない場合は、変更時の提示を省略できる。

4. 工程表

受注者は、契約書に基づく工程表を契約締結後14日(土曜日、日曜日、祝日等を除く。)以内に提出すること。

5. 工事の着手

受注者は、設計図書に定めのある場合、又は特別の事情により発注者の承諾があった場合を除き、工事開始日以降30日以内に工事に着手しなければならない。

なお、工事開始日とは、契約書に明示した着工の日(特記仕様書において着工の日を別に定めた場合にあっては、その日)をいう。

6. 施工計画書等

- ① 施工に先立ち、実施工程表、工事の総合計画をまとめた総合施工計画書及び工種別施工計画書並びに施工図等を作成し、監督員の承諾を受けること。
- ② 上記の施工計画書には、「地下埋設物等の近接作業に関する事項」を設けること。
- ③ 施工図、現寸図、見本等を、工事の施工に先立ち作成し、監督員の承諾を受けること。

7. 下請負人の選定

- ① 受注者は、本工事の一部を下請に付する場合は、工事の施工に十分な能力と経験を有した者を選定すると共に、徳島県内に主たる営業所を有するものの中から優先して選定するように努めなければならない。なお、請負対象額(設計金額)が1億円以上の工事については、徳島県内に主たる営業所を有するもの以外と下請契約する場合に、県内業者を選定しない理由を記した理由書を事前に監督員に提出しなければならない。
- ② 受注者は、本工事の全部若しくは一部について、指名停止期間中の有資格業者と下請契約を締結してはならない。(なお、有資格業者とは、建設工事の請負契約に係る一般競争入札及び指名競争入札参加資格審査要綱(昭和58年1月18日徳島県告示第50号)第5条の規定により参加資格の認定を受けた者をいう。)
- ③ 受注者は、下請契約を締結するときは、下請負に使用される技術者、技能労働者等の賃金、労働時間その他の労働条件、安全衛生その他の労働環境が適正に整備されるよう、市場における労務の取引価格、保険料等を的確に反映した適正な額の請負代金及び適正な工期等を定める下請け契約を締結しなければならない。

8. 施工体制台帳及び施工体系図

① 施工体制台帳の作成

受注者は、下請契約(以下の③及び④の場合を含む。)を締結した場合は、施工体制台帳及び再下請負通知書(以下「施工体制台帳」という。)を自らの責任において作成・保存するとともに、施工体制台帳を工事現場に備え置かなければならない。

② 施工体系図の作成及び揭示

受注者は、下請契約(以下の③及び④の場合を含む。)を締結した場合は、各下請負者の施 工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律に従って、工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

③ 警備業者の記載

受注者は、交通誘導警備員を配置するときは、警備業者を含めて施工体制台帳及び施工体系図を作成・保存しなければならない。

④ 運搬業者の記載

受注者は、土砂等を運搬する大型自動車を配置するときは、運搬業者を含めて施工体制台帳及び施工体系図を作成・保存しなければならない。

⑤ 施工体制台帳及び施工体系図の提出

受注者は、施工体制台帳の写し及び施工体系図の写しを、下請契約を締結したときは下請契約日から、内容に変更が生じたときは変更が生じた日から、いずれも土曜日、日曜日、祝日等を除き14日以内に監督員に提出し、確認を受けなければならない。ただし、提出日について、監督員が承諾したときはこの限りではない。

⑥ 再下請負通知書を提出する旨の書面の掲示

受注者は、再下請負通知書を提出する旨の書面を、工事現場の公衆が見やすい場所に掲示しなければならない。

9. 電気保安技術者等

- ① 電気保安技術者は次の者とし、必要な資格又は同等の知識及び経験を証明する資料により、監督員の承諾を受けること。
- 事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、その電気工作物の工事に必要な電気主任技術者の資格を有する者又はこれと同等の知識及び経験を有する者とする。
 - 一般用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、第1種又は第2種電気工事士の資格を有する者とする。
- ② 工事用電力設備の保安責任者を関係法令に従って有資格者を定め、監督員に報告すること。

10. 施工中の安全確保

- ① 工事関係図書及び監督員から指示された事項等については、施工に携わる下請負人にも十分周知徹底すること。
- ② 工事現場における現場代理人、監理技術者、主任技術者の確認のため名札を着用すること。名札には現場代理人、監理技術者、主任技術者の別、氏名、会社名、工事名を記載し、顔写真を添付すること。
- ③ 工事現場の安全衛生管理については、労働安全衛生法等関係法令等に従って行うこと
- ④ 工事の施工に伴う災害及び公害の防止は、建築基準法、労働安全衛生法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法、建設工事公衆災害防止対策要綱(令和元年9月2日付け国土交通省告示第496号)、建設副産物適正処理推進要綱(平成5年1月12日 建設省建経発第3号、平成14年5月30日改正)その他関係法令に従い適切に処理すること。
- ⑤ 受注者は、工事の施工箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物について工事(仮囲い等仮設材設置を含む)着手までに調査を行い、「支障物件確認書」を監督員に提出し、監督員の確認を受けてから工事着手すること。
- ⑥ 地下埋設物への影響が予想される場所では、施工に先立ち、原則として試掘を行い、当該埋設物の種類、位置(平面・深さ)、規格、構造等を確認しなければならない。
- ⑦ 受注者は、工事箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物に対し、支障を及ぼさないような措置を施さなければならない。万一、損傷を与えた場合は、ただちに監督員に報告するとともに、施設の運営に支障がないよう、受注者の負担でその都度補修又は補償すること。
- ⑧ 受注者は、重量が100kg以上のものを貨物自動車に積む作業(ロープ掛けの作業及びシート掛けの作業を含む。)又は貨物自動車から卸す作業(ロープ解きの作業及びシート外しの作業を含む。)を行うときは、当該作業を指揮する者を定め、監督員に報告しなければならない。
- ⑨ 受注者は、機械等を貨物自動車に積み込む作業又は貨物自動車から卸す作業を行う場合は、当該作業を指揮する者を定め、指揮者の合図により行わなければならない。また、作業状況について、写真等の資料を整備及び保管し、監督員の請求があったときは、直ちに提示しなければならない。
- ⑩ 受注者は、輸送経路等において上空施設への接触事故を防止するため、重機回送時の高さ、移動式クレーンのブームの格納、ダンプトラックの架台の下ろし等について、走行前に複数の作業員により確認しなければならない。
- ⑪ 受注者は、トラック(クレーン装置付)を使用する場合は、上空施設への接触事故防止装置(ブームの格納忘れを防止(警報)する装置、ブームの高さを制限する装置等)付きの車両を原則使用しなければならない。なお、使用できない場合は事前に監督員と協議を行うこと。
- ⑫ 休日、夜間に作業を行う時は、事前に「休日・夜間作業届」を監督員に提出すること。
- ⑬ 受注者は、工事期間中安全巡視を行い、工事区域及びその周辺の監視あるいは連絡を行い、安全を確保するとともに工事現場における盗難防止の観点から、資機材の保管状況等についても併せて確認すること。また、監督員から「資機材保管計画書」(自由様式)の提出を求められた場合には、速やかに提出すること。
- ⑭ 受注者は、高さが2m以上の箇所で作業を行う場合は、墜落防止に留意し、作業日毎に「墜落防止チェックシート」を活用して点検を行い、その記録を保管すること。
- ⑮ 仮囲いを設置する場合は、設置後に「営繕課発注現場安全再確認シート」を活用して点検を行い、その記録を保管すること。
- ⑯ 上下作業や直下階の施設を利用しながらの直上階(天井)のスラブはつり工事は、原則禁止とする。やむを得ず行う場合は、飛来落下の危険を生じるおそれがあるため、適切な防護措置を講じ安全確保を図り、施工手順について監督員の承諾を得たうえで、指定された時間に行うこと。
- ⑰ 受注者は、足場を設置する場合は組立、解体時において、作業前に施工手順を確認し、倒壊や資材落下に対する措置を講じなければならない。特に、飛来落下の恐れのある巾木やメッシュシート等の資機材については、足場の上に仮置きせず、設置又は荷下ろしするまでは、番線等により固定を行うこと。また、強風、大雨、大雪等の悪天候のため、作業の実施について危険が予想されるときは、作業を中止すること。
- ⑱ 作業にあたって労働災害、公衆災害の事故リスクと対応方法について監督員と協議すること。

- ⑬ 既設配管等を破損させた場合の停電、断水等の影響範囲及び破損防止のための対策について関係者と協議すること。
- ⑭ 事故により、停電、断水等が発生することを考慮し、施設休業日に作業するなど、作業日を施設管理者と協議すること。
- ⑮ 給水管近傍の作業で給水管を破損する恐れがある場合は、給水バルブの止水状況を確認するとともに、事故による漏水に備えて直下階や近傍の重要備品について養生や移設について協議すること。
- ⑯ 受注者は、工事施工途中に工事目的物や工事材料等の不具合等が発生した場合、または、公益通報者等から当該工事に関する情報が寄せられた場合には、その内容を監督員に直ちに通知しなければならない。

11. 撤去時の資機材残置の防止

足場撤去の際は、工事箇所周辺に資機材が残っていないか点検したうえで、撤去を行うこと。

12. 交通安全管理

- ① 輸送災害の防止
- 受注者は、工事用車両による土砂、工事用資材、機械等の輸送を伴う場合は、関係機関と打合せを行い、交通安全に関する担当者、輸送経路、輸送期間、輸送方法、輸送担当者、交通誘導員の配置、標識、安全施設等の設置場所その他安全輸送上の事項について計画を立て、災害の防止を図らなければならない。特に、輸送経路にある既設構造物に対して損害を与えるおそれがある場合は、当該物件およびその位置と必要な措置について工事着手前に監督員に報告しなければならない。
- ② 過積載による違法運行の防止
- 受注者は、過積載による違法運行の防止に関し、特に次の事項について留意し、下請負業者を指導すること。
- ・積載重量制限を超えた土砂等の積込みは行わないこと
 - ・さし枠装備車、不表示車は使用しないこと
 - ・過積載車両、さし枠装備車、不表示車から土砂等の引き渡しを受けないこと
 - ・建設発生土の処理及び骨材の購入に当たっては、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害さないこと
 - ・過積載による違法通行により、逮捕または起訴された建設業者は、指名停止措置を講ずる場合がある

13. 発生材の処理等

- ① 発生材の処理等は、次により適正に行う。
- 1) 工事による発生材のうち、文化財保護法に基づく物及び有価材と判断される物については、報告及び引き渡しを要する。
 - 2) 上記以外の発生材は、建設工事に係る資材の再生資源化等に関する法律、資材の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設副産物適正処理推進要綱その他関係法令等に従い処理すること。受注者は、工事で発生する産業廃棄物を保管する場合、または自ら運搬する場合等においては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の規定を遵守すること。図書に表示のないものについては、監督員に報告し指示を仰ぐこと。
 - 3) 産業廃棄物の種類ごとの処分場については、各専門特記仕様書の1章「一般共通事項『産業廃棄物の処理』又は『発生材の処理等』」による。
 - 4) 建設発生土の処理については、各専門特記仕様書の1章「一般共通事項『建設発生土の処理』」による。
 - 5) 解体前に、照明器具、変圧器及び進相コンデンサのPCBの有無を調査し、有れば、監督員の指示に従うこと。
 - 6) 空調機等の整備や撤去処分を行う場合は、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律をはじめとする関係法令に基づき、作業や手続きを行う。家電リサイクル法に該当する機器については、家電リサイクル法により処理すること。
 - 7) 受注者は、建設副産物が搬出される工事にあたっては、建設発生土は建設発生土搬出調書(様式3)、産業廃棄物は産業廃棄物管理票(マニフェスト)により、適正に処理されているか確認するとともに、監督員に建設発生土搬出調書を提出しなければならない。なお、監督員等の指示があった場合は直ちに産業廃棄物管理票の写しを提示しなければならない。
- ② アスベスト
- 1) 解体前に大気汚染防止法に基づくアスベスト等の特定建築材料に該当するものが使用されていないか調査し、あれば監督員の指示に従うこと。既存の分析調査結果がある場合は、受注者がその結果を書類等により確認すること。なお、工事内容に変更がある場合においても同様とする。
- | | |
|--------------|---------|
| 既存の分析調査結果の貸与 | (あり・なし) |
|--------------|---------|
- 2) 事前調査を公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)1.5.1及び関係法令により行うこと。
 - ・事前調査は、建築物石綿含有建材調査者(特定、一般)、又はこれと同等の能力を有する者が行うこと。
 - ※同等の能力を有する者とは、(一社)日本アスベスト調査診断協会に令和5年9月30日までに登録されたものをいう。
 - ・発注者の指示により、分析によるアスベスト調査を行う場合の費用については、監督員との協議による。その場合の分析方法は、JIS A 1481-1によること。
 - ・結果を石綿事前調査結果報告システムにより、労働基準監督署及び自治体に報告すること。監督員へも結果を提出するとともに、その写しを工事の現場に備え置くこと。
 - ・調査結果は3年間保存すること。
 - ・調査結果の概要を公衆が見やすい場所に掲示すること。
 - 3) 表示、掲示は次のとおり行うこと。
 - ・事前調査結果の概要を公衆が見やすい場所に掲示する。
 - ・「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ」を労働者及び周辺住民の見やすい場所に掲示する。
 - ・作業に従事する労働者への注意事項を見やすい場所に掲示する。
 - ・喫煙及び飲食の禁止並びに関係者以外の立入禁止について、作業場の見やすい箇所に掲示する。
- ③ 建設リサイクル法通知済証の掲示
- 受注者は、建設リサイクル法に基づく対象建設工事(特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が建設リサイクル法施行令で定める基準以上のもの)においては、工事現場の公衆の見やすい場所に工事着手日までに「建設リサイクル法通知済証」を掲示し、工事しゅん工検査が終了するまで存置しておかなければならない。また、「建設リサイクル法通知済証」掲示後の全景写真は電子納品の対象書類とし、「徳島県電子納品運用ガイドライン【建築工事編】」に基づき提出すること。なお、「建設リサイクル法通知済証」は契約締結後から工事着手日までの期間に発注者から支給することとする。
- ④ 資源の有効な利用の促進に関する法律(以下「資源有効利用促進法」という。)及び建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(以下「建設リサイクル法」という。)に基づく対応は、以下のとおり行うこと。
- 1) 受注者は、資源有効利用促進法に基づく建設業に属する事業者を行う者の再生資源の利用に関する判断の基準となるべき事項を定める省令(H3.10.25建設省令第19号)第9条で規定される工事は建設リサイクル法施行令第2条で規定される工事(以下「一定規模以上の工事」という。)において、コンクリート(二次製品を含む。)、土砂、砕石、加熱アスファルト混合物又は木材を工事現場に

- 搬入する場合には、(一財)日本建設情報総合センターのコプリス・プラスにより再生資源利用計画書を作成し、監督員に提出すること。
 - 2) 受注者は、資源有効利用促進法に基づく建設業に属する事業者を行う者の指定副産物に係る再生資源の利用の促進に関する判断の基準となるべき事項を定める省令(H3.10.25建設省令第20号)第8条で規定される工事又は一定規模以上の工事において、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物を工事現場から搬出する場合には、コプリス・プラスにより再生資源利用促進計画書を作成し、監督員に提出すること。
 - 3) 受注者は、上記計画書を工事現場の見やすい場所に掲示(デジタルサイネージによる掲示も可)すること。
 - 4) 受注者は、上記計画書に変更が生じた場合は、速やかに計画を変更し、その変更の内容を監督員に報告すること。
 - 5) 受注者は、工事完了後速やかにコプリス・プラスにより再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を作成し、監督員に提出すること。
 - 6) 受注者は、上記計画書及び実施書を工事完成後5年間保存すること。
 - 7) 受注者は、コプリス・プラスの入力において、資源の供給元及び搬出する副産物の搬出先について、その施設名、施設の種類及び住所を必ず入力すること。ただし、パージン材を使用する生コンクリート及び購入土を除くものとする。
- ⑤ 受領書の交付
- 受注者は、土砂を再生資源利用計画書に記載した搬入元から搬出したときは、法令等に基づき、速やかに受領書を搬入元に交付しなければならない。
- ⑥ 再生資源利用促進計画書を作成する上での確認事項等
- 受注者は、再生資源利用促進計画書の作成に当たり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、工事現場内の土地の掘削その他の地質の変更に関して発注者等が行った土壌汚染対策法等の現状状況や、搬出先が盛土規制法の許可地等であるなど適正であることについて、法令等に基づき確認しなければならない。また、確認結果は再生資源利用促進計画書に添付し監督員に

- 提出するとともに、工事現場において公衆の見やすい場所に掲げなければならない。
- ⑦ 建設発生土の運搬を行う者に対する通知

受注者は、建設現場等から土砂搬出を他の者に委託しようとするとき、特記に土工事の記載がある場合は「建設発生土の処理」に定められた事項等(搬出先の名称及び所在地、搬出量)と、前項で行った確認結果を、委託した搬出者に対して、法令等に基づいて通知しなければならない。

- ⑧ 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求等

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画書に記載した搬出先へ搬出したときは、法令等に基づき、速やかに搬出先の管理者に受領書の交付を求め、受領書に記載された事項が再生資源利用促進計画書に記載した内容と一致することを確認するとともに、監督員に写しを提出しなければならない。

また、その受領書の写しを工事完成後5年間保存しなければならない。

- ⑨ 建設発生土の最終搬出先の記録・保存

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画書に記載した搬出先から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに搬出先の名称や所在地、搬出量等を記録した書面を作成し、保存すること。さらに、他の搬出先へ搬出されたときも同様である。

ただし、以下の(1)～(3)に搬出された場合は、最終搬出先の確認は不要である。

 - (1) 国又は地方公共団体が管理する場所(当該管理者が受領書を交付するもの)
 - (2) 他の建設現場で利用する場合
 - (3) ストックヤード運営事業者登録規程により国に登録されたストックヤード

14. 材料・製品等

- ① 本工事に使用する建築材料、設備機材等(以下「建材等」という)は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとする。
- ② 受注者は、建材等の発注の際には、発注前に、品質及び性能に関して記載された工種別施工計画書及びその証明となる資料を監督員へ提出しなければならない。ただし、設計図書に定めるJIS又はJASの材料で、JIS又はJASのマーク表示のあるものを使用する場合又はあらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りでない。なお、各専門特記仕様書中、「評価名簿による」と記載されているものは、一般社団法人公共建築協会発行の「建築材料等評価名簿(最新版)」及び「設備機材等評価名簿(最新版)」記載品を指すものとする。
- ③ 県産木材の原則使用

 - 1) 受注者は、工事目的物及び指定仮設で木材を使用する場合並びにコンクリート打設用型枠を使用する場合、原則として県産木材を使用しなければならない。ただし、特段の理由がある場合にはこの限りでない。
 - 2) 「県産木材」とは、「徳島県内の森林で育成した木材」のことであり、「徳島県内の森林で育成した木材」とは次のことである。
 - (a) 徳島県木材認証制度により、県内産であることが「産地認証」された木材
 - (b) (a)以外において、徳島県内の森林で育成したことが確認された木材
 - 3) 受注者は、請負代金額が500万円以上の工事について、県産木材以外の木材を使用する場合は、県産木材を使用できない理由を施工計画書に記載すると共に、確認資料を事前に監督員に提出し、承諾を得なければならない。
 - 4) 受注者は、県産木材を使用する前に、徳島県木材認証機構から発行される「産地認証証 明書」の写しにより県産木材であることを示す書類を監督員へ提出しなければならない。
 - 5) 県内の森林から直接調達するなど、前項により難しい場合は木材調達先の産地及び相手の氏名等を記入した書類を監督員へ提出しなければならない。

- ④ 製材等(製材、集成材、合板、単板積層材)、フローリング、再生木質ボード(パーティクルボード、繊維板、木質系セメント板)については、合法性に係る確認(「産地認証」及び「品質認証」を含む。)が行われたものを使用する。ただし、機能上、需給上など正当な理由により確保が困難であり、使用できない場合には監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。また、それらの木質又は紙の原料となる原木についての合法性に係る確認は、林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン(平成18年2月15日)」に準拠して行うものとし、監督員に合法証明書を提出するものとする。ただし、平成18年4月1日より前に伐採業者が加工・流通業者等と契約を締結している原木に係る合法性の確認については、平成18年4月1日の時点で原料・製品等を保管している者が証明書に平成18年4月1日より前に契約を締結していることを記載した場合には、上記ガイドラインに定める合法な木材であることの証明は不要とする。
- ⑤ 標仕等に記載されていない特別な材料の仕様・工法は、監督員の承諾を受けて、当該製品の仕様及び指定工法による。
- ⑥ 県内産資材の原則使用

 - 1) 受注者は、木材以外の建設資材を使用する工事を施工する場合、原則として県内産資材を使用しなければならない。ただし、特段の理由がある場合はこの限りでない。
 - 2) 受注者は、木材以外の建設資材について、県内産資材であることの別を施工計画書に記載するものとする。また、請負代金額が500万円以上の工事について、県内産資材以外の資材を使用する場合は、県内産資材を使用できない理由を施工計画書に記載すると共に、確認資料を事前に監督員に提出し、承諾を得なければならない。

注者の責任において実施し、それに要する費用は受注者の負担とする。

- ⑤ 本工事の施工及び管理にあたり法規上必要となる有資格者については、工事着手前に資格者名簿及びその証明書類等を監督員に提出すること。
- ⑥ 設計図書（各施工計画書を含む）に定められた工程が完了した時、報告書を提出し、監督員の検査を受け、承諾を受けて次の工程に進むこと。
- ⑦ 試験等によらなければ確認できない工事（製品）については、試験等計画書（施工計画書に記載）を提出し、監督員の承諾を受け試験を行い、その結果を報告し承認を得ること。

17. 建設機械等

- ① 排出ガス対策型建設機械
本工事に使用する土工機械は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3.10.8 建設省経機発第249号 最終改正 平成14.4.1国総施第225号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械とする。ただし、排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、又はこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明により評価された排出ガス浄化装置を装着することで排出ガス対策型建設機械と同等とみなすが、これにより難い場合は、監督員と協議するものとする。なお、排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の全景及び型番等が分かる写真を監督員に提出するものとする。
- ② 低騒音・低振動型建設機械
本工事で使用する建設機械は、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程（国土交通省告示 平成13年4月9日改正）」に基づき指定された建設機械を使用するものとする。現場代理人は、施工現場において使用する建設機械の全景及び型番等、同規程に基づき指定された建設機械であることが分かる写真を監督員に提出するものとする。ただし、同規程に記載されていない機種、規格の建設機械により施工する場合はこの限りでない。なお、同規程に基づき指定された建設機械を現場に供給するのが著しく困難な場合は、監督員と協議する。ただし、騒音規制法、徳島県公害防止条例等の関係法令を遵守するものとする。
- ③ 特定自主検査
本工事で使用する建設機械（労働安全衛生法により特定自主検査が義務づけられている建設機械）は、1年以内毎に1回特定自主検査を実施済みの機械を使用し、その検査証明書（検査記録表）の写しを使用工種の施工計画書に添付し提出すること。
- ④ 不正軽油の使用禁止
受注者は、ディーゼルエンジン仕様の車両及び建設機械等を使用する場合は、地方税法（昭和 25年法律第226号）に違反する軽油等を燃料として使用してはならない。
また、受注者は、県の徴税吏員が行う使用燃料の採取調査に協力しなければならない。

18. 遠隔臨場の試行

- ① 受注者は、当初請負対象金額（設計金額）が税込7千万円未満の場合において、遠隔臨場の実施を希望する場合は、「営繕工事の遠隔臨場に関する試行要領」に基づき遠隔臨場を実施することができる。
- ② 受注者は、当初請負対象金額（設計金額）が税込7千万円以上の場合において、「営繕工事の遠隔臨場に関する試行要領」に基づき遠隔臨場を実施しなければならない。

19. 工事看板等

- ① 工事現場には、工事看板を監督員の指示に従って見やすい場所に設けること。
- ② 受注者は、本工事において使用する工事看板・バリケード等については、県産木材を用いた木製品を優先して使用するよう努めなければならない。県産木材を購入した場合、受注者は、工事完了までに「任意仮設における県内産木材購入実績報告書」を監督員へ任意で提出すること。
- ③ 受注者は、監督員から渡される「技能労働者への適切な賃金水準の確保等に関するポスター」を現場関係者が見やすい場所に掲げるとともに、掲示状況を工事写真として提出しなければならない。ただし、次のいずれかに該当する工事は対象外とする。
- ・区画線工事、舗装工事、標識設置工事、照明灯工事
 - ・当初請負金額が200万円未満の工事

20. 仮設トイレ

受注者は仮設トイレを設置する場合、次のとおりとしなければならない。ただし、特段の理由がある場合はこの限りではない。

- ① 当初請負対象金額（設計金額）1千万円未満の工事
原則として「洋式トイレ」を設置しなければならない。また、現場従事者に女性が含まれる場合は、原則として「女性専用トイレ（洋式トイレ）」を設置しなければならない。
- ② 当初請負対象金額（設計金額）1千万円以上3千万円未満の工事
原則として「洋式トイレ」を設置しなければならない。また、現場従事者に女性が含まれる場合は、原則として「女性専用トイレ（快適トイレ）」を設置しなければならない。
- ③ 当初請負対象金額（設計金額）3千万円以上の工事
原則として「快適トイレ」を設置しなければならない。また、現場従事者に女性が含まれる場合は、原則として「女性専用トイレ（快適トイレ）」を設置しなければならない。

受注者は、仮設トイレを設置した場合、「仮設トイレ設置報告書」を監督員に提出しなければならない。

（注）洋式トイレとは、和式トイレの便座部分を洋式化したトイレのこと。

（注）快適トイレとは、洋式トイレのうち、防臭対策・施錠の強化などが実施された、女性が利用しやすい仮設トイレのこと。

21. 設計変更箇所確認

設計事務所による工事監理がある場合、受注者は、工事監理業務受注者が作成する設計変更箇所一覧表の内容について、監督員、工事監理業務受注者とともに定期的に確認すること。また、工事しゅん工前には全ての設計変更箇所及び内容を監督員、工事監理業務受注者とともに、書面により確認すること。

22. 工事検査及び技術検査

- ① 次表により中間検査の対象工事となった場合は、原則として次表の実施回数以上の中間検査を実施するものとする。ただし、工事検査員が認める場合は、一般入札工事に限り、これによらないことができる。

当初請負対象額	一般入札工事	低入札工事
3千万円未満	－	1回
3千万円以上5千万円未満	－	2回
5千万円以上1億円未満	1回	2回
1億円以上	2回	3回

（注）低入札工事とは、低入札価格調査工事の調査基準価格を下回って落札した工事をいう。

（注）一般入札工事とは、低入札工事以外の工事をいう。

- ② 中間検査の実施時期は、当該工事の工程を考慮し施工上の重要な時点で行うものとし、締結後速やかに監督員と協議すること。
- ③ 中間検査が部分払検査と同時期になる場合は、中間検査を省略することができる。
- ④ 基礎杭工事を含む工事については、請負対象額にかかわらず、基礎杭工事完了後、中間を実施する。
- ⑤ 外壁改修工事等において、足場が撤去されしゅん工検査時に検査員による出来形等の現認ができなくなるおそれがある場合は、当初請負対象額に関係なく、中間検査の実施にて監督員と協議すること。

23. 完成図等

- ① 電子納品： 対象
- ② 受注者は、原則として「徳島県電子納品運用ガイドライン【建築工事編】」に基づいて設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品（以下「電子納品」とすること。

- ③ 提出書類
- ・竣工図（製本3部、電子データ2部）（サイズ：監督員の指示による）
 - ・工事写真（電子データ2部）
 - ・使用材料一覧表（竣工図表紙裏面に貼付、電子データ2部）
 - ・保全に関する資料

- ・その他監督員が指示する図書（必要部数）
- ④ しゅん工図は関係図面（データ貸与）を修正して作成すること。しゅん工図データは、関係図面（データ貸与）を修正して作成し、PDF形式、SFC形式及びリジナル形式をCD-R等に保存する。
- ⑤ 工事写真の電子データは完成写真、着事前、資機材、施工状況の順に整理する。完成写真については、工事目的物の状態が、資機材、施工状況等については、不可視部出来形が写真での確に確認できること。
- ⑥ 工事写真の撮影は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領」によること。
- ⑦ 工事完成撮影は、別途指定がある場合を除き、専門家によらないものとする。
- ⑧ 既存埋設管等の状況について、現場と図面の相違が発覚した場合は竣工図に反映させること。

24. デジタル工事写真の小黑板情報電子化

受注者は、「デジタル工事写真の小黑板情報電子化の運用について」に基づき、実施することができる。

25. 火災保険

本工事の着手に際し、火災保険等（火災保険、建設工事保険その他の保険（これに準ずるものを含む。））を請負額に応じて付保する。（標準請負契約約款 第55条）

- ① 対象物
工事目的物及び工事材料（支給材料を含む）について付保する。
- ② 付保険外工事
次に掲げる単独工事については、付保を除外できる。
・杭及び基礎工事 ・コンクリート躯体工事 ・屋外付帯工事 ・その他実状を判断のうえ必要がないと認めた場合（外壁補修工事等）
- ③ 付保する時期及び金額
鉄筋コンクリート造の場合は躯体工事完了時に、木造及び鉄骨造の場合は基礎工事完了時に、請負金額相当額を付保する。また、模様替え工事等については、工事着手時に請負金額相当額を付保する。
- ④ 保険終期
工事完成期日に14日を加えた期日とする。なお、工期延伸した場合には保険の期間も延長する。
- ⑤ その他
・付保する時期以降に出来高払を行う場合は、受注者は保険契約の証券の写しを出来高払の書類に添付する。
・建設工事保険に付保した場合は、火災保険に付保したものとみなす。

26. 公共事業労務費調査

- ① 当初請負対象金額（設計金額）が税込1,000万円以上の工事において、公共事業労務費調査の対象工事となった場合は、受注者は、調査票等に必要事項を正確に記入し調査団体に提出する等、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の工期経過後においても、同様とする。
- ② 調査票等を提出した事業者を調査団体が事後に訪問して行う調査・指導の対象になった場合、受注者は、その実施に協力しなければならない。また、本工事の工期経過後においても、同様とする。
- ③ 公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、受注者は、労働基準法等に従って就業規則を作成すると共に賃金台帳を調製・保存する等日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行わなければならない。
- ④ 受注者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には受注者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請人を含む）が前述と同様の義務を負う旨を定めなければならない。

27. 暴力団からの不当要求又は工事妨害の排除

- ① 受注者は、工事の施工に関し、暴力団等からの不当要求又は工事妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合（②に規定する場合は、下請負人から報告があったとき）には、その旨を直ちに発注者に報告するとともに、併せて所轄の警察署に届け出なければならない。
- ② 受注者は、本工事の一部を下請に付する場合、下請工事の施工に関して下請負人が暴力団等からの不当介入を受けたときは、受注者にその旨を報告することを義務付けなければならない。
- ③ 受注者は、発注者及び所轄の警察署と協力して不当介入の排除対策を講じなければならない。
- ④ 受注者は、排除対策を講じたにもかかわらず、工期に遅れが生じるおそれがある場合には、発注者と工程に関する協議を行い、その結果、工期内に工事が完成しないと認められる場合は、「徳島県公共工事標準請負約款」（以下「約款」という。）第22条の規定により、発注者に工期延長の請求を行わなければならない。
- ⑤ 受注者は、暴力団等から不当介入による被害を受けた場合は、その旨を直ちに報告し、被害届を速やかに所轄の警察署に提出しなければならない。
- ⑥ 受注者は、前項被害により、工期に遅れが生じるおそれがある場合は、発注者と工程に関する協議を行い、その結果、工期に遅れが生じると認められた場合は、約款第22条の規定により、発注者に工期延長の請求を行わなければならない。

28 事故報告書

受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に連絡する。また、監督員が指示した場合及び建設工事事故データベースシステムの登録対象となる事故の場合、監督員が定めた期日までに、事故報告書を提出し、建設工事事故データベースシステムに、事故に関する情報を登録する。

Ⅲ. 建築工事特記仕様書

1章 一般共通事項

1. 施工条件

施工条件は次による。

- ① 工程については、施設管理者と協議の上決定すること。
- ② 施設の使用に影響のある、騒音、振動、粉塵等を伴う作業は平日の授業中は原則施工できない。また、休日においても施設管理者より作業中止の要望がある場合は、作業の中止を行う場合がある。
- ③ その他の詳細な施工条件については、実施工表及び総合施工計画書の作成時に施設管理者と協議の上決定し、適宜相互に日程の調整及び確認を行う。

2. 重要備品等

工事に影響のある範囲内の重要備品等 （ 有 ・ **無** ）

備品等名称：
保管場所：
注意事項：

3. 施工調査

調査期間

本工事の着手時に、給排水、ガス管、地下埋設物等の調査を行う。

調査期間は 1 週間とする。切り直し時期については、協議によるものとする。

4. 交通誘導警備員

交通誘導警備員については、警備業法に基づく警備員とし、図示する場所に 200 日間配置すること。

- ① 本工事は、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号により規定された交通誘導警備業務を行う場所に一級又は二級の検定合格警備員の配置が（ 義務付けられている ・ **義務付けられていない** ）
- ② 警備員は、延 200 人（昼 200 人、夜 0 人：うち検定合格警備員 0 人）を見込んでいる。
- ③ 警備業法を遵守するとともに、受注者は交通誘導警備員の配置計画書及び合格証明書の写し等資格要件の確認ができる資料を事前に監督員へ提出すること。
- ④ 配置された検定合格警備員は、業務に従事している間は合格証明書を携帯し、かつ、監督員等の請求があるときは、これを提示すること。
- ⑤ 受注者は、発注者が行う交通誘導警備員勤務実績調査の実施に協力しなければならない。また、対象工事の一部について下請負契約を締結する場合は、当該下請負工事の受注者（当該下請負工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）も同様の義務を負う旨を定めなければならない。
- ⑥ 受注者は、「交通誘導警備員勤務実績報告書」を作成し、勤務実績が確認できる資料（勤務伝票の写し）とともに、1月毎に監督員へ1部提出しなければならない。

5. 産業廃棄物の処理

発生材の処理等は、標仕により適切に処理する。

産業廃棄物の種類ごとに次の処分場を指定する。

種類	処分許可業者の会社名 (処分区分)	優良	所在地 処分地	運搬距離 (km)	処分費 (税抜、円)	単位
コンクリート(無筋)	(有)山口工業(中間処分)		三好市三野町太刀野7 三好市三野町太刀野山坪谷4236	3.7	1,600	t
コンクリート(有筋)	(有)山口工業(中間処分)		三好市三野町太刀野7 三好市三野町太刀野山坪谷4236	3.7	1,700	t
アスファルト	(有)山口工業(中間処分)		三好市三野町太刀野7 三好市三野町太刀野山坪谷4236	3.7	1,400	t
金属(処分)	(株)明和グリーン		三好市山城町寺野字大休場956 三好市山城町寺野字大休場956	32.3	0	t
ガラス	(有)久保衛生		三好郡東みよし町加茂6001-1 三好郡東みよし町加茂5999-1	7.0	10,000	m3
木材	(有)徳島興産	○	徳島市津田海岸町2番90号 徳島市津田海岸町2番90号	62.6	10,000	t
廃プラ	(株)リース		三好郡東みよし町屋間字が`ﾀ305-2 三好郡東みよし町屋間字が`ﾀ305-2	8.2	16,000	m3
汚泥	阿波バラス(株)	○	吉野川市鴨島町鴨島151-1 吉野川市山川町堤外141-11	29.2	13,000	t
石膏ボード	(有)山一建設		阿波市市場町香美字西原284-1 阿波市市場町香美字西原284-1	32.3	15,000	t
鉄骨・軽量鉄骨						
サッシ スチール						
サッシ アルミ						
生木	(有)徳島興産	○	徳島市津田海岸町2番90号 徳島市津田海岸町2番90号	62.6	10,000	t
根株	(有)徳島興産	○	徳島市津田海岸町2番90号 徳島市津田海岸町2番90号	62.6	20,000	t
アスベスト含有成形板等	(株)明和グリーン		三好市山城町寺野字大休場956 三好市山城町寺野字大休場956	32.3	36,000	m3
廃石綿等	(株)明和グリーン		三好市山城町寺野字大休場956 三好市山城町寺野字大休場956	32.3	60,000	m3

(注)表中「優良」欄に丸印の入っている業者は、「徳島県優良産業廃棄物処理業者の認定業者であることを示す。

- ・上記以外の許可業者の処分場で処分しても差し支えないが、増額変更の対象とはしない。また、この場合、処分単価の見積書を求め、減額変更を行うことがある。
- ・上記の処分場が徳島県優良産業廃棄物処理業者（以下、「優良産業処分業者」という。）に認定されているとき、処分場を変更する場合は原則として優良産業処分業者に変更すること。ただし、諸般の事情により優良産業処分業者以外の処分場で処分を行う場合は、理由書を監督員に提出すること。
- ・コンクリート・アスファルト類の搬出先については、中間処理施設のみとする。
- ・木材については、50kmの範囲内にある木材再資源化施設への搬出を原則とする。

6. 建設発生土の処理

建設発生土の処理については、「 3 章 土工事」に記載している。なお、場外抛出が指定されている場合において、指定された処分場以外で処分する場合は監督員の承諾を得ること。なお、増額変更の対象とはしない。

7. 他工事との取り合い

8. 室内空気中の化学物質の濃度測定

- ① 建物の用途により以下の物質の室内濃度を測定すること。

学 校：ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン・スチレン・エチルベンゼン

学校以外：ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・スチレン・エチルベンゼン

- ② 採取器具は受注者にて用意すること。

- ③ 測定箇所

測定対象室	測定箇所数
1階 検査室、前処理細菌検査室、検査室(冷蔵室)、洗浄室、診察準備室・防疫準備室	各1ヶ所
2階 講習室、試薬調整室、遺伝子検査室、冷凍冷蔵洗浄室、休憩室	各1ヶ所
2階 事務室	2ヶ所

- ④ 測定は、次のいずれかにより行う。

・住宅の品質確保の促進等に関する法律に基づく評価方法基準(平成13年 国土交通省告示第 1347号)第56-3(3)「ロ 測定の方法」において定められた方法

・パンプ型採取機器を用いる方法

パンプ型採取機器を用いる場合は、次の要領により行う。

- 1) 30分間換気
測定対象室のすべての窓及び扉(造り付け家具、押入等の収納部分の扉を含む)を開放し、30分間換気する。
- 2) 5時間閉鎖
1)の後、測定対象室の全ての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押入等の収納部分は開放したままとする。
- 3) 測定
イ. 2)の状態のまま測定する。
ロ. 測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。
ハ. 測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。
※ 1)、2)、3)において、換気設備又は空気調和設備は稼働させたままとする。ただし、局所的な換気扇等で常時稼働させないものは停止させたままとする。
- 4) 分析
測定対象化学物質を採取したパンプ型採取器を分析機関に送付し、濃度を分析する。
- 5) 測定結果の提出
測定後、測定結果を監督員に提出すること。
- ⑤ 測定結果が厚生労働省の指針値を超えていた場合は、現場監督員と対応方法について協議すること。
なお、原則として指針値以下であることが確認できるまで、当該室の使用はできないものとする。

9. 技能士の適用

- ① 技能士の適用については、次の技能検定作業（以下、「作業」という。）のうち各工事毎に適用する作業を指定するものとする。

② 技能士は、職業能力開発促進法による一級技能士又は二級技能士の資格を有する者とし、資格を証明する資料を監督員に提出すること。

③ 技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をするとともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。

④ 技能士は、氏名、検定職種、技能士番号等県が指定した内容を記載した名札等により、資格を明示するものとする。

- ⑤ 指定のない作業についてもその活用を図るよう努めることとする。

○印・・・適用作業

工事種目	技能検定職種	技 能 検 定 作 業
仮設	どび	○ どび作業
鉄筋	鉄筋施工	○ 鉄筋組立て作業
コンクリート	コンクリート圧送施工	○ コンクリート圧送工事作業
型枠	型枠施工	○ 型枠工事作業
鉄骨	鉄工	○ 構造物鉄工作業
防水	防水施工	○ アスファルト防水工事作業 ○ シーリング防水工事作業
タイル	タイル張り	○ タイル張り作業
木	建築大工	○ 大工工事作業
屋根及びとい	建築板金	○ 内外装板金作業 ・ かわらぶき作業
金属	建築板金	○ 内外装板金作業
左官	左官	○ 左官作業
建具	建具製作	・ 木製建具手加工作業 ・ 木製建具機械加工作業
	サッシ施工	○ ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	○ ガラス工事作業
塗装	塗装	○ 建築塗装作業
内装	内装仕上り施工	○ プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ カーペット系床仕上げ工事作業 ○ 鋼製下地工事作業 ・ ボード仕上げ工事作業 ・ カーテン工事作業 ・ 木質系床仕上げ工事作業
	表装	・ 表具作業 ・ 壁装作業

2章 仮設工事

1. 敷地の状況確認
- 着工に先立ち、敷地境界、既存構造物、敷地の高低差、地下埋設物の確認、近隣建築物及び工作物の現状確認、排水経路及び配水管の流末処理の確認並びに敷地周辺の状況を確認し、監督員に報告すること。
2. ベンチマーク
- 設計GLの設定は、BM(±0)を±0とし、NGLはBM±(±0)mmとする。ただし、監督員の指示により決定する。
3. 足場等
- ① 仮設機材及び経年仮設機材の使用については、次の規格又は認定基準（以下「規格等」という。）に適合するものを使用すること。
- 1) 労働安全衛生法に基づく構造規格
- 2) (一社)仮設工業会の認定基準
- また、厚生労働省の「経年仮設機材の管理指針」に基づく(一社)仮設工業会の「適用工場制度」による登録工場及び指定工場等の活用に努めるとともに、前記規格等に定めるもの以外の使用に当たってはあらかじめ強度等を確認した書類を監督員に提出し、承諾を得ること。
- ② 労働安全衛生法第88条に基づき、労働安全衛生規則別表第7に掲げる機械等（組立から解体までの期間が 60日未満を除く）の設置や移転、変更を行う場合は、30日前までに所轄労働基準監督署長に届け出をおこなうこと。
- 届け出をおこなった場合は、監督員に報告すること。
- 届け出不要の場合は、その旨監督員に報告すること。
- ③ 労働安全衛生法第88条に基づく届け出の要否に関わらず、足場を設置する場合は、使用開始前に営繕課指定の足場チェックリストを用いて点検した後、監督員の確認を受けること。
- ④ 外部足場(図示の通り)
- ・ 壁つなぎ間隔(水平方向: 8 m以下、鉛直方向: 9 m以下)
 - ・ 足場を設置する場合は、原則として「手すり先行工法に関するガイドライン」(標仕2.2.4.)の別紙1「手すり先行工法による足場の組み立て等に関する基準」の2の(2) 手すり据置方式 により行うこと。ただし監督員の承諾を得た場合は、(3) 手すり先行専用足場方式により行うことができる。
- ⑤ 内部足場(図示の通り)
- ・ 脚立足場
- ⑥ 仮囲い(図示の通り)
- ⑦ ゲート(**有** ・ 無 図示の通り)
- ⑧ 足場等の設置業者は、関連工事等の関係者に無償で使用させること。また安全管理も実施すること。
- ⑨ 足場等を無償使用する業者は、設置業者の指示に従うこと。
- ⑩ 受注者は、つり足場(ゴンドラのつり足場を除く。)、張出し足場又は高さが5メートル以上の構造の足場の組立て、解体又は変更の作業において、材料、器具、工具等を上げ、又はおろすときは、つり綱、つり 袋等を労働者に使用させなければならない。また、作業主任者を選任し、その氏名、職務を掲示すること。
- ⑪ その他
4. 監督員事務所
- ① 監督員事務所は(設ける (面積 ○ m2程度) ・ **設けない**)
- ② 監督員事務所を設置する場合、備品は次のものを設置すること。
- 1) 机、椅子、書棚、製図版、掛時計、温度計、湿度計
- 2) ゴム長靴、雨がっぱ、保護帽、懐中電灯、安全帯
- 3) 請負加入電話の子機
- 4) 衣類ロッカー、冷暖房機器、消火器、湯沸器、掃除具
- 5) ファクシミリ他
5. 工事用水、電力等
- ① 既存電力利用(出来る ・ **出来ない**)、電力料金(有償 ・ 無償)ただし、施設管理者と協議すること。
- ② 既存用水利用(出来る ・ **出来ない**)、用水料金(有償 ・ 無償)ただし、施設管理者と協議すること。
6. 工事車両用駐車場資材置場・現場事務所用地等
- ① 同用地は、(図示の場所に ・ **用意していないので業者にて**)設けること。ただし、施設管理者と協議すること。
- ② 借地借家料 円

3章 土工事

1. 根切り
- ① 周辺の状況、土質、地下水の状態等に適した工法を採用し、工事中の異常沈下、法面の滑動、その他による災害が発生しないよう、災害防止上必要な処置をすること。
- ② 敷地内に埋設が予想される設備配管類等について十分調査し、支障がないようにすること。
- ③ 根切り底は、地盤をかく乱しないよう、手作業(深さ30cm程度)とするか、バケットに特殊アタッチメントを取りつけた機械堀りとする。
- なお、かく乱した場合は、自然地盤と同等以上の強度となるように適切な 処置を定め、監督職員の承諾を受ける。
2. 排水
- 工事に支障を及ぼす雨水、わき水等は、適正な排水溝、集水ます等を設置し、支障がないようにすること。
3. 埋め戻し及び盛土
- ① 使用土は(A種 ・ **B種** ・ C種 ・ D種)とし、機器により締め固める。
- ⑤ 余盛りは、土質に応じ監督員と協議の上、余盛り高さを決定すること。
- ⑥ 六価クロム溶出試験を(**行う** ・ 行わない)。
- ・ 行った場合、土壤環境基準以下であることを確認すると共に、試験結果(計量証明書)を監督員に提出するものとする。
 - ・ 六価クロム溶出試験は、「セメント及びセメント系固化工材の地盤改良への使用及び改良土の再利用に関する当面の措置」(平成12年3月31日 建設第258号)について「六価クロム溶出試験実施要領(案)」(H13.5.11建設第166号一部変更)により実施する。
- ・ 土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合、試験の結果、六価クロムの溶出量が土壤環境基準を超えた場合等は、監督員と協議するものとする。
4. 地均し
- ① 建物の周囲、幅2m程度を、水はけよく地均しを行う。
- ② 地均しは、均しを行う地表面の不陸を修正し、草木の除去及び清掃をして、一様にかき均した後、仕上げ面を一様になじみ起こしをして、良質土をまきかけ、歩行に耐えうる程度に締め固める。

5. 建設発生土の処理
- ① 場内敷き均しとする。
- ② 場外搬出適正処分とする。
- 民間の残土処分場等へ搬出する場合は「徳島県生活環境保全条例」によることとし、建設発生土の発生場所ごとに、かつ4,000m3までごとに1回採取して、土壤検査を行うこととする。その他、「特定事業の許可に係る土壤検査及び水質検査の実施における留意点」による。
- ただし、建設発生土の公共工事間の利用を行う場合で、担当者相互の同意が取れた場合には、分析の必要はない。
- ③ 土壤検査を行った結果、条例の基準に適合しない場合には、監督員と協議すること。
- ④ 場外搬出の場合の処理は次のとおりとする。
- 1) 最終処分場の指定(記入例)
- ・ 排出土 : 砂質土
 - ・ 会社名 : (株)GLOBAL 美
 - ・ 所在地 : 美馬市美馬町字下後谷1番3ほか3筆
 - ・ 処分単価 : 1,500円/t
 - ・ 運搬距離 : 9.3kmを見込んでいる。
 - ・ 運搬経路 : 国道192号線→徳島県道127号線
- なお、監督員との協議により処分先を変更する場合も、原則として特定事業場での処分とする。
6. 建設発生汚泥の処理
- ① 現場内再生利用とする。
- ② 場外搬出の場合の処理は次のとおりとする。
- 1) 中間処理施設の指定(記入例)
- ・ 会社名 : 阿波バラス(株)
 - ・ 所在地 : 吉野川市鴨島町鴨島151-1
吉野川市山川町堤外141-11
 - ・ 処分単価 : 1tあたり13,000円(税抜き)
 - ・ 運搬距離 : 29.2kmを見込んでいる。
 - ・ 運搬経路 : 国道192号→県道246号
- ③ 発生汚泥を再生利用する場合には、「建設汚泥の再生利用に関するガイドライン」に準拠し、その内容等を明記した施工計画書を監督員に提出し、承認を受けた後に施工すること。また、施工計画書の承認を受ける際には、関係部局との協議に協力すること。
- ④ 舗装版切断に伴い発生する排水は汚泥に該当するため、関係法令等に基づき適正に処理すること。
7. 山留め
- ① 山留めは、適切な資料に基づき構造計算を行い、安全に設置すること。
- また、設置期間中、周辺地域及び山留めの状況を点検するとともに、安全管理に必要な計測を行うこと。
- ② 法面施工の場合(**素堀り** ・ 多段式)
- ③ 山留めの存置 存置範囲は図示による。
- ④ 鋼材等抜き跡は地盤の変形を防止する適切な措置を講ずること。

4章 地業工事

1. 一般事項
- ① 試験杭の位置及び本数は図示による。仕様は本杭と同じとする。
- ② 排水、排土等は産業廃棄物に該当するため、関係法令に基づき適正に処理すること。

2. 砂利・砂・割り石及び捨コンクリート地業等

- ① 材料は、市場品とする。
- ② 砂利及び砂地業
- ・ 砂利は、(切込砂利 ・ **切込碎石** ・ **再生クラッシュラン**)とする。

種別	使用部位	厚さ	粒度範囲
切込砂利			
切込碎石	基礎下、地中梁下	図示	C-40
再生クラッシュラン	土間下、外構	図示	RC-40

- ・ 締固めは、ランマー3回突き、振動コンパクター2回締め又は振動ローラー締めとする。締固めによる凹凸は目つぶし砂利で上均しをする。
 - ・ 厚さが300mmを超える場合は、300mmごとに締固めを行う。
- ③ 締め固め機械の選定に当たっては、地質の状況を検討し監督員の承諾を得ること。
- ④ 捨コンクリートは、無筋コンクリート(スランプ15cm、設計基準強度18N/mm2)とし、厚さは 図示 mmとする。
- ⑤ 床下防湿層は、ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上、重ね合せ及び基礎梁際のみ込みは250mm、断熱材のある場合のみ込みは400mm以上とする。
- ⑥ 防湿層の位置は、土間スラブ又は土間コンクリートの直下とする。ただし、断熱材がある場合は、断熱材の直下とする。

3. 地盤改良

- ① 六価クロム溶出試験を(**行う** ・ 行わない)。
- ② 行った場合、土壤環境基準以下であることを確認すると共に、試験結果(計量証明書)を監督員に提出するものとする。
- ③ 六価クロム溶出試験は、「セメント及びセメント系固化工材の地盤改良への使用及び改良土の再利用に関する当面の措置」(平成12年3月31日 建設第258号)の「六価クロム溶出試験実施要領(案)」により実施する。土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合、試験の結果、六価クロムの溶出量が土壤環境基準を超えた場合等は、監督員と協議するものとする。

5章 鉄筋工事

1. 材料
- | 規格番号 | 規格名称 | 種類の記号 | 径(mm) |
|------------|----------------------|--------------------------|-----------------|
| JIS G 3112 | 鉄筋コンクリート用棒鋼 | SD295
SD345 | D10～D16
D19～ |
| — | 建築基準法の規定に基づき認定を受けた鉄筋 | — | |
| JIS G 3551 | 溶接金網及び鉄筋格子 | 網目の形状:格子 寸法:100×100 径:6φ | |

2.
材料試験

材料試験は行わない。ただし、規格証明書を提出し、監督員の承諾を得ること。

3.
鉄筋の継手及び定着

- 鉄筋の継手は（**重ね継手** ・ **ガス圧接継手** ・ 機械式継手 ・ 溶接継手 ）とする。原則として、D35以上の異形鉄筋については、重ね継手を用いない。
- 鉄筋の継手の位置は図示による。
- 結束線の端部は内側に折り曲げる。
- 柱、梁の主筋は、（ **ガス圧接継手** ・ 機械式継手 ）とする。
- 耐力壁の鉄筋を重ね継手とする場合、重ね継手の長さは（ ）mmとする。
- 先組み工法の柱、梁の主筋の継手は同一箇所としてもよい。
- スラブのスペーサーは鋼製を原則とし、他の箇所についても材種等について監督員の承諾を得ること。また、鋼製のスペーサーは、型枠に接する部分に防錆処理を行ったものとする。ただし、地階を有しない階土間を除く。
- 鉄筋の90°未満の折曲げの内法直径は図示による。
- 鉄筋の定着方法及び長さは図示による。

4.
鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

- 柱、梁の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、標仕表5.3.6の数値に10mmを加えた数値を標準とする。
- 目地がある場合のかぶりは、目地底からの寸法とする。
- 杭基礎の場合のかぶりの厚さは、杭天端からとする。
- 各部の配筋は、図示による。図示されていない場合は、標仕参考図[1節－基礎及び基礎梁の配筋]～[7節－梁貫通孔その他配筋]による。

5.
帯筋

形の種別は構造図による。

6.
梁貫通孔補強

- 補強形式 鉄筋コンクリート構造配筋基準図による。
- 梁貫通補強に建設技術評価規定に基づく評価品を使用する場合は、それぞれの部分についてメーカーの構造計算書を提出し、監督員の承諾を得ること。

7.
ガス圧接

- 圧接技能資格者は、JIS Z 3881（ガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準）に従う工事に相応した試験に基づく能力を有する者とする。
- 検査は、外観検査及び（ 引張試験 ・ **超音波探傷試験** ）による。
- 切取り部分の継手は次のとおりとする。
 - 柱、梁の主筋（D19以上） ： 圧接
 - 上記以外 ： （ 圧接 ・ 重ね継手 ）重ね継手とする場合は監督員の承諾を受けること。また鉄筋相互間の間隔に留意すること。

8.
配筋検査

主要な配筋は、コンクリート打込みに先立ち、種類、径、数量、かぶり、間隔、位置等について、監督職員の検査を受ける。

6章
コンクリート工事

1.
一般事項

- コンクリートの種別
 - I 類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート）
 - II 類（JIS A 5308への適合したコンクリート）
- 設計基準強度

コンクリートの種類	設計基準強度 Fc(N/mm2)	調合管理強度 Fn(N/mm2)	スランプ (cm)	強度試験の有無	種別	気乾単位容積 重量 (t/m3)	適用箇所
普通	18	18	15	無	I 類	2.3	捨コン
普通	21	21+S	18	有	I 類	2.3	躯体
普通	21	21	18	無	I 類	2.3	土間コン、犬走
普通	21	21	18	無	I 類	2.3	外構

- 構造体コンクリートの調合管理強度は、設計基準強度(Fc)に構造体強度補正值(S)を加えた値とする。
なお、構造体強度補正值(S)は標仕 表6.3.2によりセメントの種類及びコンクリートの打込みから材齢 28日までの予想平均気温に応じて定める。
- コンクリートの強度試験については、次のとおり取扱うものとする。

- 第4週強度確認
原則、第3者機関にて、主任技術者又は現場代理人立会いの上、行うこと。ただし、第3者機関以外で行う場合は、立ち会い者を定め、監督員の承認を受け、行うこととする。
なお、試験機関を選定した際には、すみやかに監督員に報告すること。

2.
コンクリートの仕上がり

- コンクリート部材の位置及び断面寸法の許容値は、標仕 表6.2.3による。
- 合板せき板を用いる打放し上げの種別は（ **A** ・ B ・ C ）種とする。
- コンクリートの仕上りの平たんさは標仕 表6.2.5による。

3.
普通コンクリート

- セメントの種類は、（ **普通ポルトランドセメント** ・ 混合セメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ）とする。
 - 高炉セメントB種適用箇所（ ）
 - フライアッシュセメントB種適用箇所（ ）
- 骨材は、標仕6.3.1(2)による。
- 細骨材としてフェロニッケルスラグ使用（ できる ・ **できない** ）。
- 細骨材に含まれる塩化物量は、NaCl換算で0.04%以下とする。
- コンクリート中の塩化物量は、0.3kg/m3以下とし、試験方法は標仕6.5.4による。
- 試練りは（ 行う ・ **行わない** ）。
- 所要空気量は4.5±1.5%とする。

- 受注者は、コンクリートの使用にあたってアルカリ骨材反応を抑制するため、次の3つの対策の中のいずれか1つについて確認をとらなければならない。

- コンクリート中のアルカリ総量の抑制
アルカリ量が表示されたポルトランドセメント等を使用し、コンクリート1m3に含まれるアルカリ総量をNa2O（エヌエーツーオー）換算で3.0kg以下にする。
- 抑制効果のある混合セメント等の使用
JIS R 5211高炉セメントに適合する高炉セメント[B種またはC種]あるいはJIS R 5213フライアッシュセメントに適合するフライアッシュセメント[B種またはC種]もしくは混和材をポルトランドセメントに混入した結合材でアルカリ骨材反応抑制効果の確認されたものを使用する。
- 安全と認められる骨材の使用
骨材のアルカリシリカ反応性試験（化学法またはモルタルバー法）の結果で無害と確認された骨材を使用する。
試験方法は、JIS A 1145骨材のアルカリシリカ反応性試験方法（化学法）またはJIS A 5308（レディミクストコンクリート）の付属書7「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法（化学法）」、JIS A 1146骨材のアルカリシリカ反応性試験方法（モルタルバー法）またはJIS A 5308（レディミクストコンクリート）の付属書8「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法（モルタルバー法）」による。

- 混和材料を使用する場合の種類は標仕6.3.1(4)によることとし、監督員の承諾を受けること。

4.
打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地

- 打継ぎの位置
 - 梁及びスラブ（ スlabの中央又は端から1/4付近 ・ **図示による** ）
 - 柱及び壁（ スラブ、梁又は基礎の上端 ・ **図示による** ）
- コンクリートの打継ぎ目地の寸法は、標仕9.7.3〔目地寸法〕(1)（ア）による
- ひび割れ誘発目地の位置（ **図示による** ・ ）

5.
レディミクストコンクリート工場の指定

工事開始に先立ち、工場を選定し、監督職員の承諾を受ける。

6.
型枠

- 型枠は、（ **県産木製型枠** ・ **合板** ・ 金属製 ・ 樹脂系 ・ 打込み型枠 ・ ブロック ）とする。

型枠の種別	仕上げ種別	塗装の有無	材質	厚さ	適用箇所
県産木製型枠	－	なし			
標仕6.8.2 (2)(ア)	A種	あり			
標仕6.8.2 (2)(イ)	B種	なし	B-C	12	躯体（GL上部）、コンクリート壁（外構）
標仕6.8.2 (2)(イ)	C種	なし			
標仕6.8.2 (2)(イ)	普通型枠	なし	B-C	12	基礎、地中梁

- スリーブの材種（ 標仕6.8.2(9)による ）
- 打ち放し仕上げの打ち増し厚さは（ 20 ）mmとし、打ち増しの範囲は図示による。
- 打ち放し仕上げのコーンは原則、Pコンとする。また脱型後の穴埋めは、樹脂モルタルにより打ち放し面より2mm程度、引込める。

7.
無筋コンクリート

- 無筋コンクリートは、次の場合に適用する。
 - 捨コンクリート
 - 補強筋を必要としないコンクリート
- 設計基準強度（ 18 ）N/mm2 、スランプ（ 15 ）cm
- 適用箇所： 捨てコンクリート、フェンス基礎

7章
鉄骨工事

1.
一般事項

- 製作工場は、国土交通大臣の認定による（ J ）グレード工場とし、その証明となる資料を監督職員に提出する。
- 鉄骨製作工場には施工管理技術者を（ **置く** ・ 置かなくともよい ）
- 工事現場には、鉄骨製作工場名等を記載した板（30～35×45cm）（H.4.9.30 住指発第347号）を掲示すること。

2.
材料

- 鋼材は次による。

種類の記号	規格番号・規格名称等	適用箇所
BCR295	建築構造用冷間成形角型鋼管 図示	
SS400	JIS G 3101（一般構造用圧延鋼材） 図示	
SSC400	JIS G 3350（一般構造用軽量型钢） 図示	
STKR400	JIS G 3460（一般構造用角形鋼材） 図示	

- 高力ボルトは、（ JIS形高力ボルト ・ **トルシア形高力ボルト2種** ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト ）とする。
径及び使用箇所は図示による。

規格番号等	規格名称等	セットの種類
建築基準法に基づき指定又は認定	トルシア形高力ボルト	JSS II 09
JIS B 1186	JIS形高力ボルト	2種（F10T）
建築基準法に基づき指定又は認定	溶融亜鉛めっき高力ボルト	1種（F8T）

- 普通ボルト及びナットの材料等は（ **JIS付属品（JIS B 1180及びJIS B 1181）** ・ JIS本体規格品（ISO規格） ）とする。
径は、（ 12・16 ）とし、使用箇所は図示による。

- 溶接材料は、母材の種類、寸法及び溶接条件に相応したもので、製作工場の通常使用のものとする。

- ターンバックル
 - 胴の種類（ **割枠式** ・ バイブ式 ）
 - ボルトの種類（ **羽子板ボルト** ・ 両ねじボルト ・ アイボルト ）
 - ねじの呼び及びターンバックルの呼び長さは、図示による。

- 柱底均しモルタルを無収縮モルタルとする場合は次による。

- セメントは、JIS R 5210による普通又は早強ポルトランドセメントとする。
- 混和材は、セメント系膨張材（酸化カルシウム、カルシウム・サルフォ・アルミネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。
- 砂、配合比等は、製造所の仕様による。
- 無収縮モルタルの品質及び試験方法は、標仕 表7.2.5による。

工事名：R 7 営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築（担い手確保型）

3. 材料試験
- ① JIS規格品は、材料試験は行わない。ただし、規格証明書を提出し、監督員の承諾を得ること。
- ② トルシア形高力ボルトは、製品に対する製造管理方法及び品質管理試験の結果を、監督員に提出し承諾を受けること。
- ③ 板厚方向の引張試験を（ 行う ・ **行わない** ）。
4. 工作一般
- ① 高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等は図示による。
- ② 床書き現寸図は作成（ する ・ **しない** ）。
- ③ 鉄骨の製作精度は、 標仕7.3.3及びH12建告第1464号第二号イによる。
H12建告第1464号第二号イ(1)(2)のただし書きによる補強は、「突き合わせ継手の食い違いのずれの検査・補強マニュアル」による。
- ④ 仮設のため鉄骨に補助材等取付け及び貫通孔等を設ける場合は、工場溶接を原則とし、現場溶接となる場合は監督員の承諾を得ること。
- ⑤ 仮組を（ 実施する ・ **実施しない** ）。
5. 高力ボルト接合
- ① すべり係数試験は（ 行う ・ **行わない** ）。ただし、溶融亜鉛めっき工法の場合は、「13. 溶融亜鉛めっき工法」によるものとする。
- ② ショットブラスト又はグリットブラストにより摩擦面の表面粗度を50 μ mRz以上確保する場合の表面粗度の確認方法は次のいずれかによる。
- 1) 表面粗度測定機による測定
- 2) プラスト機器の性能表による確認
- 3) スプライスプレート販売元からの表面粗度検査結果証明書による確認
- 上記の方法により確認できない場合は、すべり係数試験(サンプル試験)を行い、すべり係数値0.45以上を確認すること。
- ③ 高力ボルトを工事現場に搬入後、JIS形高力ボルトは、トルク係数値の確認試験を（ 行う ・ **行わない** ）。
- ④ 確認試験の数量は、呼び径ごとに代表ロットを選び、その中から任意に取り出した5セットとする。
- ⑤ トルシア形高力ボルトは、軸力の確認試験を（ 行う ・ **行わない** ）。
- ⑥ 締付け施工法の確認は、JASS6 6.3〔締付け施工法の確認〕に準じる。
- ⑦ 原則として本接合ボルトを仮ボルトとして使用しないこと。
- ⑧ 仮ボルトの本数は標仕7.10.5(2)～(3)とし、本接合完了までの応力に対して検討を行うこと。

6. 普通ボルト接合
- ① 普通ボルトの戻止めは（ **二重ナット** ・ ナットの溶接 ・ ゆるみ防止用特殊ナット ）による。
ただし、母屋・胴縁類の取付用ボルトは、全ねじボルトとする。戻止めは省略できない。
- ② 普通ボルトの座金は（ **JIS B 1256** ・ ）による。

7. 溶接接合
- ① 溶接作業は、工場作業を原則とする。ただし、やむを得ない場合は監督員の承諾を得ること。
- ② 溶接技能者に対して、技量付加試験を（ 行う ・ **行わない** ）。
- ③ 開先の形状は構造図による。
- ④ 溶接部の余盛り高さは、JASS6 付則6〔鉄骨精度検査基準〕付表3〔溶接〕による。
- ⑤ スカラップの形状は、図示による。
- ⑥ 鋼製エンドタブの切断は（ 行う ・ **行わない** ）。行う場合は図示による。
- ⑦ 鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジ等の端から、1～5mm残して、部材断面を欠損しないよう直線上に切断する。なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。

- ⑧ 低応力高サイクル疲労を受ける部位は、図示による。
- ⑨ 完全溶込み溶接部は超音波探傷試験を（ **行う** ・ 行わない ）。
- 試験を行う場合の平均出検品質限界(AOQL)は（ 2.50% ・ **4%** ）とする。

試験の種類	試験箇所	試験数	備考
超音波探傷試験	鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査基準による	JASS 6 表10.1による	

8. 錆止め塗装
- ① 素地ごしらは、標仕 表18.2.2（ A ・ B ・ **C** ）種とする。※A種及びB種は製作工場で行うものとする。
- ② 塗料種別
- ・ 鉄面 標準仕様書 表18.3.1の（ **A** ・ B ）種
- ・ 亜鉛めっき面 標準仕様書 表18.3.2の（ **A** ・ B ・ C ）種
- ③ 塗料塗り種別
- ・ 鉄面 標準仕様書 表18.3.3の（ **A** ・ B ）種 （工場1回＋工場又は現場1回）
- ・ 亜鉛めっき面 標準仕様書 表18.3.5の（ A ・ **B** ・ C ）種 （製造所1回＋現場1回）
9. 工事現場施工
- ① 鉄骨建方の精度は、(社)日本建築学会「建築工事標準仕様書－6. 鉄骨工事付則－6. 鉄骨精度検査基準」による。ただし以下のものは図面による。
- ・ 特に精度を必要とする構造物あるいは構造物の部分。
- ・ 軽微な構造物あるいは構造物の部分。
- ② 建方用アンカーボルトを（ 使用する ・ **使用しない** ）。
- ③ 建方（及び付属鉄骨）用アンカーボルトの形状及び寸法は図示による。
- ④ 構造用アンカーボルトを（ 使用する ・ **使用しない** ）。
- ⑤ 構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状及び寸法は図示による。
- ⑥ アンカーボルトの保持及び埋込み工法は（ **A** ・ B ）種とする。
- ⑦ 柱底均しモルタル工法は（ **A** ・ B ）種とし、厚さは図示による。A種の場合の無収縮モルタルは、製造所の仕様による。

8章 ブロック・ALC/パネル・押出成形セメント板工事

1. 押出成形セメント板
- ① 押出成形セメント板は、JIS A 5441による規格品とする。

種類(外壁用、間仕切用)	厚さ(mm)	働き幅(mm)	表面形状	ロックウール充填の有無	パネルの取付け工法	使用箇所	備考
外壁用	60	図示	フラット	無し	A種	車庫・倉庫棟 外壁	
外壁用	60	図示	フラット	無し	A種	解剖室棟 外壁	
間仕切用	60	図示	フラット	無し	A種	解剖室棟 間仕切壁	

工事名：R 7 営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築（担い手確保型）

- ② パネル相互の目地幅は、長辺（ 10 ）mm、短辺（ 15 ）mm以上とする。
- ③ 出隅及び入隅のパネル接合目地は伸縮目地で目地幅は（ 15 ）mmとし、シーリング材（寸法15×10（mm））を充填する。
- ④ 耐火性能は（ 2時間耐火 ・ **1時間耐火** ・ 30分耐火 ）とする。
- ⑤ 耐火構造以外の目地及び隙間の処理は（ **パネル製造所の指定** ・ ）とする。
- ⑥ 外壁パネル構法における耐風圧性能（ ）、耐震性能（ ）
また、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する。
- ⑦ 建築基準法に基づき定められた区分等
基準風速V₀＝（ 36 ）m/s 地表面粗度区分（ I ・ II ・ **III** ・ IV ）
- ⑧ 間仕切壁パネル構法における耐震性能（ ）
- ⑨ アスベストを使用していない製品とする。
- ⑩ 製造所： 評価名簿による。
- ⑪ やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認のうえ、施工計画書を提出する。

		開口の大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅
パネルに開口を設ける場合	短辺	パネルの幅の1/2以下かつ300mm以下	150mm以上
	長辺	500mm以下	300mm以上
パネルを切り欠く場合	短辺	パネルの幅の1/2以下かつ300mm以下	300mm以上
	長辺	500mm以下	300mm以上

9章 防水工事

1. 一般事項
- 防水下地の乾燥については、高周波水分計による下地水分の測定を行い、使用材料のメーカーの工法と確認し、工事を進めること。

2. アスファルト防水
- ① アスファルトは、JIS K 2207 の規格品3種とする。

工法	種別	施工箇所	保護層の内容	備考
屋根保護防水密着断熱工法	AI-1	屋上	平 部：押えコンクリートt=60 (溶接金網φ 6 100×100) 立上部：押出セメント板t=15	庁舎棟
	AI-2			
	AI-3			

- ② 端部押え金物は既成アルミニウム製とし、形状寸法は（ メーカー仕様 ）とする。
- ③ 防水下地の立上りコンクリートの仕上げは（ 打放しB種 ）とする。
- ④ 保護層の伸縮目地は成形伸縮目地とし、成形緩衝材は防水層に不具合を及ぼさないものとする。
- ⑤ 立上り部の保護は、（ **乾式工法** ・ れんが押え ・ コンクリート押え ）とする。
- ⑥ 屋上排水溝は図示する。

3. 塗膜防水
- ① 塗膜を形成する材料は、JIS A 6021の規格品とする。

種別	施工箇所	備考
X-2	設備基礎、ハト小屋、バレーベットのバルコニー	庁舎棟
自閉樹脂塗膜防水材	ビット壁・床	庁舎棟

- ② 仕上げ塗料の種類（ ）、使用量（ ）

4. シーリング
- ① シーリング材は、JIS A 5758の規格品とする。

シーリング材の種類		施工箇所	目地寸法		接着性試験 (引張、簡易)	備考
記号	主成分及び硬化機構による区分		幅	高さ		
PU-2	ポリウレタン系	RC部化粧目地・打継目地	20	10	有	共通
		屋上 伸縮誘発目地	25	60	有	庁舎棟
		設備基礎・ハト小屋 打継目地	10	10	有	庁舎棟
		耐震スリット	40	10	有	庁舎棟
MS-2	変形シリコン系	屋上防水立上り	10	10	無	庁舎棟
		ハト小屋 アンカーボルト	45	20	有	庁舎棟
		押出成形セメント板取り合い	15	10	有	車庫・倉庫棟
		笠木取り合い	15	15	有	車庫・倉庫棟
		アルミ製建具水切、押出成形セメント板水切	15	10	有	車庫・倉庫棟
		アルミ製建具回り(外部)	30	10	有	車庫・倉庫棟
		アルミ製建具回り(内部)	30	10	無	車庫・倉庫棟
		アルミ製建具水切	18	10	有	車庫・倉庫棟
		鋼製・アルミ製建具回り、シャッター回り	25	10	有	車庫・倉庫棟

ただし、接着性試験は、同じ材料の組合せで実施した試験成績書がある場合は、監督員の承諾を受けて試験省略することができる。

- ② シーリング面への仕上塗材仕上げ等を（ **行う** ・ 行わない ）。

5. 漏水試験
- 屋内については、水張り試験を行う。

6. 防水保証
- 防水工事完了後は、メーカー、元請業者、下請業者の3者連名による（ 3 ・ 5 ・ 7 ・ **10** ）年間の防水工事性能保証書を提出すること。

10章 石工事

1. 一般事項
- ①

石材の割付けは、図示により、割付図を作成し監督員の承認を得ること。
- ②

粗面仕上げの場合のみ込み部分の仕上げは監督員と協議すること。

2. 花こう岩類の石張り

種類	等級	産地名称	形状・寸法	表面仕上げの種類	金物等の種類形状・寸法	施工箇所
－	－	－	メーカー仕様による	磨き	メーカー仕様による	男性トイレ(汚垂石)

3. 大理石張り

等級	産地名称	形状・寸法	表面仕上げの種類	金物等の種類形状・寸法	施工箇所
－	人造大理石	図示	－	図示	男性トイレ、女性トイレ

11章 タイル工事

1. 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
- ①

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置は、図示の箇所及び標仕により、割付図を作成し監督員の承認を得ること。
- ②

下地のひび割れ誘発目地の位置及び他部材との取合い部には、伸縮調整目地を設ける。
- ③

入隅部、建具枠回り等との取合い部に伸縮調整目地を設ける。

2. セメントモルタルによるタイル張り

施工箇所	形状/寸法 (mm)	吸水率による区分 (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ類)	うわぐすり (施ゆう・無ゆう)	役物 (有・無)	色 (標準・特注)	再生材の 適用	耐凍害性 (有・無)	耐滑り性 (有・無)	備考
床	150角タイル	Ⅰ類	施ゆう	無	標準		無	有	
階段	150角タイル	Ⅰ類	施ゆう	有	標準		無	有	段鼻タイル
幅木	100角タイル	Ⅰ類	施ゆう	無	標準		無	無	

- ① 壁タイル張り工法（密着張り）
- ② 標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
- ③ タイルの製造所：原則、評価名簿による。評価名簿によらない場合は監督員の承諾を得ること。
- ④ 見本焼きを（ 行う ・ **行わない** ）。
- ⑤ 試験張りを（ 行う ・ **行わない** ）。
- ⑥ 既製調合モルタルの製造所：評価名簿による。
- ⑦ 保水材の混入量は、実績等の資料を提出したうえで、監督員の承認を得ること。

3. 試験
- 引張接着試験を（ 行う ・ **行わない** ）。

12章 木工事

1. 一般事項
- ①

木材、合板等は、品質、含水率、出荷量等を記録した出荷証明書を経営員に提出する。含水率は（ **A** ・ B ）種とする。
- ②

木材の品質
保存処理木材は、日本農林規格に規定する保存処理の処理区分のうち、K2からK4までの保存処理（JIS K 1570）（木材保存剤）に規定する木材保存剤（ただし、クロオソート油は有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律（昭和48年法律第112号）に適合したものとする。）、これと同等の薬剤を用いたK2からK4までの薬剤の浸潤度及び吸収量を確保する工場処理その他これと同等の性能を有する処理を含む。）が施されているもの又は認証木材建材（AQマーク表示）として認定された保存処理材を使用するものとする。

2. 製材

	施工箇所	樹種	寸法	材料の等級	形状	含水率	保存処理	備考
下 地 材								
造 作 材	事務室カウンター、窓		図示	A種	図示	A種	－	庁舎棟

3. 床張り用合板等
- ①

ホルムアルデヒドの発散量は、F☆☆☆☆とする。
ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F☆☆☆☆の床張り用合板等を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

② 普通合板

施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	備考
床下地	ベニヤ	5.5	－	1類	C-D	有	

③ 構造用合板

施工箇所	品名	厚さ(mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	保存処理	有効断面係数比	防虫処理	強度等級
床下地	－	12	2級	－	1類	C-D	－	－	有	

④ パーティクルボード

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	耐水性による区分	難燃性による区分	備考
床下地	20	－	13	－	MR(M)	－	

⑤ 構造用パネル

施工箇所	品名	寸法(mm)	等級	備考

4. 諸金物
- ①

下地材及び造作材の釘は、JIS A 5508の規格品とする。
- ②

木ねじはJIS B 1112(十字穴付き木ねじ)又はJIS B 1135の規格品とする。
- ③

かすがい、座金、箱金物、短ざく金物等は図示により、図示のもの以外は標仕によるが、補助として、日本建築学会建築工事標準仕様書を適用する。

5. 接着剤
- ホルムアルデヒド水溶液を用いた建具用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等（ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤）を用いた接着剤のホルムアルデヒドの発散量は、F☆☆☆☆とする。

ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F☆☆☆☆の接着剤を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

13章 屋根及びとい工事

1. 一般事項
- ①

屋根葺き材、緊結金物については、下地も含め安全性を確認し、監督員の承諾を得ること。
- ②

標準仕様書以外の工法は、専門業者の仕様による。
- ③

建築基準法に基づき定められた区分等
基準風速Vo=(36)m/s 地表面粗度区分(Ⅰ ・ Ⅱ ・ **Ⅲ** ・ Ⅳ)
積雪区分 建設省告示第1455号 別表(35)

2. 折板葺

① 折板は、JIS A 6514(金属製折板屋根構成材)による。

施工箇所	材質	鋼板の厚さ (mm)	塗装面	形式	山高(mm)	山ピッチ (mm)	耐力	軒先面戸 の適用	裏打ち材 の有無
屋根	塗装溶融55％アルミニウム-亜鉛合金めっき合板及び鋼帯	0.8	－	ハゼ	80	500	－	有	有

- ② タイトフレームに使用する材料は、JIS G 3302による。
- ③ 断熱材（ 有り 厚さ mm、種別 、防火性能 時間 ・ **なし** ）
- ④ 標準仕様書以外の工法は、専門業者の仕様による。また、タイトフレーム、けらば納めは屋根葺き工法に応じた専門業者の仕様による。
- ⑤ 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した固定金具の間隔、固定方法等を施工計画書として提出する。
- ⑥ 耐雪性能に対応した工法の適用（ 有り ・ **無し** ）。

3. とい
- ①

材種（ アルミ ）径（ 100角 ）。
材種（ カラーVP ）径（ 75 ）。
- ②

とい受金物 材種（ アルミ ）形状（ 摺み金物 ）取付間隔（ 2000以内 ）。
とい受金物 材種（ ステンレス ）形状（ 凹部金物 ）取付間隔（ 1100以内 ）。
- ③

防露の施工箇所は図示により、図示のもの以外は標仕表13.5.3による。ロックウール又はグラスウール保温筒のホルムアルデヒドの発散量は、F☆☆☆☆とする。
ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F☆☆☆☆のロックウール又はグラスウール保温筒を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。
- ④

銅管製といの防露巻きは、図示による。それ以外の場合は、標仕表13.5.4により行う。
- ⑤

硬質塩化ビニル雨どいの1本の長さは、10m以内とし、伸縮に対応する工法を選択すること。
- ⑥

ルーフドレンの種別（ 鋳鉄製 ）
- ⑦

ルーフドレンの製造所：評価名簿による。
- ⑧

ルーフドレン及びといは、取付け完了後、清掃し、通水試験を行う。
- ⑨

さがり止めは図面により、図示のもの以外は標仕13.5.3(1) (ア) (d) 又は13.5.3(2) (イ)による。

14章 金属工事

1. 一般事項
- ①

製品の取付に当たっては、受材の有無並びにアンカーの長さ、径及び本数等について、十分耐力のある工法を選択し、監督員の承諾を得ること。
- ②

あと施工アンカーの引抜き耐力の確認試験を（ **行う** ・ 行わない ）。
確認強度は、品質計画において定めるものとする。

2. 溶接、ろう付け等
- ①

溶接及びろう付けによる接合後は、各表面仕上げの種類 of 皮膜処理を行うこと。ただし、亜鉛めっき面については、標仕14.2.2による。
- ②

鉄の溶接は、7章「鉄骨工事」に準ずる。

3. 軽量鉄骨天井下地
- ①

野縁などの種類：屋内19形、屋外25形とし、標仕 表14.4.1による。
- ②

耐震性を考慮した補強及び屋外の軒天、ピロティー天井等における耐風圧性を考慮した補強は、図示による
- ③

建築基準法に基づき定められた区分等
基準風速Vo=(36)m/s 地表面粗度区分(Ⅰ ・ Ⅱ ・ **Ⅲ** ・ Ⅳ)
積雪区分 建設省告示第1455号 別表(35)
- ④

屋外の野縁受け、つりボルト及びインサート、野縁の間隔は図示による。
- ⑤

ダクト等によって、つりボルトの間隔が900mmを超える場合 of、補強方法は図示による。
- ⑥

天井のふところが3m以上の箇所の補強方法は図示による。
- ⑦

天井下地材における耐震性を考慮した補強方法は図示による。
- ⑧

屋外の軒、ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強は図示による。

17章
塗装工事

- 一般事項
 - 防火材料又は建築基準法に基づく指定又は認定を受けたものとする。
 - 塗料はホルマリン不検出のもの及び有機溶剤の含有量が少ないものとする。
 - ユリア樹脂等（ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤）を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量は、F☆☆☆☆とする。
ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量が、F☆☆☆☆の塗料を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

- 合成樹脂調合ペイント塗り（SOP）

区分	種別		素地ごしらえ	さび止め塗料		さび止め工程の種別	備考
	屋外	屋内		屋外	屋内		
鉄鋼面		B種	C種		A種	A種	車庫・倉庫棟

- 耐候性塗料（DP）

区分	種別	素地ごしらえ	錆止め塗料塗りの種別	上塗りの等級	備考
鉄鋼面	－	B種	C種 D種	2級	
コンクリート面	B種	A種	－	2級	

- つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り（EP－G）

区分	工程種別	素地ごしらえ	錆止め塗料塗りの種別	備考
ボード面	B種	B種	－	

- ウレタン樹脂ワニス塗り（UC）

区分	種別	素地ごしらえ	備考
木部	B種	B種	

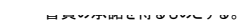
18章
内装工事

- ビニル床シート張、ビニル床タイル張及びゴム床タイル張
 - | 材質 | 種類の記号 | 色柄 | 厚さ | 幅木 | | | 接着剤 | 施工箇所 | 備考 |
|---------|-------|------|-----|----|----|----|------------|------|----|
| | | | | 材質 | 厚さ | 高さ | | | |
| ビニル床シート | FS | プレーン | 2.0 | － | － | － | JIS A 5536 | 図示 | |
| ビニル床タイル | KT | プレーン | 2.0 | － | － | － | JIS A 5536 | 図示 | |
 - ビニル幅木：材質（**軟質** ・ 硬質 ）、高さ（ 60 ・ 70 ・ **100** ）、厚さ（ 1.5mm ）
- 合成樹脂塗床
 - | 材質 | 仕上げの種類 | 備考 |
|------------|--------|----|
| エポキシ樹脂系塗床材 | 防滑仕上げ | |
 - ユリア樹脂等（ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤）を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量は、F☆☆☆☆とする。ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量が、F☆☆☆☆の塗料を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。
 - 以下の物質を含有しない材料を選定し、監督員の承諾を得ること。
 - 室内空气中化学物質の室内濃度指針値について（H31.1.17薬生発0117第1号）における13物質
 - 学校環境衛生基準（平成21年文部科学省告示第60号）第1の1の（8）ア～カの6物質

- せっこうボードその他ボード及び合板張り
 - | 材種・規格品 | 施工箇所 | 工法 | 厚さ（mm） | 不燃材等の区分 | 小ねじ・釘・接着剤の種類 | 下地の種類 | 備考 |
|------------------------------------|------|------|--------|---------|--------------|-------|----|
| せっこうボード
JIS A 6901の規格品 | 壁 | 下地張り | 12.5 | 不燃 | 小ねじ | LGS | |
| | 壁 | 下地張り | 12.5 | 不燃 | GL工法 | RC | |
| | 壁 | 継目処理 | 12.5 | 不燃 | 接着 | ボード | |
| | 天井 | 突付け | 9.5 | 不燃 | 小ねじ | LGS | |
| 化粧せっこうボードラバーチン模様
JIS A 6901の規格品 | 天井 | 突付け | 9.5 | 不燃 | 小ねじ | LGS | |
| シーリングせっこうボード | 壁 | 下地張り | 12.5 | 不燃 | 小ねじ | LGS | |
 - パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量は、F☆☆☆☆とする。
ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量が、F☆☆☆☆のパーティクルボード及びMDFを使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

材種・規格品	施工箇所	工法	厚さ（mm）	不燃材等の区分	小ねじ・釘・接着剤の種類	下地の種類	備考
ロックウール化粧吸音板 JIS A 6301の規格品	天井	突付け	9	不燃	小ねじ	ボード	フラット
	天井	突付け	15	不燃	小ねじ	ボード	スライプ・フラット
けい酸カルシウム板 JIS A 5430の規格品	壁	下地張り	6	不燃	小ねじ	ボード	
	壁	目透し	6	不燃	接着	ボード	
	壁	下地張り	8	不燃	小ねじ	LGS	
	天井	突付け	6	不燃	小ねじ	LGS	
化粧けい酸カルシウム板	壁	目透し	6	不燃	接着	ボード	

- 合板、パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量は、F☆☆☆☆とする。
ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量が、F☆☆☆☆の合板、パーティクルボード及びMDFを使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。



- 壁紙張り
 - | 施工箇所 | 種類 | 防火性能の種類 | 素地ごしらえ | 不燃材料等の区分 | 備考 |
|------|---------------|---------|--------|----------|-----|
| 壁 | JIS A 6921 | － | B種 | 不燃 | |
| 腰壁 | 天然木極薄ツキ板連続シート | － | B種 | 不燃 | 県産材 |
 - ホルムアルデヒドの放散量は、F☆☆☆☆とする。

ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量が、F☆☆☆☆の壁紙を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

- 断熱・防露
 - | 材種 | 種類 | 厚さ | 工法 | 補修材 | 種類 | 備考 |
|----|--------|-----|------|-----|------------------------------|-----------------|
| 断熱 | グラスウール | 100 | 敷き込み | － | JIS 6301 32kg/m ² | 庁舎棟2階天井 |
| 断熱 | グラスウール | 50 | はめ込み | － | JIS 6301 32kg/m ² | 庁舎棟1・2壁 |
| 断熱 | グラスウール | 50 | 敷き込み | － | JIS 6301 32kg/m ² | 庁舎棟検査室(冷蔵室)壁・天井 |

- ロックウール、グラスウール、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量は、F☆☆☆☆とする。
ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量が、F☆☆☆☆の断熱材を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

- 断熱材現場発泡工法

種類	厚さ	施工箇所	備考
A種1H	30	外壁面	庁舎棟

- 製造所：評価名簿による。

- 接着剤
壁紙施工でん粉系接着剤、ユリア樹脂等（ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤）を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量は、F☆☆☆☆とする。

ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量が、F☆☆☆☆の接着剤を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

- 外装材
 - | 種類 | 施工箇所 | 厚み | 主材 | 備考 |
|----------------|-------------|-------|------------|-----|
| 超低汚染型天然石調シート建材 | 外壁（コンクリート面） | 3mm程度 | アクリルシリコン樹脂 | 庁舎棟 |
 - ホルムアルデヒドの放散量はF☆☆☆☆とする。
 - 下地材はひび割れ追従性があるものとする。
 - 施工手順はメーカー仕様とする。

19章
ユニット及びその他工事

- フリーアクセスフロア
 - | 施工箇所 | 工法 | 寸法 | 高さ | 耐震性能 | 所定荷重 | 表面仕上げ材 | 備考 |
|------|-----|---------|-----|------|-------|---------|-----|
| 床 | パネル | 500×500 | 100 | － | 3000N | ビニル床タイル | 庁舎棟 |
| | | | | | | | |
 - 製造所：評価名簿による。
 - 施工にあたっては、施工前にフリーアクセスパネル及びタイルカーベットの割付施工図を提出し、承認後に製作施工を行うこと。
- トイレブース
 - | 表面材の処理 | 脚部 | ドアエッジ | |
|-------------|----|-------|---------|
| | 形状 | 形状 | 材質 |
| 高圧メラミン樹脂化粧板 | 幅木 | アール | アルミ押出形材 |
| | | | |
 - 製造所：評価名簿による。
 - 非常時外開機能付きとする。
 - トイレブースのパネルの材料のホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆とする。
ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量がF☆☆☆☆のトイレブースのパネルを使用できない場合は、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

- 手すり及びタラップ
 - | 材種 | 表面の処理 | 直径 | 取付箇所 | 備考 |
|--------|-------|-------|------|------|
| タモ集成材 | UC塗 | 34φ | 屋内階段 | |
| ステンレス製 | ミカキ | 42.7φ | 屋外階段 | |
| ステンレス製 | ミカキ | 38φ | スロープ | |
| ステンレス製 | － | 22φ | ビット内 | タラップ |
 - 手すりの支柱は、コンクリートあるいはモルタルの中に入る部分であっても錆止め処置を行うこと。

- 階段滑り止め
 - 材種（ステンレス ）、形状（L字 ）、幅（ 35 ）
材種（アルミ（ゴムタイヤ） ）、形状（L字 ）、幅（ 35 ）
 - 取付け方法は（埋込み工法 ・ **接着工法** ）とする。

- 黒板及びホワイトボード
 - 種別（ホワイトボード ）、枠の材質は（アルミ ）とする。
 - 色彩は（緑 ・ 黒 ・ **白** ）とする。

- 表示
 - 案内用図記号はJIS Z 8210による。
 - 詳細はサイン配置・詳細図による。

工事名： R 7 営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築（担い手確保型）

7. ブラインドボックス及びカーテンボックス

- ① 溝幅×深さ(mm) (90×150 ・ 120×80 ・ 120×150 ・ 150×80 ・ 図示)
 ② 材質 ・ アルミニウム製 表面処理 BC-1 ・ BC-2 (アンパー ・ ブロンズ ・ ブラック系 ・ ステンカラー)
 皮膜等の処理 ※標準仕様書14.2.1による

8. フェンス

- ① フェンスの種類(ビニル被覆エキスパンドフェンス ・ 樹脂塗装メッシュフェンス ・ 鋼管フェンス ・ アルミフェンス)
 ② 高さ(図示 ・ 1100)
 ③ 詳細は共通詳細図による。

9. 洗面カウンター

- ① 材種 (メラミン樹脂化粧板張り(心材:集成材) ・ **人工大理石**)
 ② 奥行き (約450 ・ **約600**)
 ③ 詳細は共通詳細図による。

10. 既製家具

合板、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量は、F☆☆☆☆とする。

ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量が、☆☆☆☆の合板、MDF及びパーティクルボードを使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

11. その他

- ① ユニットジャー：TOTO株式会社 JSV0812UL 同等品程度
- ② 洗面化粧台：TOTO株式会社 LDSAS060BAGKG1A 同等品程度
- ③ アーコーディア門扉：四国化成建材株式会社 ALXF12R 同等品程度
- ④ 両開き門扉：四国化成建材株式会社 ALM1-S1(O) 同等品程度
- ⑤ マッシュフェンス：四国化成建材株式会社 プロメッシュⅠ型 同等品程度

20章 排水工事

1. 側塊、排水枋等

- ① 側塊の形状：図示
- ② 排水マスの種類：図示
- ③ グレーチング

材質	用途	適用荷重	メインバーピッチ	垂鉛めっき付着量	上面形状	備考
スチール	雨水排水	T-14	15mm程度	製造所の仕様による	ノンスリップ	

製造所： 評価名簿による。

2. 街きよ、縁石、側溝

- ① 砂利地業の厚さは、(100)mmとする。
- ② コンクリート設計基準強度(18)N/mm²、スランプ(15)cm
- ③ 街きよ、縁石及び側溝

名称	形状	寸法	備考
側溝	U型	W200、W300、W400	

21章 舗装工事

1. 路床

- ⑤ 六価クロム溶出試験を(行う ・ **行わない**)。

行った場合、土壤環境基準以下であることを確認すると共に、試験結果(計量証明書)を監督員に提出するものとする。

六価クロム溶出試験は、「セメント及びセメント系固化材の地盤改良への使用及び改良土の再利用に関する当面の措置」(平成12.3.31 建設第258号)の「六価クロム溶出試験実施要領

(案)により実施する。土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合、試験の結果、六価クロムの溶出量が土壤環境基準を超えた場合等は、監督員と協議するものとする。

- ⑥ 路床土の支持力比(CBR)試験は(行う) [乱した土 ・ 乱さない土] ・ **行わない**)。
- ⑦ 路床締固め度試験は(行う) ・ **行わない**)。
- ⑧ 砂の粒度試験は(行う) ・ **行わない**)。
- ⑨ 現場CBR試験を(行う) ・ **行わない**)。

2. 路盤

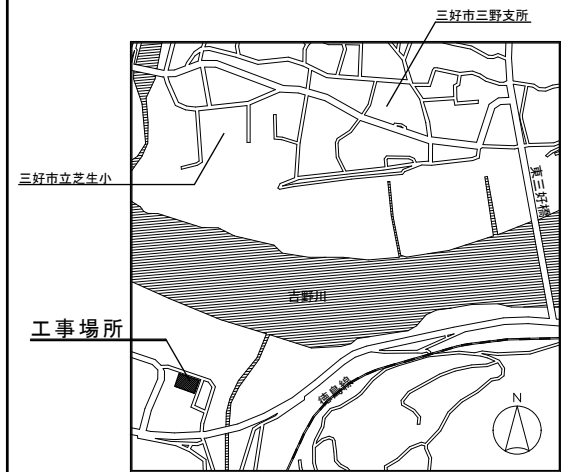
- ① 路盤材料(再生クワツシャーラン)、車道部の厚さ(150)mm
 ② 締固め試験は(行う・行わない)。
 ③ 路盤の厚さは、設計厚さを下回らないこととする。

3. 砂利敷き

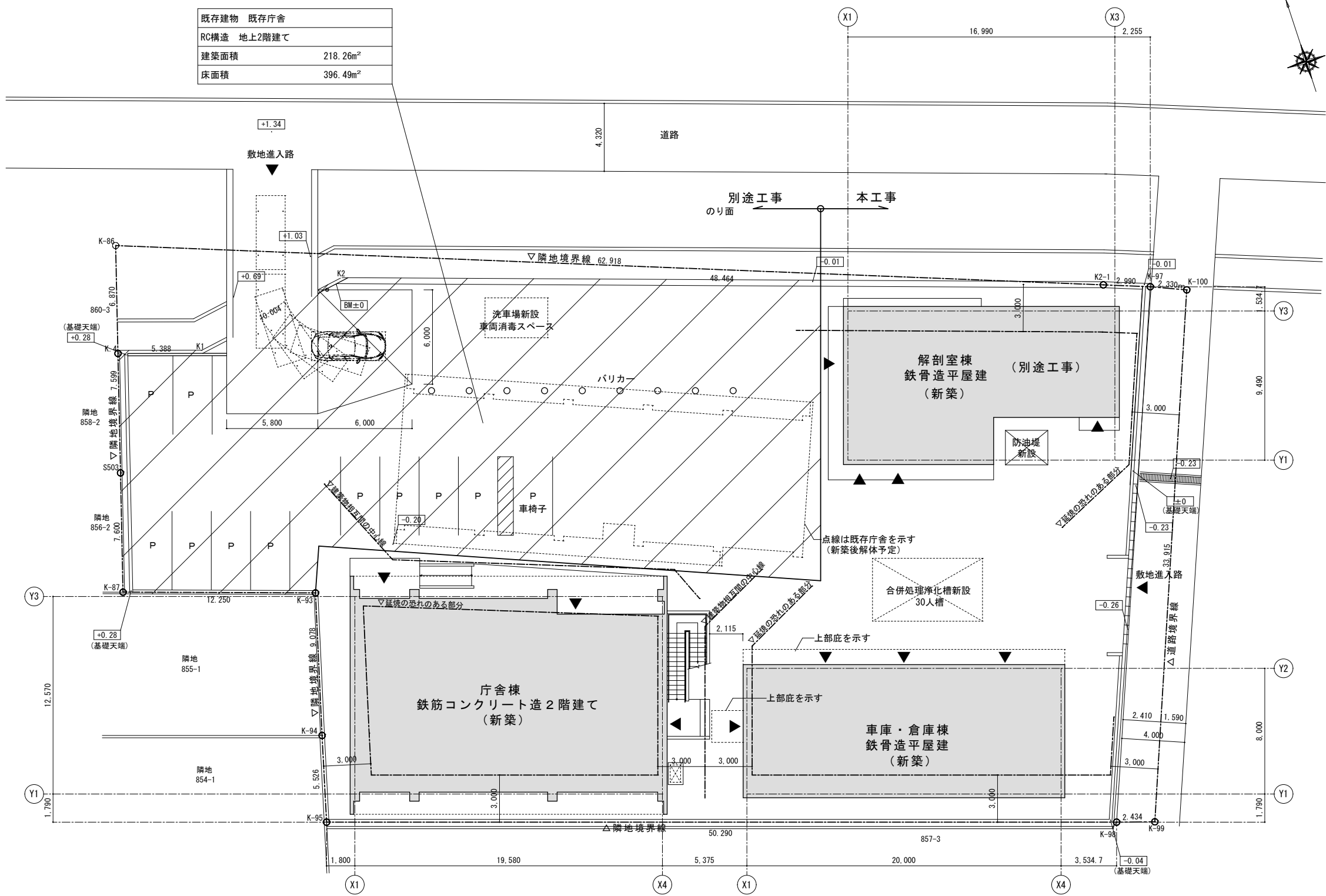
砂利敷きの種別は(A ・ B)種とする。

4. 排水の処理

舗装版切断に伴い発生する排水は汚泥に該当するため、関係法令等に基づき適正に処理すること。

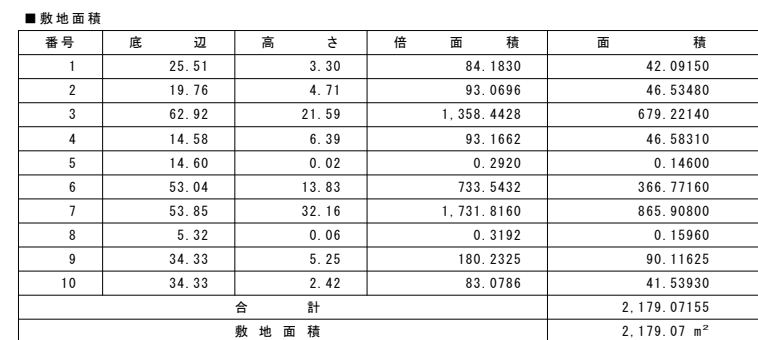


付近見取図



配置図 S=1/200 ※ 内はBM±0からの高さを示す
詳細は外構図による

		徳島県土整備部営繕課		●工事名 R 7 営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)	●図面番号 A-01	株式会社 橋 建築 事務所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明
				●図面名 配置図・付近見取図	●縮尺 1/200	
設計 R7.7		竣工				



■ 庁舎棟		
床面積	(m ²)	
1階	13.0×12.15+7.0×11.15=236.0	236.0
2階	20.0×12.15=243.0	243.0
計		479.0

建築面積		
	(m ²)	
	20.0×13.15+1.67×6.98=274.6566	274.6566
計		274.65

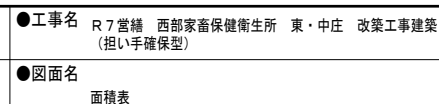
■ 車庫・倉庫棟		
床面積		(m ²)
1階	20.41*8.41=171.6481	171.64
計		171.64

建築面積			(m ²)
	20.41*8.41+1.115*2.0=173.8781		173.87
計			173.87

■ 解剖室棟（別途工事）		
床面積	(㎡)	
1階	9.5*10+8*7=151.00	151.0
計		151.0

■ 建築面積		
建築面積	(㎡)	
	9.5*10+8*7=151.00	151.0
計		151.0

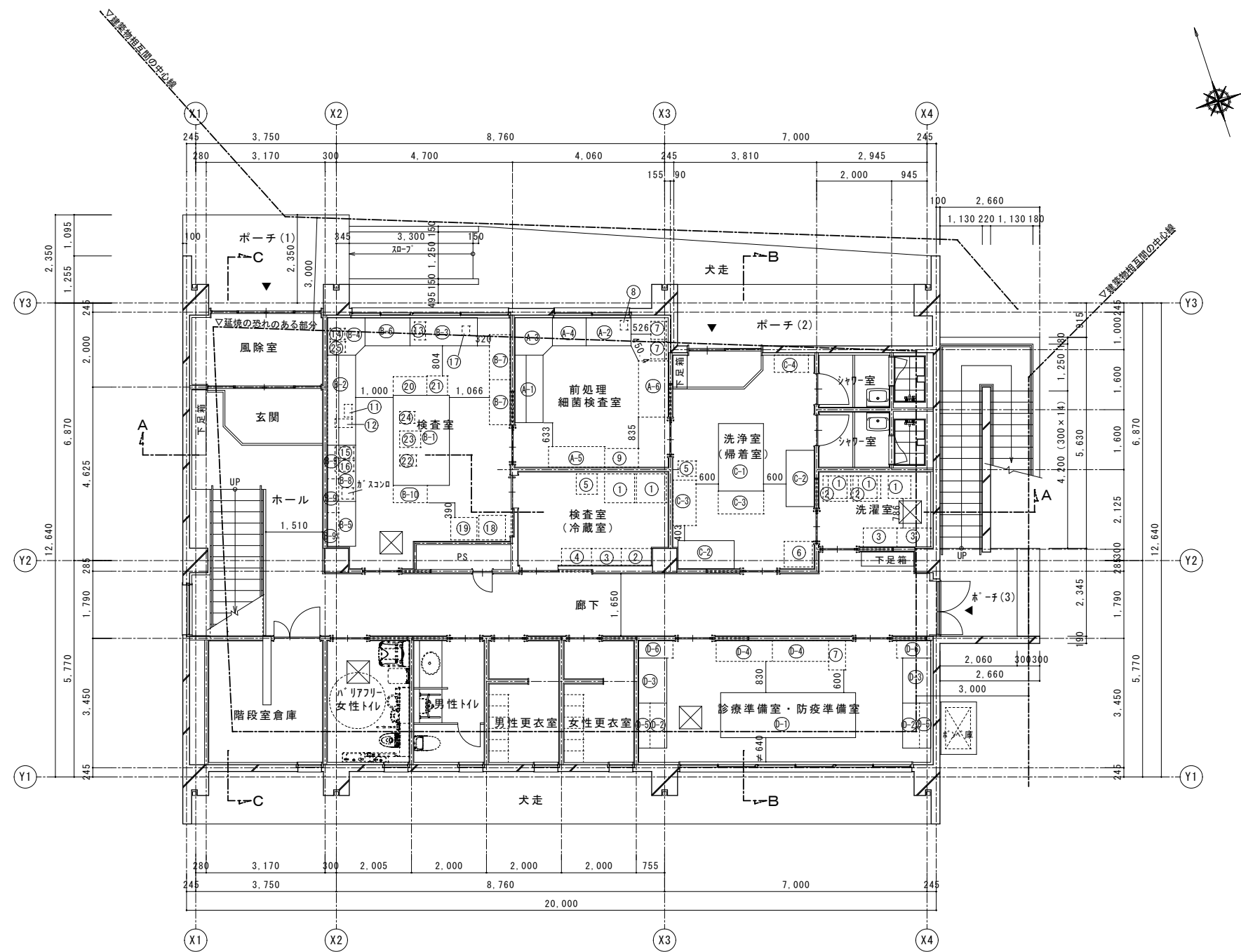
床面積 合計 (m ²)	801.64	建築面積 合計 (m ²)	599.52
--------------------------	--------	---------------------------	--------



●図面番号	A-02	株式会社 橘 建築 事務所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明
●縮尺	1/200	

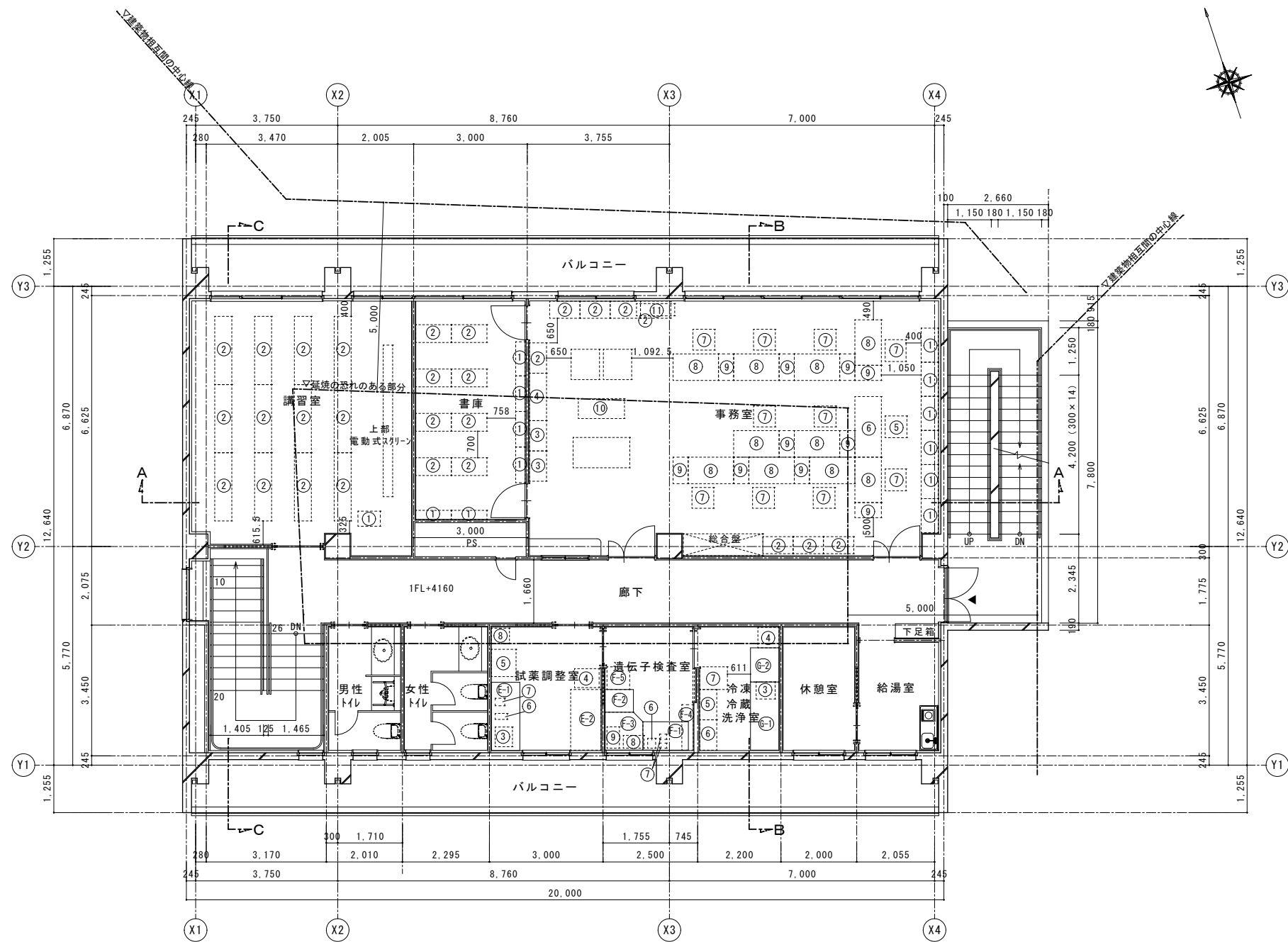
■ 外部仕上表													
部 位		仕 上			部 位		仕 上			部 位		仕 上	
外壁		超低汚染型シート貼 コンクリート打放しの上、防水型複層塗材E			ホーチ・スロープ		床：磁器質タイル貼 150角 壁：コンクリート打放しの上、防水型複層塗材E			パネルコーナー		床：自閉樹脂塗膜防水材 手摺：スチール製 錆止め塗装の上、DP塗	
外幅木		コンクリート打放しの上、撥水剤塗布			屋外階段		コンクリート打放しの上、防水型複層塗材E 階段裏：コンクリート打放しの上、外装薄塗材E 踏面・蹴込：防水モルタル金コシ押え、ステンレス製ノズリップ 屋上階段：CPLt=4.5 手摺：スチール製 錆止め塗装の上、DP塗 ステンレス製 HL			犬走		コンクリート金コシ押えt=150 捨てコンt=50 再生クワッシャーランt=150	
屋根		7スفال防水の上、押えコンクリートt=60（溶接金網6φ 150×150） 金コシ押え 断熱材：ホースレンフォームt=25 乾式保護材：押出成形モント板t=15 手摺：スチール製 錆止め塗装の上、DP塗			ドレイン		鋳鉄製横引ドレイン						
軒裏		コンクリート打放しの上、リシン吹付 ケイカルt=6 EP-G塗（LGS下地）			縦樋		7ミリ製 角型						
■ 内部仕上表													
階	室 名	FL		床	幅 木	壁		天 井		CH	廻 縁	備 考	
		(1・2FL+)	下 地	仕 上		下 地	仕 上	下 地	仕 上				
1	風除室	±0	M	磁器質150角タイル貼	磁器質タイル貼H=100	LGS RC	GB-Rt=12.5+12.5 EP-G塗 一部：GB-Rt=12.5 EP-G塗	LGS	GB-NCt=9.5 EP-G塗	3,050	塩ビ製		
	玄関・ホール	±0	RC	磁器質150角タイル貼 セルフレベルリングの上、防滑性ビニル床シートt=2.0	ビニル幅木H=100 磁器質タイル貼H=100	LGS RC	GB-Rt=12.5+12.5 クロス貼 一部：GB-Rt=12.5 クロス貼 腰壁：天然木極薄珪板連続シート H=1160	LGS	GB-NCt=9.5の上、DRt=9 7ミリ製見切縁	3,050	塩ビ製	下足箱 天井点検口：7ミリ製600角 見切：杉25×25 WP塗 ステンレス製沓摺	
	検査室	±0	RC	セルフレベルリングの上、防滑性ビニル床シートt=2.0	ビニル幅木H=100	LGS RC	ケイカルt=8+6の上、化粧ケイカルt=6 一部：GB-St=12.5の上、化粧ケイカルt=6	LGS	GB-NCt=9.5の上、DRt=9	2,700	塩ビ製	床下点検口：ステンレス製600角 天井点検口：7ミリ製600角 7ミリ製グランドBOX	
	検査室（冷蔵室）	±0	RC	セルフレベルリングの上、防滑性ビニル床シートt=2.0	ビニル幅木H=100	LGS	GB-St=12.5の上、化粧ケイカルt=6 遮音グラスウールt=50(32kg)	LGS	GB-NCt=9.5の上、DRt=9	2,700	塩ビ製	天井点検口：7ミリ製600角	
	前処理殺菌検査室	±0	RC	セルフレベルリングの上、防滑性ビニル床シートt=2.0	ビニル幅木H=100	LGS RC	ケイカルt=8+6の上、化粧ケイカルt=6 一部：GB-St=12.5の上、化粧ケイカルt=6	LGS	GB-NCt=9.5の上、DRt=9	2,700	塩ビ製	天井点検口：7ミリ製600角 7ミリ製グランドBOX	
	洗浄室（掃着室）	±0	M RC	磁器質150角タイル貼 セルフレベルリングの上、防滑性ビニル床シートt=2.0	ビニル幅木H=100 磁器質タイル貼H=100	LGS RC	ケイカルt=8+6の上、化粧ケイカルt=6 一部：GB-St=12.5の上、化粧ケイカルt=6	LGS	GB-NCt=9.5の上、DRt=9	2,700	塩ビ製	下足箱 ステンレス製沓摺 天井点検口：7ミリ製600角	
	シャワー室（男性・女性）	±0	RC	セルフレベルリングの上、防滑性ビニル床シートt=2.0 一部：クッションフロアt=1.8、バニヤ合板t=5.5(目地張) 構造用合板t=12、パネルケイカルボードt=20、樹脂製支柱足φ455	ビニル幅木H=100	LGS RC	ケイカルt=8+6の上、化粧ケイカルt=6 一部：GB-St=12.5の上、化粧ケイカルt=6	LGS	ケイカルt=6 EP-G塗	2,600	塩ビ製	洗面化粧台 ステンレス製上り框	
	洗濯室	±0	RC	セルフレベルリングの上、防滑性ビニル床シートt=2.0	ビニル幅木H=100	LGS RC	ケイカルt=8+6の上、化粧ケイカルt=6 一部：GB-St=12.5の上、化粧ケイカルt=6	LGS	ケイカルt=6 EP-G塗	2,600	塩ビ製	床下点検口：ステンレス製600角 天井点検口：7ミリ製600角	
	階段室倉庫	±0	RC	セルフレベルリングの上、防滑性ビニル床シートt=2.0	ビニル幅木H=100	LGS RC	GB-Rt=12.5+12.5 EP-G塗 一部：GB-Rt=12.5 EP-G塗	RC	コンクリート打放し 下地調整の上、EP-G塗	—	塩ビ製		
	パリアフリー・女性トイレ	±0	RC	セルフレベルリングの上、防滑性ビニル床シートt=2.0	ビニル幅木H=100	LGS RC	GB-St=12.5の上、化粧ケイカルt=6 遮音グラスウールt=50(32kg)	LGS	ケイカルt=6 EP-G塗	2,600	塩ビ製	床下点検口：ステンレス製600角 天井点検口：7ミリ製600角	
	男性トイレ	±0	RC	セルフレベルリングの上、防滑性ビニル床シートt=2.0	ビニル幅木H=100	LGS RC	GB-St=12.5の上、化粧ケイカルt=6 遮音グラスウールt=50(32kg)	LGS	ケイカルt=6 EP-G塗	2,600	塩ビ製	汚垂石t=6 洗面カウンター：人造大理石t=20 天井点検口：7ミリ製600角 甲板：人造大理石t=20 鏡 350×450 小便器用手摺	
	更衣室（男性・女性）	±0	RC	セルフレベルリングの上、防滑性ビニル床シートt=2.0	ビニル幅木H=100	LGS RC	GB-Rt=12.5+12.5 EP-G塗 一部：GB-Rt=12.5 EP-G塗	LGS	GB-NC(T)t=9.5	2,600	塩ビ製	壁見切：スチール製 SOP塗 天井点検口：7ミリ製600角 7ミリ製グランドBOX	
診療準備室・防疫準備室	±0	RC	セルフレベルリングの上、防滑性ビニル床シートt=2.0	ビニル幅木H=100	LGS RC	ケイカルt=8+6の上、化粧ケイカルt=6 一部：GB-St=12.5 化粧ケイカルt=6	LGS	GB-NCt=9.5の上、DRt=9	2,700	塩ビ製	床下点検口：ステンレス製600角 天井点検口：7ミリ製600角 7ミリ製グランドBOX		
2	講習室	±0	RC	セルフレベルリングの上、防滑性ビニル床シートt=2.0	ビニル幅木H=100	LGS RC	GB-Rt=12.5+12.5 クロス貼 一部：GB-Rt=12.5 クロス貼 腰壁：天然木極薄珪板連続シート H=1160	LGS	GB-NCt=9.5の上、DRt=15	2,800 2,550	塩ビ製	見切：杉25×25 WP塗 天井点検口：7ミリ製600角 7ミリ製グランドBOX 電動式スクリーン	
	書庫	±0	RC	セルフレベルリングの上、防滑性ビニル床シートt=2.0	ビニル幅木H=100	LGS RC	GB-Rt=12.5+12.5 EP-G塗 一部：GB-Rt=12.5 EP-G塗	LGS	GB-NC(T)t=9.5	2,800	塩ビ製	天井点検口：7ミリ製600角 7ミリ製グランドBOX	
	事務室	±0	RC	床置きビニル床タイルt=5.0 OAフロアH=100 スチール製支持脚	ビニル幅木H=100	LGS RC	GB-Rt=12.5+12.5 EP-G塗 一部：GB-Rt=12.5 EP-G塗	LGS	GB-NCt=9.5の上、DRt=9	2,800 2,550	塩ビ製	カウンター 天井点検口：7ミリ製600角 7ミリ製グランドBOX	
	男性トイレ	±0	RC	セルフレベルリングの上、防滑性ビニル床シートt=2.0	ビニル幅木H=100	LGS RC	GB-St=12.5の上、化粧ケイカルt=6 遮音グラスウールt=50(32kg)	LGS	ケイカルt=6 EP-G塗	2,600	塩ビ製	汚垂石t=6 洗面カウンター：人造大理石t=20 天井点検口：7ミリ製600角 甲板：人造大理石t=20 鏡 350×450 小便器用手摺	
						徳島県土整備部営繕課		●工事名 R 7 営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)		●図面番号 A-03		株式会社 橘 建 築 事 務 所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明	
						設計	竣工	●図面名		●縮尺			
						R7.7		【庁舎棟】仕上表1		—			

■ 内部仕上表													
階	室 名	FL	床		幅 木	壁		天 井		CH	廻 縁	備 考	
		(1・2FL+)	下 地	仕 上		下 地	仕 上	下 地	仕 上				
	女性トイレ	±0	RC	セルフベ`リンク`の上、防滑性ビ`ニル床シートt=2.0	ビ`ニル幅木H=100	LGS RC	GB-St=12.5の上、化粧ケイカルt=6 遮音ケ`ラスケ`ルト=50(32kg)	LGS	ケイカルt=6 EP-G塗	2,600	塩ビ`製	甲板：人造大理石t=20 鏡 350×450 天井点検口：7ℓミ製600角	
	試薬調整室	±0	RC	セルフベ`リンク`の上、防滑性ビ`ニル床シートt=2.0	ビ`ニル幅木H=100	LGS RC	ケイカルt=8+6の上、化粧ケイカルt=6 一部：GB-St=12.5の上、化粧ケイカルt=6	LGS	GB-NCt=9.5の上、DRt=9	2,700	塩ビ`製	天井点検口：7ℓミ製600角 7ℓミ製グ`ライント`BOX	
	遺伝子検査室	±0	RC	セルフベ`リンク`の上、防滑性ビ`ニル床シートt=2.0	ビ`ニル幅木H=100	LGS RC	ケイカルt=8+6の上、化粧ケイカルt=6 一部：GB-St=12.5の上、化粧ケイカルt=6	LGS	GB-NCt=9.5の上、DRt=9	2,700	塩ビ`製	天井点検口：7ℓミ製600角 7ℓミ製グ`ライント`BOX	
	冷凍・冷蔵・洗浄室	±0	RC	セルフベ`リンク`の上、防滑性ビ`ニル床シートt=2.0	ビ`ニル幅木H=100	LGS RC	ケイカルt=8+6の上、化粧ケイカルt=6 遮音ケ`ラスケ`ルト=50(32kg)	LGS	GB-NCt=9.5の上、DRt=9	2,700	塩ビ`製	天井点検口：7ℓミ製600角	
	休憩室	±0	RC	セルフベ`リンク`の上、防滑性ビ`ニル床シートt=2.0	ビ`ニル幅木H=100	LGS RC	GB-Rt=12.5+12.5 EP-G塗 一部：GB-Rt=12.5 EP-G塗	LGS	GB-NCt=9.5の上、DRt=9	2,600	塩ビ`製	天井点検口：7ℓミ製600角 7ℓミ製グ`ライント`BOX	
	給湯室	±0	RC	セルフベ`リンク`の上、防滑性ビ`ニル床シートt=2.0	ビ`ニル幅木H=100	LGS RC	GB-Rt=12.5+12.5 EP-G塗 一部：GB-Rt=12.5 EP-G塗	LGS	GB-NCt=9.5の上、DRt=9	2,600	塩ビ`製	ミニキッチン 7ℓミ製グ`ライント`BOX	
共通	廊下	±0	RC	セルフベ`リンク`の上、防滑性ビ`ニル床シートt=2.0	ビ`ニル幅木H=100	LGS RC	GB-Rt=12.5+12.5 EP-G塗 一部：GB-Rt=12.5 クロス貼 腰壁：天然木極薄珪板連続シート H=1160	LGS	GB-NCt=9.5の上、DRt=9	2,700	塩ビ`製	下足箱 見切：杉25×25 WP塗 天井点検口：7ℓミ製600角	
	階段	—	RC	モルタル金コ`押えの上、防滑性ビ`ニル床シートt=2.0	ビ`ニル幅木H=100	LGS RC	GB-Rt=12.5+12.5 EP-G塗	LGS	GB-NCt=9.5の上、DRt=9	—	塩ビ`製	7ℓミ製ノンスリップ`	
	PS	±0	RC	セルフベ`リンク`	—	—	軽鉄表し ボ`-ド`張	—	コンクリート表し	—	—		
■ 特記事項													
※断熱材 外壁に接する内壁：現場発泡ウレタンt=30吹付 2階天井裏：ケ`ラスケ`ルト=100(32kg) トイレ壁：ケ`ラスケ`ルト=50(32kg) 検査室(冷蔵室)壁・天井：ケ`ラスケ`ルト=50(32kg) ビ`ット内：ホ`リスチレンフォームt=30 ※断熱材の吹付厚さは、確認ピンを用いて確認する。 本数は標準仕様書19.9.4による。 ※間仕切り壁下地：1階LGS90、2階LGS65とする。 ※外壁に接する内壁及び柱型の仕上げ材は直張り工法とする。													
■ 凡例													
仕上略号	名 称				仕上略号	名 称				仕上略号	名 称		
GB-R	石膏ボ`-ド` t=12.5(不燃)				DR	ロックウ`ル化粧吸音板t=9.15				EP-G	つや有り合成樹脂エマルジョンペ`イント		
GB-S	防水石膏ボ`-ド` t=12.5(不燃)					ロックウ`ル化粧吸音板t=15					RC		
GB-NC	不燃石膏ボ`-ド` t=9.5					ケイカル	ケイ酸カルシウム板					M	モルタル下地
GB-NC(T)	不燃石膏ボ`-ド` t=9.5(トラバ`ーチン)					化粧ケイカル	化粧ケイ酸カルシウム板					LGS	軽量鉄骨下地
						徳島県土整備部営繕課		●工事名 R7営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)		●図面番号 A-04		株式会社 橘 建 築 事 務 所	
						設計 R7.7	竣工	●図面名		●縮尺		一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明	
								【庁舎棟】仕上表2		—			



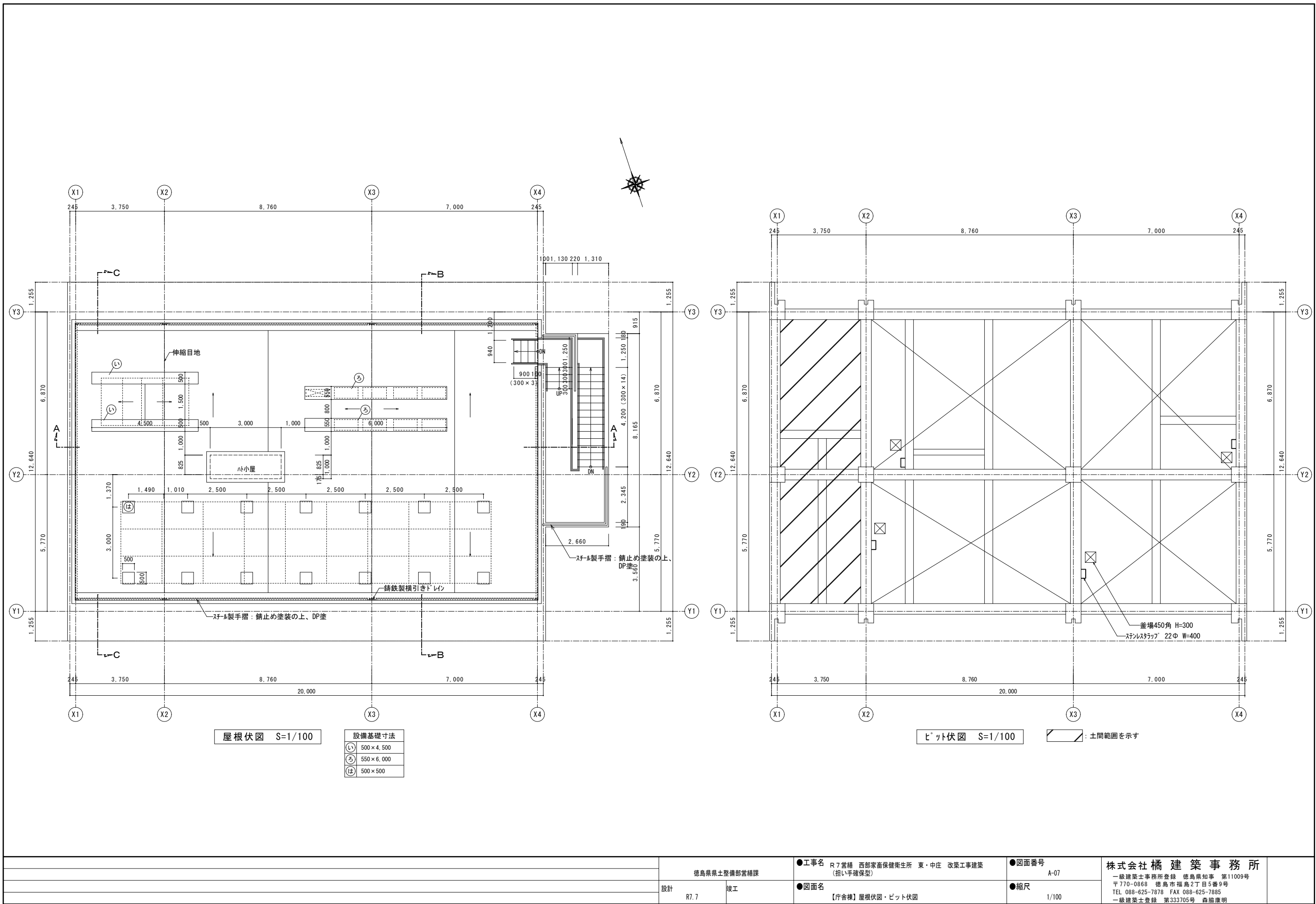
1 階平面図 S=1/100

		徳島県土整備部営繕課		●工事名	R7 営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)	●図面番号	A-05	株式会社 橘 建 築 事 務 所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明
				●図面名		●縮尺		
設計		竣工	【庁舎棟】1階平面図		1/100			
R7.7								

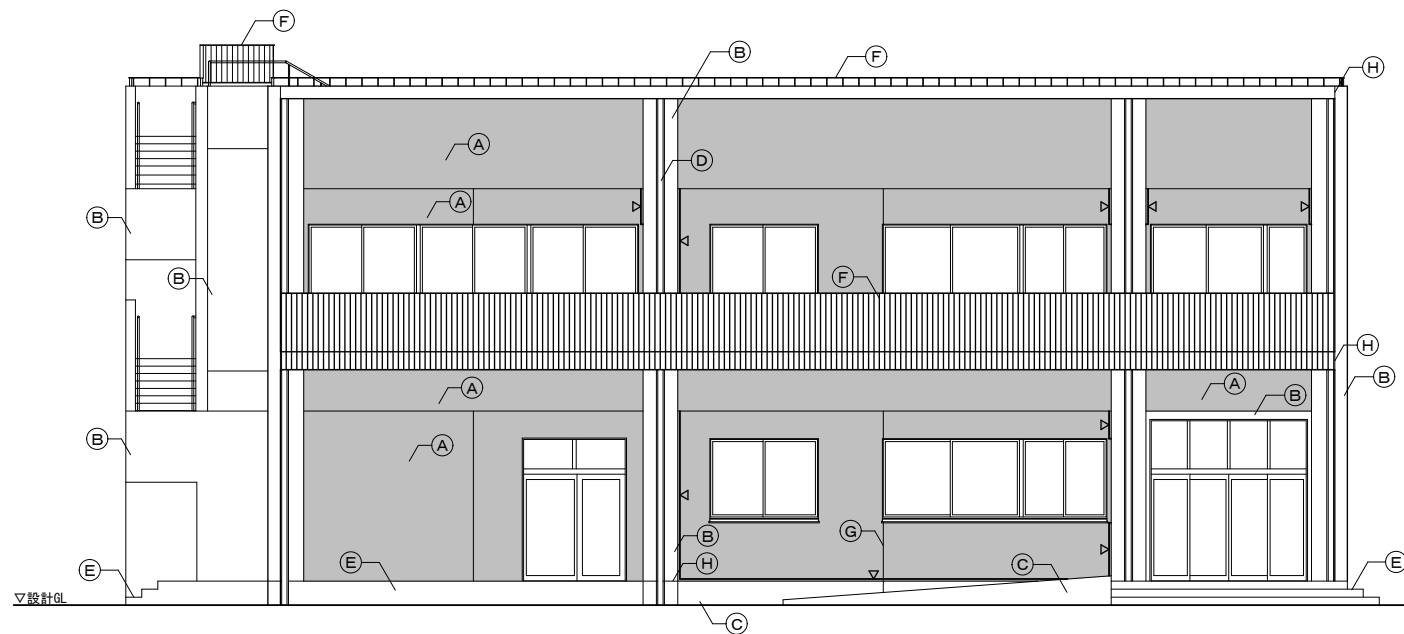


2 階平面図 S=1/100

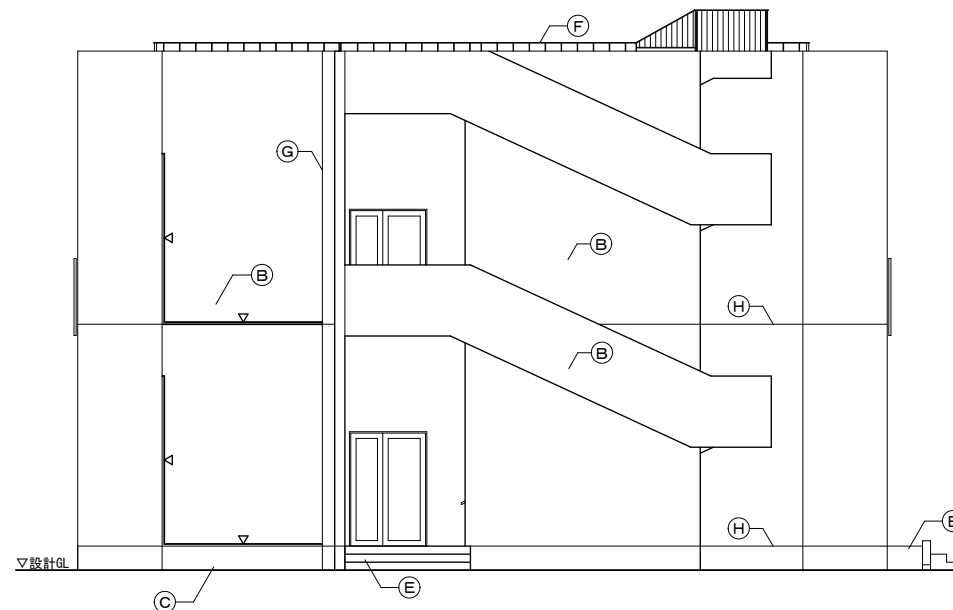
		徳島県土整備部営繕課		●工事名 R 7 営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)	●図面番号 A-06	株式会社橘 建築事務所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明
設計		竣工		●図面名	●縮尺	
R7.7				【庁舎棟】2階平面図	1/100	



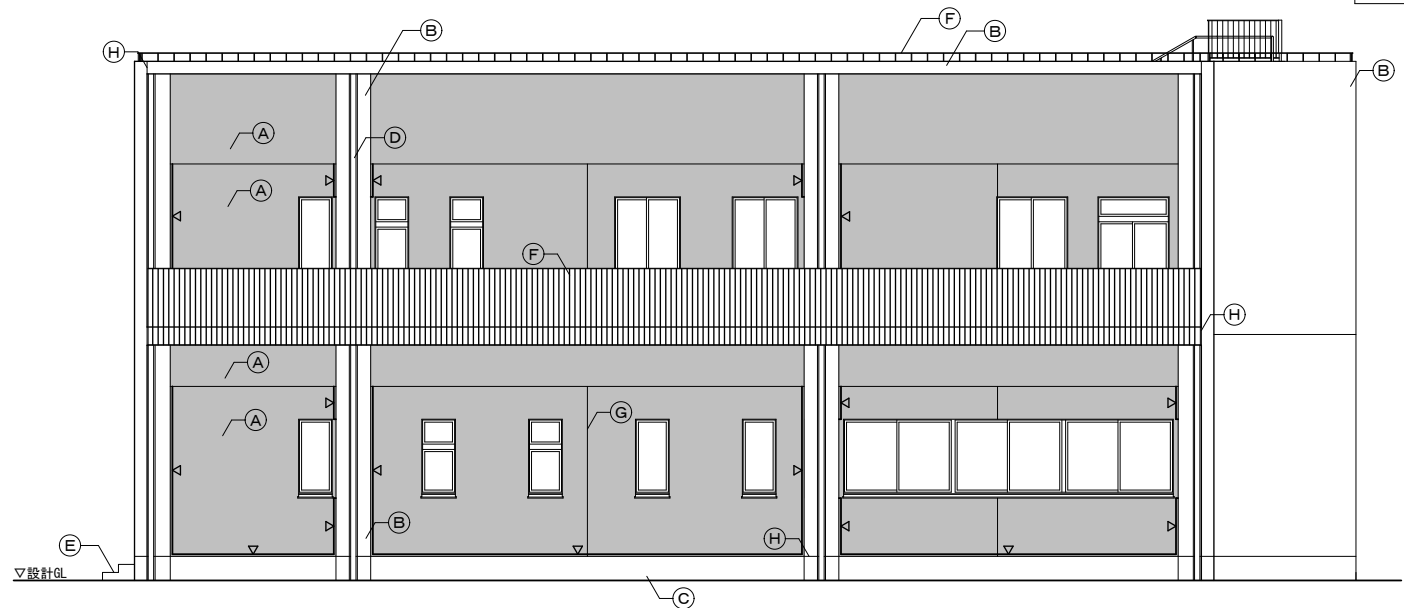
		徳島県土整備部営繕課	●工事名	R7営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)	●図面番号	株式会社橘 建築事務所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明
					A-07	
設計	R7.7	竣工	●図面名	【庁舎棟】屋根伏図・ビット伏図	●縮尺	



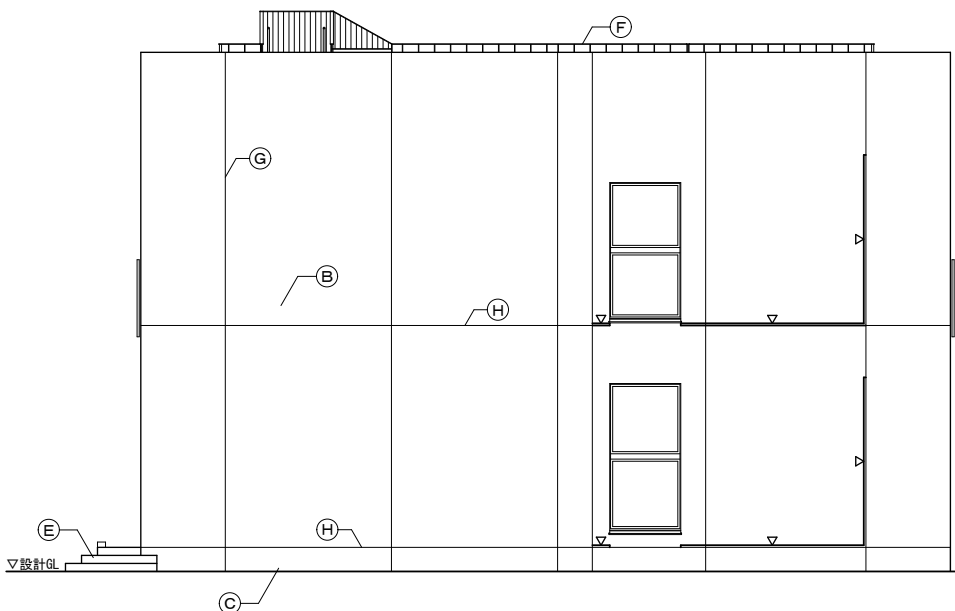
北立面図



東立面図



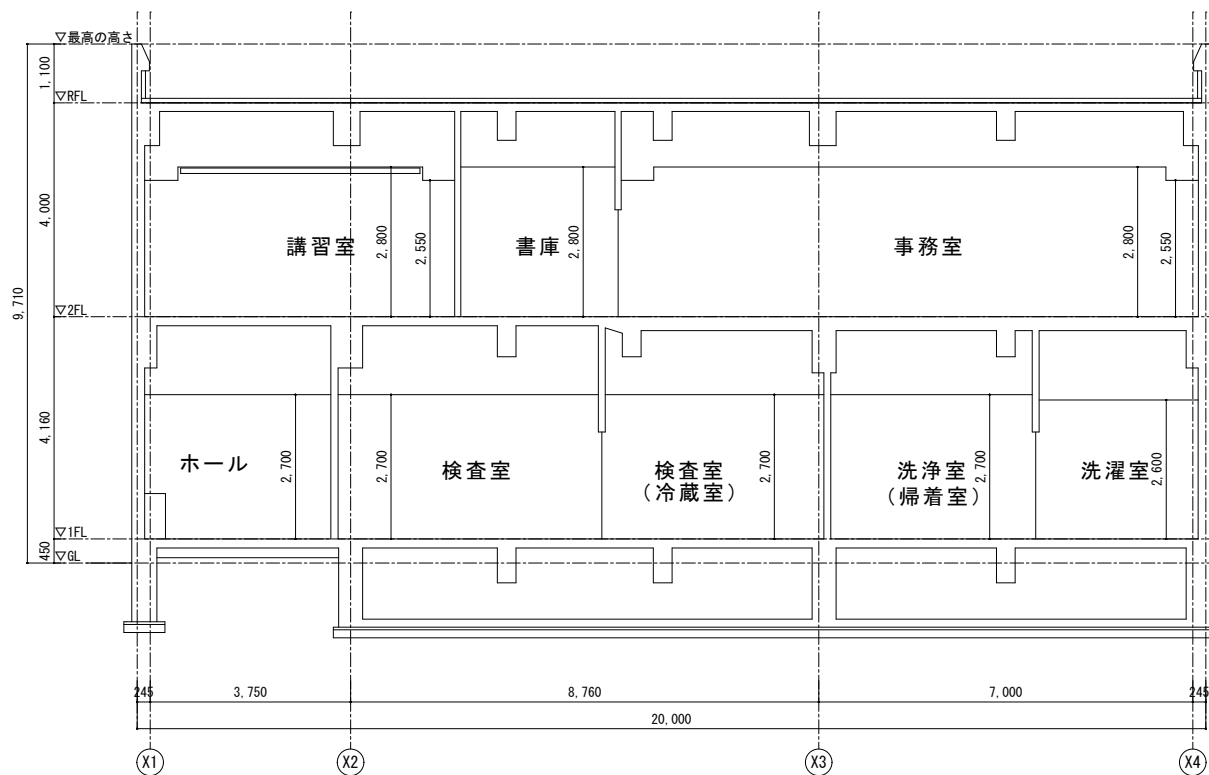
南立面図



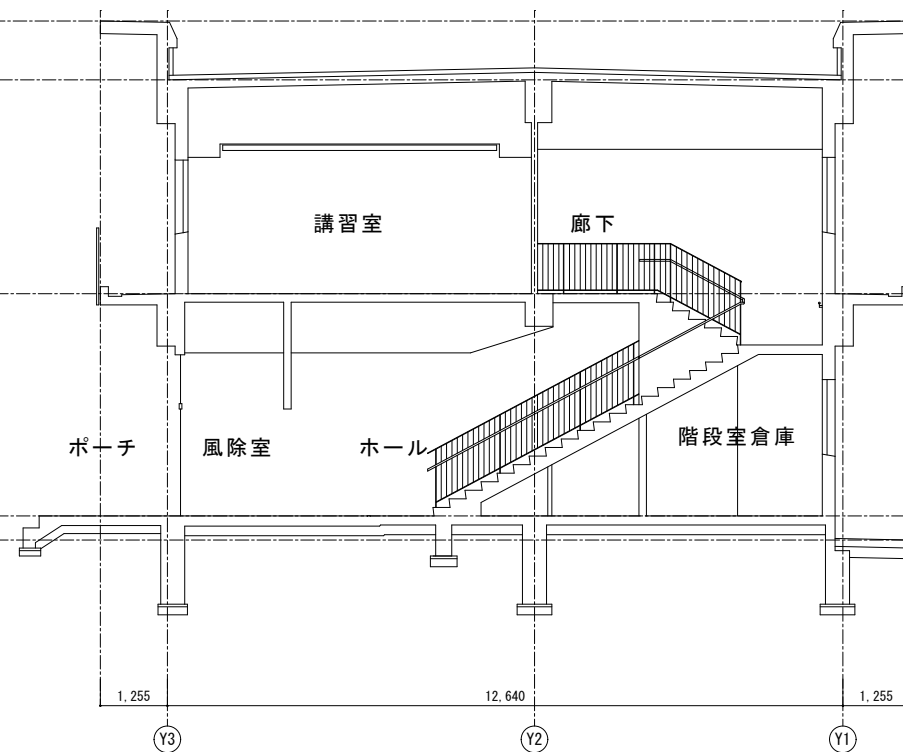
西立面図

凡例	
(A)	外壁：超低汚染型シート貼
(B)	外壁：コンクリート打放しの上、防水型複層塗材E
(C)	外幅木：コンクリート打放しの上、撥水剤塗布
(D)	縦樋：75製 角型
(E)	磁器質150角タイル貼
(F)	手摺：スチール製 錆止め塗装の上、DP塗
(G)	化粧目地シール PU-2 20×10
(H)	打継目地シール PU-2 20×10
△	耐震スリット W=40mmを示す

		徳島県県土整備部営繕課	●工事名 R7営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)	●図面番号 A-08	株式会社 橘 建築 事務所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明	
設計 R7.7	竣工		●図面名 【庁舎棟】立面図	●縮尺 1/100		

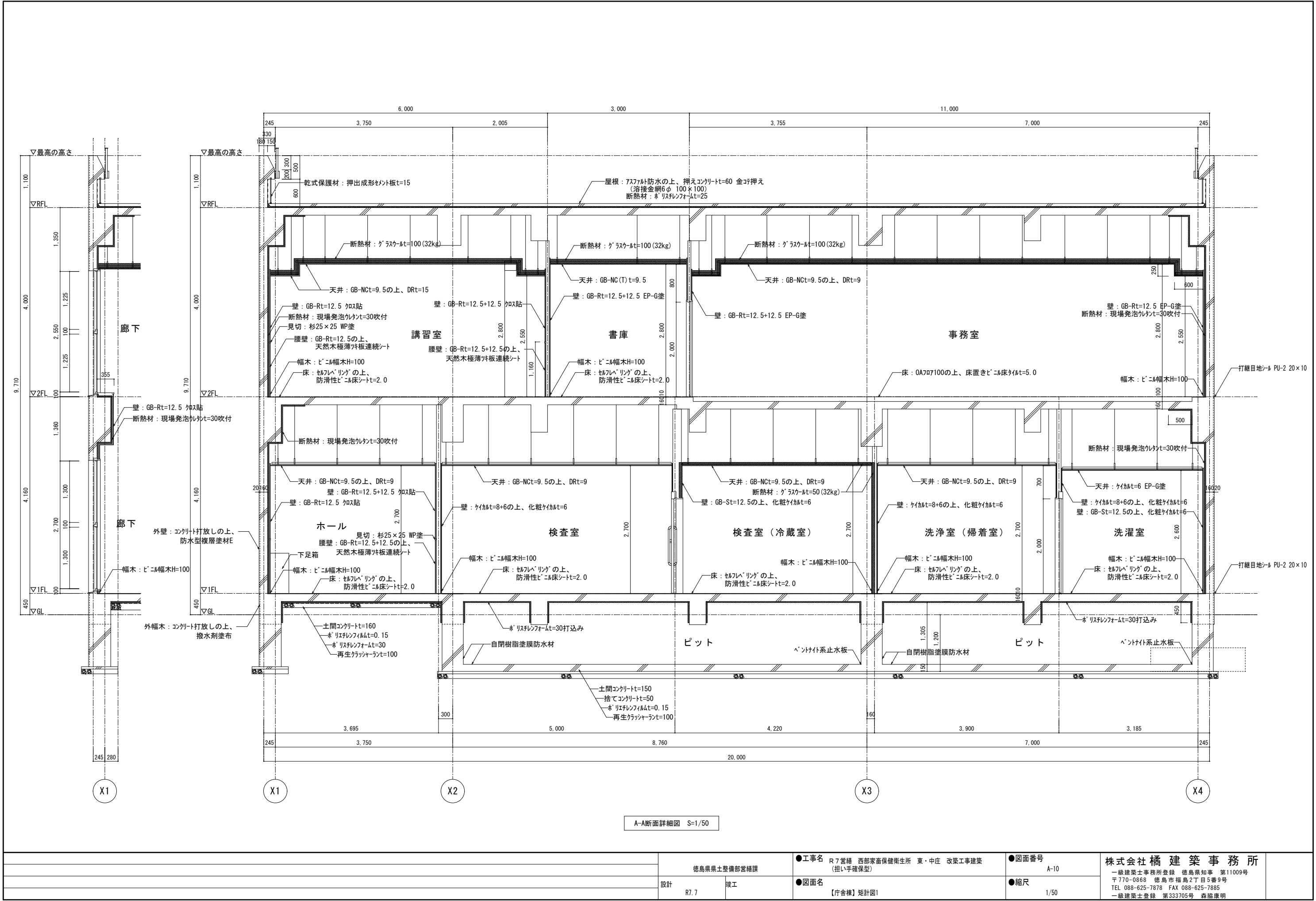


断面図 S=1/100

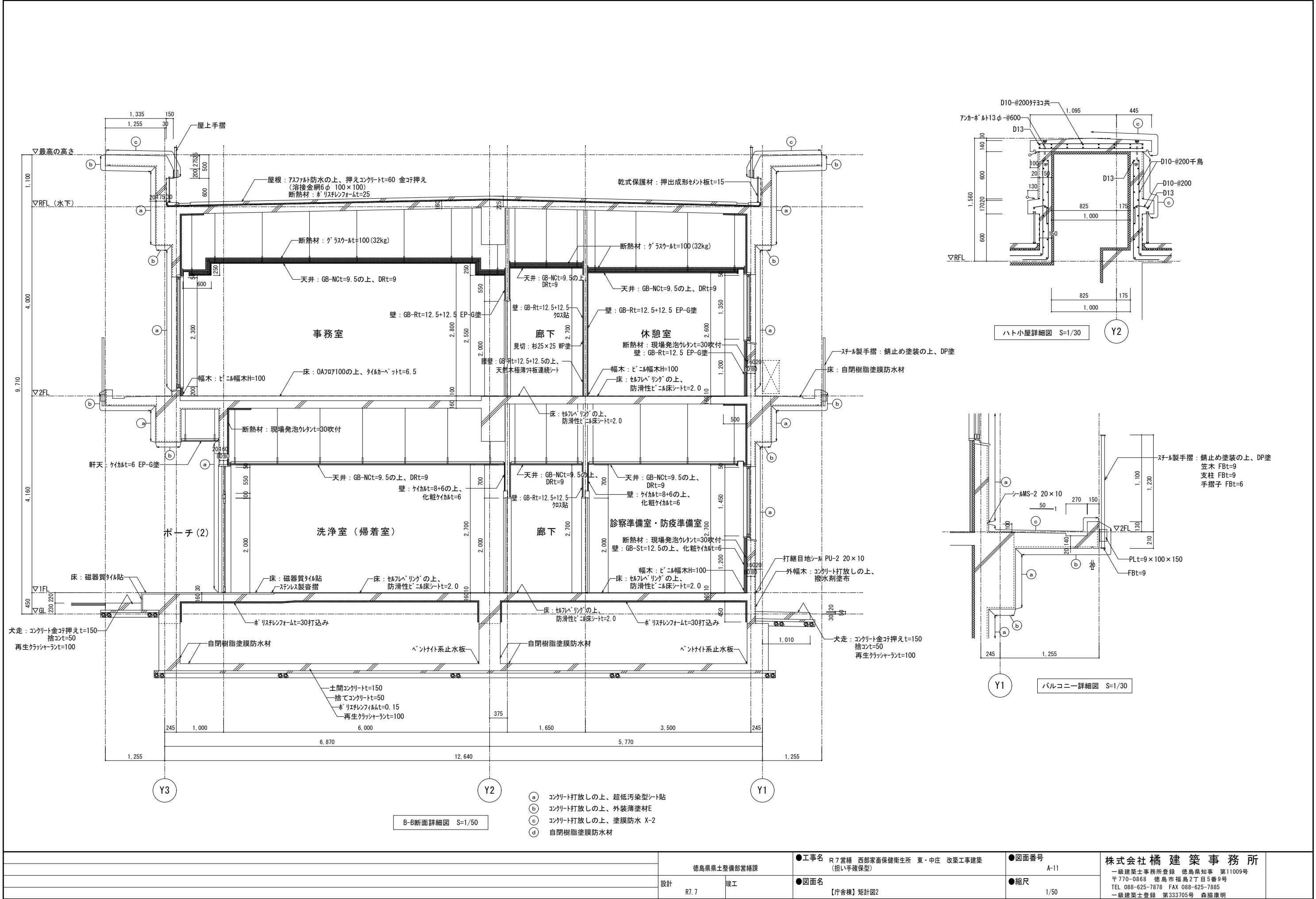


断面図 S=1/100

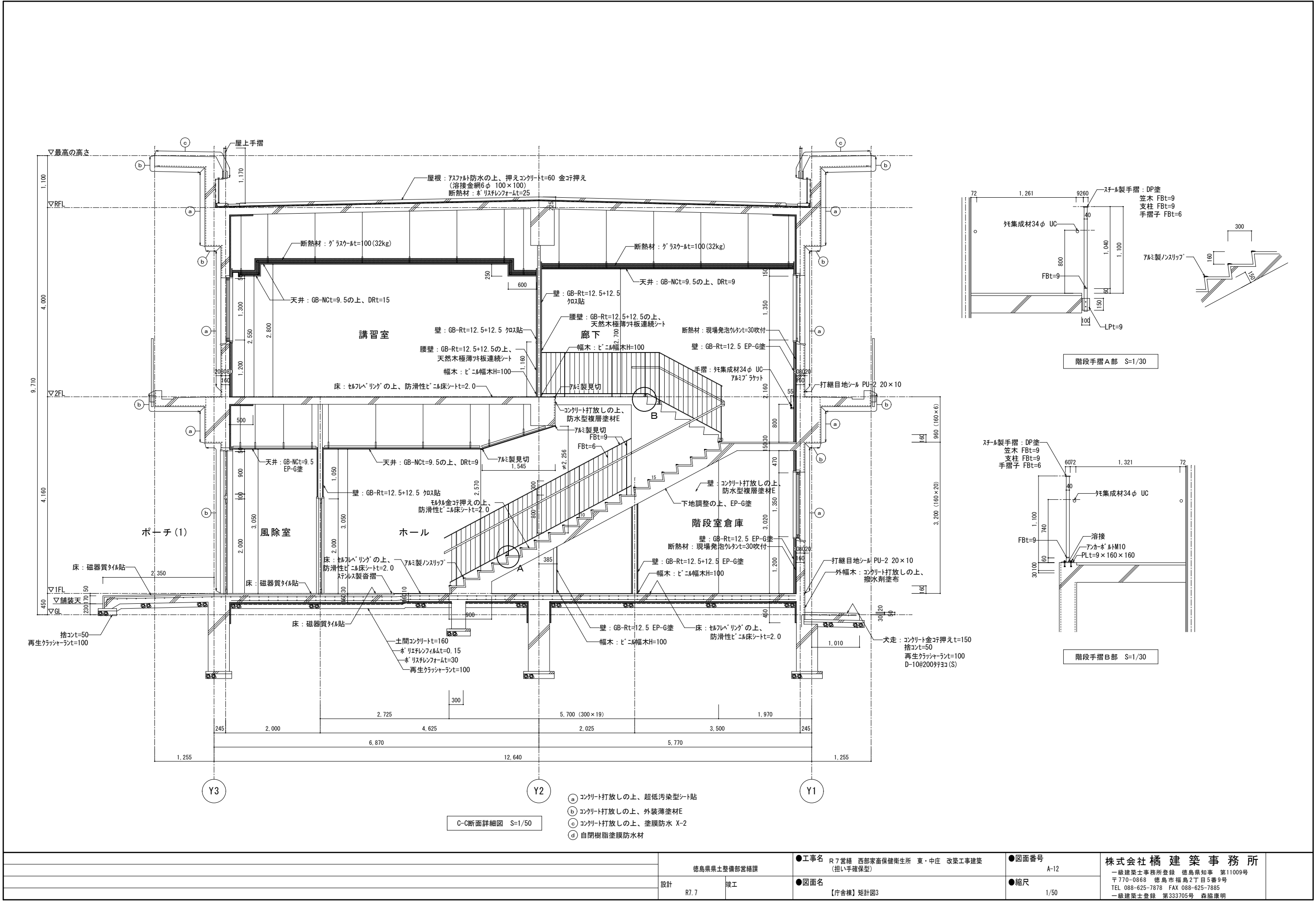
	徳島県県土整備部営繕課		●工事名 R 7 営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)	●図面番号 A-09	株式会社橘 建築事務所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明
	設計 R7.7	竣工	●図面名 【庁舎棟】断面図	●縮尺 1/100	



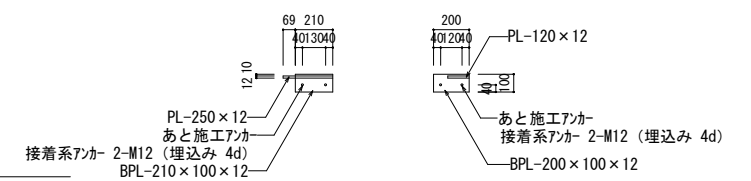
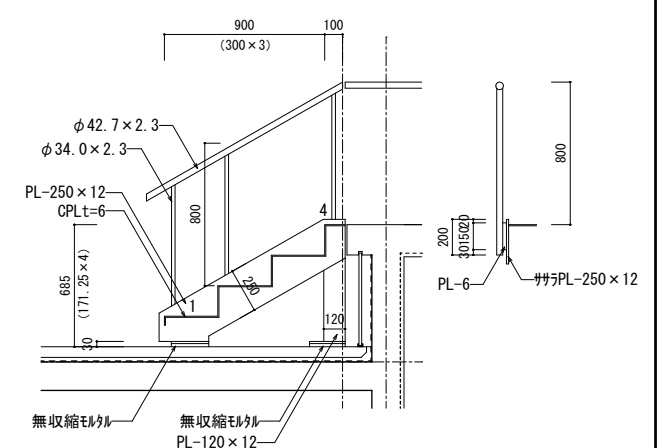
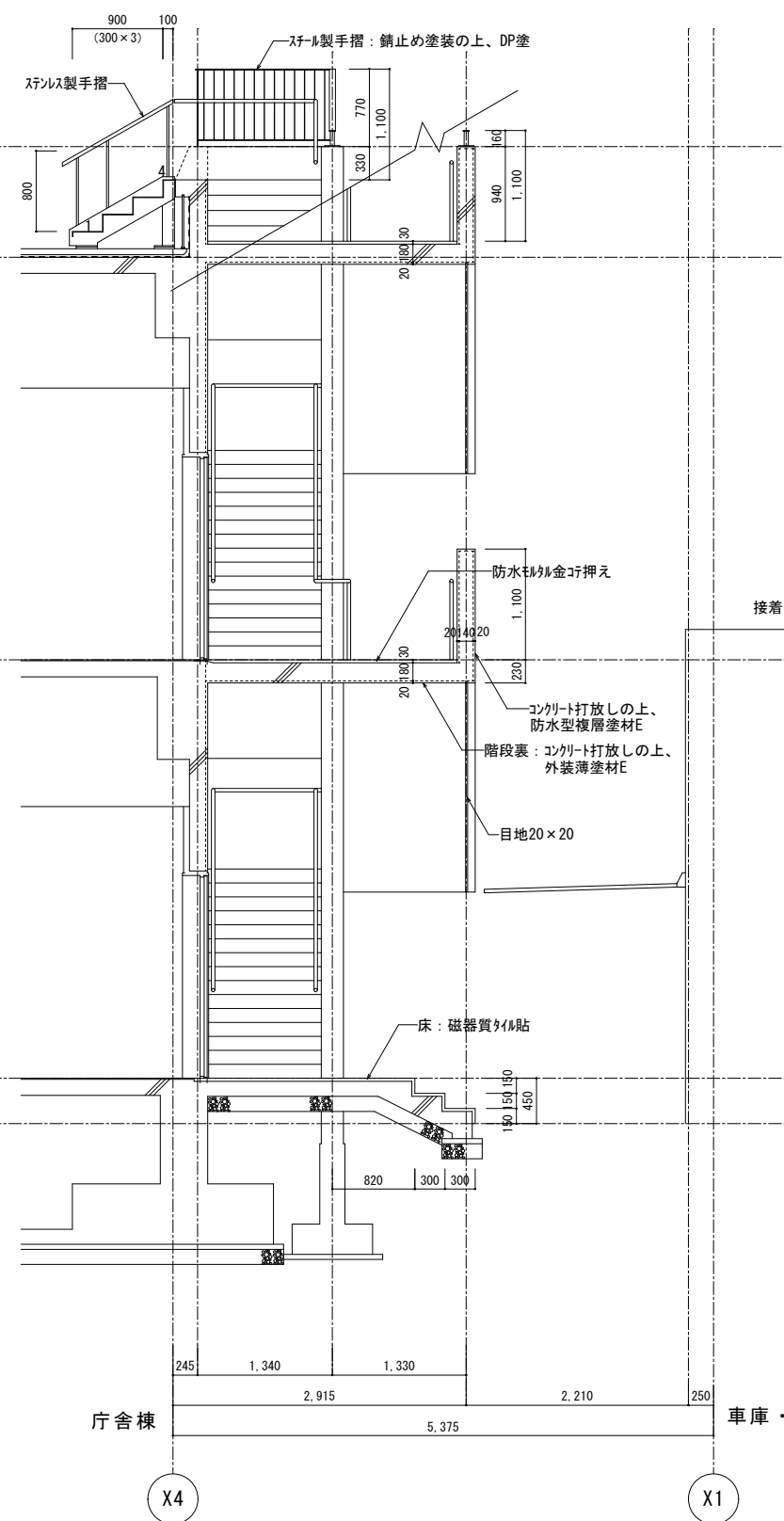
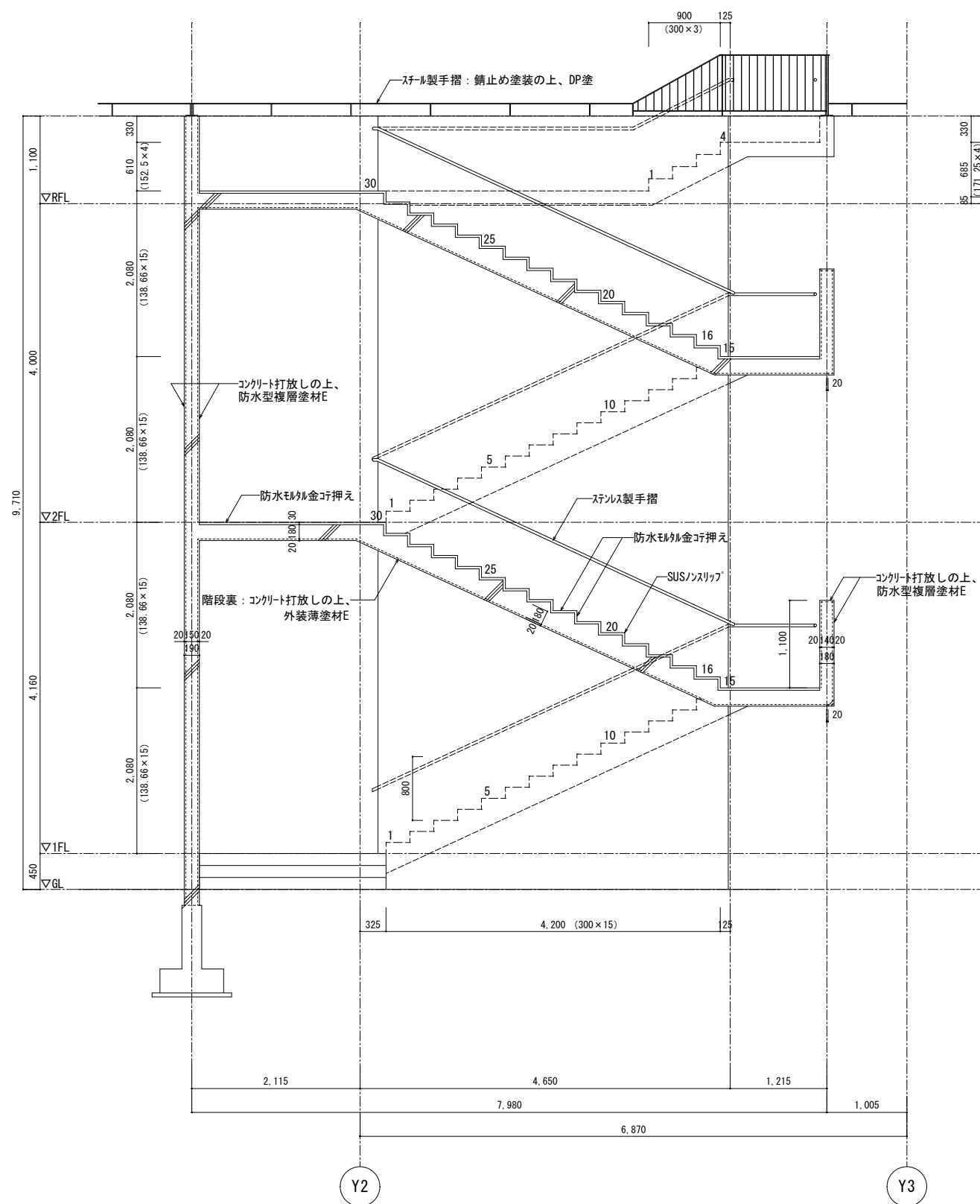
		徳島県土整備部営繕課		●工事名 R 7 営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)	●図面番号 A-10	株式会社 橋 建築 事務所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明
設計 R7.7		竣工		●図面名 【庁舎棟】矩計図1	●縮尺 1/50	



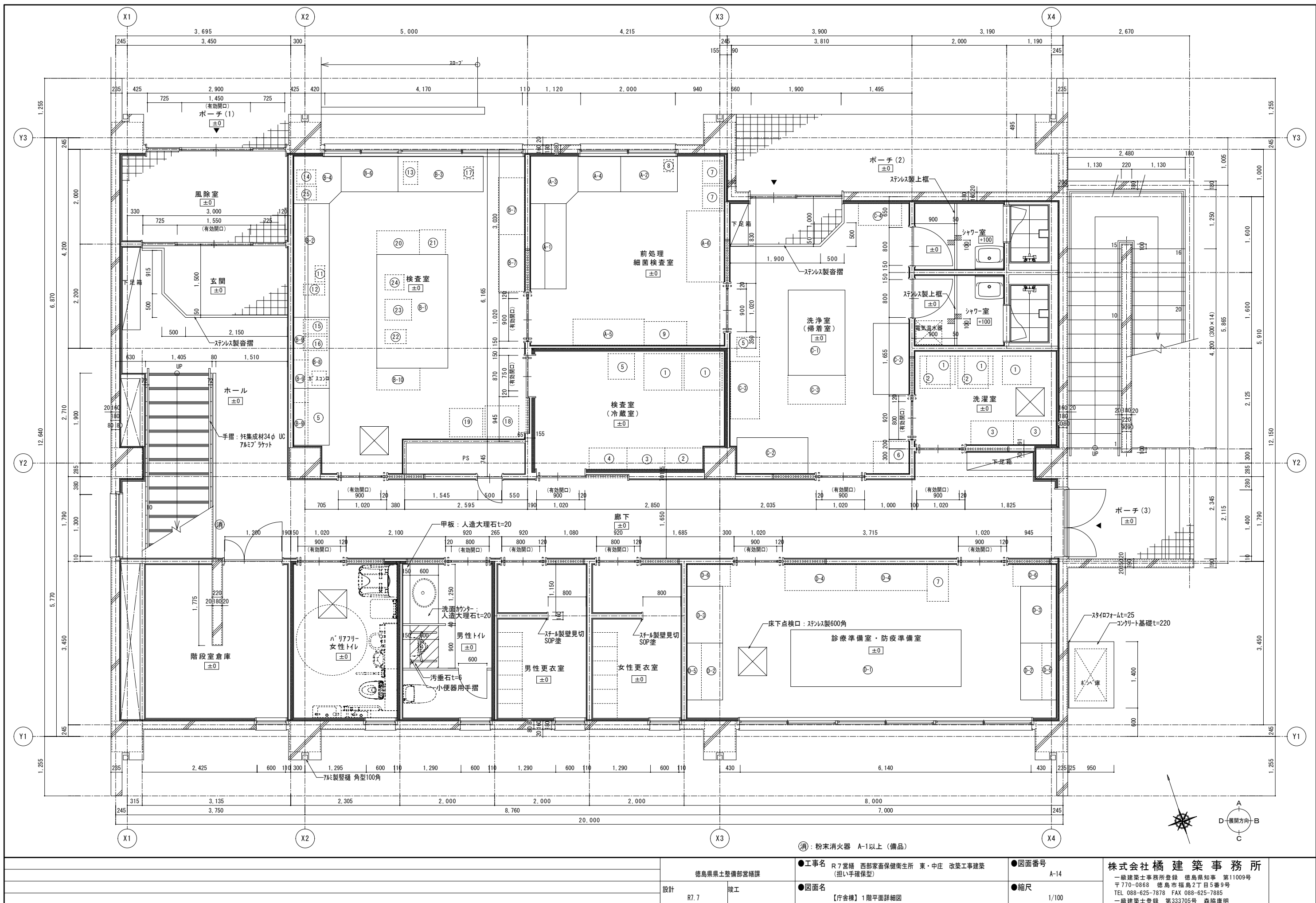
徳島県土整備部営繕課		●工事名	R7営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手施設型)	●図面番号	A-11	株式会社橋 建築事務所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明
設計	R7.7	●図面名	【庁舎棟】矩計図2	●縮尺	1/50	
竣工						

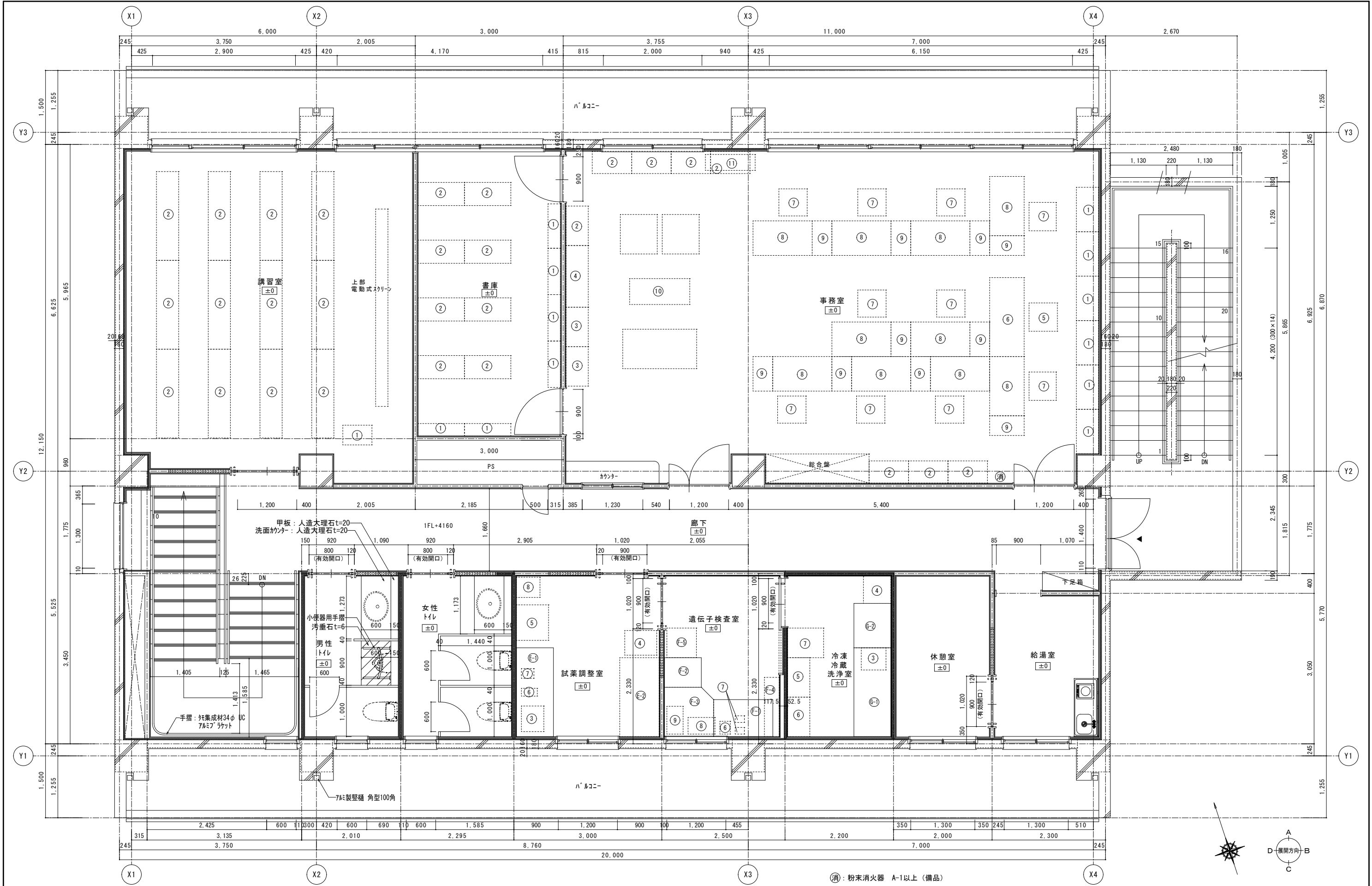


		徳島県県土整備部営繕課	●工事名	R 7 営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)	●図面番号	A-12	株式会社 橘 建築 事務所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明
			●図面名	【庁舎棟】矩計図3	●縮尺	1/50	
	設計 R7.7	竣工					



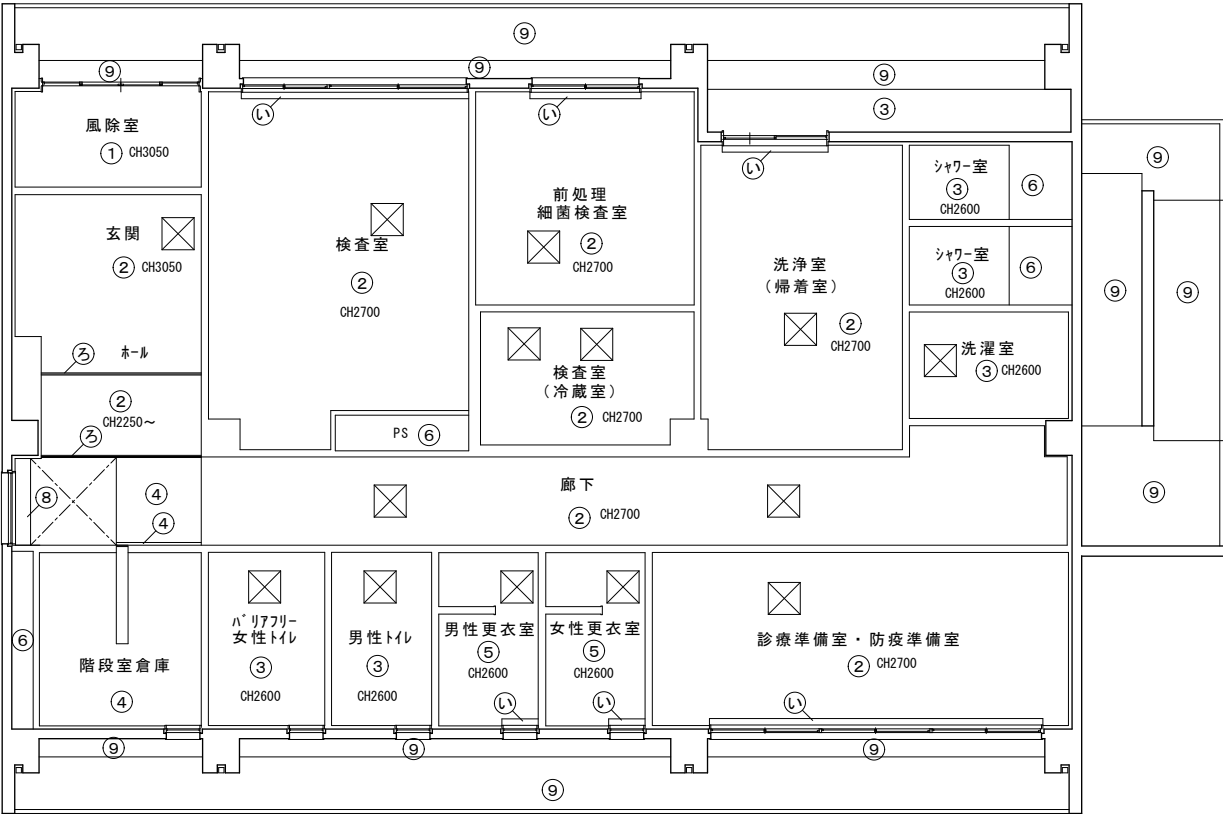
		徳島県土整備部営繕課		●工事名 R7 営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)	●図面番号 A-13	株式会社 橘 建 築 事 務 所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明
		設計	竣工	●図面名 【庁舎棟】屋外階段詳細図	●縮尺 1/50	
		R7.7				



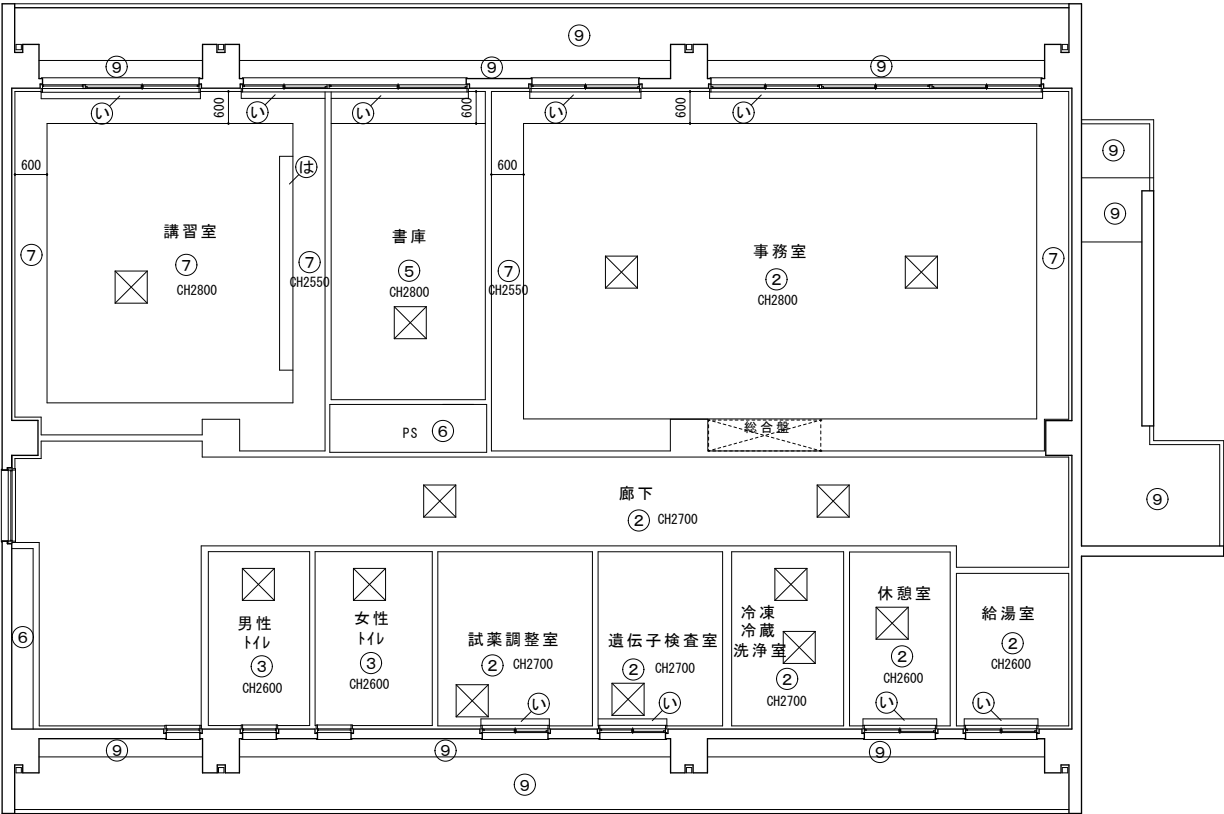


		徳島県土整備部営繕課	●工事名	●図面番号	株式会社橘 建築事務所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明	
			R7営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)	A-15		
		設計 R7.7	竣工	●図面名		●縮尺
				【庁舎棟】2階平面詳細図		1/100

記号	凡例
①	GB-NCt=9.5 EP-G塗
②	GB-NCt=9.5の上、DRT=9
③	ケイカルt=6 EP-G塗
④	下地調整の上、EP-G塗
⑤	GB-NC(T)t=9.5
⑥	コンクリート現し
⑦	GB-NCt=9.5の上、DRT=15
⑧	GB-NCt=9.5の上、加珪貼
⑨	コンクリート打放しの上、外装薄塗材E
㊦	7ㄥ製ﾌﾞﾗｲﾄﾞﾞﾞｯｸﾞ 7ㄥ製ﾌﾞﾗｲﾄﾞﾞﾞ 共
㊧	7ㄥ製天井見切
㊨	電動式スリッ
☒	天井点検口：7ㄥ製600角



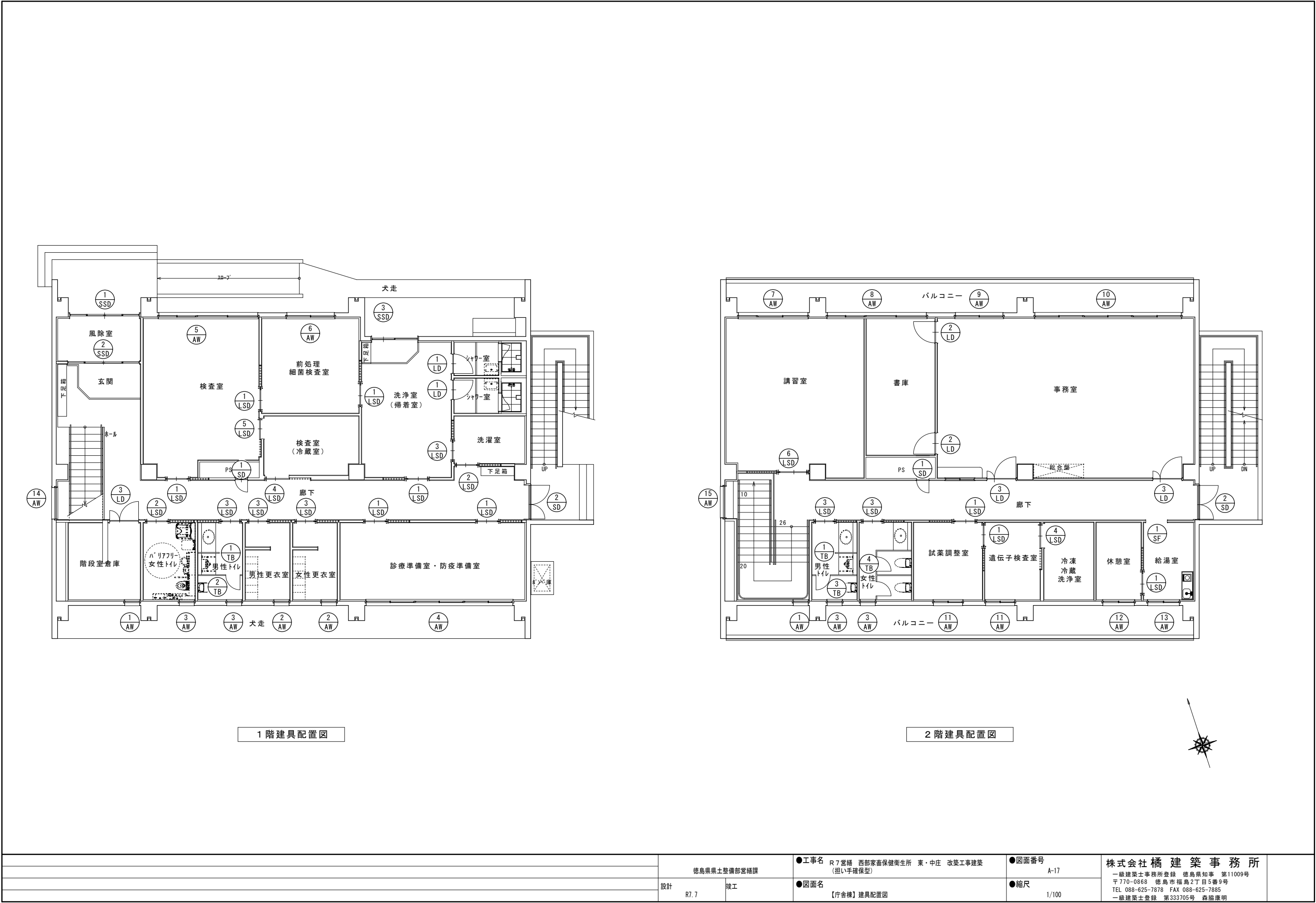
1 階天井伏図

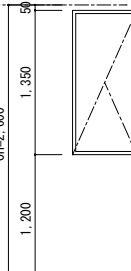
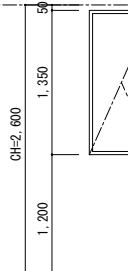
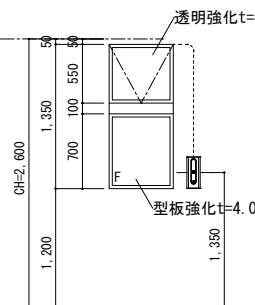
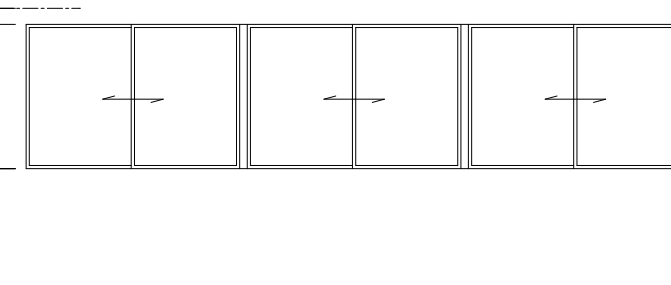
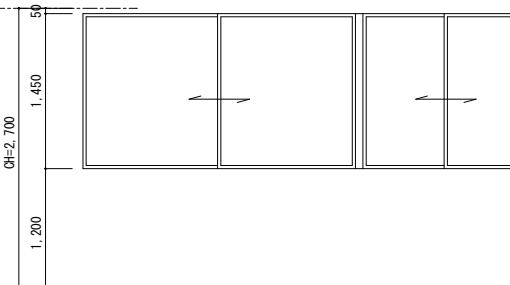
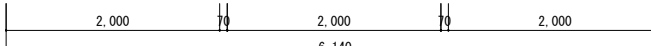
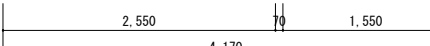
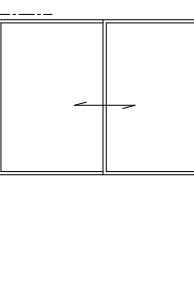
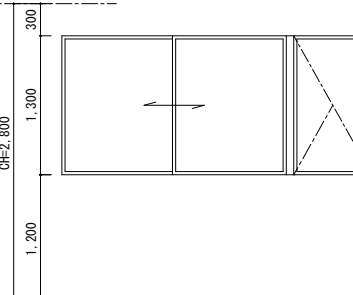
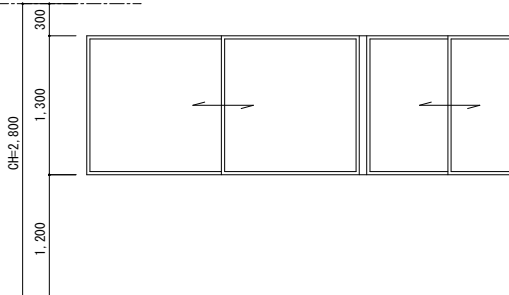
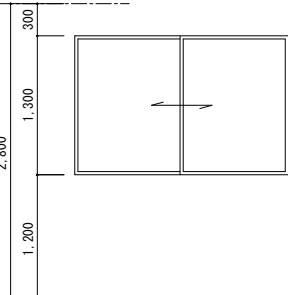
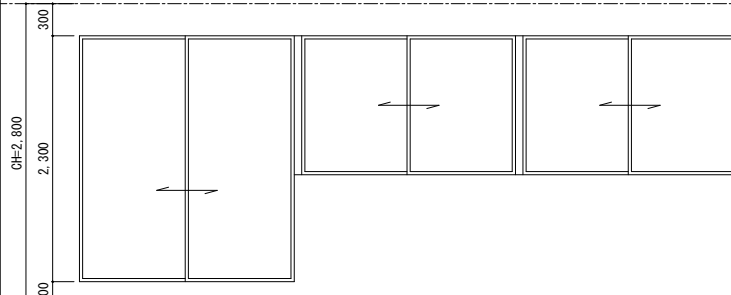
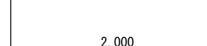
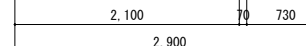
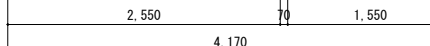
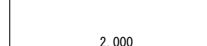
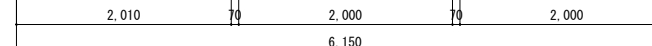


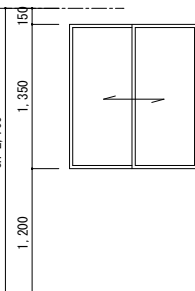
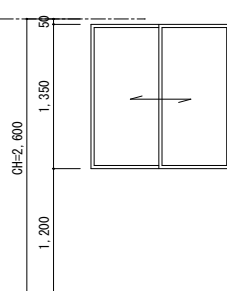
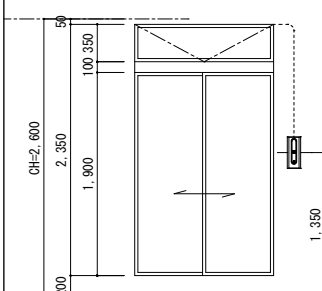
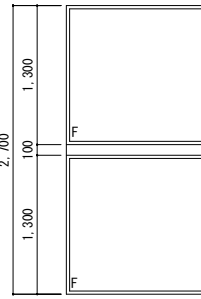
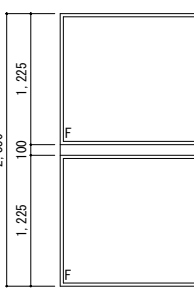
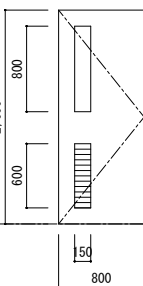
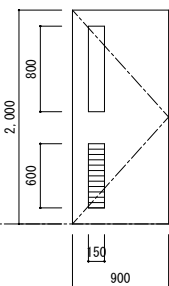
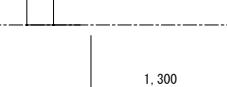
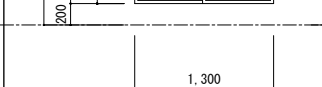
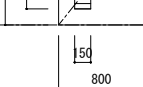
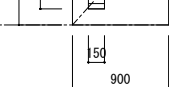
2 階天井伏図

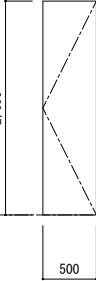
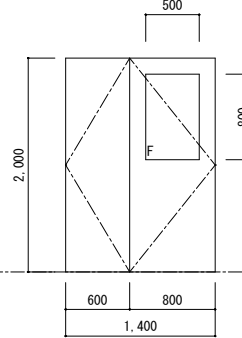
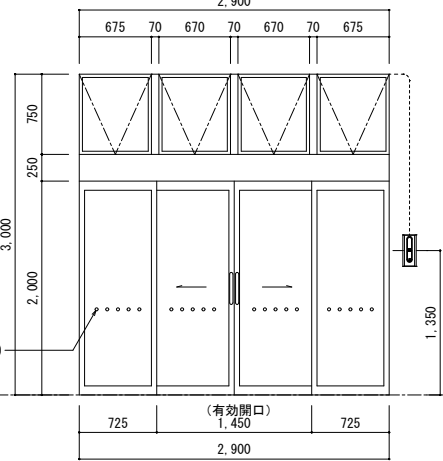
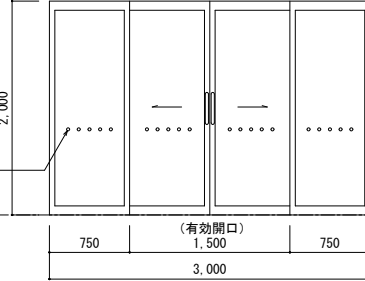
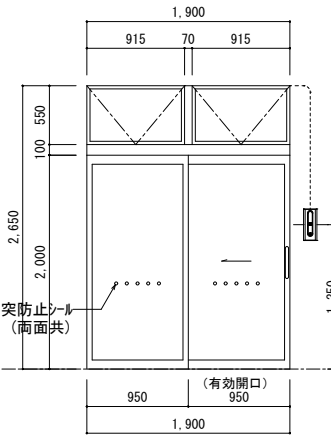
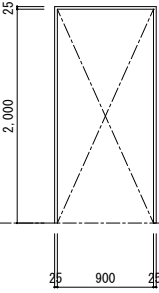
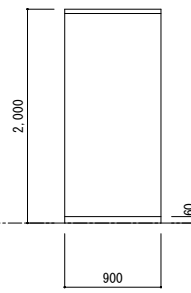
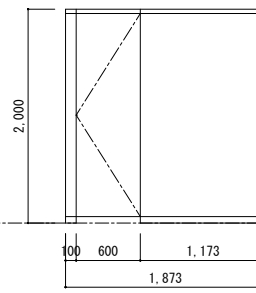
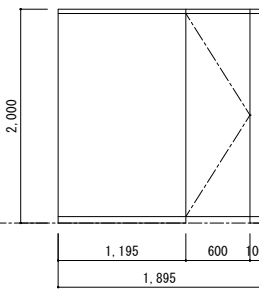
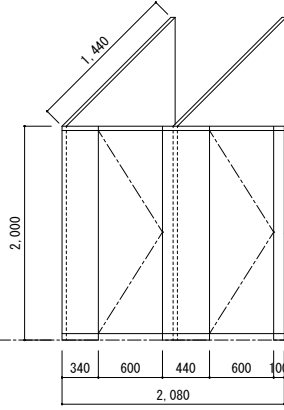


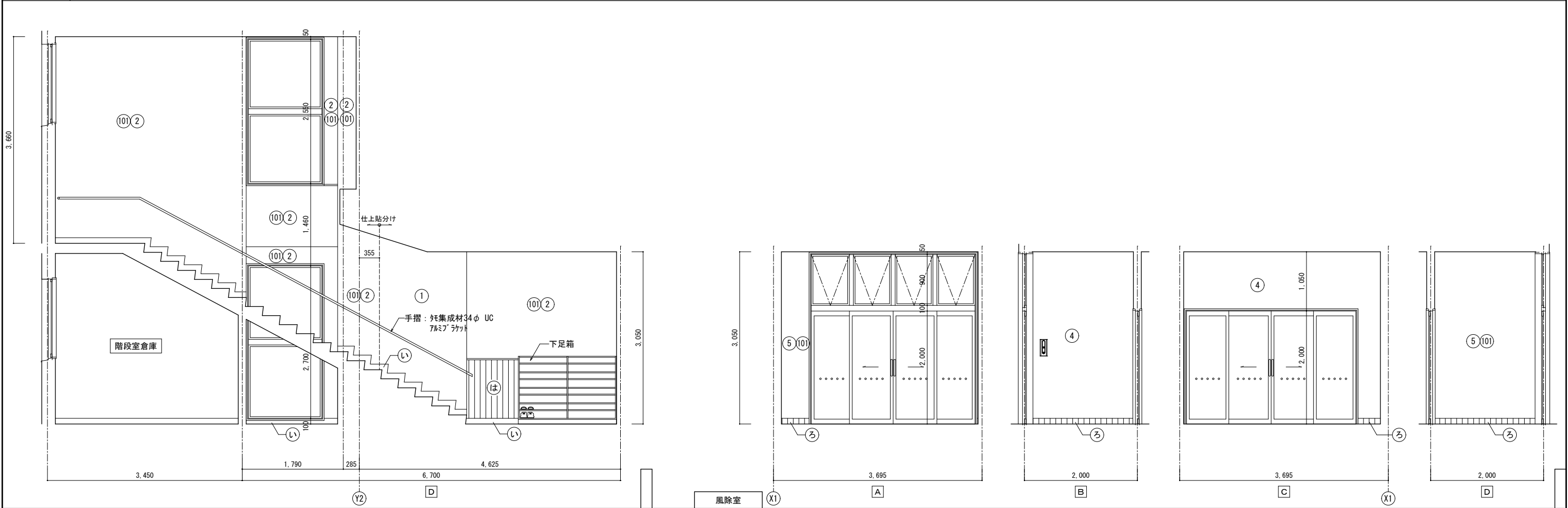
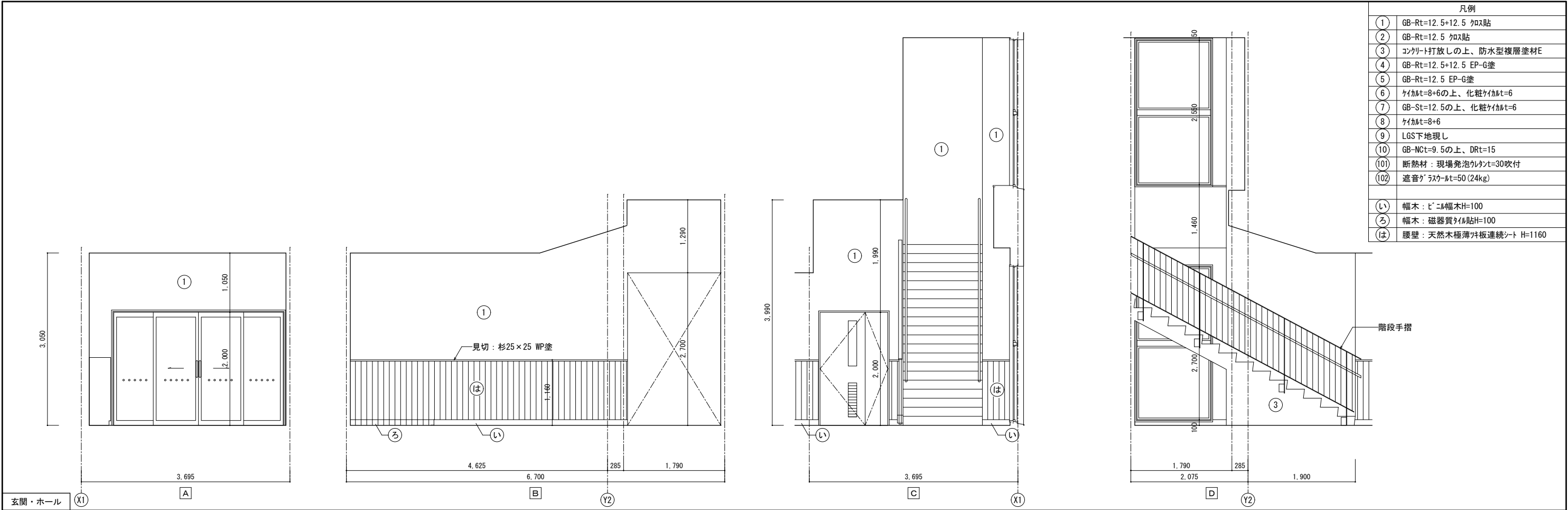
	徳島県土整備部営繕課	●工事名 R7営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)	●図面番号 A-16	株式会社橘 建築事務所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明
	設計 R7.7	竣工	●縮尺 1/100	

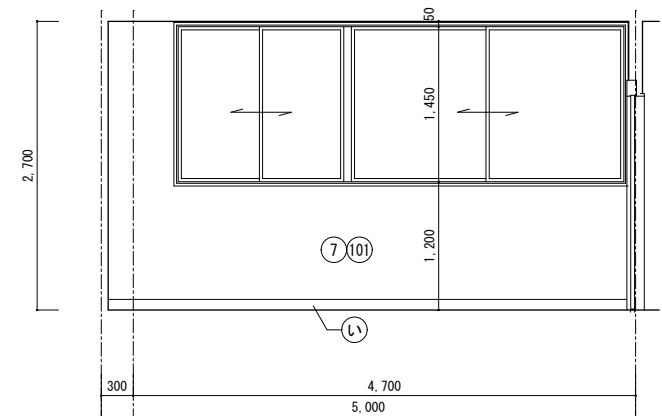


建具番号		形式		① AW7㎜製縦滑り出し窓		② AW7㎜製縦滑り出し窓		③ AW7㎜製排煙窓付きFIX窓		④ AW7㎜製3連引き違い窓		⑤ AW7㎜製2連引き違い窓											
取付場所		数量		階段室倉庫、階段室		2		男性更衣室、女性更衣室		2		バリアフリー・女性トイレ、男性トイレ 女性トイレ		4		診療準備室・防疫準備室		1		検査室		1	
姿 図		防火設備																					
																							
														材 種		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜	
硝子		複層ガラス 日射取得型Low-Et=5.0 + 空気層(乾燥空気) t=12 + 透明強化t=4.0		複層ガラス 日射取得型Low-Et=5.0 + 空気層(乾燥空気) t=12 + 透明強化t=4.0		複層ガラス 日射取得型Low-Et=5.0 + 空気層(乾燥空気) t=12 + 型板強化t=4.0		複層ガラス 日射取得型Low-Et=5.0 + 空気層(乾燥空気) t=12 + 透明強化t=4.0 複層ガラス 日射取得型Low-Et=5.0 + 空気層(乾燥空気) t=12 + 型板強化t=4.0		複層ガラス 日射取得型Low-Et=5.0 + 空気層(乾燥空気) t=12 + 透明強化t=4.0		複層ガラス 日射取得型Low-Et=5.0 + 空気層(乾燥空気) t=12 + 透明強化t=4.0											
見込	仕上	70	—	70	—	70	—	70	—	70	—	70	—										
備考		7㎜額縁、水切 カムラッチハンドル、網戸 付属金物一式		7㎜額縁、水切 カムラッチハンドル、網戸 付属金物一式		7㎜額縁、オペレーター、ワンタッチ開放、水切 付属金物一式		7㎜額縁、クレセント錠、水切、網戸 付属金物一式		7㎜額縁、クレセント錠、水切、網戸 付属金物一式													
建具番号		形式		⑥ AW7㎜製引き違い窓		⑦ AW7㎜製縦滑り出し窓、引き違い窓		⑧ AW7㎜製2連引き違い窓		⑨ AW7㎜製引き違い窓		⑩ AW7㎜製3連引き違い窓											
取付場所		数量		前処理細菌検査室		1		講習室		1		書庫、講習室		1		事務室		1		事務室		1	
姿 図		防火設備																					
																							
														材 種		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜	
硝子		複層ガラス 日射取得型Low-Et=4.0 + 空気層(乾燥空気) t=12 + 透明強化t=4.0		複層ガラス 日射取得型Low-Et=4.0 + 空気層(乾燥空気) t=12 + 透明強化t=4.0		複層ガラス 日射取得型Low-Et=4.0 + 空気層(乾燥空気) t=12 + 透明強化t=4.0		複層ガラス 日射取得型Low-Et=4.0 + 空気層(乾燥空気) t=12 + 透明強化t=4.0		複層ガラス 日射取得型Low-Et=4.0 + 空気層(乾燥空気) t=12 + 透明強化t=4.0		複層ガラス 日射取得型Low-Et=4.0 + 空気層(乾燥空気) t=12 + 透明強化t=4.0											
見込	仕上	70	—	70	—	70	—	70	—	70	—	70	—										
備考		7㎜額縁、クレセント錠、水切、網戸 付属金物一式		7㎜額縁、クレセント錠、水切、網戸 カムラッチハンドル 付属金物一式		7㎜額縁、クレセント錠、水切、網戸 付属金物一式		7㎜額縁、クレセント錠、水切、網戸 付属金物一式		7㎜額縁、クレセント錠、水切、網戸 付属金物一式		7㎜額縁、クレセント錠、、水切、網戸 付属金物一式											
										徳島県土整備部営繕課		●工事名 R7営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)		●図面番号 A-18		株式会社橘 建築事務所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明							
										設計 R7.7		竣工		●図面名				●縮尺 1/100					
												【庁舎棟】建具表1											

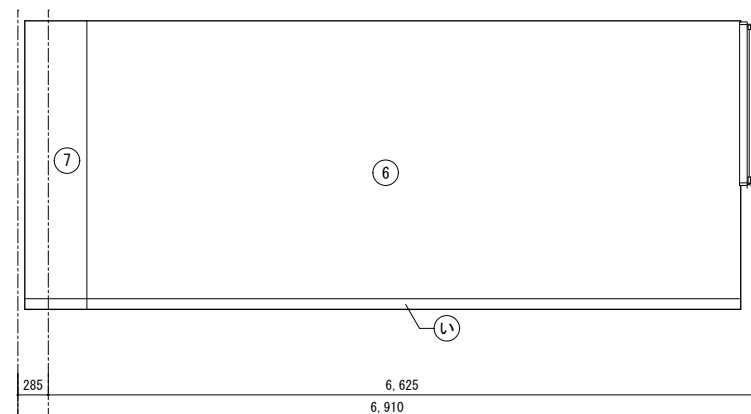
建具番号	形式	⑪ AW 7㎜製引き違い窓		⑫ AW 7㎜製引き違い窓		⑬ AW 7㎜製排煙窓付き引き違い窓		⑭ AW 7㎜製FIX窓		⑮ AW 7㎜製FIX窓		① LD 片開き戸		② LD 片開き戸																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
取付場所	数量	試薬調整室、遺伝子検査室		2	休憩室		1	給湯室		1	ホール		1	2階廊下		1	シャワー室		2	書庫		2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
窓図	防火設備						防火設備						防火設備						防火設備						防火設備						防火設備						防火設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	▽FL						▽FL						▽FL						▽FL						▽FL						▽FL						▽FL																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
材種	7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜		7㎜	

建具番号	形式	1 SD 片開き戸		2 SD 両開き戸		1 SSD ステン製排煙窓付き両引き分け戸（手動）		2 SSD ステン製両引き分け戸（手動）	
取付場所	数量	PS	2	廊下	2	風除室	1	ホーﾙ	1
姿図									
	▽FL		▽FL		▽FL		▽FL		
材種	スチール		スチール		ステンス		ステンス		
硝子	—		複層ガラス 日射取得型Low-E強化t=4.0 + 空気層(乾燥空気t=12) + 透明強化t=4.0		複層ガラス 日射取得型Low-Et=5.0 + 空気層(乾燥空気)t=12 + 網入透明t=6.8		複層ガラス 日射取得型Low-Et=5.0 + 空気層(乾燥空気)t=12 + 透明強化t=5.0		
見込	仕上	149	化粧銅板	300	化粧銅板t=1.6	70	—	70	—
備考	ケースハンドル、シリダ―錠、丁番 ステン製番指 付属金物一式		レバーハンドル、サムターン(屋内)、シリダ―錠(屋外) ドアローザ―、ステン製水切 付属金物一式		ステンス額縁、戸車、引きハンドル（両面） シリダ―差込錠、ステン下枠、レール オペレーター、ワンタッチ開放、自閉装置 付属金物一式		ステンス額縁、戸車、引きハンドル（両面） シリダ―差込錠、ステン下枠、レール 付属金物一式		
建具番号	形式	3 SSD ステン製排煙窓付き片引き戸（手動）		1 SF ステン三方枠		1 TB トイレ―ス		2 TB トイレ―ス	
取付場所	数量	洗浄室（帰着室）	1	給湯室	1	男性トイレ	2	1階男性トイレ	1
姿図									
	▽FL		▽FL		▽FL		▽FL		
材種	ステンス		ステンス		A―ハ―コ7		A―ハ―コ7		A―ハ―コ7
硝子	複層ガラス 日射取得型Low-Et=5.0 + 空気層(乾燥空気)t=12 + 透明強化t=5.0		—		—		—		—
見込	仕上	70	—	130	HL	40	高圧メラミン樹脂化粧板 (ハ―ティクル―ド―t=9裏打)	40	高圧メラミン樹脂化粧板 (ハ―ティクル―ド―t=9裏打)
備考	ステンス額縁、戸車、引きハンドル（両面） シリダ―差込錠、ステン下枠、レール オペレーター、ワンタッチ開放 付属金物一式		—		ステン幅木t=0.8 HL、7ミリ製笠木 付属金物一式		ステン幅木t=0.8 HL、7ミリ製笠木 スライドロック（表示錠）、グレ―ティヒンジ 戸当り防止掛け 付属金物一式		ステン幅木t=0.8 HL、7ミリ製笠木 スライドロック（表示錠）、グレ―ティヒンジ 戸当り防止掛け 付属金物一式
						徳島県土木整備部営繕課		●工事名 R 7 営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)	
						設計 R7.7	竣工	●図面番号 A-20	
						【庁舎棟】建具表3		●縮尺 1/100	
						株式会社橘 建築 事務所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明			

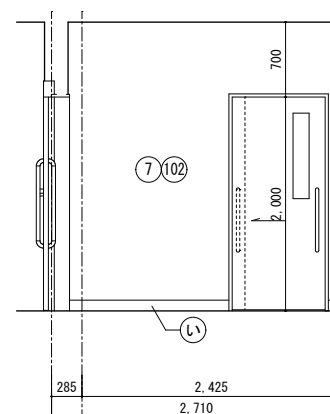




X2



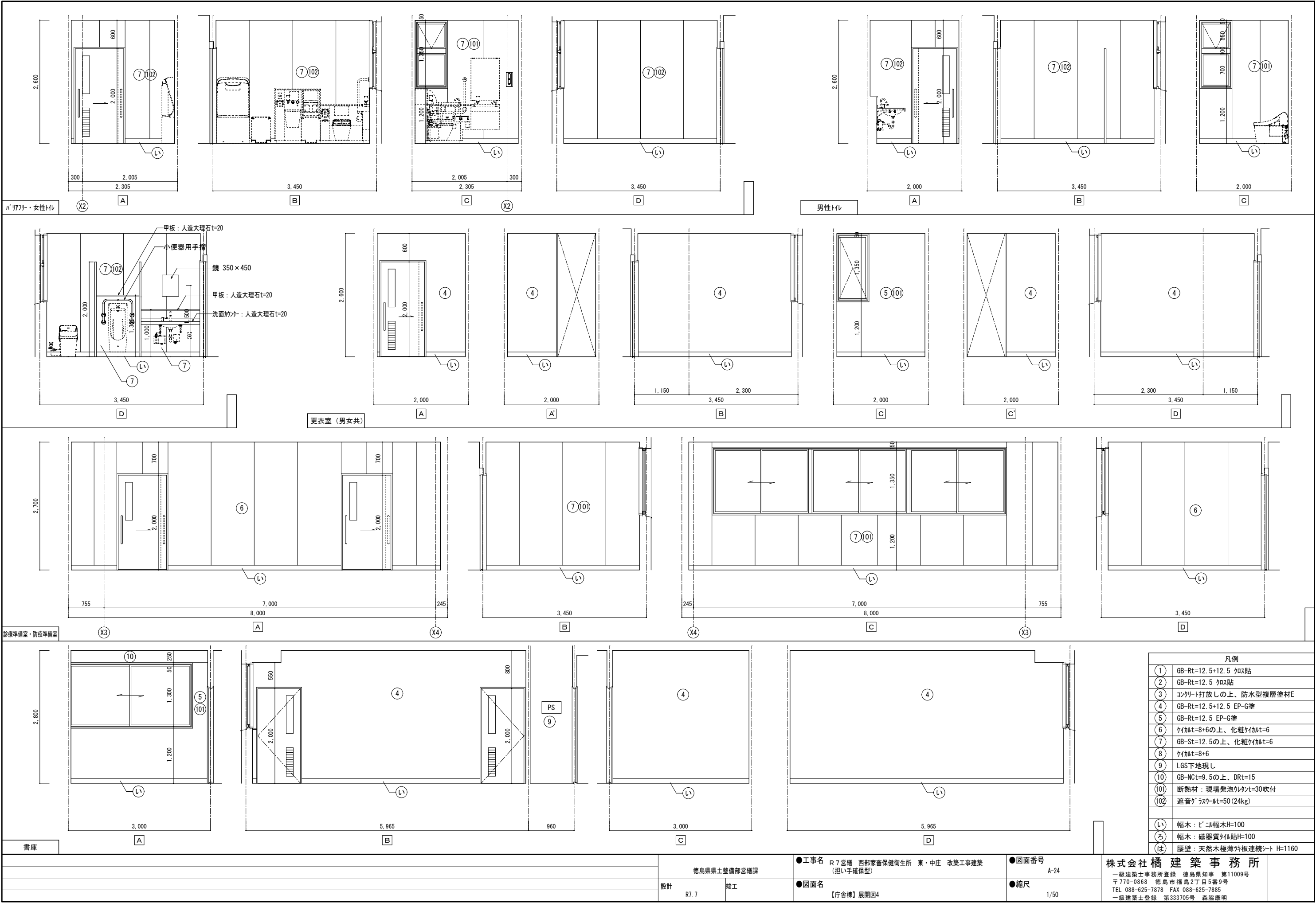
D

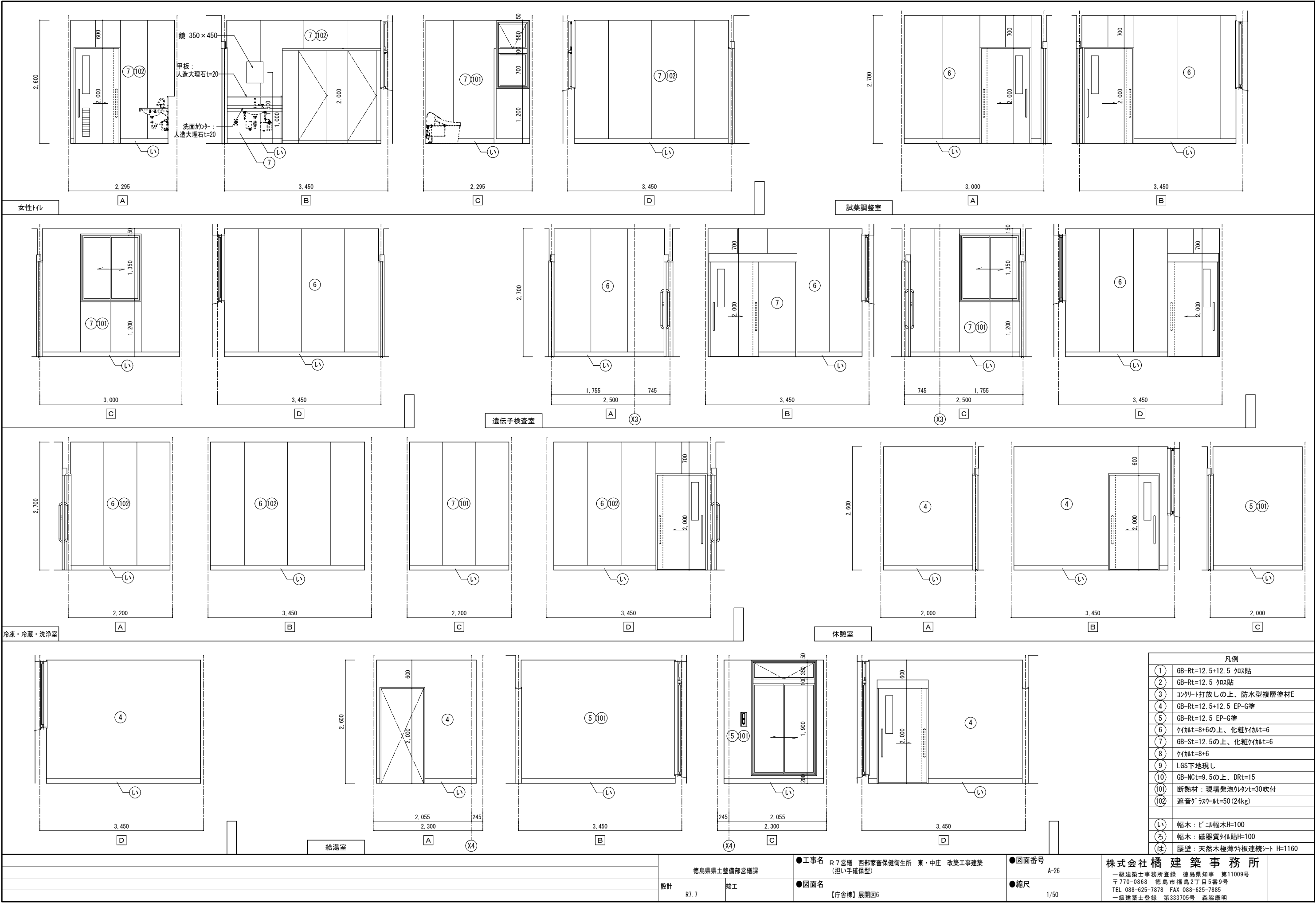


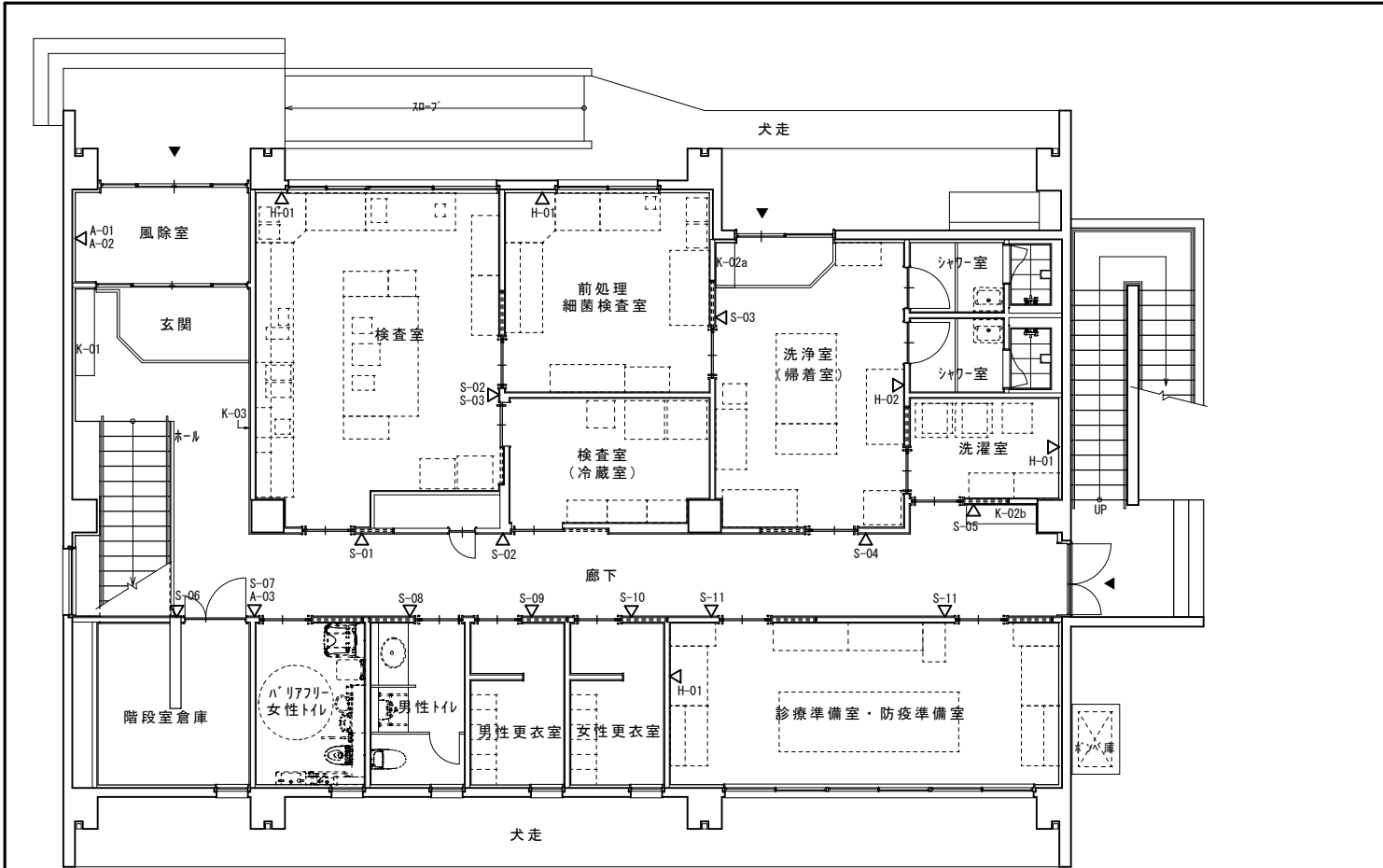
D

土橋 建築事務所
事務所登録 徳島県知事 第11009号
68 徳島市福島2丁目5番9号
25-7878 FAX 088-625-7885
登録 第333705号 森脇康明

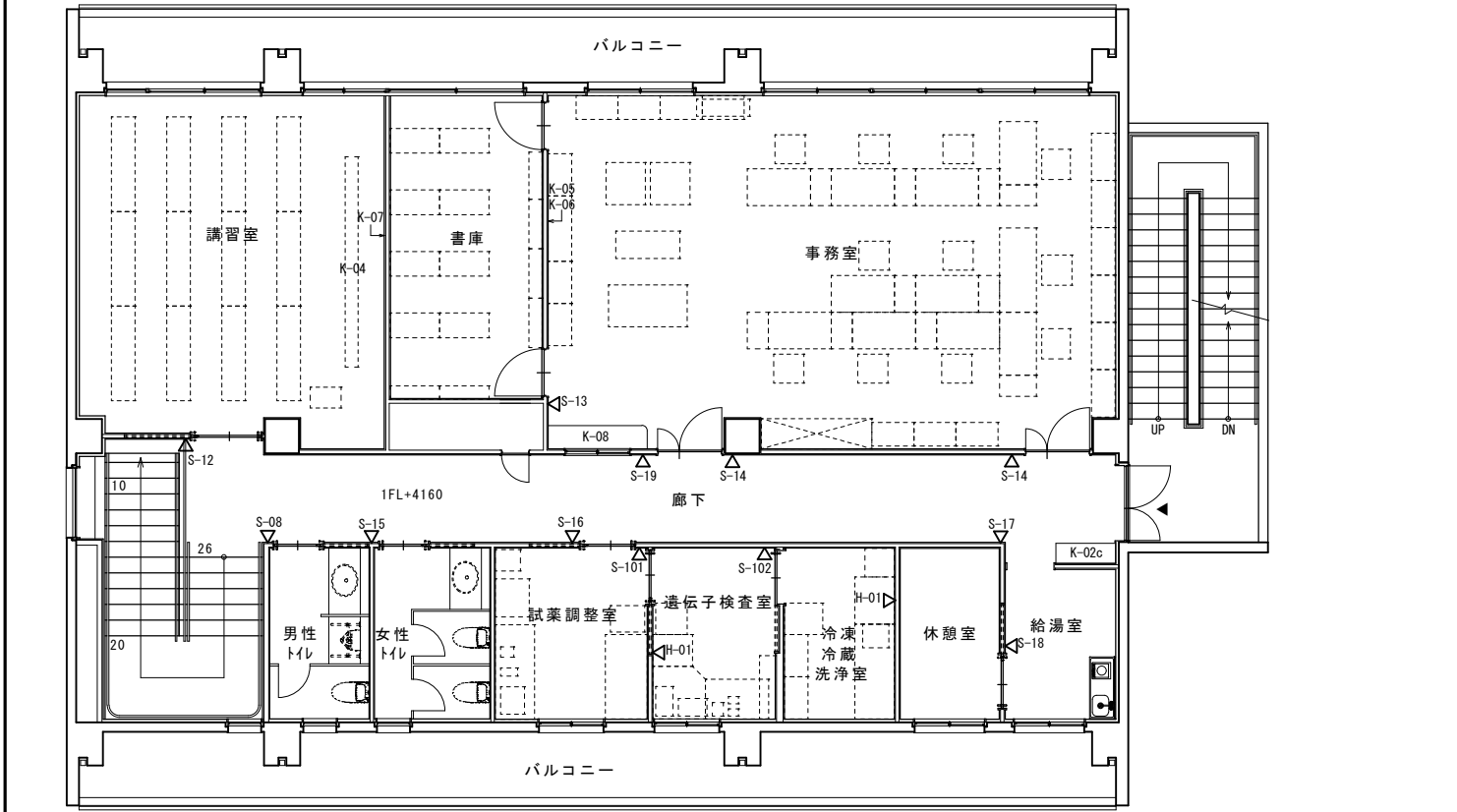
株式会社 橘 建築事務所
一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号
〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号
TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885
一級建築士登録 第333705号 森脇康明



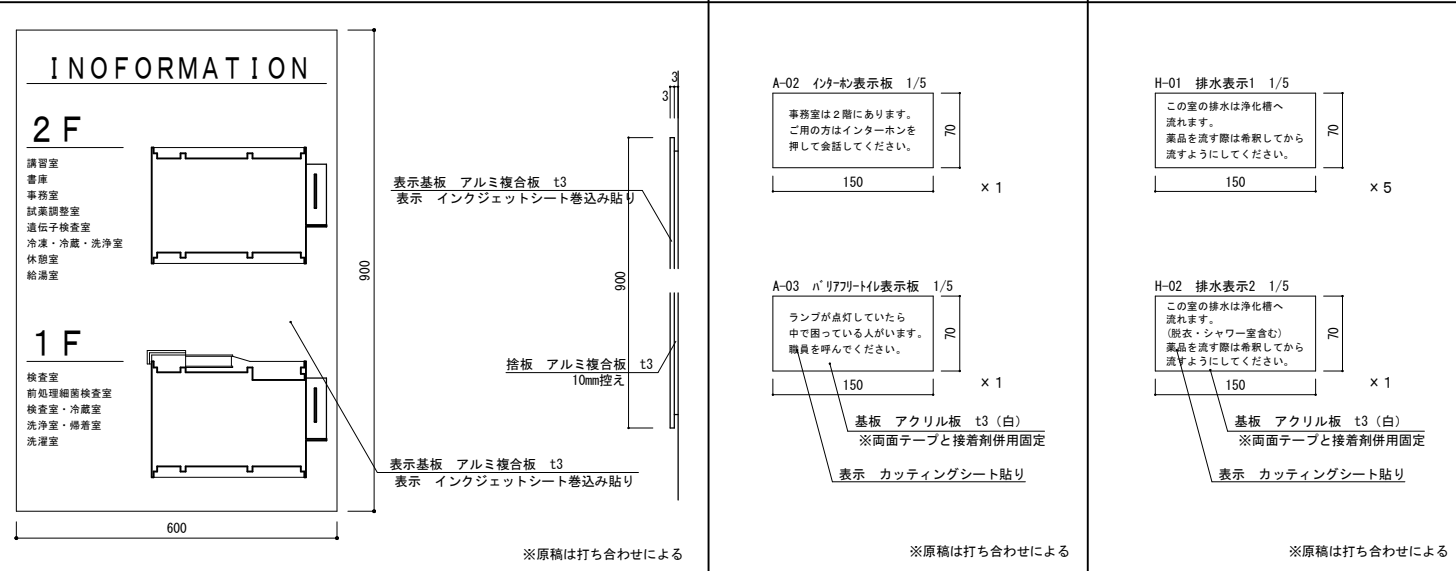
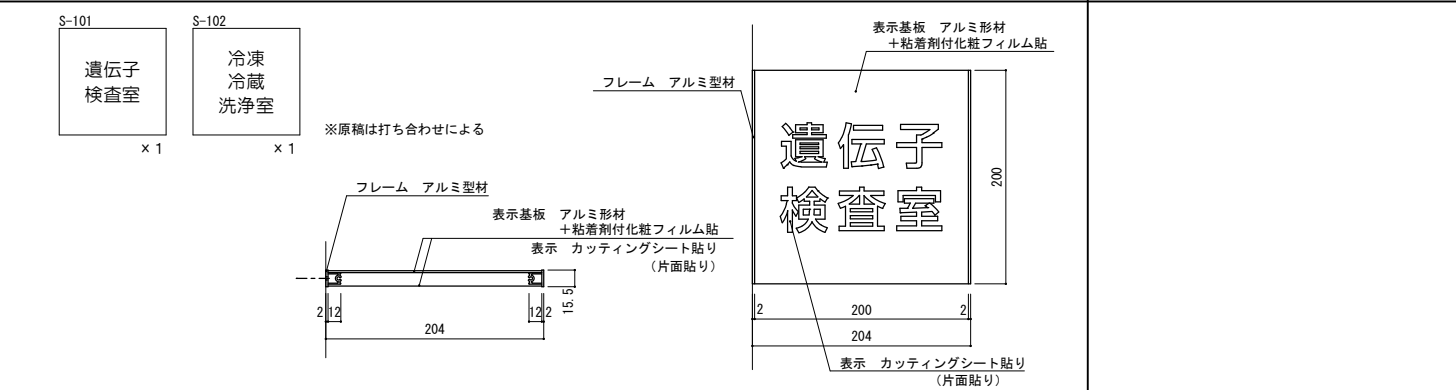
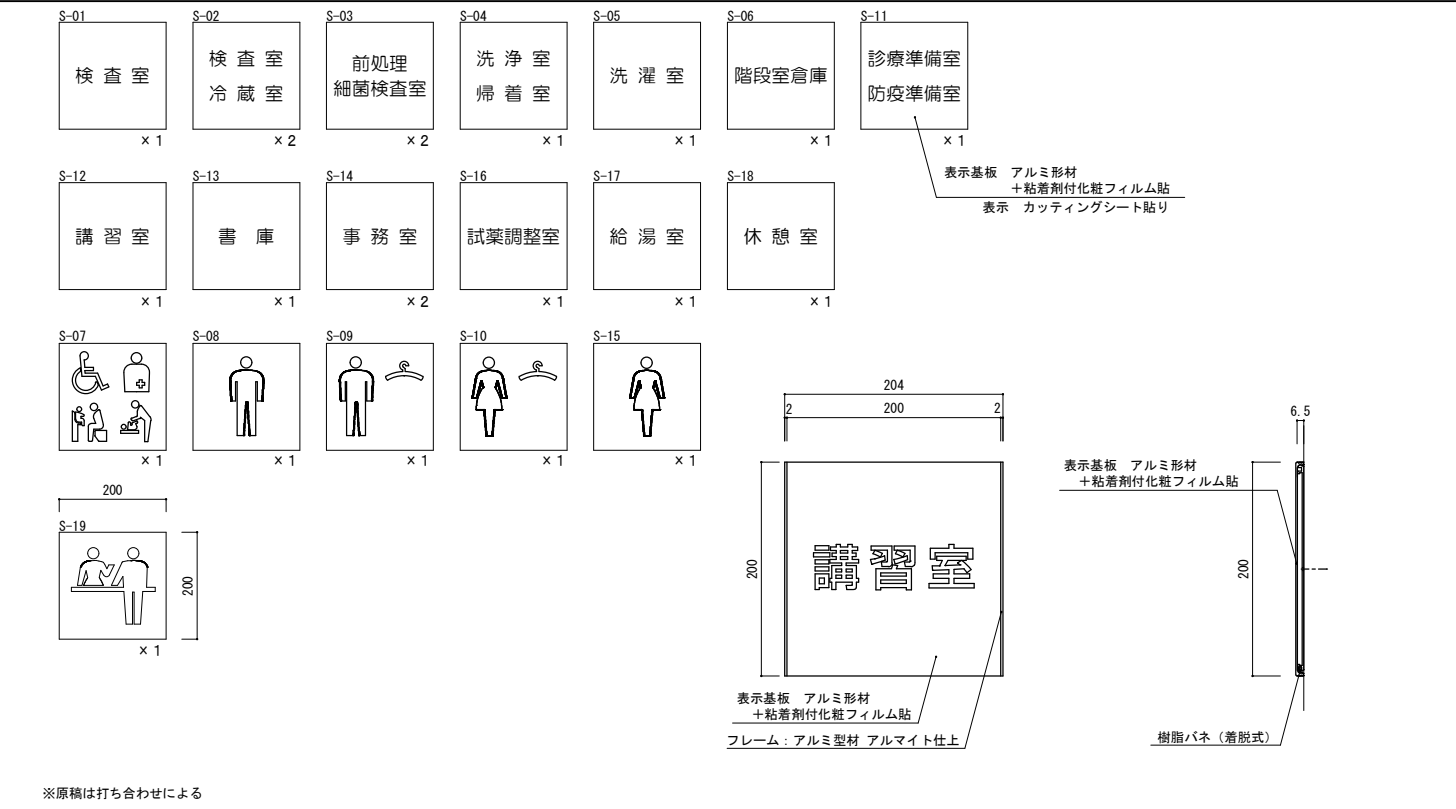


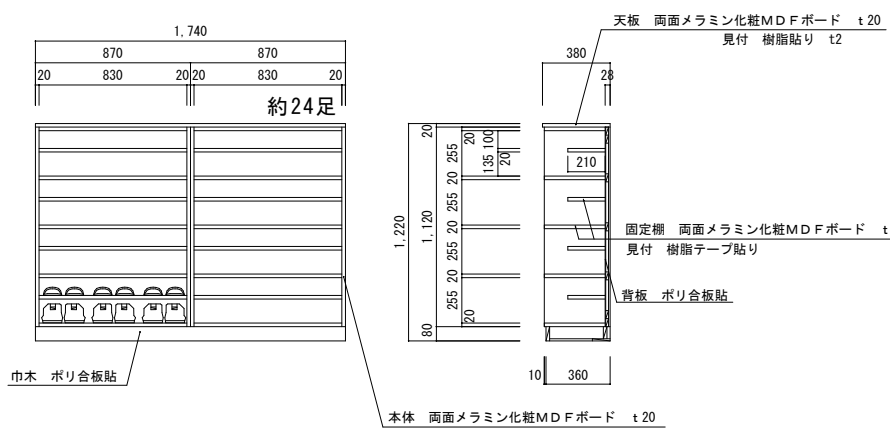
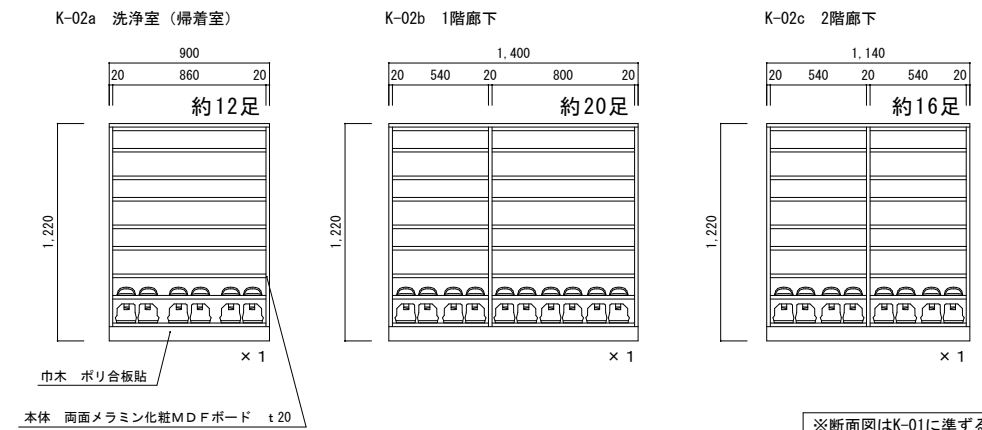
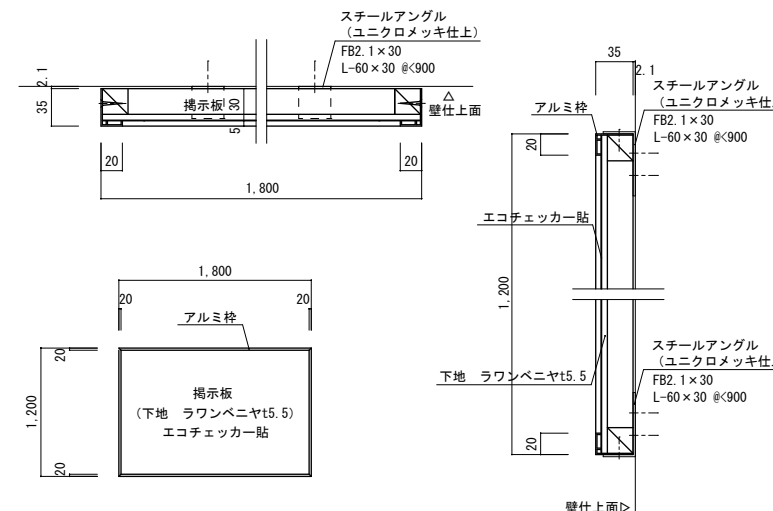
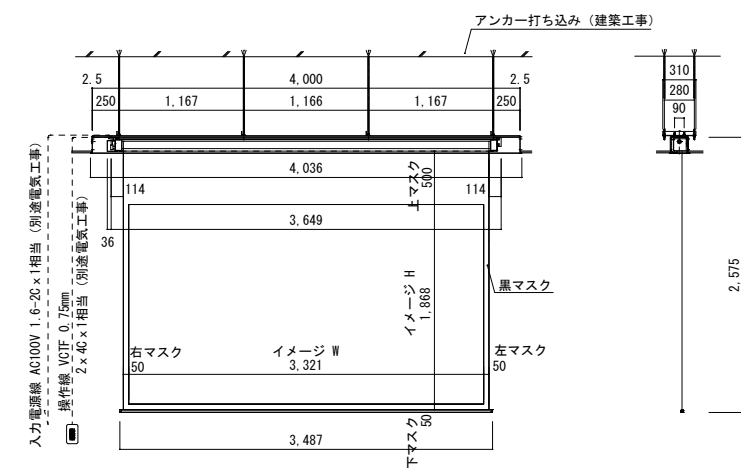
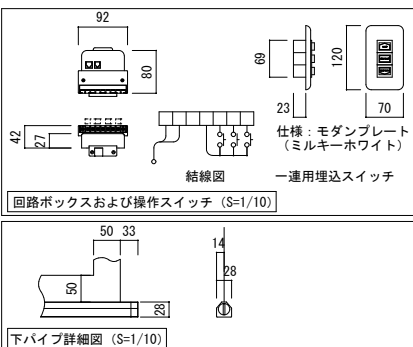
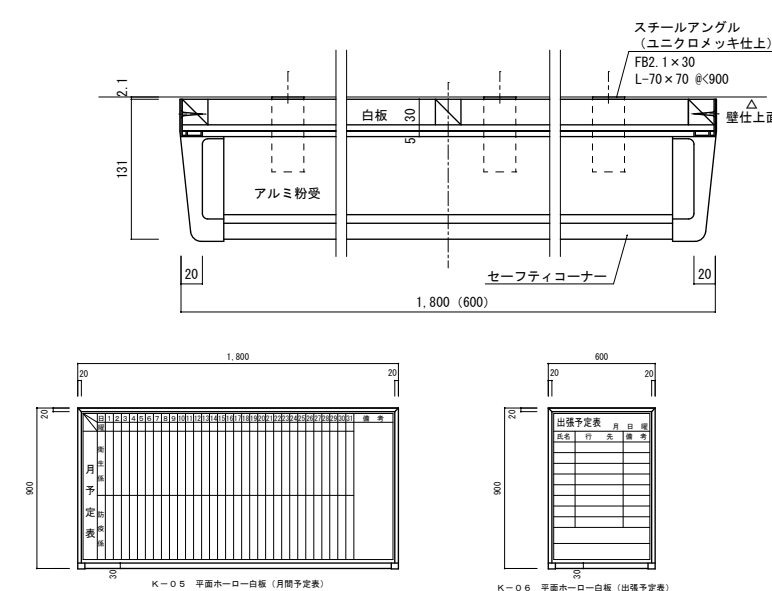
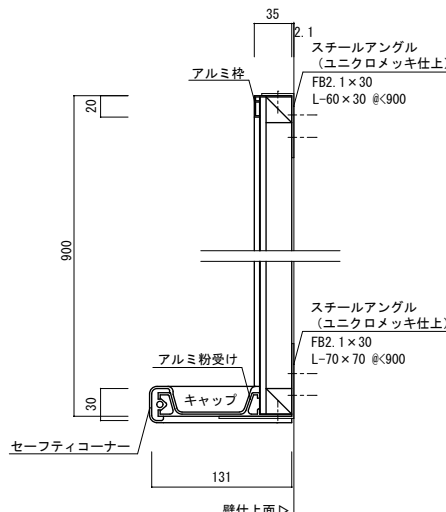
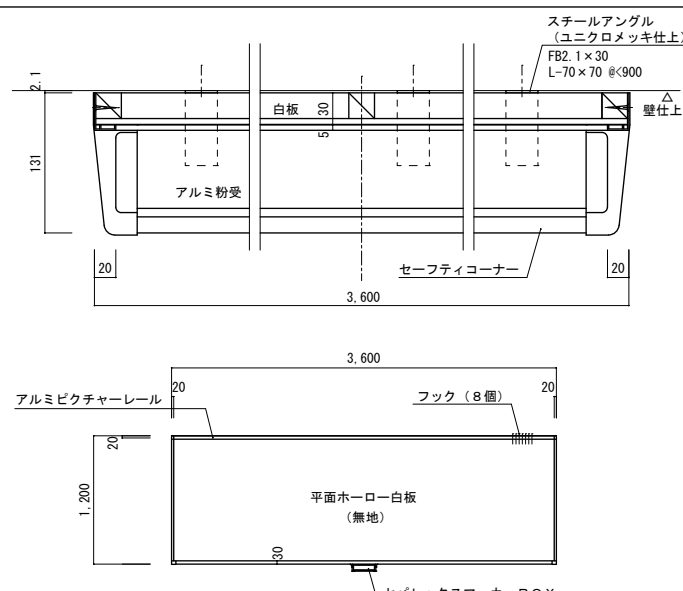
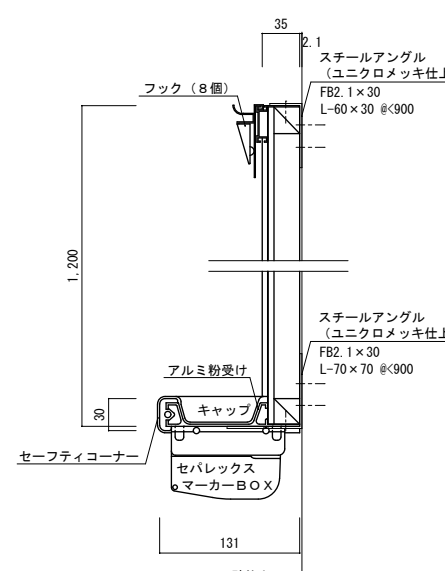
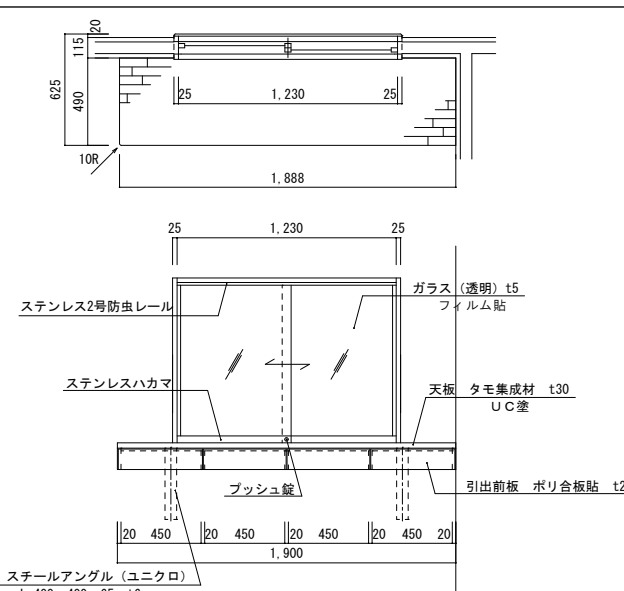
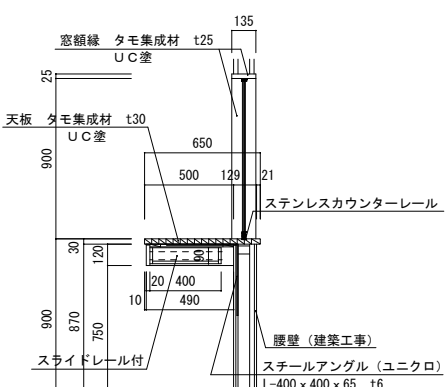


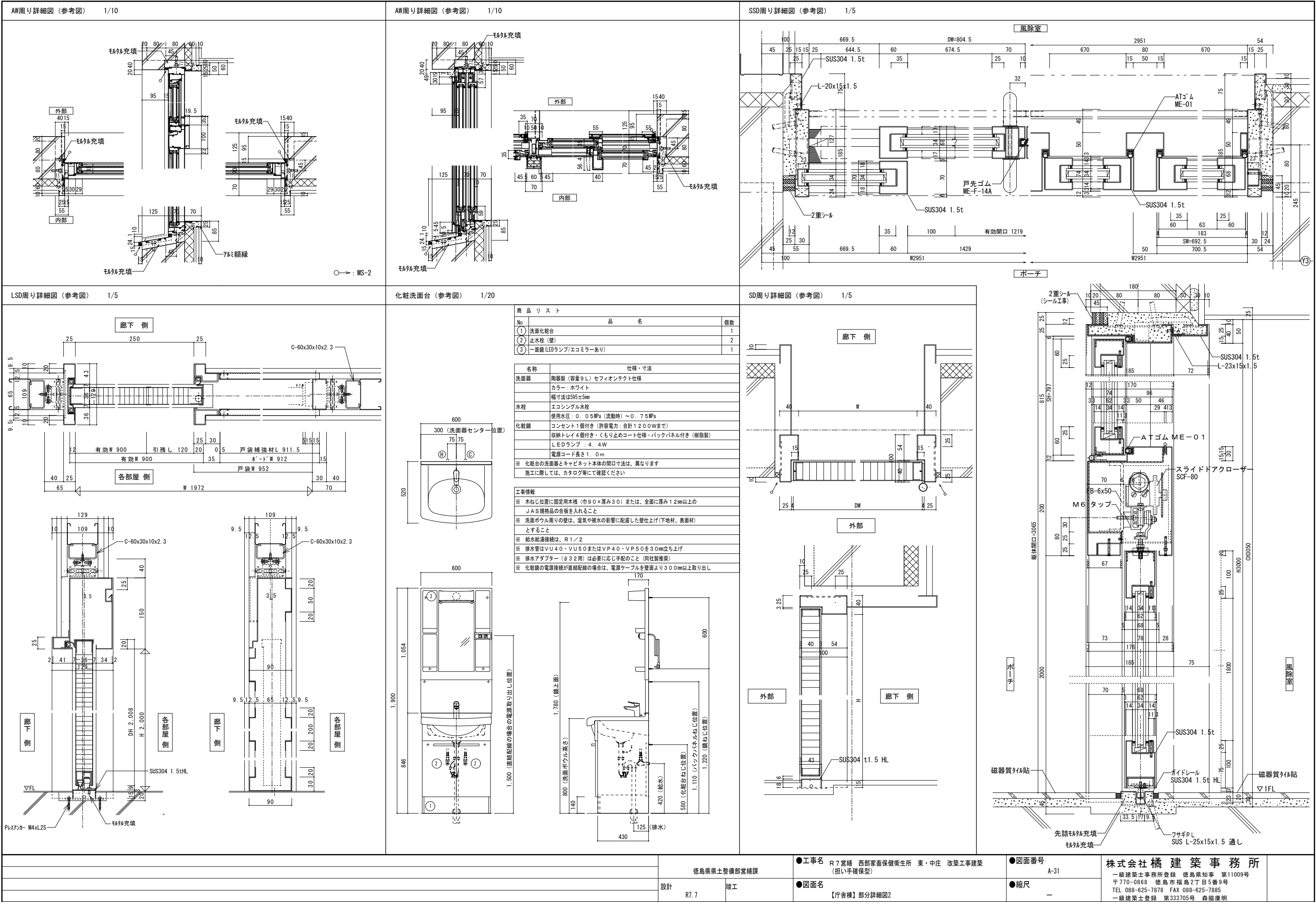
1階キープラン S=1/100

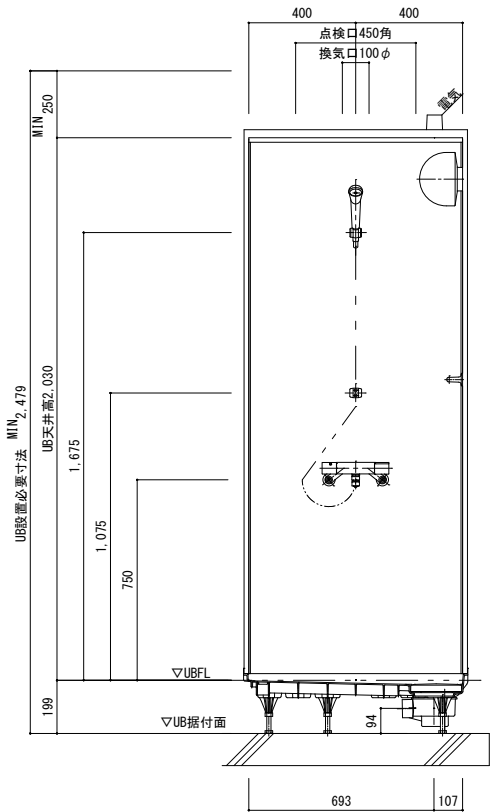


2階キープラン S=1/100

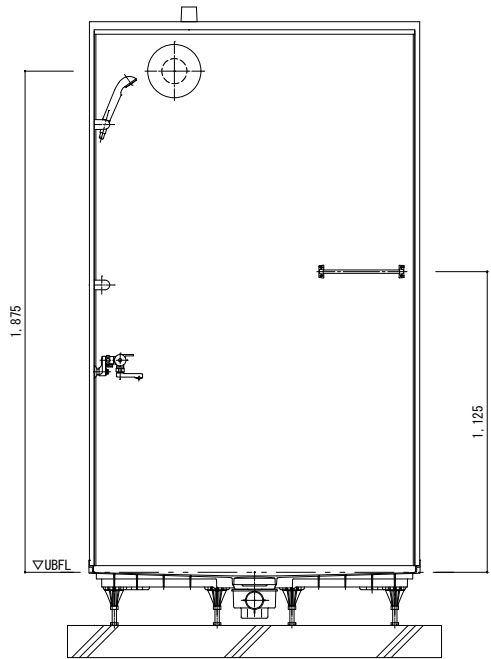


K-01 1階玄関 下足箱 1/30		数量：1ヶ処		K-02 1階洗浄室(掃着室)・廊下 2階廊下 下足箱 1/30		数量：計3ヶ処		K-03 1階ホール 7㍓桢掲示板 1/5 1/50		数量：1ヶ処			
													
（※MDFは徳島県産材100%チップ使用）				（※MDFは徳島県産材100%チップ使用）									
K-04 2階講習室 電動スクリーン 1/50				数量：1ヶ処		K-05 2階事務室 7㍓桢平面白板（月間予定表） 1/5 1/50		数量：1ヶ処		K-06 2階事務室 7㍓桢平面白板（出張予定表） 1/5 1/50		数量：1ヶ処	
													
・スイッチボックス、一次・二次電気配線、配管工事、及び配線材料・接続は電気工事とする。													
K-07 2階講習室 7㍓桢平面白板 1/5 1/50				数量：1ヶ処		K-08 2階事務室 カウンター 1/30				数量：1ヶ処			
													





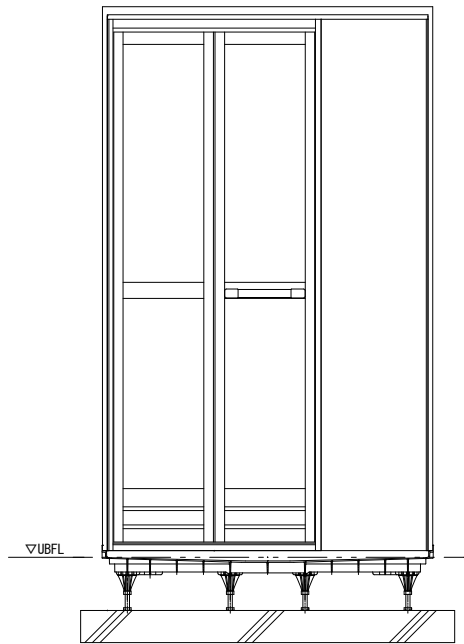
A 展開 * UB据付高さ調整範囲 1 8 7 ~ 2 2 7 mm



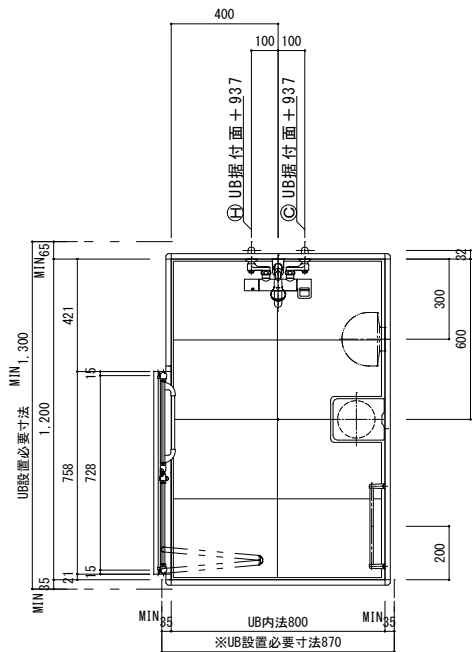
B 展開



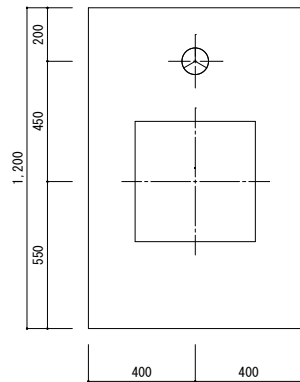
C 展開



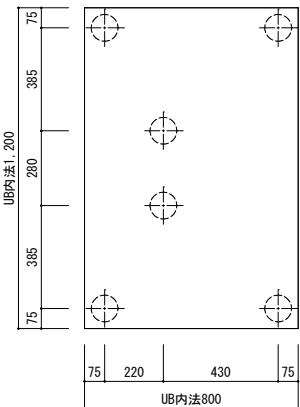
D 展開



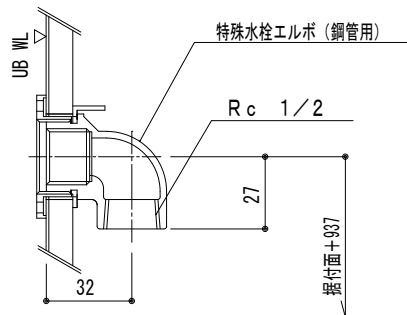
※UB設置必要寸法にドア設置必要寸法は含んでいません。
ドア納まりについての詳細は必ず矩形図をご確認ください。



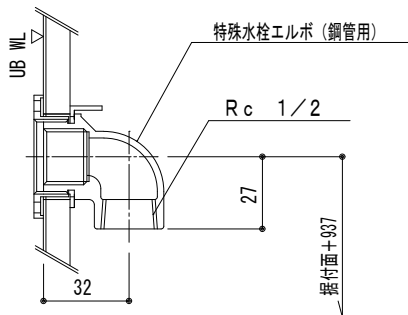
天井伏図



床支持位置図



シャワー用給水エルボ



シャワー用給湯エルボ

コロガシ				
* は、基本仕様からの変更箇所				
名 称	仕様・寸法	色・柄	特記事項	備 考
天井パネル	化粧鋼板複合パネル（モール式） 点検口450角（絞り点検口・落下防止用紐付 石膏ボード2枚貼り）	ホワイト		
壁パネル	HQパネル	ベージュホワイト		
床パネル	FRP カラリ床（単色）	ホワイト（#NW1）		
ド ア 枠	アルミアルマイト処理	アイボリー	（付枠用取付ネジUB支給、 ネジ取付および付枠別途）	
ドアパネル	折戸 ドア脱着機構付 面材：型板ステン板 W=800（有効開口幅 671mm）	アイボリー 面材：半透明		
* シャワー水栓	TMGG40SSSB サーモスタットシャワー金具（短尺スパウト）			SSGGS
* シャワーヘッド	スプレーシャワー ホース：L=1600	ヘッド：ホワイトグレー ホース：ホワイトグレー		SSGGS
* シャワーハンガー	TH556F3R#NG2B			SSGGS
照明	防湿型半球形照明（LEDランプ） 消費電力9W以下 60W相当 電球色 VVF1.6φ×2C L=2.0m付		（取付穴現場加工） （以降接続別途）	
ジョイントボックス	エコノミージョイント WJ3107相当品		（ジョイントボックスまでの配線及び ジョイントボックス内の結線別途）	
換気グリル	ABS樹脂 接続部外径φ100	アイルホワイト	（以降接続別途）	
給水エルボ	シャワー用 青銅鋳物製 接続口 Rc1/2		（以降接続別途）	
給湯エルボ	シャワー用 青銅鋳物製 接続口 Rc1/2		（以降接続別途）	
排水トラップ	ABS樹脂 封水深50mm 接続口 VP50受口 ヘアークャッチャー付 高圧洗浄対応		（以降接続別途）	
タオル掛け	ステンレスパイプ φ13 L=300	ホワイト（#NW1）		

商品(図面)は、諸般の事情により、予告なく改良、仕様変更などを行う場合があります。

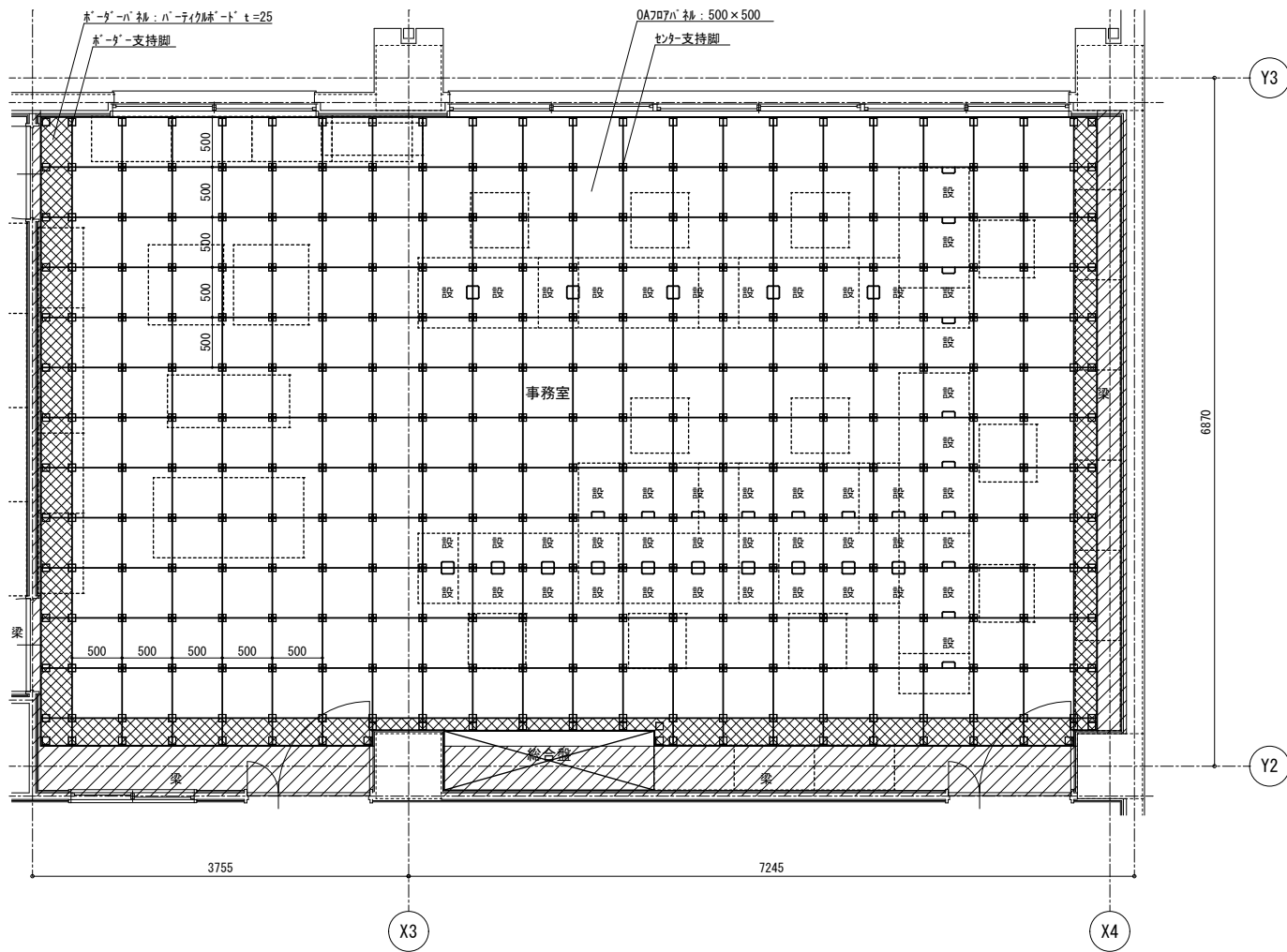
★マークは、消費生活用製品安全法「長期使用製品安全点検制度」で指定された「特定保守製品」です。

※各器具の穴加工・補強は現場加工となります。

壁パネルがベージュホワイトの場合、W1200パネルになります。

現場の状況（搬入経路など）によって分割セレクトを選択して下さい。

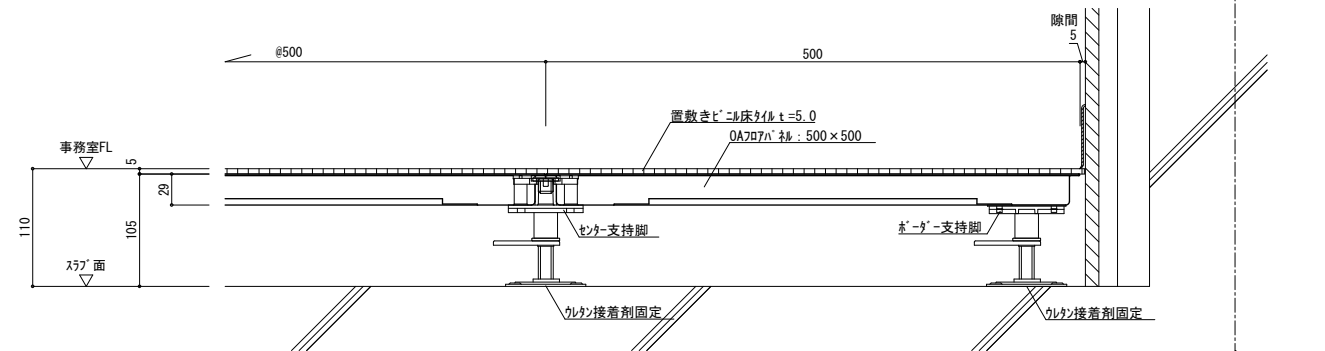
		徳島県土整備部営繕課		●工事名	R7 営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)	●図面番号	A-33	株式会社 橘 建 築 事 務 所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明
				●図面名		●縮尺		
設計		R7.7	竣工	【庁舎棟】US詳細図（参考図）		—		



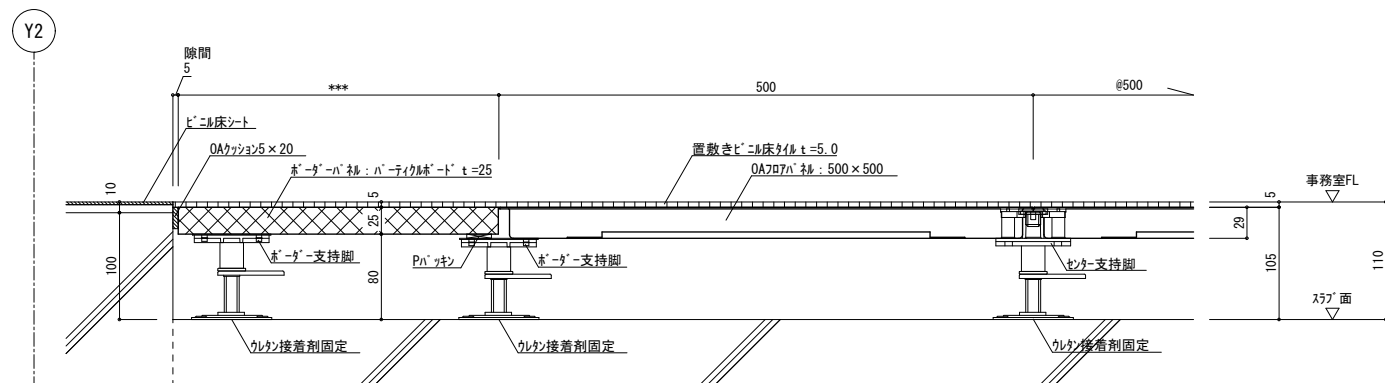
OAフロア 平面図 S=1/50

- 標準ハ' 床
- 設備ハ' 床
- ボ' - ガ' - ハ' 床
- 梁部分
ビ' ニル床シート貼り

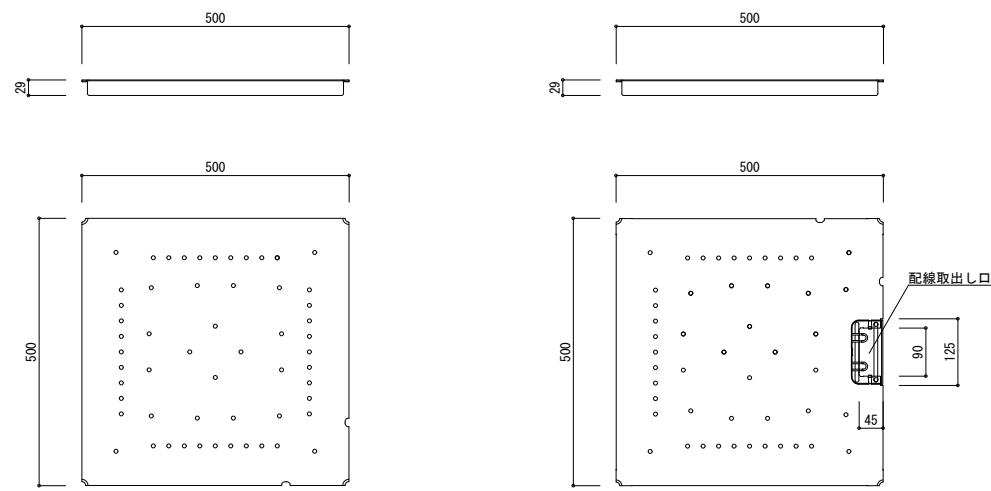
OA707 仕様	
床 高	FL±0 (h=110)
707ハ' 床	スチール軽量モルタル 床 粉塗装 (粉体塗装)
	標準ハ' 床 29 t × 500 × 500 3000N
	設備ハ' 床 29.1 t × 500 × 500 3000N
支持脚	センター支持脚: スチール+70mm径 イキスト型
ボ' - ガ' - ハ' 床	ボ' - ガ' - ハ' 支持脚: スチール+70mm径 イキスト型
仕 上	ハ' - ティクル床' - ト' t=25
	置敷きビ' ニル床タイル t=5.0



OA707詳細図(張り始め) S=1/5

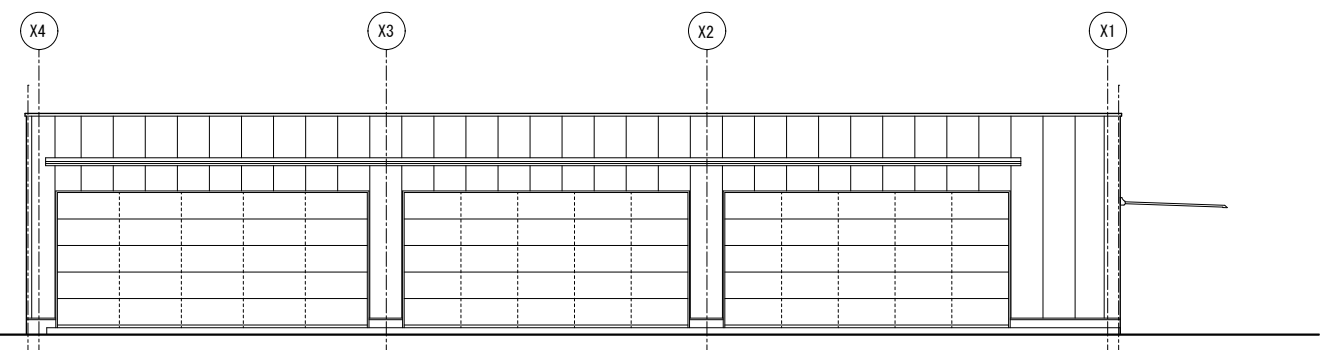
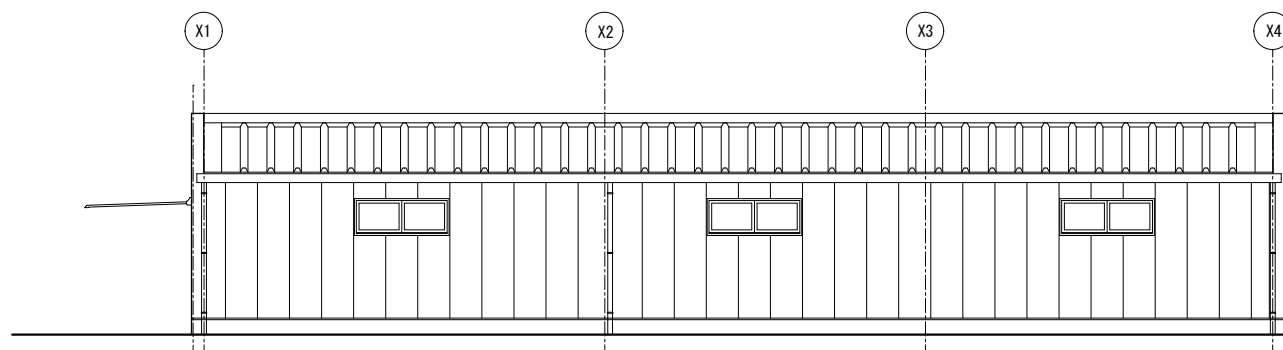
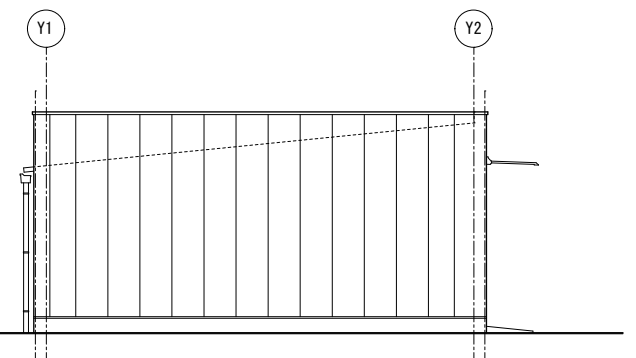
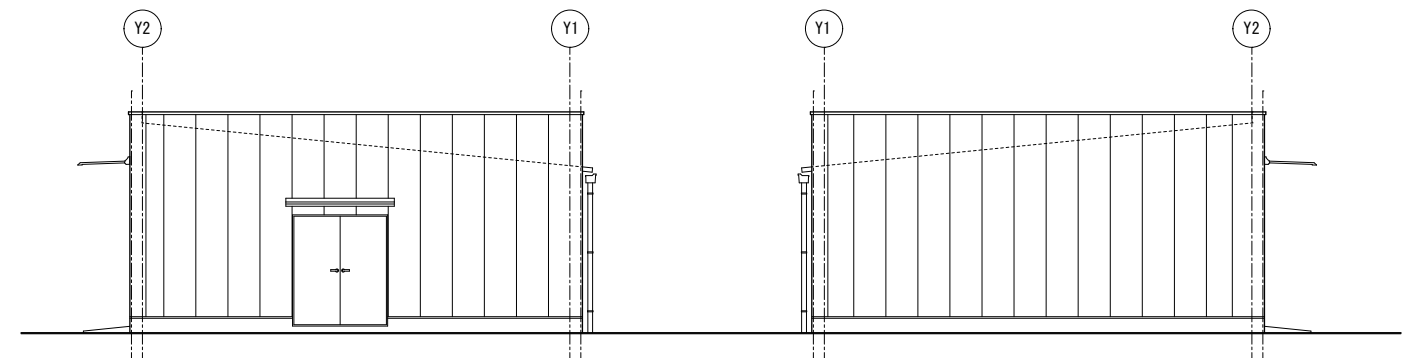
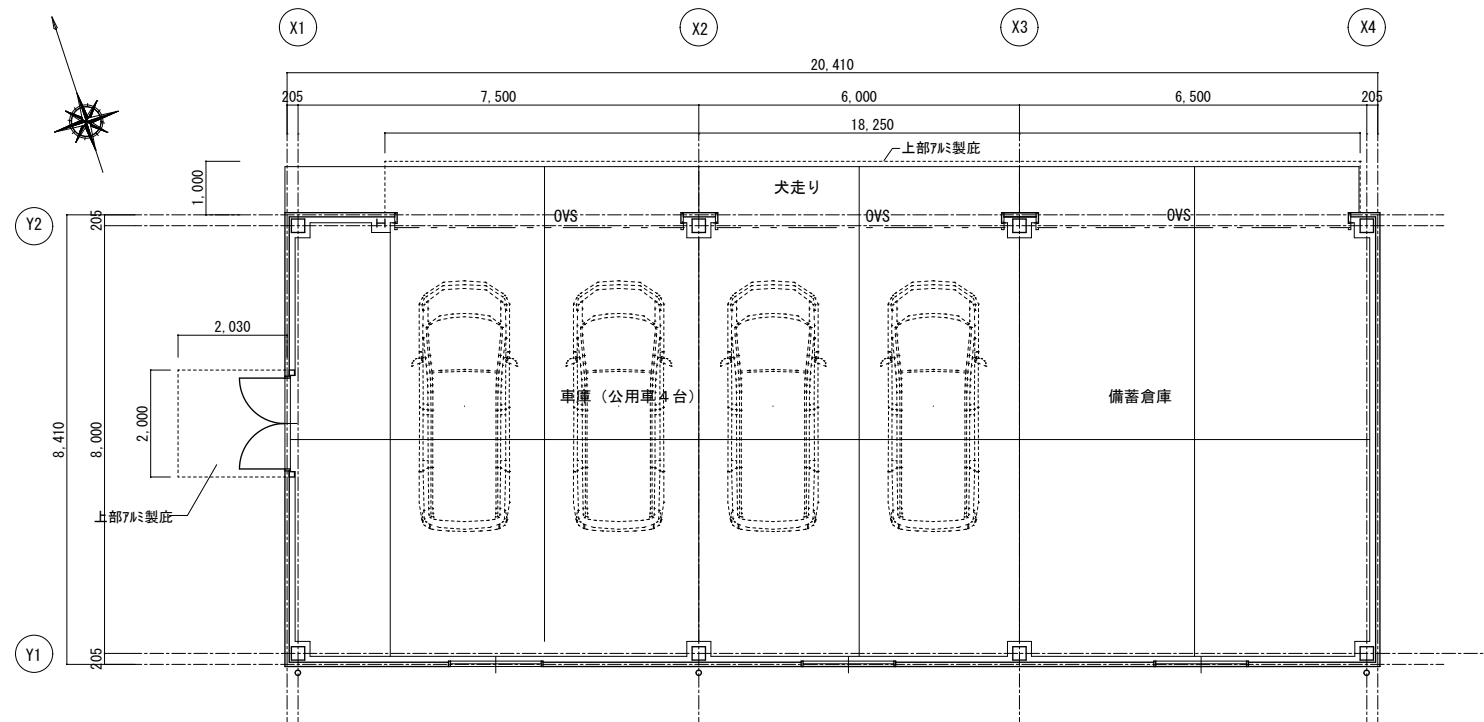


OA707詳細図(張り仕舞い) S=1/5



OA707(標準ハ' 床)詳細図 S=1/10

OA707(設備ハ' 床)詳細図 S=1/10

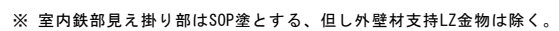
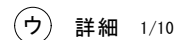
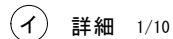
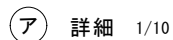


面 積 表		
建築面積	20.41×8.41+2.0×1.03	173.70 m ²
床 面 積	20.41×8.41	171.64 m ²

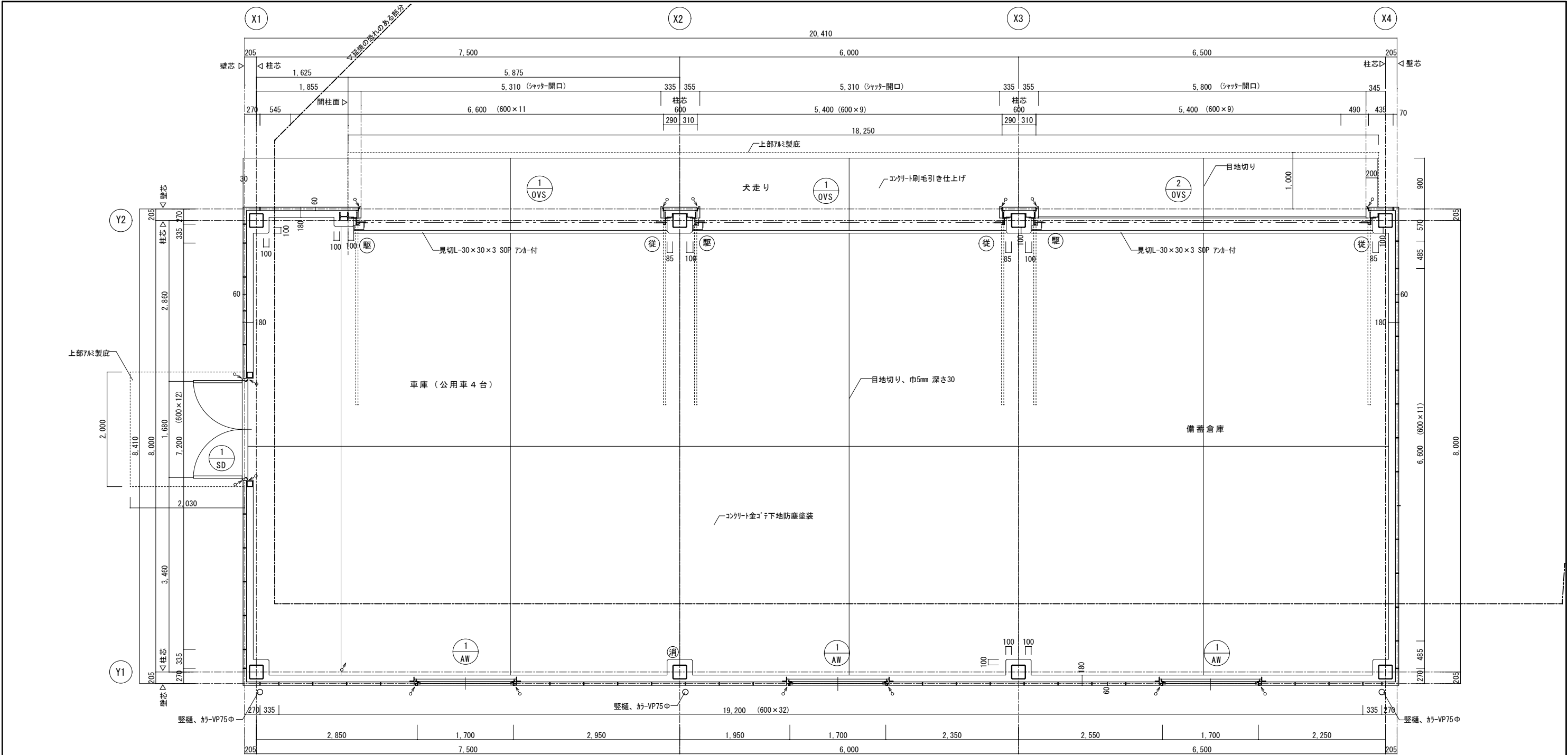
外部 仕上表					
屋 根	折板、嵌合タイプ t=0.8 山高80 無機質ガラス繊維シート裏貼り	犬走り	コンクリート刷毛引き仕上げ	軒樋	カラー塩ビ製折板用軒樋 W200 前高150 ステンレス製吊ボルト @500
外 壁	押出成形セメント板 t=60 縦張 ファッ素樹脂塗装（工場塗装品） 耐火認定番号：FP060NE-9037	庇	アルミ製（既製品） D2000 アルミ製（既製品） D970	壁樋	カラーVP75φ ステンレス製掴み金物 @1100 程度
巾 木	コンクリート打放し H=300				

内部 仕上表						
室 名	床	巾 木	H	壁	天 井	備 考
車 庫 備蓄倉庫	コンクリート金網下地防塵塗装 目地切り、深さ30	柱脚・巾木、コンクリート打放し	120～150	押出成形セメント板素地表し 鉄部見掛け部:SOP塗(但し、外壁材LZ金物等は除く)	折板無機質ガラス繊維シート裏貼表し 鉄部見掛け部:SOP塗	

			●工事名	R7営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)	●図面番号	A-101	株式会社 橘 建 築 事 務 所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明
			●図面名		●縮尺	1/100	
	設計	竣工					
	R7.7			【車庫・倉庫棟】平面図・立面図・仕上表			



			●工事名 R7営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)	●図面番号 A-102	株式会社 橘 建 築 事 務 所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明
	設計	竣工	●図面名 【車庫・倉庫棟】矩形図 部分詳細図	●縮尺 1/30 1/10	
	R7.7				



：シリング MS-2

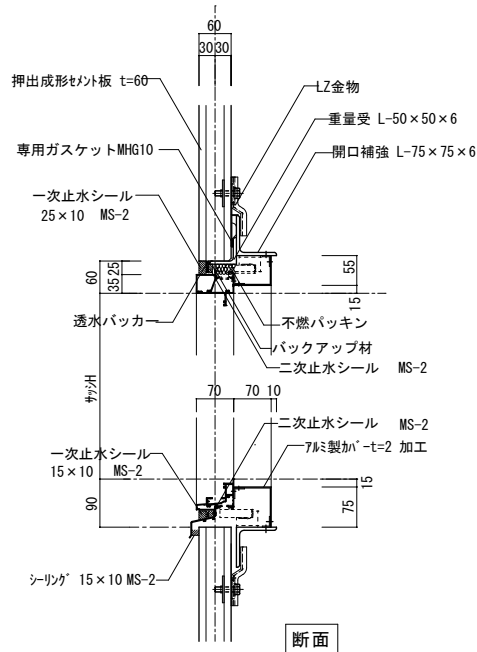
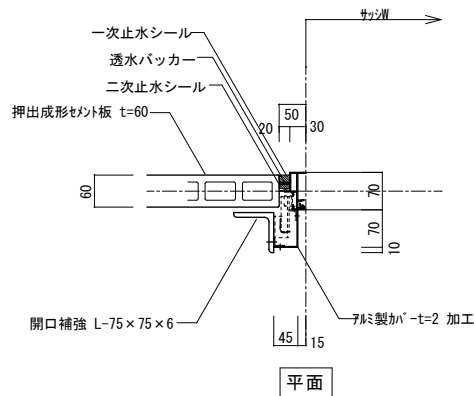
番号 記号	形式	数量	1 OVS	重量鋼製オーバースライドインゲート 手動ハランス式 (耐風圧1250Pa)	2	2 OVS	重量鋼製オーバースライドインゲート 手動ハランス式 (耐風圧1250Pa)	1	1 SD	両開き鋼製フラッシュドア	1	1 AW	7mm製排煙窓	3
形状														
見込									120 (40)				70	
材質・仕上			ハル: 塗装溶融亜鉛メッキ鋼板 t=0.8 熱硬化性ポリエステル樹脂塗装				ハル: 塗装溶融亜鉛メッキ鋼板 t=0.8		鋼製、ドア: 焼付塗装 t=1.6 枠: SOP塗				7mm製 (シルバー)	
硝子													網入り型板ガラスt=6.8	
金物			専用錠 急降下防止装置 付属金物一式				専用錠 急降下防止装置 付属金物一式		丁番 ドアハンドル シリンダー錠 ドアチャック フランス落し 順位調整機				ワンタッチ開放 オペレーター 付属金物一式	
備考			3方枠: 亜鉛メッキ鋼板 t=2.0 DP塗装				3方枠: 亜鉛メッキ鋼板 t=2.0 DP塗装		下枠ステンレス製 t=2					

平面詳細図 1/50

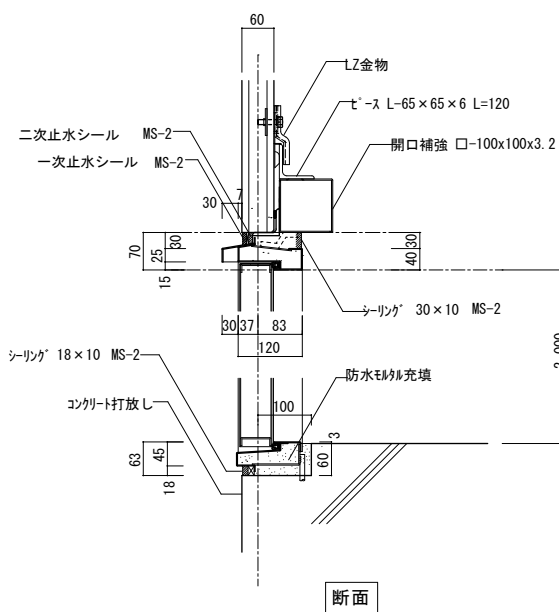
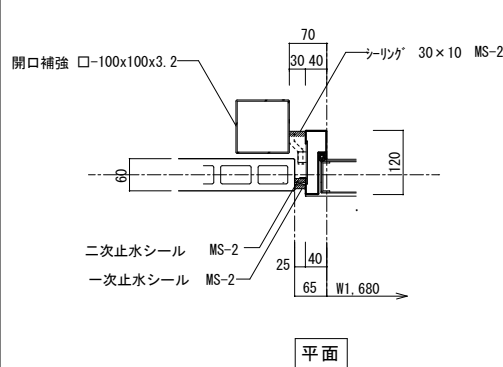
(消)：粉末消火器 A-1以上 (備品)

建具表 1/100

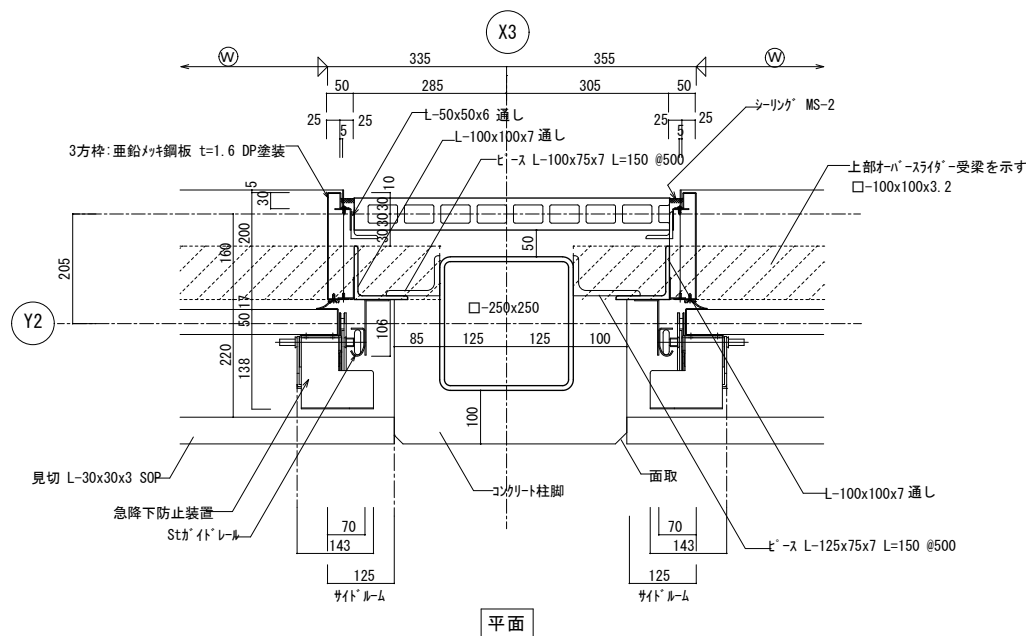
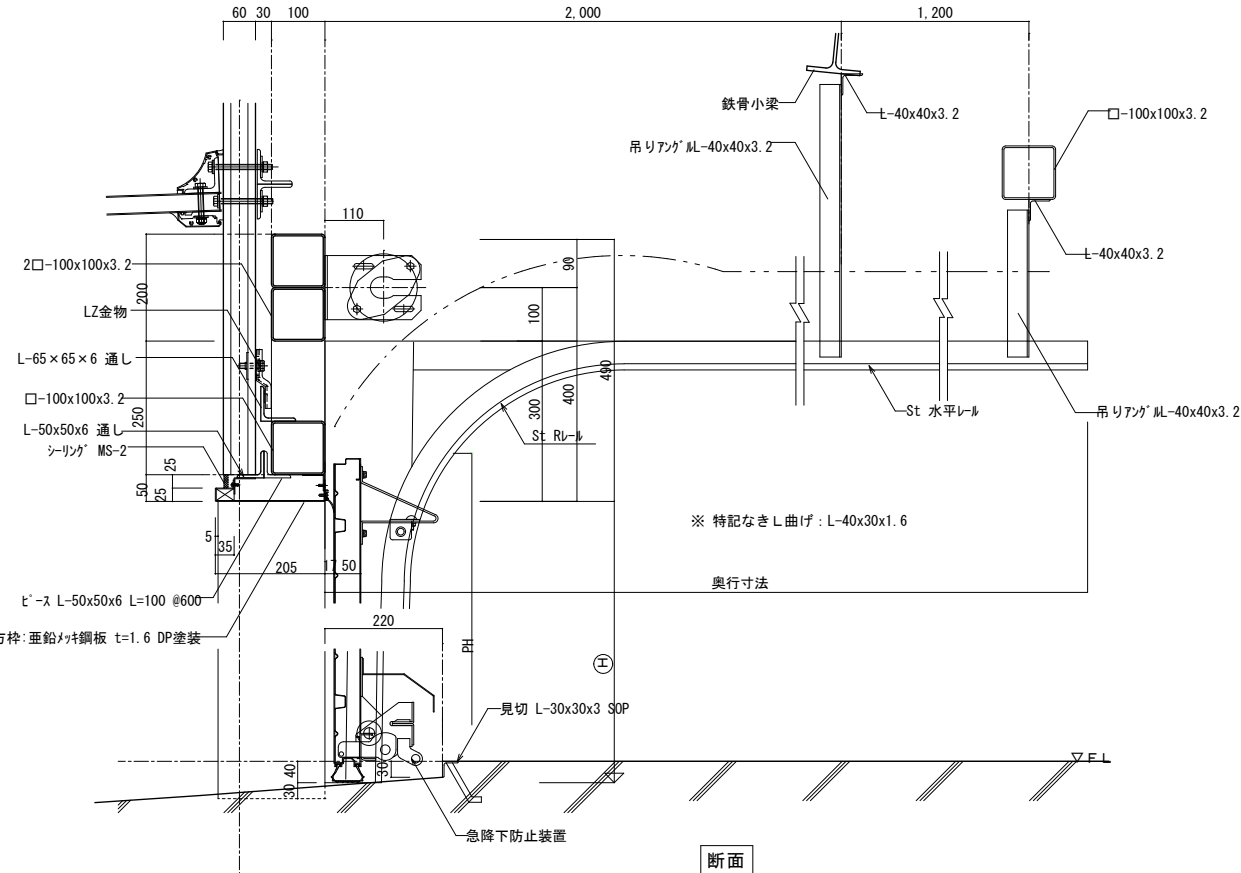
		徳島県土整備部営繕課	●工事名 R7営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)	●図面番号 A-103	株式会社橘 建築事務所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明
	設計 R7.7	竣工	●図面名 【車庫・倉庫棟】平面詳細図 建具表	●縮尺 1/50	

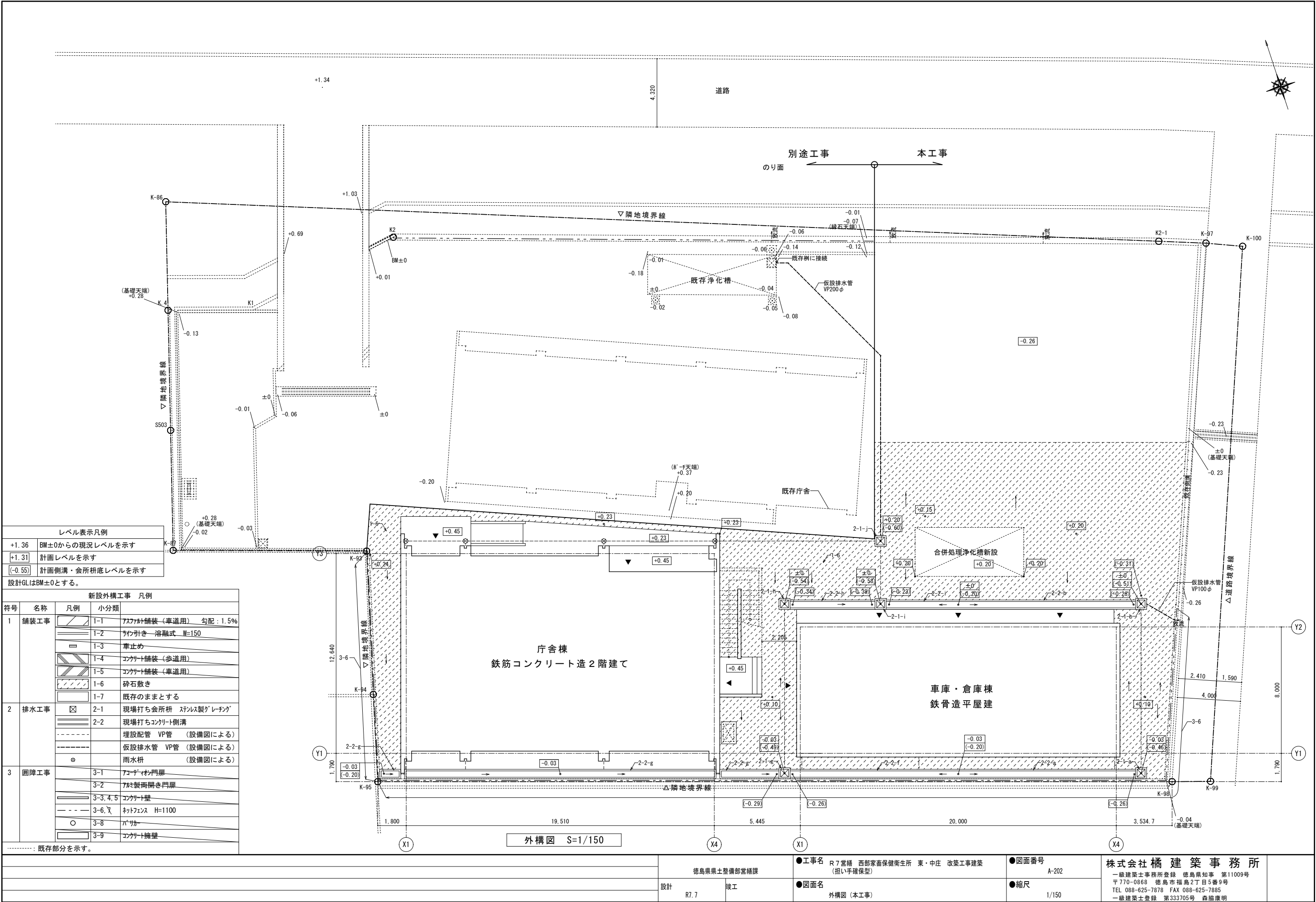


詳細



詳細 1/10

[illegible]



レベル表示凡例	
+1.36	BM±0からの現況レベルを示す
+1.31	計画レベルを示す
(-0.55)	計画側溝・会所柵底レベルを示す

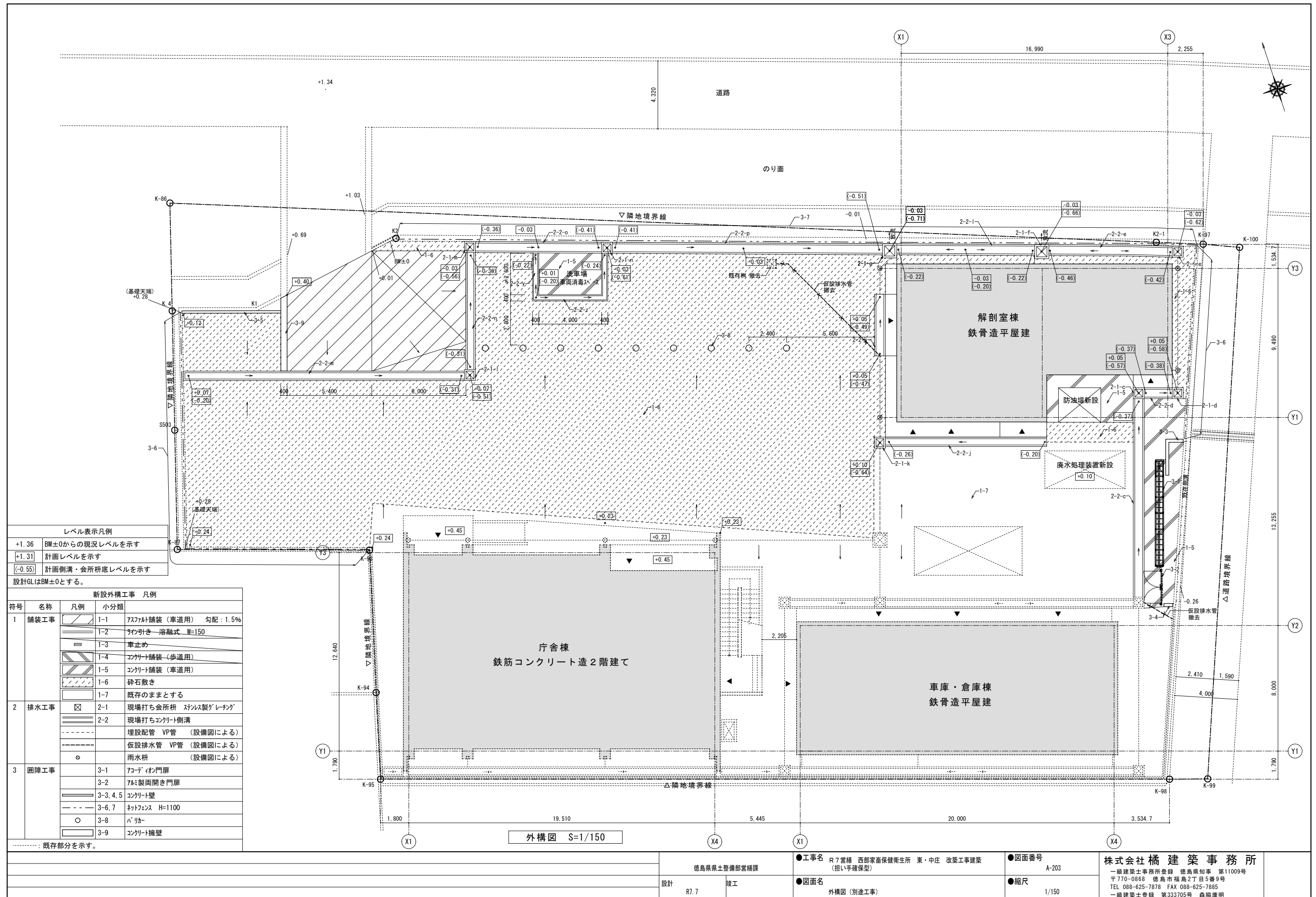
設計GLはBM±0とする。

新設外構工事 凡例			
符号	名称	凡例	小分類
1	舗装工事		1-1 アスファルト舗装（車道用） 勾配：1.5%
			1-2 ライフ引き 溶融式 W=150
			1-3 車止め
			1-4 コンクリート舗装（歩道用）
			1-5 コンクリート舗装（車道用）
			1-6 砕石敷き
			1-7 既存のままとする
2	排水工事		2-1 現場打ち会所柵 ステンレス製グレーチング
			2-2 現場打ちコンクリート側溝
			埋設配管 VP管 （設備図による）
			仮設排水管 VP管 （設備図による）
3	囲障工事		雨水柵 （設備図による）
			3-1 ファニチャー門扉
			3-2 ファニチャー開き門扉
			3-3, 4, 5 コンクリート壁
			3-6, 7 ネットフェンス H=1100
			3-8 バリカ
			3-9 コンクリート擁壁

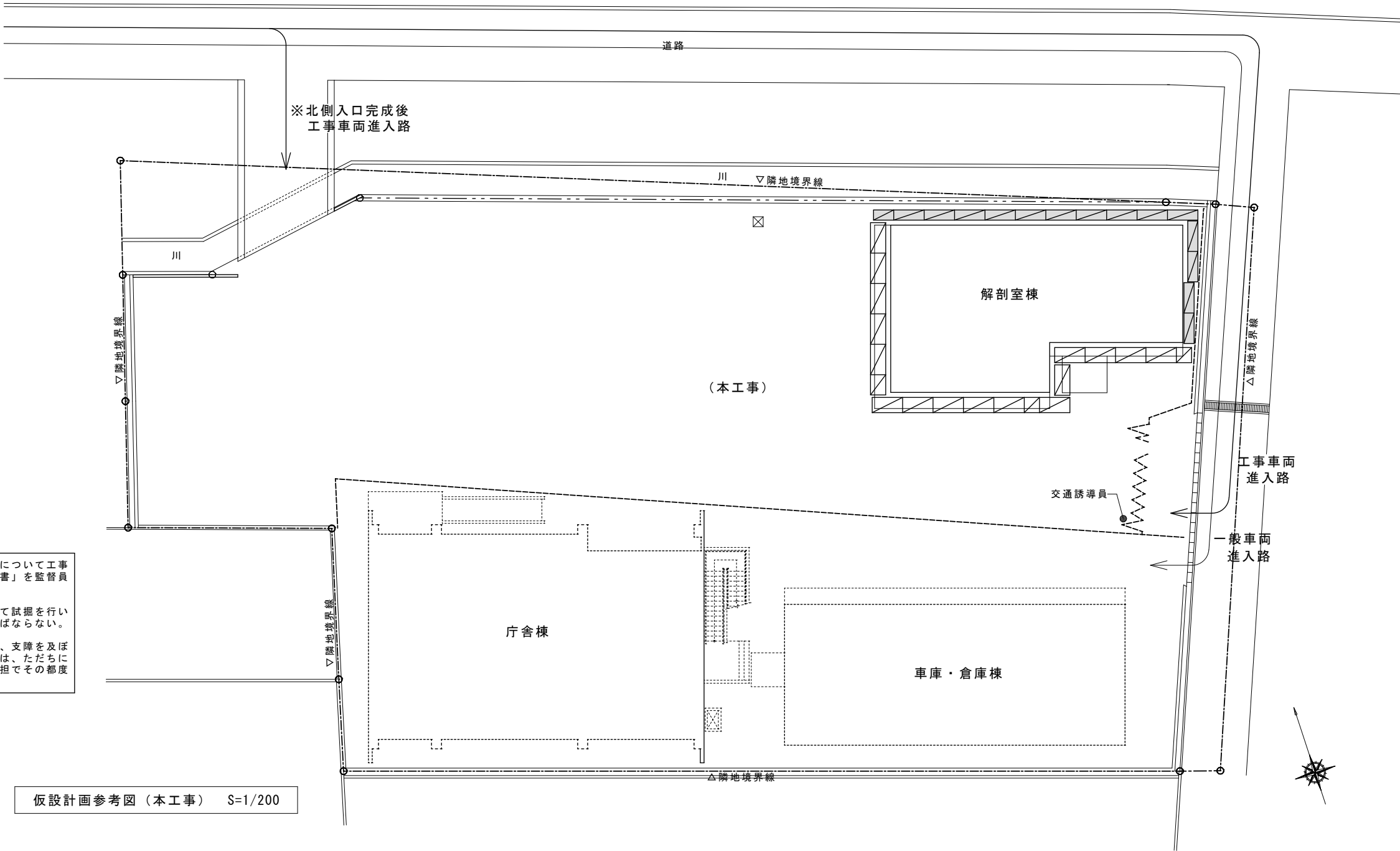
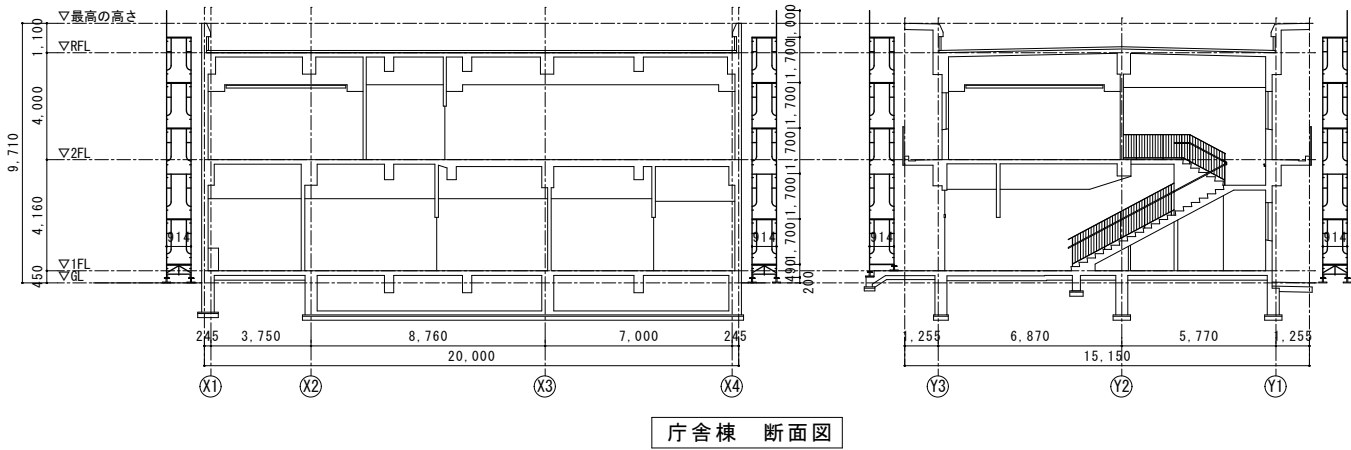
.....：既存部分を示す。

外構図 S=1/150

		徳島県土整備部営繕課	●工事名 R7営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)	●図面番号 A-202	株式会社 橋 建 築 事 務 所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明
	設計 R7.7	竣工	●図面名 外構図（本工事）	●縮尺 1/150	



凡例	
-----	仮囲い 成形鋼板H=2m L=74m
↑A ↓B	キャスターゲート W=5m H=1.8m
	(手摺先行)枠組本足場 D=610 防災工類メッシュシート張り
	(手摺先行)枠組本足場 D=914 防災工類メッシュシート張り



特記事項

受注者は、工事の施工箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物について工事（仮囲い等仮設材設置を含む）着手までに調査を行い、「支障物件確認書」を監督員に提出し、監督員の確認を受けてから工事着手すること。

地下埋設物への影響が予想される場所では、施工に先立ち、原則として試掘を行い当該埋設物の種類、位置（平面・深さ）、規格、構造物を確認しなければならない。

受注者は、工事箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物に対し、支障を及ぼさないような措置を施さなければならない、万一、損傷を与えた場合は、ただちに監督員に報告するとともに、施設の運営に支障がないよう受注者の負担でその都度補修又は補償すること。

		徳島県土整備部営繕課		●工事名 R 7 営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)	●図面番号 A-302	株式会社橘 建築事務所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明
設計		竣工		●図面名 仮設計画 参考図 (別途工事)	●縮尺 1/200	
R7.7						

■ 庁舎棟

1F			寸法 (W*D*H)
前処理・細菌検査室			
○ A-1	サイド実験台（木製キャビネット・支柱展開）		1800*750*2050
○ A-2	サイド実験台（木製キャビネットタイプ）		1200*750*850
○ A-3	コーナー実験台		1000*1000*850
○ A-4	流し台		900*750*850
A-5	収納戸棚		1500*450/550*2453
A-6	安全キャビネット		1500*790*2040
7	高圧滅菌器（オートクレーブ）		410*477*970
8	電子天秤		200*253*73
9	薬品保管庫		900*500*900

検査室（冷蔵室）			寸法 (W*D*H)
1	冷凍庫		800*770*1802
2	冷蔵庫		800*450*1870
3	冷蔵庫		800*450*1870
4	冷蔵庫		800*450*1870
5	冷凍冷蔵庫		540*557*1794

検査室			寸法 (W*D*H)
○ B-1	中央実験台（オープンタイプ）		2400*1500*850
○ B-2	サイド実験台（木製キャビネット・支柱展開）		2400*750*2050
○ B-3	サイド実験台（木製キャビネットタイプ）		1800*750*850
○ B-4	コーナー実験台		1000*1000*850
○ B-5	流し台（片水切り（左）・お湯機能付）		1200*750*850
○ B-6	流し台		1200*750*850
B-7	収納戸棚		1200*450/550*2453
○ B-8	サイド実験台（木製キャビネットタイプ）		1500*750*850
B-9	吊戸棚（開き戸）		900*300*610
B-10	保管棚（ステンレス）		910*460*1892
11	乾式臨床化学分析装置		338*203*167
12	動物用全自動血球計数器		230*450*428
13	恒温水槽		300*480*450
14	恒温プレート		300*400*100
15	顕微鏡		300*500*500
16	生物顕微鏡*専用デジタルカメラ		300*500*500
17	電子天秤		200*253*73
18	インキュベータ		710*655*1611
19	インキュベータ		700*600*1020
20	薬品保管庫		900*500*900
21	デシケーター-B6型		550*520*1030
22	マイクロプレートリーダー		295*445*265
23	遠心分離器		440*560*310
24	ヘマトクリット遠心器		320*400*270
25	ホットスターラー		287*411*102

洗浄室（掃着室）			寸法 (W*D*H)
○ C-1	中央実験台（オープンタイプ）		1800*1200*850
○ C-2	流し台（お湯機能付）		1500*750*850
C-3	保管棚（ステンレス）		1212*613*1892
C-4	保管棚（ソリッド）		911*461*1892
5	高圧滅菌器（オートクレーブ）		410*477*970
6	乾熱滅菌器		750*680*900

洗濯室			寸法 (W*D*H)
1	洗濯機（自動式）		600*600*1010
2	乾燥機（棚含む）		640*680*500
3	衣類棚（3段引出型）		900*500*1038

1F			寸法 (W*D*H)
診療準備室・防疫準備室			
○ D-1	中央実験台（木製キャビネットタイプ）		3600*1200*850
○ D-2	サイド実験台（木製キャビネットタイプ）		1200*750*850
○ D-3	流し台（お湯機能付）		1200*750*850
D-4	収納戸棚		1500*450/550*2453
D-5	吊戸棚（開き戸）		1200*300*610
D-6	保管棚（ソリッド）		911*460*1892
7	カートリッジ式E06幻菌器		450*778*530

2F			寸法 (W*D*H)
事務室			
1	書棚（上・下：窓付2枚引戸型）		900*450*2076
2	書棚（窓付2枚引戸型）		800*450*1038
3	書棚（両開き扉型）		800*450*2076
4	雑誌棚		1250*450*900
5	事務室椅子（大）		575*575*965
6	事務用机（大）		1600*700*700
7	事務室椅子（小）		575*550*900
8	事務用机（小）		1200*700*700
9	事務用机（脇机）		400*700*700
10	応接セット	①	1500*800*740
		②	750*800*740
		③	1220*525*460
11	テレビ		1010*323*618

書庫			寸法 (W*D*H)
1	本棚（複柱書架、6段、単式）		940/900*250*1945
2	本棚（複柱書架、6段、単式）		940/900*470*1945

講習室			寸法 (W*D*H)
1	講習室演台		590*400*1044
2	講習室机		1800*450*720

試薬調整室			寸法 (W*D*H)
○ E-1	サイド実験台（木製キャビネットタイプ）		1800*750*850
E-2	クリーンベンチ		1600*800*1700
3	冷却機能装置付き破砕機		520*455*484
4	超高速遠心機		987*225*157
5	乾熱滅菌器		720*650*880
6	ブロックインキュベーター		160*323*183
7	電子天秤		200*253*73
8	高圧滅菌器（オートクレーブ）		410*477*970

遺伝子検査室			寸法 (W*D*H)
○ F-1	サイド実験台（木製キャビネットタイプ）		1200*750*850
○ F-2	流し台		600*750*850
○ F-3	コーナー実験台		1000*1000*850
F-4	吊戸棚（開き戸）		1200*300*610
F-5	サイドラック ステンレス		600*600*750
6	撮影装置（UV）		210*260*60
7	泳動装置		187*136*57
8	リアルタイムPCR		547*338*525
9	遺伝子増幅装置		330*565*272

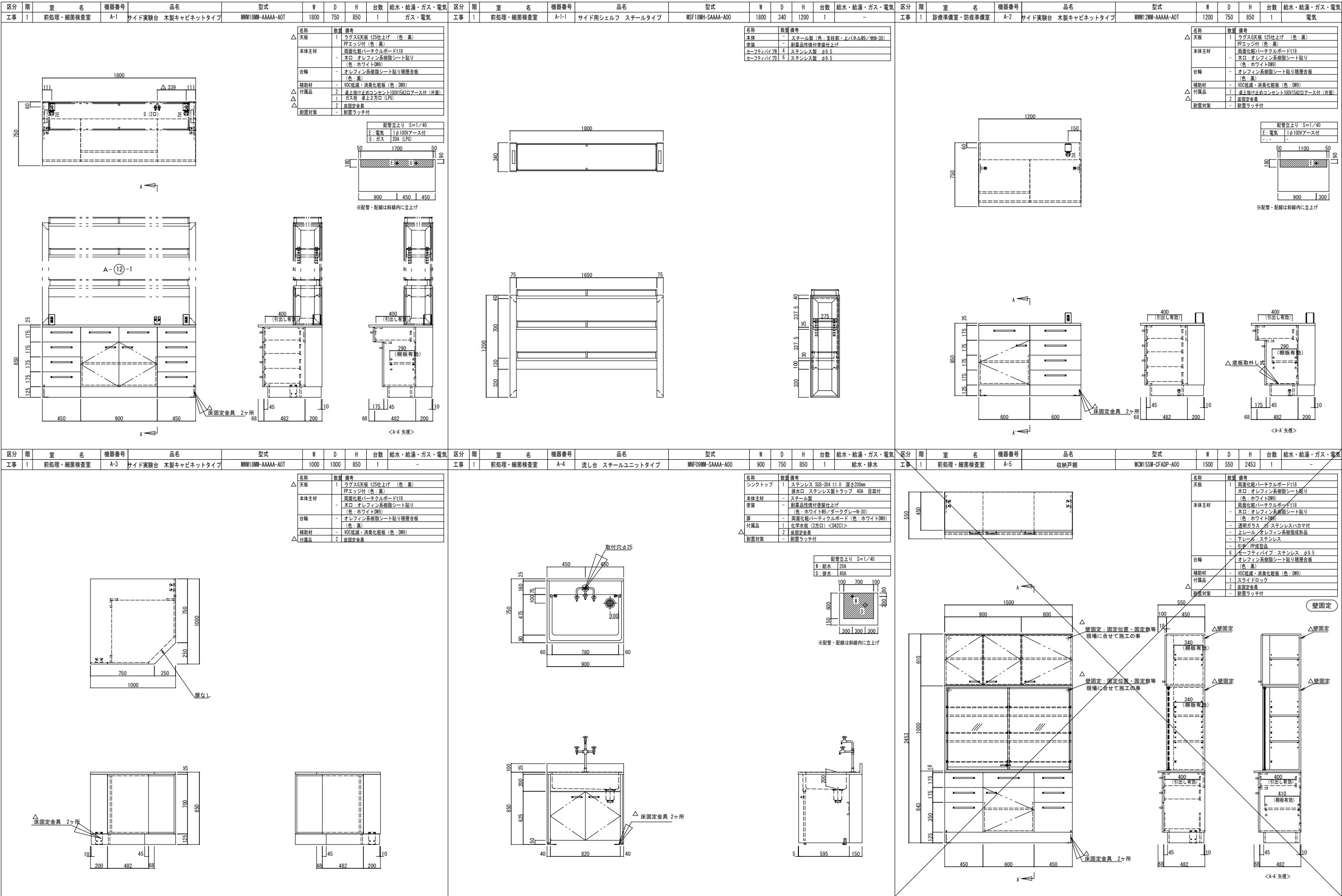
■ 解剖室棟 （別途工事）

解剖室 家畜			寸法 (W*D*H)
○ H-1	流し台		1800*750*850
H-2	ステンレス作業台		1200*750*850
H-3	器械戸棚		1500*450*1700
H-4	保管棚（ステンレス）		1518*613*1892
H-5	ケミカルワゴン		750*450*850
6	解剖台		1800*750*850
○ -	無影灯		
○ -	チェーンブロック		
-	家畜解体用電動鋸		
-	家畜開頭用固定装置		

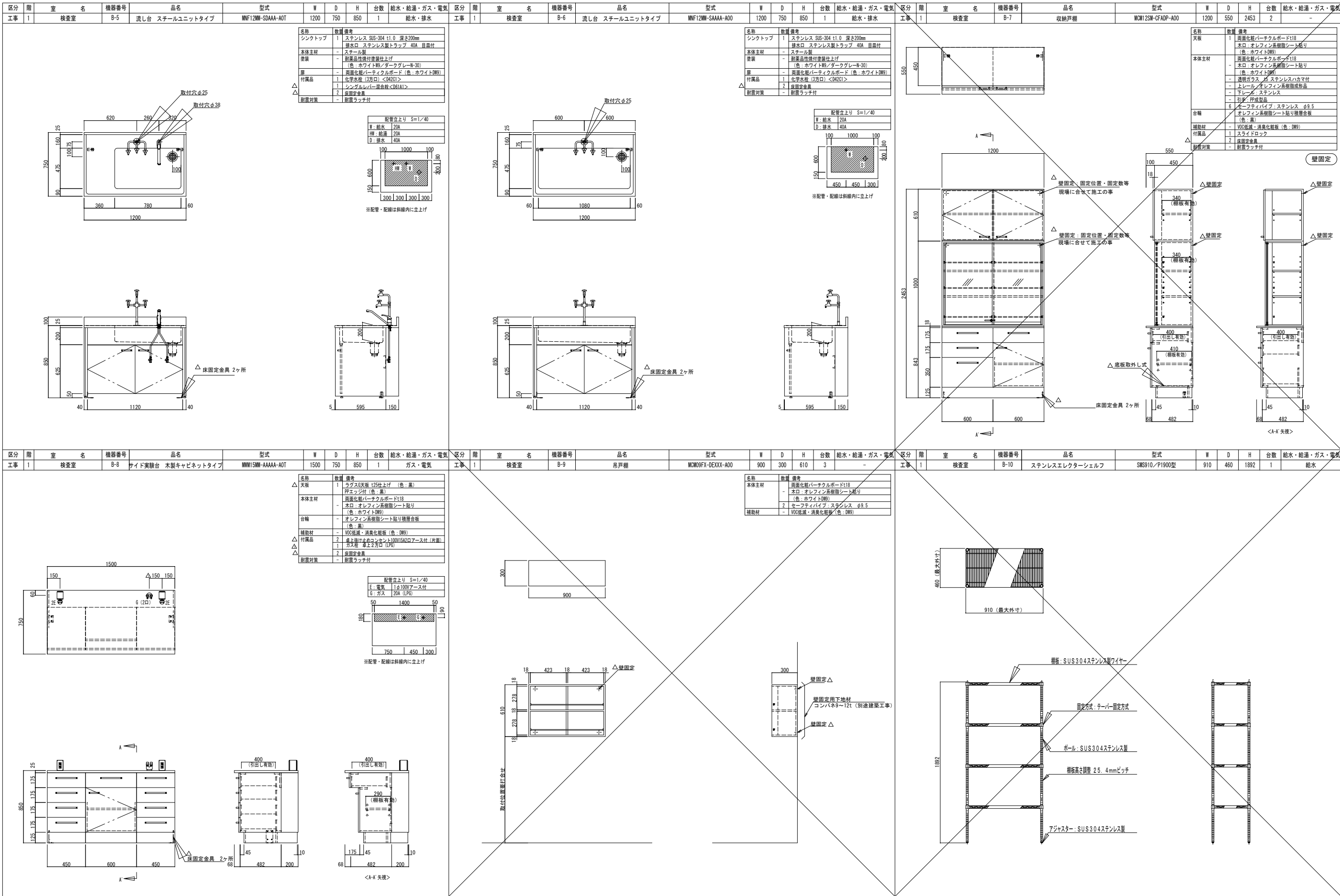
解剖室 野生動物			寸法 (W*D*H)
○ J-1	流し台		900*750*850
J-2	器械戸棚		900*360*1700
J-3	保管棚（ステンレス）		758*460*1892
4	解剖台		1500*750*850
○ -	無影灯		
○ -	チェーンブロック		

○：本工事にて設置する備品を示す。

	徳島県土整備部営繕課		●工事名 R 7 営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築（担い手確保型）	●図面番号 A-304	株式会社橘 建築 事務所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明
	設計 R7.7	竣工	●図面名 備品リスト（参考）	●縮尺 ー	



		徳島県土整備部営繕課	●工事名	R7 営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)	●図面番号	A-305	株式会社 橋 建築 事務所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明
		設計	竣工	●図面名	●縮尺	—	
		R7.7		備品詳細図1 (参考図)			



		徳島県土整備部営繕課	●工事名	R 7 営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)	●図面番号	A-307	株式会社 橋 建築 事務所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明
			●図面名	備品詳細図3 (参考図)	●縮尺	—	
設計	R7.7	竣工					

区分	階	室名	機器番号	品名	型式	W	D	H	台数	給水・給湯・ガス・電気
工事	1	洗浄室（掃羞室）	C-1	中央実験台 スチールフレームタイプ	MGF18SM-A4AAA-A1T	1800	1200	850	1	電気

名称

数量

備考

△

天板

1

ラクス6天板 125仕上げ（色：黒）
付エッジ付（色：黒）

△

フレーム

-

スチール製（色：黒/黒-30）
耐薬品性付塗装仕上げ
（色：ホワイト粉/ダークグレー-30）

△

扉板

6

V02低減化板（色：ダークグレー）

△

天板下引出

6

MF前板（色：ダークグレー）
内部バーチカルボード 前置ラッチ付

△

付属品

1

金上掛け止めコンセント100V15Aロアース付（前面）

△

床固定金具

4

配管立上り S=1/40

E：電気 1φ100Vアース付

-

-

1800

600

600

150

25

25

900

900

600

600

※配管・配線は斜線内に立上げ

名称

数量

備考

△

シンクトップ

1

ステンレス SUS-304 11.0 深さ200mm
排水口 ステンレス製トラップ 40A 目皿付

△

本体主材

-

スチール製
耐薬品性付塗装仕上げ
（色：ホワイト粉/ダークグレー-30）

△

扉

-

両面化粧バーチカルボード（色：ホワイトDMP）

△

付属品

1

化学水栓（3方口）<04201>

△

床固定金具

2

配管立上り S=1/40

W：給水 20A

HW：給湯 20A

D：排水 40A

520

460

520

100

1100

60

1380

60

1500

取付穴φ25

取付穴φ38

※配管・配線は斜線内に立上げ

名称

数量

備考

△

天板

2

ラクス6天板 125仕上げ（色：黒）
付エッジ付（色：黒）

△

本体主材

-

両面化粧バーチカルボード118
木口・オレフィン系樹脂シート貼り
（色：ホワイトDMP）

△

台輪

-

オレフィン系樹脂シート貼り樹脂合板
（色：黒）

△

補助材

-

V02低減・通風化板（色：DMP）

△

付属品

2

金上掛け止めコンセント100V15Aロアース付（前面）

△

床固定金具

4

△

耐震対策

-

耐震ラッチ付

配管立上り S=1/40

E：電気 1φ100Vアース付

-

-

50

350

100

800

100

350

100

800

100

350

50

600

600

※配管・配線は斜線内に立上げ

1892

613

1892

2

棚板：SUS304ステンレス製ダイヤヤー

固定方式：テーパー固定方式

ボール：SUS304ステンレス製

棚板高さ調整 25.4mmピッチ

アジャスター：SUS304ステンレス製

区分	階	室名	機器番号	品名	型式	W	D	H	台数	給水・給湯・ガス・電気
工事	1	洗浄室（掃羞室）	C-4	430ソリッドエレクターシェルフ	MSS910/P1900型	911	461	1892	1	-

名称

数量

備考

△

天板

2

ラクス6天板 125仕上げ（色：黒）
付エッジ付（色：黒）

△

本体主材

-

両面化粧バーチカルボード118
木口・オレフィン系樹脂シート貼り
（色：ホワイトDMP）

△

台輪

-

オレフィン系樹脂シート貼り樹脂合板
（色：黒）

△

補助材

-

V02低減・通風化板（色：DMP）

△

付属品

2

金上掛け止めコンセント100V15Aロアース付（前面）

△

床固定金具

4

△

耐震対策

-

耐震ラッチ付

配管立上り S=1/40

E：電気 1φ100Vアース付

-

-

50

350

100

800

100

350

100

800

100

350

50

600

600

※配管・配線は斜線内に立上げ

1892

613

1892

2

棚板：SUS430ステンレス製1.2mm厚平板

固定方式：テーパー固定方式

ボール：SUS304ステンレス製

棚板高さ調整 25.4mmピッチ

アジャスター：スチール製ユニクロメッキ

区分	階	室名	機器番号	品名	型式	W	D	H	台数	給水・給湯・ガス・電気
工事	1	診療準備室・防疫準備室	D-1	中央実験台 木製キャビネットタイプ	MGW36SM-A4AAA-A0T	3600	1200	850	1	電気

名称

数量

備考

△

天板

2

ラクス6天板 125仕上げ（色：黒）
付エッジ付（色：黒）

△

本体主材

-

両面化粧バーチカルボード118
木口・オレフィン系樹脂シート貼り
（色：ホワイトDMP）

△

台輪

-

オレフィン系樹脂シート貼り樹脂合板
（色：黒）

△

補助材

-

V02低減・通風化板（色：DMP）

△

付属品

2

金上掛け止めコンセント100V15Aロアース付（前面）

△

床固定金具

4

△

耐震対策

-

耐震ラッチ付

配管立上り S=1/40

E：電気 1φ100Vアース付

-

-

50

350

100

800

100

350

100

800

100

350

50

600

600

※配管・配線は斜線内に立上げ

1892

613

1892

2

棚板：SUS430ステンレス製1.2mm厚平板

固定方式：テーパー固定方式

ボール：SUS304ステンレス製

棚板高さ調整 25.4mmピッチ

アジャスター：スチール製ユニクロメッキ

名称

数量

備考

△

天板

2

ラクス6天板 125仕上げ（色：黒）
付エッジ付（色：黒）

△

本体主材

-

両面化粧バーチカルボード118
木口・オレフィン系樹脂シート貼り
（色：ホワイトDMP）

△

台輪

-

オレフィン系樹脂シート貼り樹脂合板
（色：黒）

△

補助材

-

V02低減・通風化板（色：DMP）

△

付属品

2

金上掛け止めコンセント100V15Aロアース付（前面）

△

床固定金具

4

△

耐震対策

-

耐震ラッチ付

配管立上り S=1/40

E：電気 1φ100Vアース付

-

-

50

350

100

800

100

350

100

800

100

350

50

600

600

※配管・配線は斜線内に立上げ

1892

613

1892

2

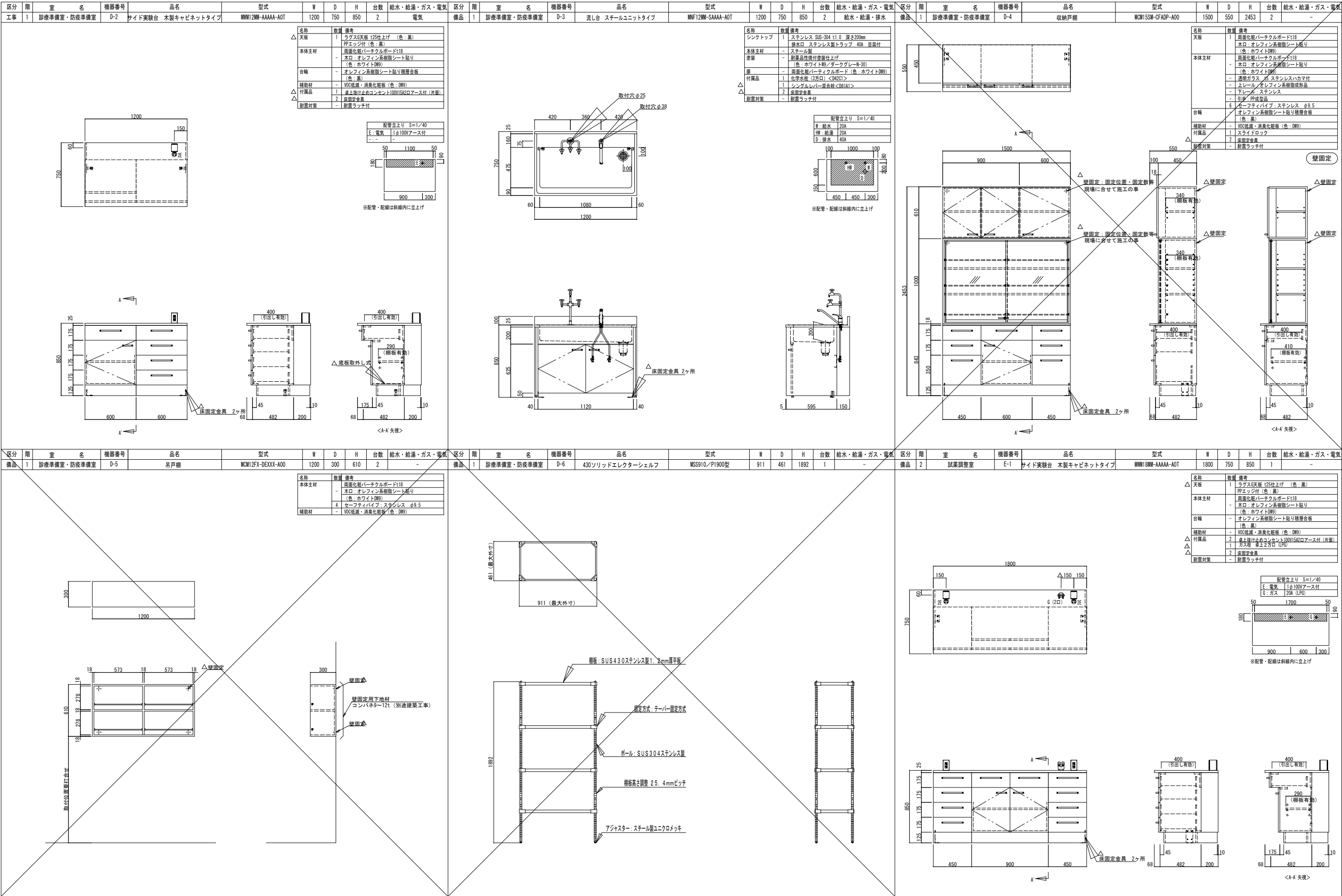
棚板：SUS430ステンレス製1.2mm厚平板

固定方式：テーパー固定方式

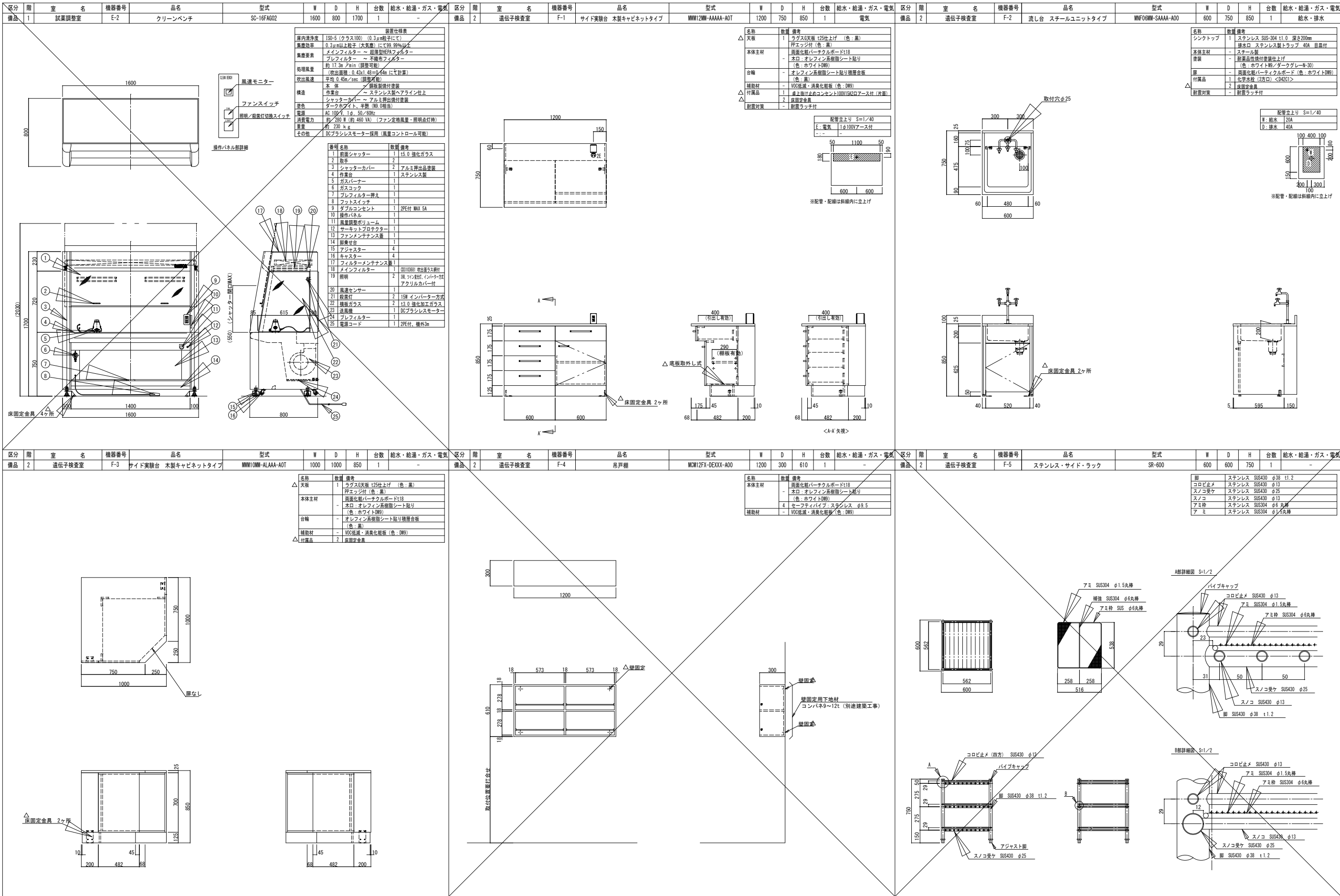
ボール：SUS304ステンレス製

棚板高さ調整 25.4mmピッチ

アジャスター：スチール製ユニクロメッキ



		徳島県土整備部営繕課	●工事名	R7 営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)	●図面番号	A-309	株式会社 橋 建築 事務所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明	
			●図面名		●縮尺	—		
	設計 R7.7	竣工	●図面名 備品詳細図5 (参考図)					



区分	階	室名	機器番号	品名	型式	W	D	H	台数	給水・給湯・ガス・電気
備品	2	冷凍冷蔵洗浄室	G-1	サイド実験台 木製キャビネットタイプ	MNI18MM-A4AAA-AOT	1800	750	850	1	電気

名称 数量 備考
天板 1 ラグス6天板 t25仕上げ (色：黒)
防エッジ付 (色：黒)
本体主材 - 両面化粧バークルボードt18
木口・オレフィン系樹脂シート貼り
(色：ホワイトD99)
台輪 - オレフィン系樹脂シート貼り積層合板
(色：黒)
補助材 - VOS保護・消臭化粧板 (色：D99)
付属品 2 金上掛け止めコンセント100V15A2口アース付 (片面)
2 床固定金具
耐震対策 - 耐震ラッチ付

配管立上り S=1/40
E：電気 1φ100Vアース付
H：給湯 20A
D：排水 40A

1800750
15025
60
15025
900900
5050
180
E
※配管・配線は斜線内に立上げ

名称 数量 備考
シンクトップ 1 ステンレス SUS-304 t1.0 深さ200mm
排水口 ステンレス製トラップ 40A 目皿付
本体主材 - スチール製
塗装 - 耐薬品性付建築仕上げ
(色：ホワイトW/ダークグレーW-30)
扉 - 両面化粧バークルボード (色：ホワイトD99)
付属品 1 化学水栓 (3方口) <D420>
2 床固定金具
耐震対策 - 耐震ラッチ付

配管立上り S=1/40
H：給水 20A
H：給湯 20A
D：排水 40A

450300120
100700100
150600
100300300
180200
※配管・配線は斜線内に立上げ

名称 数量 備考
シンクトップ 1 ステンレス SUS-304 t1.0 深さ250mm
排水口 ステンレス製トラップ 40A 両栓付
本体主材 - ステンレス SUS-304 Lx40x40x13.0
ステンレス SUS-304 t0.8貼り
付属品 1 化学水栓 (3方口) <D420>
1 化学水栓 (2方口) <D428>
1 シングルレバー混合栓<D51A1>
4 床固定金具

1800750850
50650400650
50200180
380200750
150150
75050600
※指定寸法以外は、斜線内に立上げ
配管立上り S=1/40
H：給水 20A
H：給湯 20A
D：排水 40A

区分	階	室名	機器番号	品名	型式	W	D	H	台数	給水・給湯・ガス・電気
備品	2	冷凍冷蔵洗浄室	G-2	流し台 スチールユニットタイプ	MNF09MM-SAAAA-AOT	900	750	850	1	給水・給湯・排水

名称 数量 備考
シンクトップ 1 ステンレス SUS-304 t1.0 深さ200mm
排水口 ステンレス製トラップ 40A 目皿付
本体主材 - スチール製
塗装 - 耐薬品性付建築仕上げ
(色：ホワイトW/ダークグレーW-30)
扉 - 両面化粧バークルボード (色：ホワイトD99)
付属品 1 化学水栓 (3方口) <D420>
2 床固定金具
耐震対策 - 耐震ラッチ付

配管立上り S=1/40
H：給水 20A
H：給湯 20A
D：排水 40A

450300120
100700100
150600
100300300
180200
※配管・配線は斜線内に立上げ

名称 数量 備考
シンクトップ 1 ステンレス SUS-304 t1.0 深さ250mm
排水口 ステンレス製トラップ 40A 両栓付
本体主材 - ステンレス SUS-304 Lx40x40x13.0
ステンレス SUS-304 t0.8貼り
付属品 1 化学水栓 (3方口) <D420>
1 化学水栓 (2方口) <D428>
1 シングルレバー混合栓<D51A1>
4 床固定金具

1800750850
50650400650
50200180
380200750
150150
75050600
※指定寸法以外は、斜線内に立上げ
配管立上り S=1/40
H：給水 20A
H：給湯 20A
D：排水 40A

区分	階	室名	機器番号	品名	型式	W	D	H	台数	給水・給湯・ガス・電気
備品	2	解制室機 (解制室 家畜)	H-1	ステンレス流し台	MNS18MM-SBABA-AOT	1800	750	850	1	給水・給湯・排水

名称 数量 備考
シンクトップ 1 ステンレス SUS-304 t1.0 深さ250mm
排水口 ステンレス製トラップ 40A 両栓付
本体主材 - ステンレス SUS-304 Lx40x40x13.0
ステンレス SUS-304 t0.8貼り
付属品 1 化学水栓 (3方口) <D420>
1 化学水栓 (2方口) <D428>
1 シングルレバー混合栓<D51A1>
4 床固定金具

1800750850
50650400650
50200180
380200750
150150
75050600
※指定寸法以外は、斜線内に立上げ
配管立上り S=1/40
H：給水 20A
H：給湯 20A
D：排水 40A

名称 数量 備考
シンクトップ 1 ステンレス SUS-304 t1.0 深さ250mm
排水口 ステンレス製トラップ 40A 両栓付
本体主材 - ステンレス SUS-304 Lx40x40x13.0
ステンレス SUS-304 t0.8貼り
付属品 1 化学水栓 (3方口) <D420>
1 化学水栓 (2方口) <D428>
1 シングルレバー混合栓<D51A1>
4 床固定金具

1800750850
50650400650
50200180
380200750
150150
75050600
※指定寸法以外は、斜線内に立上げ
配管立上り S=1/40
H：給水 20A
H：給湯 20A
D：排水 40A

区分	階	室名	機器番号	品名	型式	W	D	H	台数	給水・給湯・ガス・電気
備品	2	解制室機 (解制室 家畜)	H-2	ステンレス作業台	MUS12MM-SBAA-AOT	1200	750	850	1	-

名称 数量 備考
天板 1 ステンレス SUS-304 t1.2 t45仕上
本体主材 - ステンレス角パイプ SUS-304 t40x11.2
ステンレス角パイプ SUS-304 t5×18×t1.2
キャスター 4 φ75 (ストッパー付 2個)

1200750
15025
60
15025
900900
5050
180
E
※配管・配線は斜線内に立上げ

名称 数量 備考
天板 1 ステンレス SUS-304 t1.0 ヘアライン仕上げ
側板 透明ガラス t3.0
扉 透明ガラス t6.0 上下自在式

1200750
15025
60
15025
900900
5050
180
E
※配管・配線は斜線内に立上げ

名称 数量 備考
天板 1 ステンレス SUS-304 t1.0 ヘアライン仕上げ
側板 透明ガラス t3.0
扉 透明ガラス t6.0 上下自在式

1200750
15025
60
15025
900900
5050
180
E
※配管・配線は斜線内に立上げ

区分	階	室名	機器番号	品名	型式	W	D	H	台数	給水・給湯・ガス・電気
備品	*	解制室機 (解制室 家畜)	H-3	機械戸棚	MT41Z-1500型	1500	450	1700	1	-

名称 数量 備考
天板 1 ステンレス SUS-304 t1.2 t45仕上
本体主材 - ステンレス角パイプ SUS-304 t40x11.2
ステンレス角パイプ SUS-304 t5×18×t1.2
キャスター 4 φ75 (ストッパー付 2個)

1200750
15025
60
15025
900900
5050
180
E
※配管・配線は斜線内に立上げ

名称 数量 備考
天板 1 ステンレス SUS-304 t1.0 ヘアライン仕上げ
側板 透明ガラス t3.0
扉 透明ガラス t6.0 上下自在式

1200750
15025
60
15025
900900
5050
180
E
※配管・配線は斜線内に立上げ

名称 数量 備考
天板 1 ステンレス SUS-304 t1.0 ヘアライン仕上げ
側板 透明ガラス t3.0
扉 透明ガラス t6.0 上下自在式

1200750
15025
60
15025
900900
5050
180
E
※配管・配線は斜線内に立上げ

区分	階	室名	機器番号	品名	型式	W	D	H	台数	給水・給湯・ガス・電気
備品	*	解制室機 (解制室 家畜)	H-4	ステンレスエレクターシェルフ	SLS1520/PS1900型	1518	613	1892	1	-

名称 数量 備考
天板 1 ステンレス SUS-304 t1.2 t45仕上
本体主材 - ステンレス角パイプ SUS-304 t40x11.2
ステンレス角パイプ SUS-304 t5×18×t1.2
キャスター 4 φ75 (ストッパー付 2個)

1200750
15025
60
15025
900900
5050
180
E
※配管・配線は斜線内に立上げ

名称 数量 備考
天板 1 ステンレス SUS-304 t1.0 ヘアライン仕上げ
側板 透明ガラス t3.0
扉 透明ガラス t6.0 上下自在式

1200750
15025
60
15025
900900
5050
180
E
※配管・配線は斜線内に立上げ

名称 数量 備考
天板 1 ステンレス SUS-304 t1.0 ヘアライン仕上げ
側板 透明ガラス t3.0
扉 透明ガラス t6.0 上下自在式

1200750
15025
60
15025
900900
5050
180
E
※配管・配線は斜線内に立上げ

徳島県土整備部営繕課

設計 R7.7 竣工

●工事名 R7営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)

●図面名 備品詳細図7 (参考図)

●図面番号 A-311

●縮尺 -

株式会社 橋 建築 事務所
一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号
〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号
TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885
一級建築士登録 第333705号 森脇康明

区分	階	室名	機器番号	品名	型式	W	D	H	台数	給水・給湯・ガス・電気	区分	階	室名	機器番号	品名	型式	W	D	H	台数	給水・給湯・ガス・電気																																												
備品	*	解剖室棟（解剖室 家畜）	H-5	ケミカルワゴン	MY311-750H型	750	450	850	1	-	備品	*	解剖室棟（解剖室 野生動物）	J-1	ステンレス洗し台	MNS09WM-SAIBA-A0T	900	750	850	1	給水・給湯・ガス・電気																																												
											<table><tr><th>名称</th><th>数量</th><th>備考</th></tr><tr><td>シンクトップ</td><td>1</td><td>ステンレス SUS-304 t1.0 深さ250mm</td></tr><tr><td>排水口</td><td>-</td><td>ステンレス製トラップ 40A 目面付</td></tr><tr><td>本体主材</td><td>-</td><td>ステンレス SUS-304 L×40×40×13.0</td></tr><tr><td></td><td>-</td><td>ステンレス SUS-304 t0.8貼り</td></tr><tr><td>附属品</td><td>1</td><td>化学水栓 (3方口) <04201></td></tr><tr><td></td><td>4</td><td>床固定金具</td></tr></table>											名称	数量	備考	シンクトップ	1	ステンレス SUS-304 t1.0 深さ250mm	排水口	-	ステンレス製トラップ 40A 目面付	本体主材	-	ステンレス SUS-304 L×40×40×13.0		-	ステンレス SUS-304 t0.8貼り	附属品	1	化学水栓 (3方口) <04201>		4	床固定金具	<table><tr><td>本体</td><td>ステンレス SUS304 t1.0</td><td>ヘアライン仕上げ</td></tr><tr><td>側面</td><td>透明ガラス t3.0</td><td></td></tr><tr><td>前面</td><td>透明ガラス t3.0</td><td></td></tr><tr><td>側面</td><td>透明ガラス t6.0</td><td>上下自在式</td></tr></table>											本体	ステンレス SUS304 t1.0	ヘアライン仕上げ	側面	透明ガラス t3.0		前面	透明ガラス t3.0		側面	透明ガラス t6.0	上下自在式
名称	数量	備考																																																															
シンクトップ	1	ステンレス SUS-304 t1.0 深さ250mm																																																															
排水口	-	ステンレス製トラップ 40A 目面付																																																															
本体主材	-	ステンレス SUS-304 L×40×40×13.0																																																															
	-	ステンレス SUS-304 t0.8貼り																																																															
附属品	1	化学水栓 (3方口) <04201>																																																															
	4	床固定金具																																																															
本体	ステンレス SUS304 t1.0	ヘアライン仕上げ																																																															
側面	透明ガラス t3.0																																																																
前面	透明ガラス t3.0																																																																
側面	透明ガラス t6.0	上下自在式																																																															

区分	階	室名	機器番号	品名	型式	W	D	H	台数	給水・給湯・ガス・電気	区分	階	室名	機器番号	品名	型式	W	D	H	台数	給水・給湯・ガス・電気	区分	階	室名	機器番号	品名	型式	W	D	H	台数	給水・給湯・ガス・電気
備品	*	解剖室棟（解剖室 野生動物）	J-3	ステンレスエレクターシェルフ	SLS760/PS1900型	758	613	1892	1	-																						

<table><tr><td>棚板</td><td>SUS304ステンレス製ワイヤー</td></tr><tr><td>固定方式</td><td>テーパー固定方式</td></tr><tr><td>ポール</td><td>SUS304ステンレス製</td></tr><tr><td>棚板高さ調整</td><td>25.4mmピッチ</td></tr><tr><td>アジャスター</td><td>SUS304ステンレス製</td></tr></table>											棚板	SUS304ステンレス製ワイヤー	固定方式	テーパー固定方式	ポール	SUS304ステンレス製	棚板高さ調整	25.4mmピッチ	アジャスター	SUS304ステンレス製																						
棚板	SUS304ステンレス製ワイヤー																																									
固定方式	テーパー固定方式																																									
ポール	SUS304ステンレス製																																									
棚板高さ調整	25.4mmピッチ																																									
アジャスター	SUS304ステンレス製																																									

		徳島県土整備部営繕課	●工事名 R7 営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)		●図面番号 A-312	株式会社 橘 建 築 事 務 所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明
	設計 R7.7	竣工	●図面名 備品詳細図8 (参考図)		●縮尺 ー	

構造特記仕様書	
§ 1 一般事項	選択項目は、◎印を適用し、○印が無い場合は＊印を適用する。 ○印が複数有る場合は、共に適用する。

§ 2 構造計算ルート

2-2 鉄筋の継手及び定着

構造計算ルール別による主筋等の継手重ね長さとは柱に取り付く梁の定着長さ

- ＊ 建築基準法施行令第73条(政令第73条)による仕様規定
- ＊ 日本建築学会 JASS5、鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説
- ＊ 日本建築学会 鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説

XI両方向フルリフト3及び限界耐力計算の場合は、政令第73条の仕様規定によらずJASS5、鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説及び鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説とすることができる。

3-1 山留め、根切り

3-2 埋戻し土、盛土、残土処分

埋戻し土	* 根切り土の中の良土	・ 搬入良土
盛土	* 根切り土の中の良土	・ 搬入良土
残土処分	・ 場内地均し	* 場外搬出処分(◎ 自由 ・ 指定場所)

注(1) アンカーボルト支持用フレームの、あと施工アンカーを打込む部分は100以上とする。

(2) 端部aは100以上とする。

徳島県土整備部営繕課		●工事名	R7営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)
設計	R7.7	竣工	●図面名 【庁舎棟】構造特記仕様書

※（参考）

エルマッドS工法(GBRC性能証明第11-14号 改3(更1)) 特記仕様書
— スラリー系機械攪拌式ブロック状地盤改良工法 —

1. 工法概要

本工法は、セメント系固化材液を用いて現地土を流動化処理することで、ブロック状の均質な地盤改良体を築造する工法である。

2. 一般事項

本工法は、本特記仕様書によるほか下記の参考資料による。
『2018年版 建築物のための改良地盤の設計および品質管理指針』
(財)日本建築センター・ベタリーピング

3. 特記事項

改良体の形状、寸法、及び配置は、設計図書による。ただし土質や地盤の状況により設計仕様を変更した方が適切と判断される場合は、監督員の承認を受けて変更することができる。

本工事における改良体の設計基準強度 (σ_{28}) は下記の通りとする。
 $F_c = (0.75 \text{ N/mm}^2)$

- ・長期設計地耐力 : $LF_c = 250 \text{ kN/m}^2$
- ・推定配合量 : 220 kg/m^3
- ・使用予定硬化材料 : セメント系固化材
- ・改良長(1回につき) : $0.6 \sim 6.0 \text{ m}$
- ・施工管理装置 : 改良体の出来形・電気比抵抗値
攪拌時間もしくは羽根切り回数を記録
- ・攪拌混合装置 : ローター式バケットミキサー もしくは
(砂質土) ミキシングバケット・スケルトンバケット
- ・供試体の採取方法 : 未固化試料採取 または、頭部コア・全長コア
- ・造成工事業者 : 建築技術審査証明書を取得した専門業者の責任施工

4. 施工計画

工事に先だち下記事項を記載した施工計画書を監督員に提出し承諾を受ける。

- ① 工事概要
- ② 計画・設計の条件
- ③ 施工計画(施工機械・作業計画・材料計画・工程計画)
組織編成表
工程
使用機械
使用材料
施工手順
作業手順
- ④ 施工管理計画
- ⑤ 品質管理計画
- ⑥ 安全管理計画
- ⑦ 技術資料
- ⑧ その他

5. 配合計画

(1) 配合強度

次式を用いて求める。

$$Xf = at \times F_c$$

Xf : 配合強度

at : 変動係数・採取ヶ所数による割増係数

F_c : 設計基準強度

割増係数(at) 合格率80%

採取ヶ所数 N		1	2	3	4~6	7~8	9~
変動係数	0.25	2.163	1.918	1.815	1.719	1.651	1.594
	0.30	2.287	1.988	1.888	1.756	1.680	1.619
	0.35	2.425	2.064	1.923	1.784	1.711	1.645

(2) 室内配合試験

室内配合試験用サンプル採取 1箇所

室内試験用土砂採取の上、改良対象土について下記の試験を行い、試験結果と配合強度を基に添加量を決定する。

①単位体積重量・含水比・粒度組成

②試験練 (JGS0821による供試体の製作)

イ. 推定算定式を用い、必要固化材量・水量を求める。

ロ. 所定量の土・固化材・水を添加し、ソイルミキサーにて混合する。

・材令3日・材令7日の一軸圧縮試験

一軸圧縮試験は、JIS A 1108による。

・六価クロム溶出試験を行い、基準値以内であることを確認する。

6. 施工要領

基本的な施工手順を以下に示す。施工の障害になる事項が判明した場合は別途検討する。

- ① 施工位置を確認する。
- ② 掘削
- ③ 掘削完了・計測
- ④ 流動化処理工程(計測初期値セット)
- ⑤ 流動化処理工程(造成)
- ⑥ 流動化処理工程(品質管理)
- ⑦ 未固化試料採取
- ⑧ 造成完了
- ⑨ 施工に対して質疑が生じた場合は、ただちに監督員と協議しその指示を受ける。

7. 施工管理

施工管理には、改良寸法と混合状態がリアルタイムに表示される管理装置を用いる。

- (1) 支持層を目標にて確認
- (2) 改良寸法の計測
- (3) 固化材及び添加水の計量
- (4) 混合状態及び出来形を管理装置にて確認
 - ・電気比抵抗値測定センサーにて比抵抗が 20Ω 以内であること。
 - ・攪拌時間が m^3 当り1.5分以上であること。もしくは、バケットミキサーを使用時は回転計にて羽根切り回数が $1000 \text{ 回}/\text{m}^3$ に達しているか確認する。
- (5) 改良天端レベルの確認

8. 配合管理

- (1) 本工法に用いる固化材は、セメントおよびセメント系固化材とする。
- (2) 一回に施工する改良体積 ($B \times L \times H$) を計測し、必要な固化材量と水量を算出する。

9. 品質管理

- (1) 頭部もしくは深部サンプラーの圧縮試験用の供試体は $50 \phi \times 100 \text{ H}$ とする。
- (2) 供試体の作成は原則として検査対象 150 m^3 に1ヵ所または一日1回とするが、監督員と協議の上決定する場合がある。
- (3) 材齢28日で一軸圧縮試験を行う。
- (4) 検査手法Aによる品質検査とする。
 $X_n \geq X_L = F_c + k_a \cdot \sigma_d = F_c + k_a [F_c \times V_d / (1 - 1.3 V_d)]$
 X_n : Nヶ所の一軸圧縮強度の平均値
 X_L : 合格判定値
 F_c : 設計基準強度
 k_a : 合格判定係数
 σ_d : 標準偏差
 V_d : 変動係数 (25%)

採取箇所数 N	1	2	3	4~6	7~8	9~
合格判定係数 k_a	1.9	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3

(5) 材令28日強度は合格判定値を上回る事を確認する。

(6) 合格判定値を下回る場合は、その原因を調査し、監督員と協議のうえ適切な処置を施す。

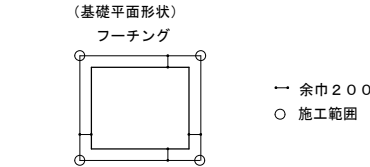
10. 報告書等

工事完了後、以下の項目について報告書を作成し、監督員に提出する。

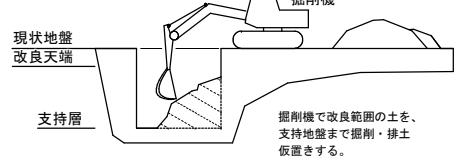
- (1) 工事日報
- (2) 施工順序の記録
- (3) 工事写真
- (4) 一軸圧縮試験結果

標準施工手順

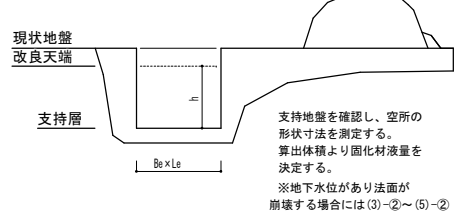
(1) 施工位置の確認



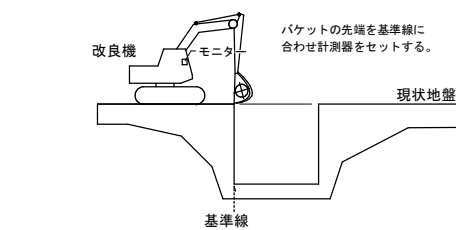
(2) 掘削工程



(3) 掘削完了・計測



(4) 流動化処理工程(計測初期値セット)



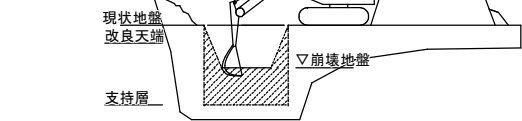
崩壊の危険性が高い場合の施工手順

(2) より→

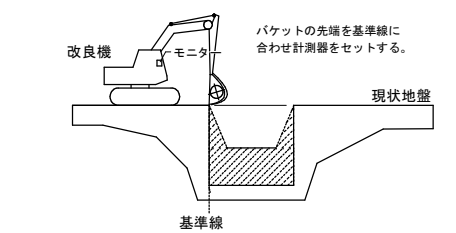
(3) -2

掘削面が崩壊する為、改良範囲内をのり面を付けながら、所定量の排土を行う。

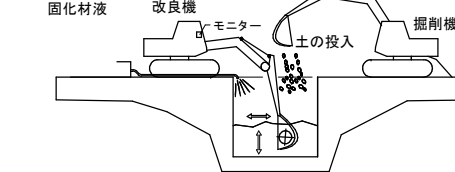
掘削完了後に所定の固化材液を投入する。



(4) -2 流動化処理工程(計測初期値セット)

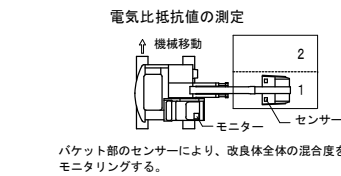


(5) 流動化処理工程(造成)

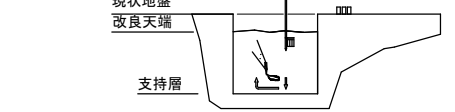


仮置き土を入れ戻しつつ、固化材液(もしくは固化材と水)を投入し、改良機のバケットミキサーで土と混合攪拌する。混合ローターが所定の時間もしくは羽根切り回数を満たし、かつ電気比抵抗値分布が横方向に均一になるまで、混合攪拌する。

(6) 流動化処理工程(品質管理)

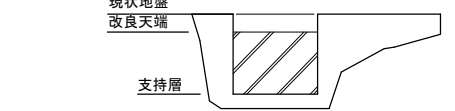


(7) 試料採取(品質管理)



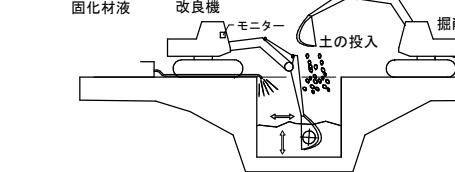
流動化処理工程完了後、頭部もしくは深部サンプラーを挿入し一軸圧縮強度試験用の供試体採取する。

(8) 造成完了



改良体の天端を確認する。

(5) -2 流動化処理工程(造成)



- ①1次攪拌混合・・・所定の改良範囲まで崩壊地盤以下の現位置土と固化材液を攪拌混合する。
- ②2次攪拌混合・・・仮置き土を所定量入れ戻しながら固化材液を攪拌混合する。
- ③改良体全体の攪拌混合
・・・改良体全体を上下前後に攪拌混合し、全体が均質であることをモニターで確認する。
→ (6)へ

一級建築士 登録 第305644号

構造設計一級建築士 交付 第 8430号 中村 康一

徳島県土整備部営繕課		●工事名 R 7 営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築(担い手確保型)	●図面番号 S-02	株式会社 橘 建 築 事 務 所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明
設計 R7.7	竣工	●図面名 【庁舎棟】構造特記仕様書	●縮尺 NON	

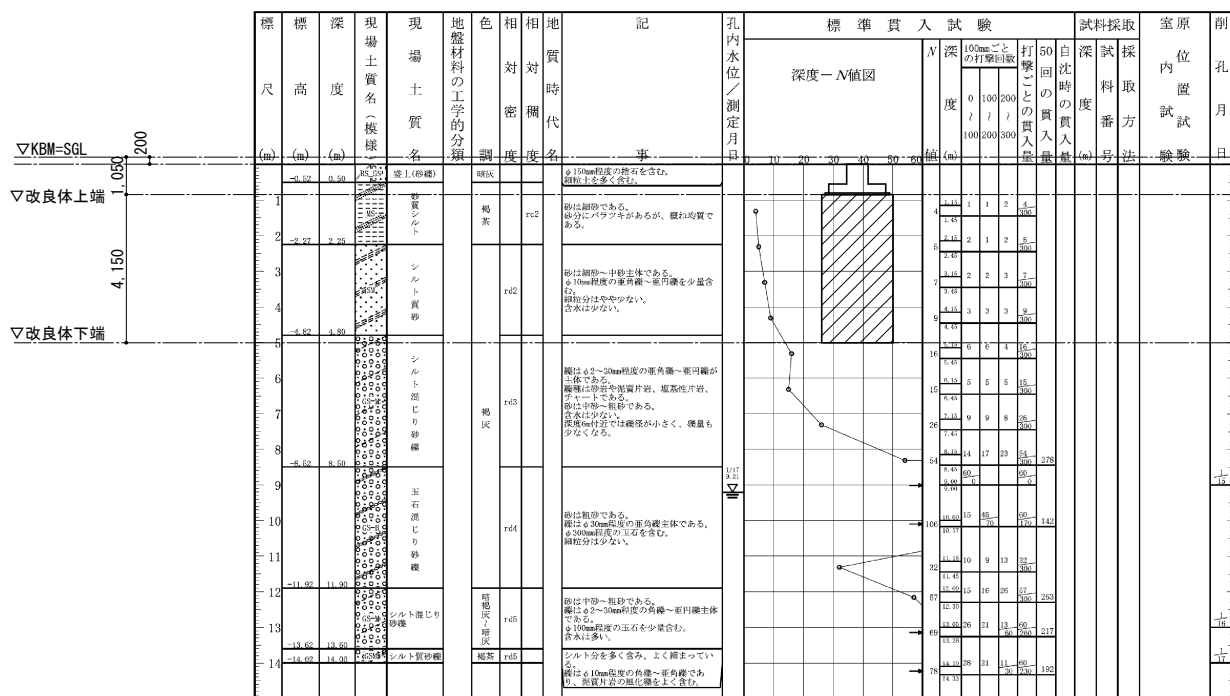
土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 查 名 R 6 當繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 地質解析調査業務

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名 No. 1		調査位置 徳島県三好郡東みよし町中庄		北緯 34° 02' 10.23"	
発注機関 徳島県土木整備部		調査期間 2025年 1月 15日 ~ 2025年 1月 17日		東経 133° 57' 54.60"	
調査依頼者 株式会社エス・ピー・シー TEL 0883-52-1621		主任技師 竹田 一貴 ※資格番号 第24558号		コ ー デ ー 竹田 一貴 ※資格番号 第24558号	
調査業者名 KRM -0.02m		代理人 竹田 一貴 ※資格番号 第24558号		コ ー デ ー 竹田 一貴 ※資格番号 第24558号	
調査 深 度 14.00m		代 理 人 竹田 一貴 ※資格番号 第24558号		コ ー デ ー 竹田 一貴 ※資格番号 第24558号	
総 掘 孔 長 14.00m		使 用 機 東邦地下工機D-3型		ポン プ 東邦地下工機B-3型	
					



柱状图(1) $S=1/150$

(車庫・駐車場棟)

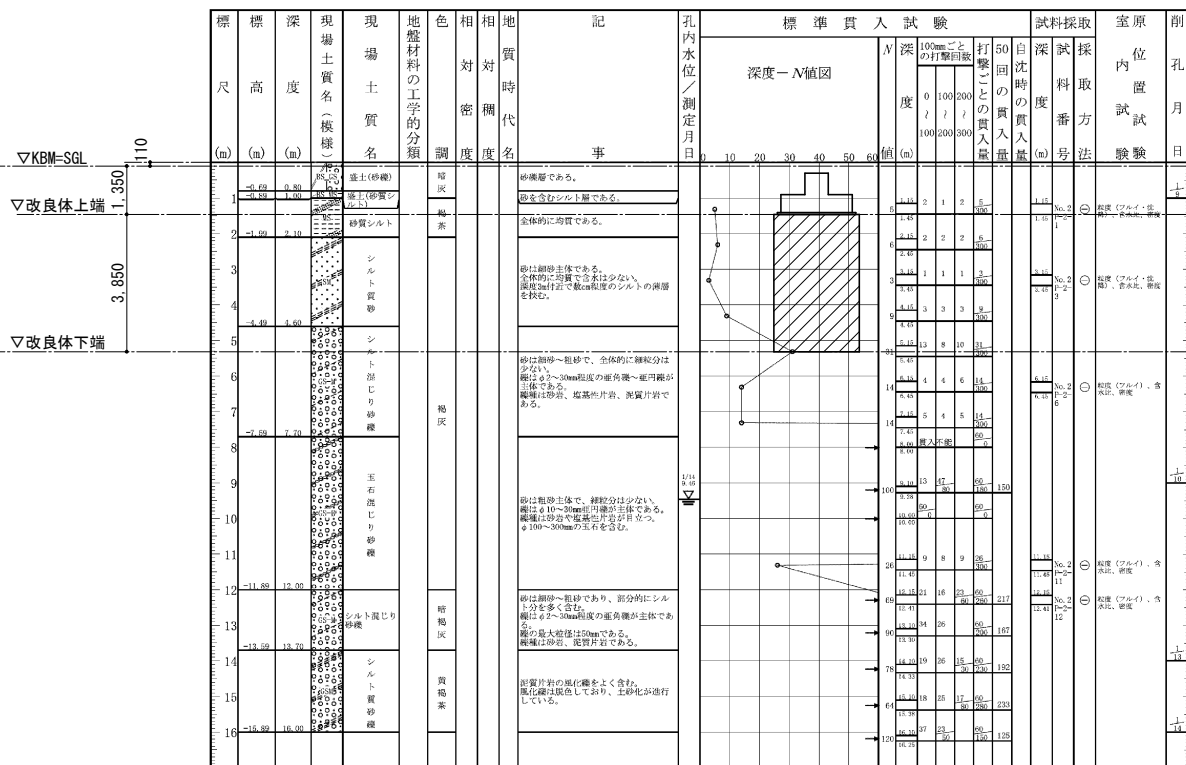
土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 查 名 R 6 營繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 地質解析調查業務

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名 No.2		調査位置		徳島県三好郡東みよし町中庄			北緯 34° 02' 10.39"	
発注機関		徳島県土整備部		調査期間			東経 133° 57' 55.45"	
調査業者名		株式会社エス・ピー・シー 電話 0883-52-1621		主任技師			東経 133° 57' 55.45"	
調査標高		RIM 0.11m		主 任 技 師			ボーリング 責任者	
総 掘 尺 長		16.00m		代 理 人			実 施 者	
角 度				試 験 機			東邦地下工機D-1型	
方 位				使 用 機			ポン プ	
地 盤 記 載		船 上			エンジン			東邦地下工機B-3型



柱状图(2) $S=1/150$

(庁舎棟)

一級建築士 登録 第305644号

構造設計一級建築士 交付 第 8430号 中村 康一

株式会社 橘 建築 事務所

一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号
〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号
TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885

一級建築士登録 第333705号 森脇康明

●工事名 R7営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築
(担い手確保型)

●図面名

【全棟共通】柱状図(1)

● 図面番号

●縮尺

徳島県県土整備部営繕課

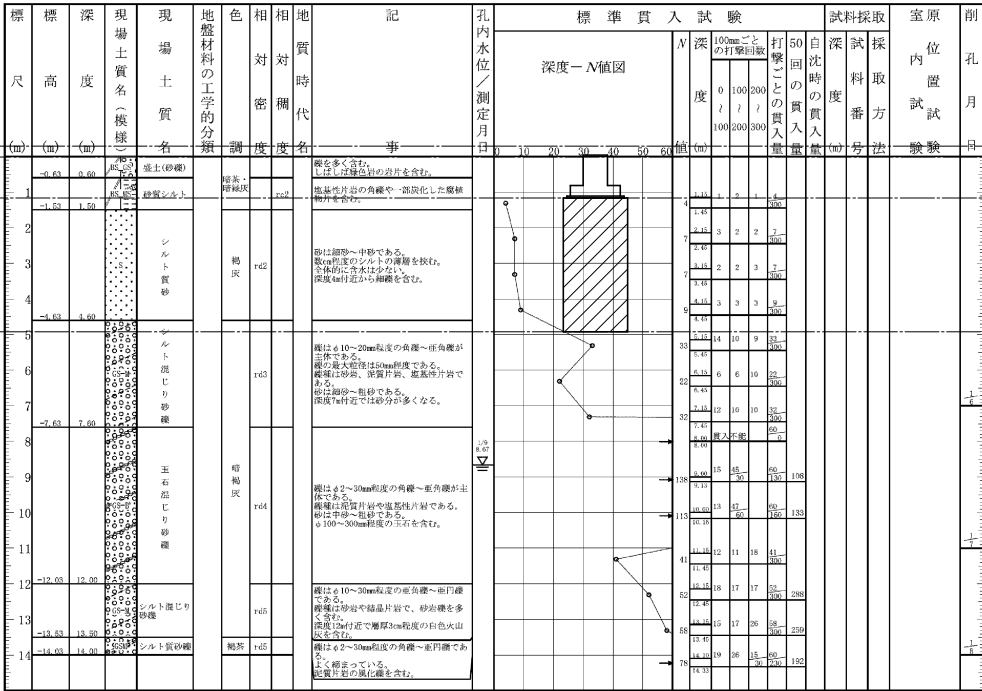
設計

R7.7

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	R 6 営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 地質解析調査業務
事業名 または 工事名	
調査目的及び調査対象	建築 構造物基礎

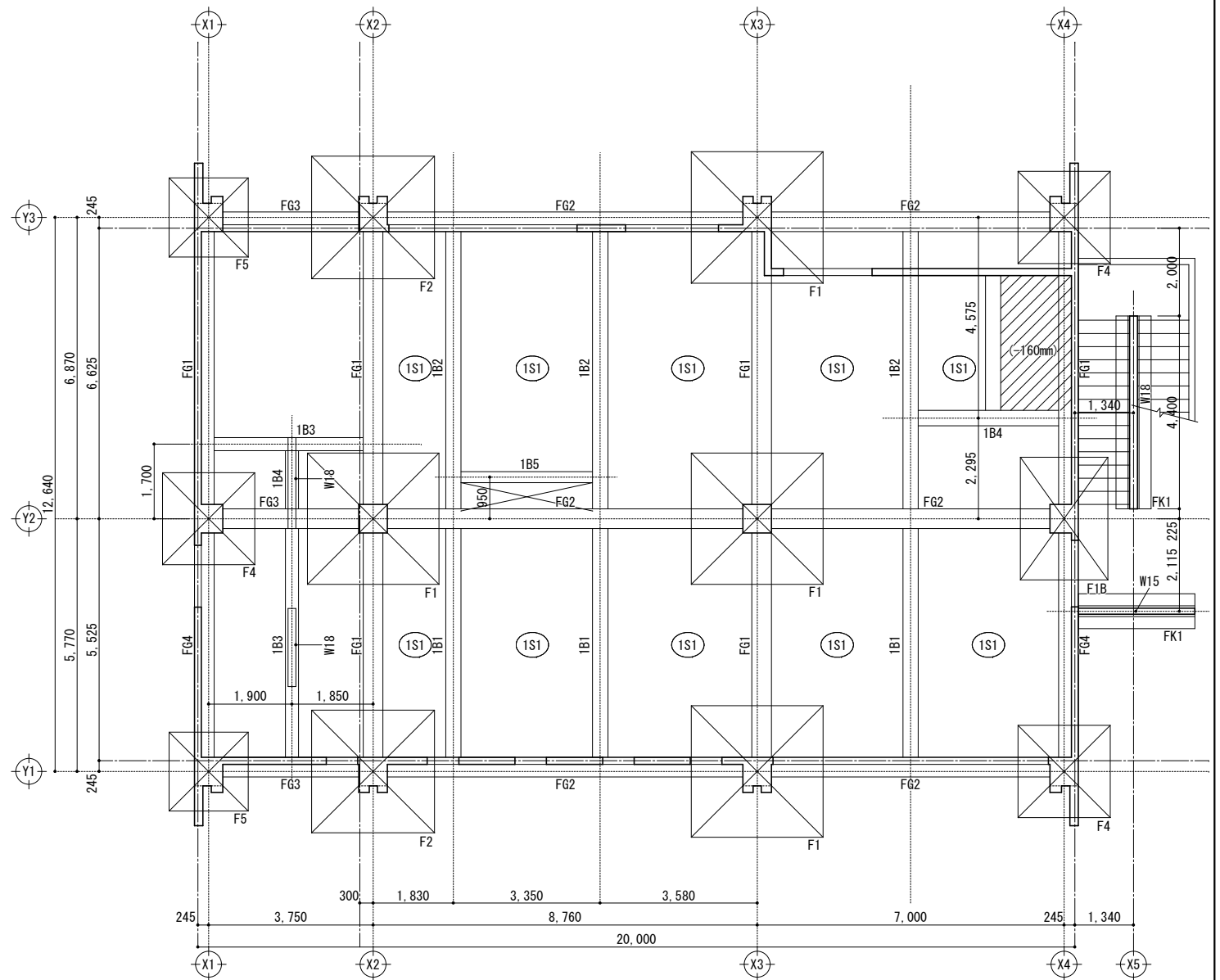
ボーリング名	No. 3	調査位置	徳島県三好郡東みよし町中庄	北緯	34° 02' 10.37"				
発注機関	徳島県県土整備部	調査期間	2025年 1月 6日 ～ 2025年 1月 9日	東経	133° 57' 56.29"				
調査業者名	株式会社エス・ピー・シー 電話 0883-52-1621	主任技師	竹田 一貴 第24558号	現場代理人	竹田 一貴 第24558号	コソ確定者	竹田 一貴 第24558号	ボーリング責任者	竹田 一貴 第24558号
孔口標高	KBM +0.03m	角	180° 上下 90°	方位	北 0° 西 270° 東 90°	地盤勾配	鉛直 90°	使用機種	試験機 東邦地下工機D-1型 エンジン クボタER-80
総削孔長	14.00m							ポンプ	東邦地下工機BG-3型



柱状図 (3) S=1/150
(解剖室棟)

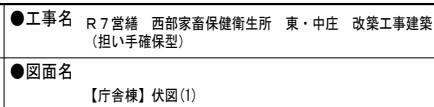
一級建築士 登録 第305644号
構造設計一級建築士 交付 第 8430号 中村 康一

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名	R 7 営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)	●図面番号	S-04	株式会社橘 建築事務所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明	
	設計	竣工	●図面名	●縮尺	1/150		
	R7.7		【全棟共通】柱状図 (2)				



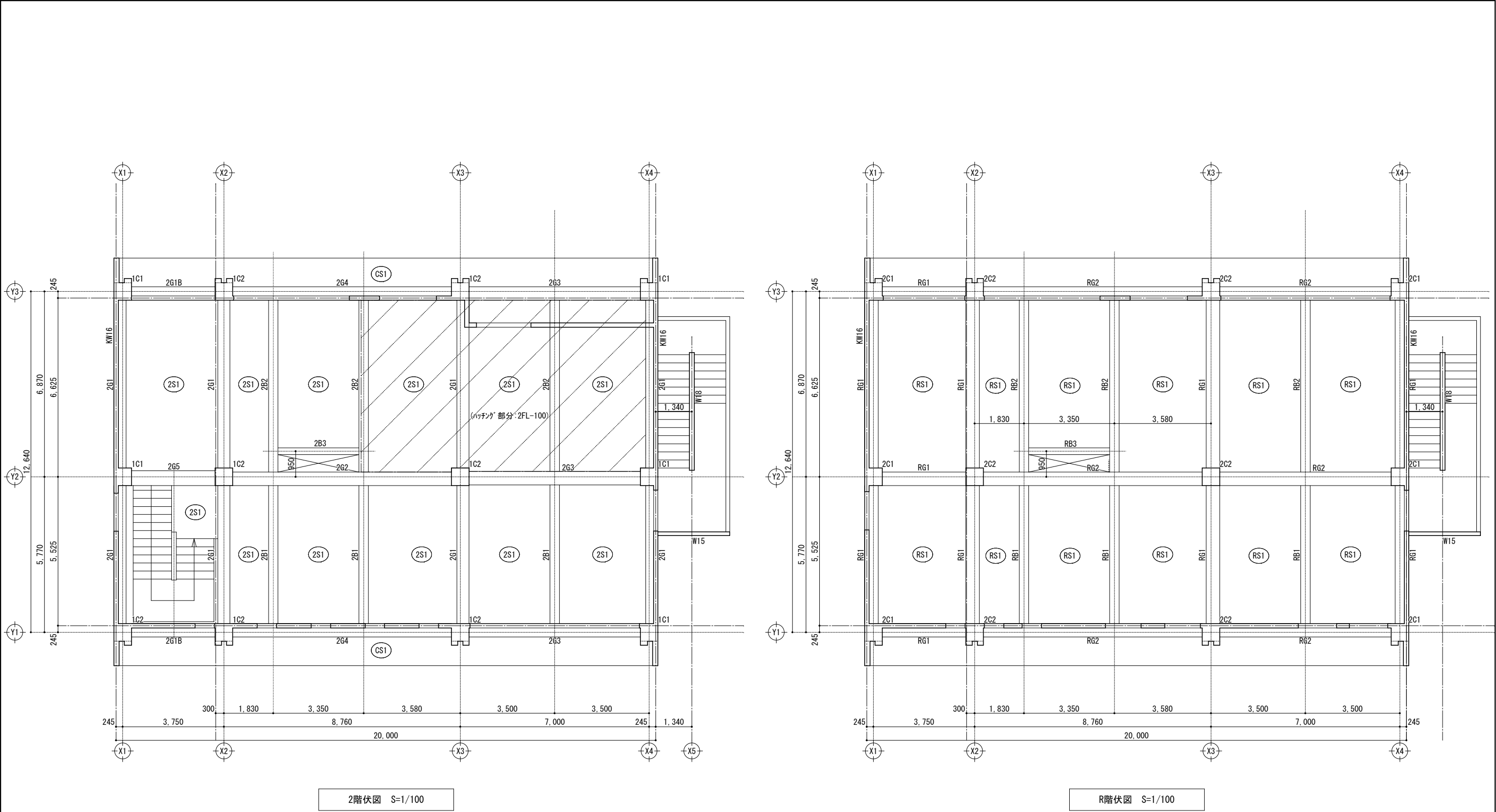
基礎伏図 S=1/100

基礎伏図 S=1/100



株式会社橘建築事務所
一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号
〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号
TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885
一級建築士登録 第333705号 森脇康明

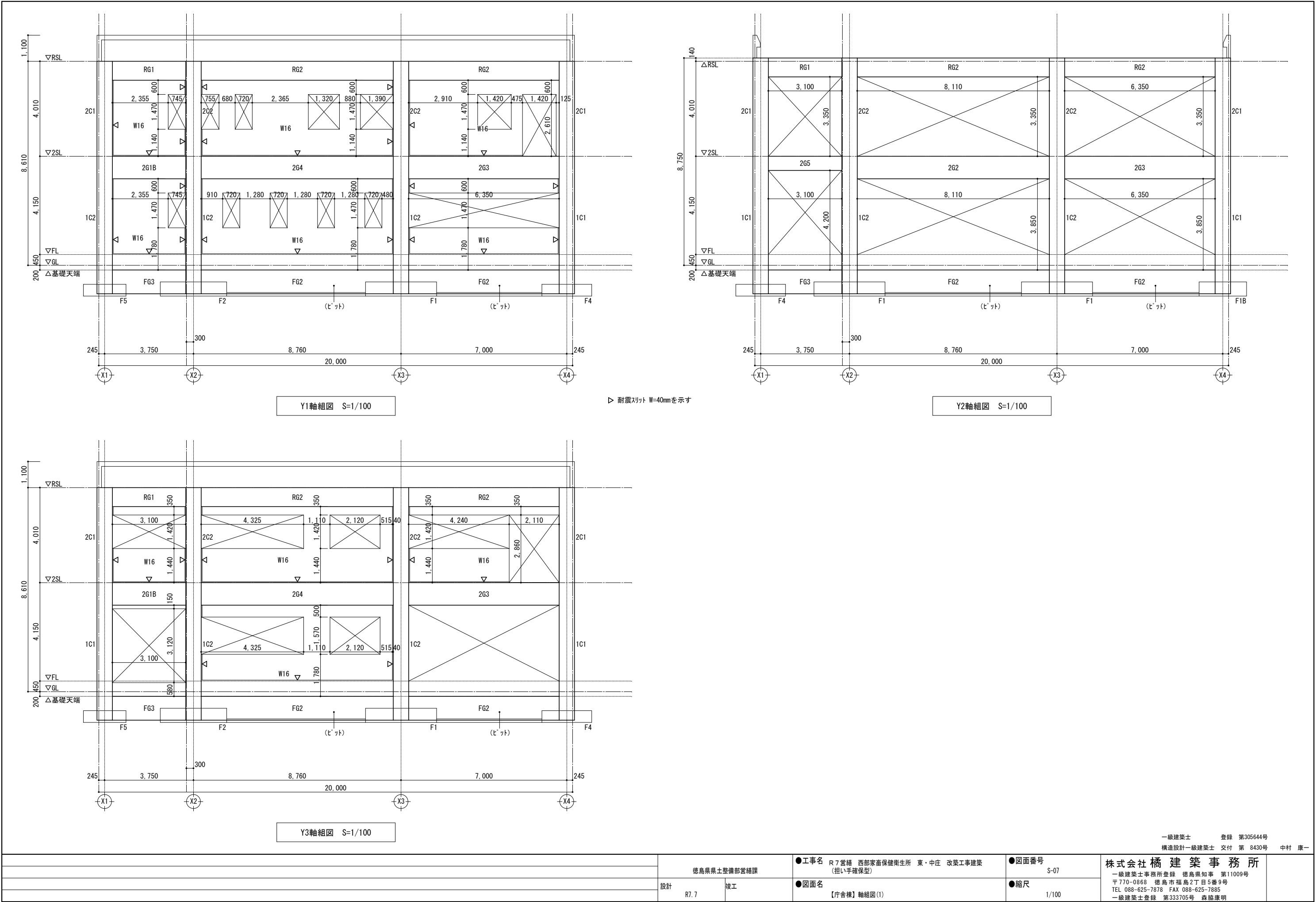
			●工事名 R7営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)	●図面番号 S-05	株式会社 橘 建 築 事 務 所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明
			●図面名 【庁舎棟】 伏図(1)	●縮尺 1/100	
		徳島県県土整備部営繕課			
		設計 R7.7	竣工		

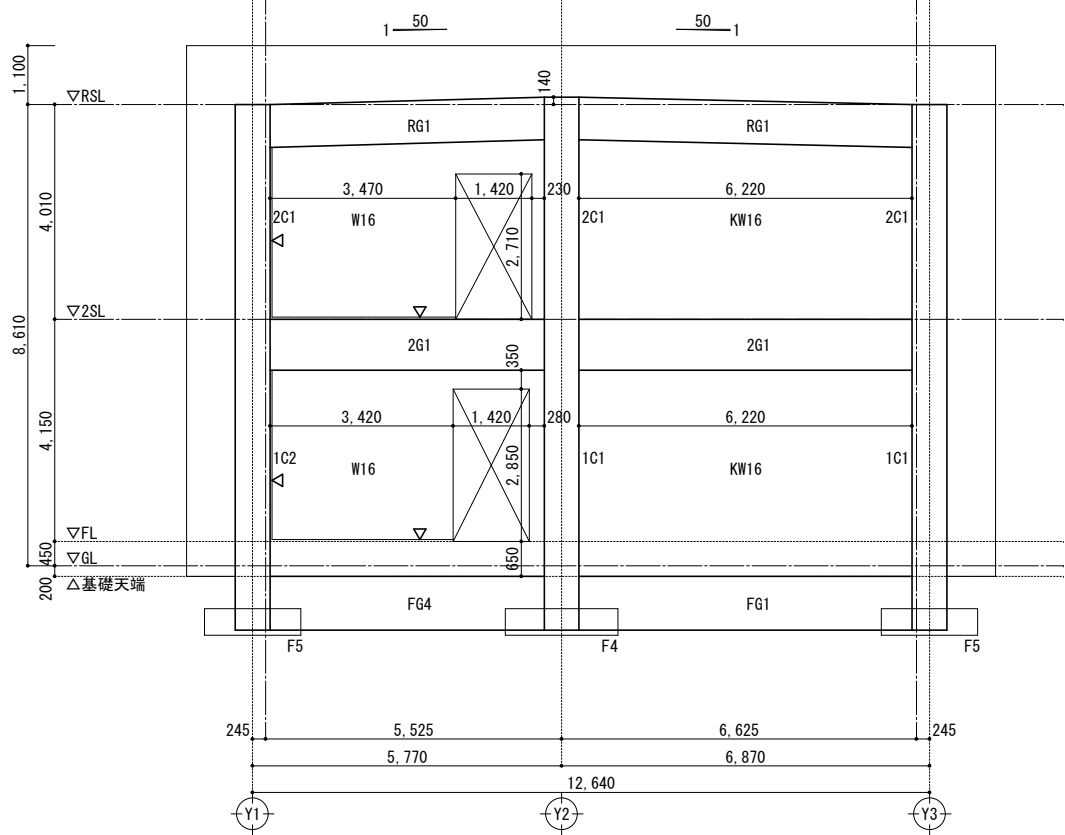


Y+方向
X+方向

				一級建築士 登録 第305644号 構造設計一級建築士 交付 第 8430号 中村 康一		
		徳島県土整備部営繕課		●工事名 R 7 営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)	●図面番号 S-06	株式会社 橘 建 築 事 務 所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明
設計 R7.7		竣工	●図面名 【庁舎棟】伏図(2)	●縮尺 1/100		

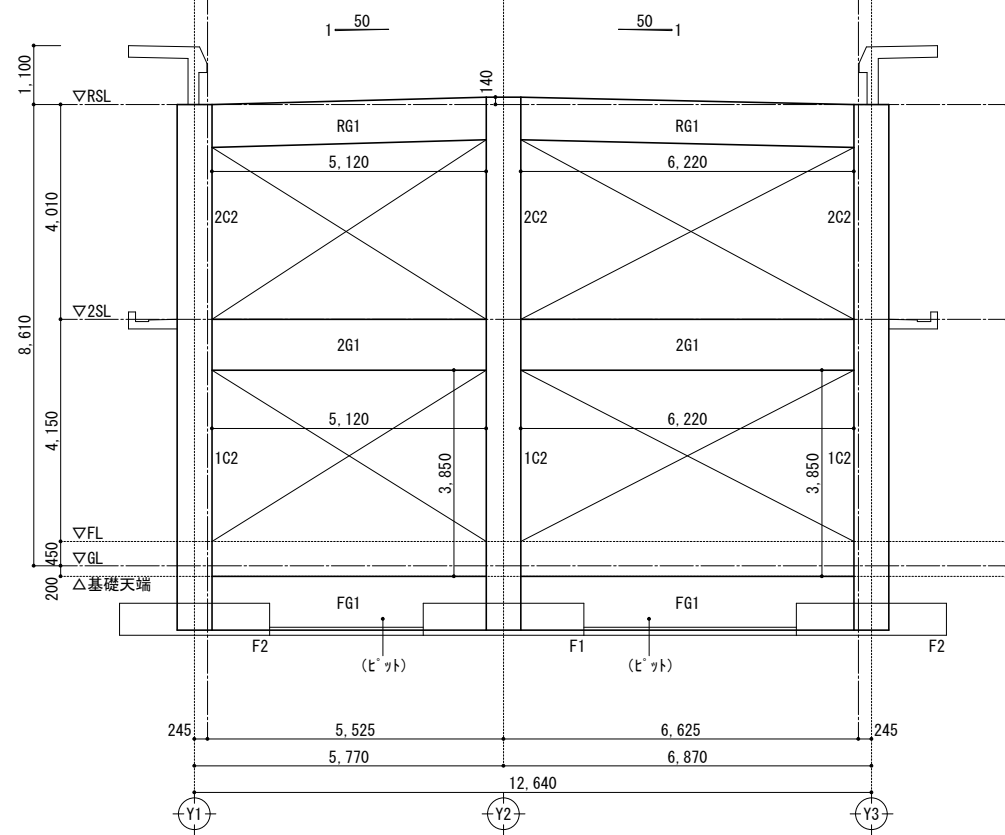
一級建築士 登録 第305644号
構造設計一級建築士 交付 第 8430号 中村 康一



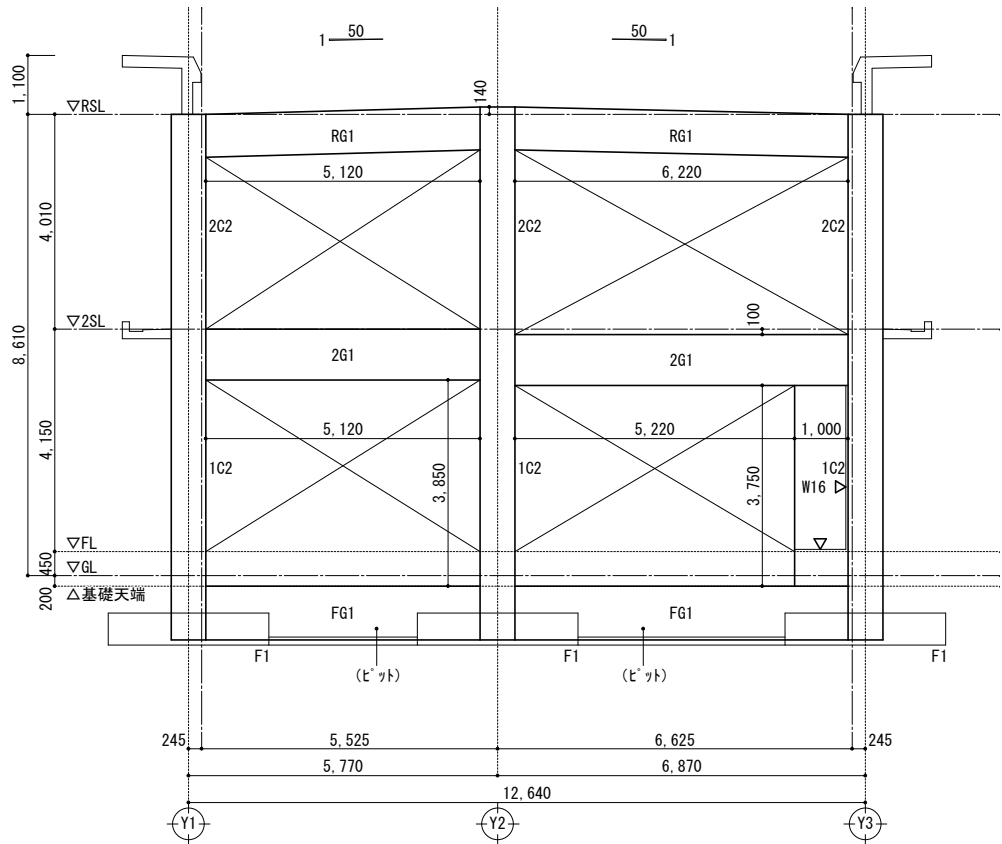


X1軸組図 S=1/100

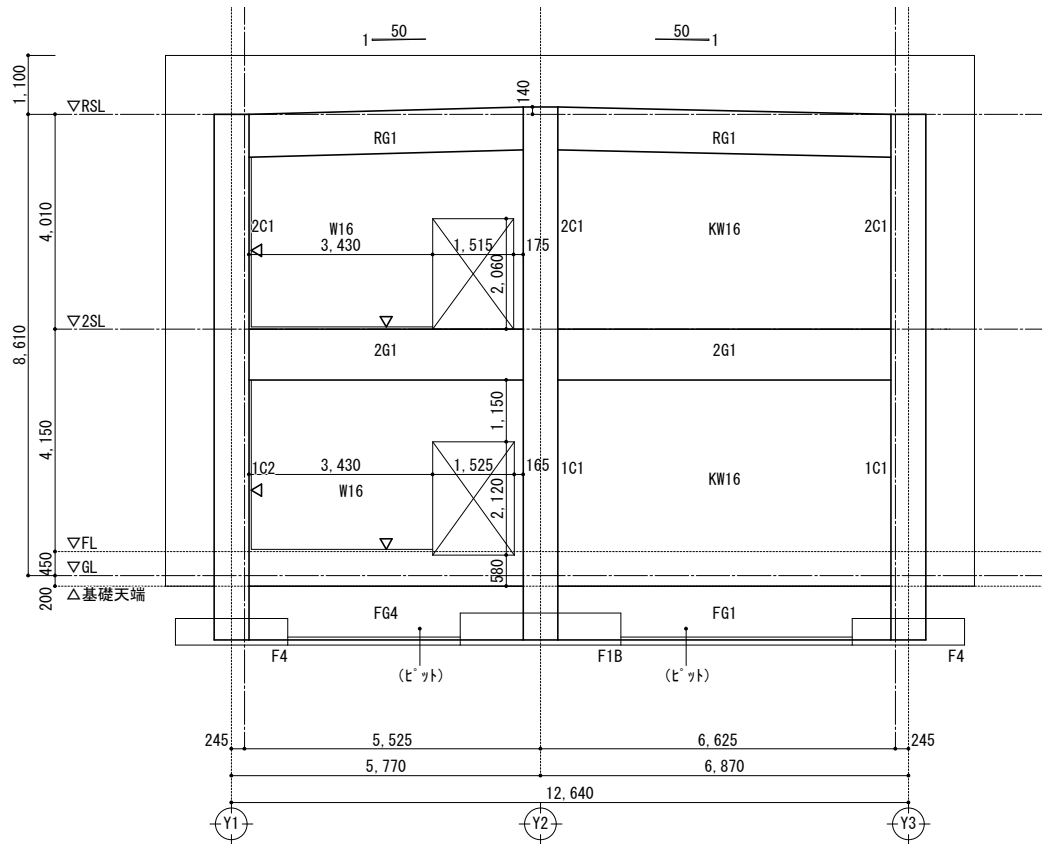
▷ 耐震スリット W=40mmを示す



X2軸組図 S=1/100



X3軸組図 S=1/100



X4軸組図 S=1/100

一級建築士 登録 第305644号
構造設計一級建築士 交付 第 8430号 中村 康一

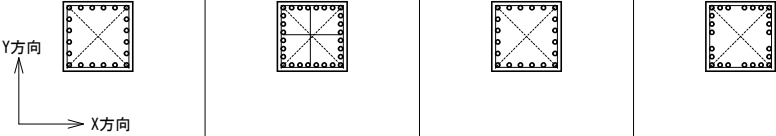
		徳島県県土整備部営繕課	●工事名 R 7 営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)	●図面番号 S-08	株式会社 橘 建 築 事 務 所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明	
			●図面名 【庁舎棟】 軸組図 (2)	●縮尺 1/100		
設計 R7.7	竣工					

梁断面リスト																																								
符号	F61					F62					F63					F64																								
b×D	450×1000					450×1000					450×1000					450×1000																								
部分						両端					中央					左端					中央・右端																			
上筋	5-D22					5/3-D22					5-D22					5/3-D22					5/2-D22					5-D22														
腹筋	2-D13					6-D13					2-D13					6-D13					2-D13					2-D13														
下筋	5-D22					5/3-D22					5-D22					5/3-D22					5/2-D22					5-D22														
S, T	D13@200					D13@200					3-D13@200					D13@200																								
幅止筋	D10@1000					D10@1000					D10@1000					D10@1000																								
断面図																																								
符号	2G1					2G1B					2G2					2G3					2G4					2G5														
b×D	450×950					500×950					500×950					500×950					500×950					550×600														
部分	全断面					全断面					両端					中央					全断面					両端					中央					全断面				
上筋	5-D22					5/2-D22					5/4-D22					5-D22					5/3-D22					5/3-D22					5/2-D22					5/2-D22				
腹筋	2-D13					2-D13					6-D13					2-D13					6-D13					2-D13					2-D13					2-D10				
下筋	5-D22					5/2-D22					5/4-D22					5-D22					5/3-D22					5-D22					5/3-D22					5/2-D22				
S, T	D13@200					D13@200					3-D13@200					3-D13@200					3-D13@200					3-D13@200					2-D13@100									
幅止筋	D10@1000					D10@1000					D10@1000					D10@1000					D10@1000					D10@1000					D10@1000									
断面図																																								
符号	RG1					RG2																																		
b×D	500×800					500×800																																		
部分	全断面					全断面																																		
上筋	5-D22					6/3-D22																																		
腹筋	2-D13					6-D13																																		
下筋	5-D22					6/3-D22																																		
S, T	D13@200					D13@200																																		
幅止筋	D10@1000					D10@1000																																		
断面図																																								
符号	1B1・2B1					1B2・2B2					1B3					1B4					RB1					RB2					1B5/2B3/RB3									
b×D	350×650					350×650					350×650					350×650					350×700					350×700					250×400									
部分	左端	中央	右端	左端	中央	右端	左端	中央	右端	左端	中央	右端	中央	左端	中央	右端	左端	中央	右端	左端	中央	右端	全断面																	
上筋	2-D22	2-D22	3/2-D22	4/2-D22	2-D22	2-D22	2-D22	2-D22	2-D22	2-D22	2-D22	2-D22	2-D22	2-D22	2-D22	3/2-D22	4/2-D22	2-D22	2-D22	4/2-D22	2-D22	2-D22	2-D16																	
腹筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	-																	
下筋	2-D22	3-D22	2-D22	2-D22	3-D22	2-D22	2-D22	3/2-D22	2-D22	2-D22	3/2-D22	2-D22	2-D22	2-D22	3-D22	2-D22	2-D22	3-D22	2-D22	2-D22	3-D22	2-D22	2-D16																	
S, T	D10@200					D10@200					D10@200					D10@200					D10@200					D10@200														
幅止筋	D10@1000					D10@1000					D10@1000					D10@1000					D10@1000					D10@1000					-									
断面図																																								

コンクリート強度 : $F_c=24\text{N/mm}^2$
鉄筋 : D10~D16=SD295
D19~=SD345

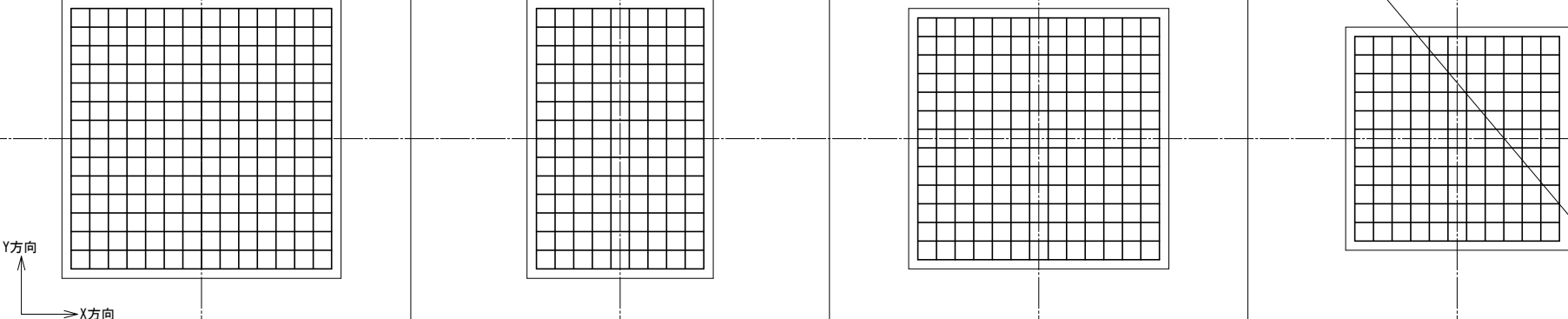
一級建築士 登録 第305644号
構造設計一級建築士 交付 第 8430号 中村 康一

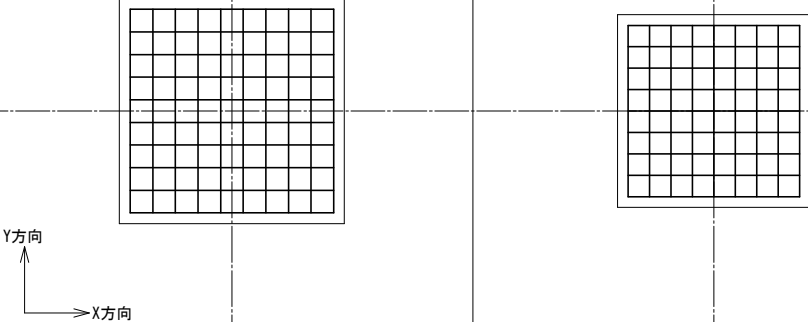
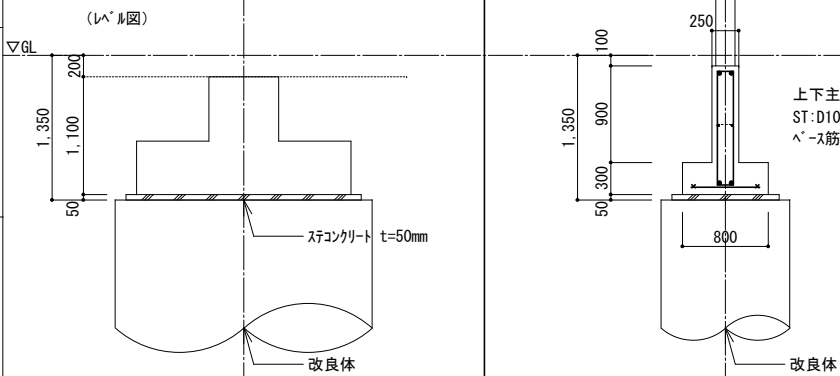
		徳島県土整備部営繕課		●工事名	R7営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)	●図面番号	S-09	株式会社 橋 建 築 事 務 所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明	
				●図面名		●縮尺			
設計		竣工	【庁舎棟】部材リスト(1)	1/50					
R7.7									

柱断面リスト				
符号	1C1	1C2	2C1	2C2
b×D	650×650	650×650	650×650	650×650
部分	全断面	全断面	全断面	全断面
X方向	6-D22	8-D22	6-D22	7-D22
Y方向	6-D22	8-D22	6-D22	7-D22
HOOP	D13@100	3-D13@100	D13@100	D13@100
幅止筋	D10@1000	D10@1000	D10@1000	D10@1000
断面図				

壁配筋リスト					
記 号	KW16	W15	W16	W18	
厚 サ	160	150	160	180	
垂直断面					
	シングル	ダブル	シングル	ダブル	
	縦 筋	D10@100	D10@200	D10@100	D13@200
	横 筋	D10@100	D10@200	D10@100	D10@200
	開口補強筋				
縦	-	-	2-D13	-	
横	-	-	2-D13	-	
斜 め	-	-	2-D13	-	

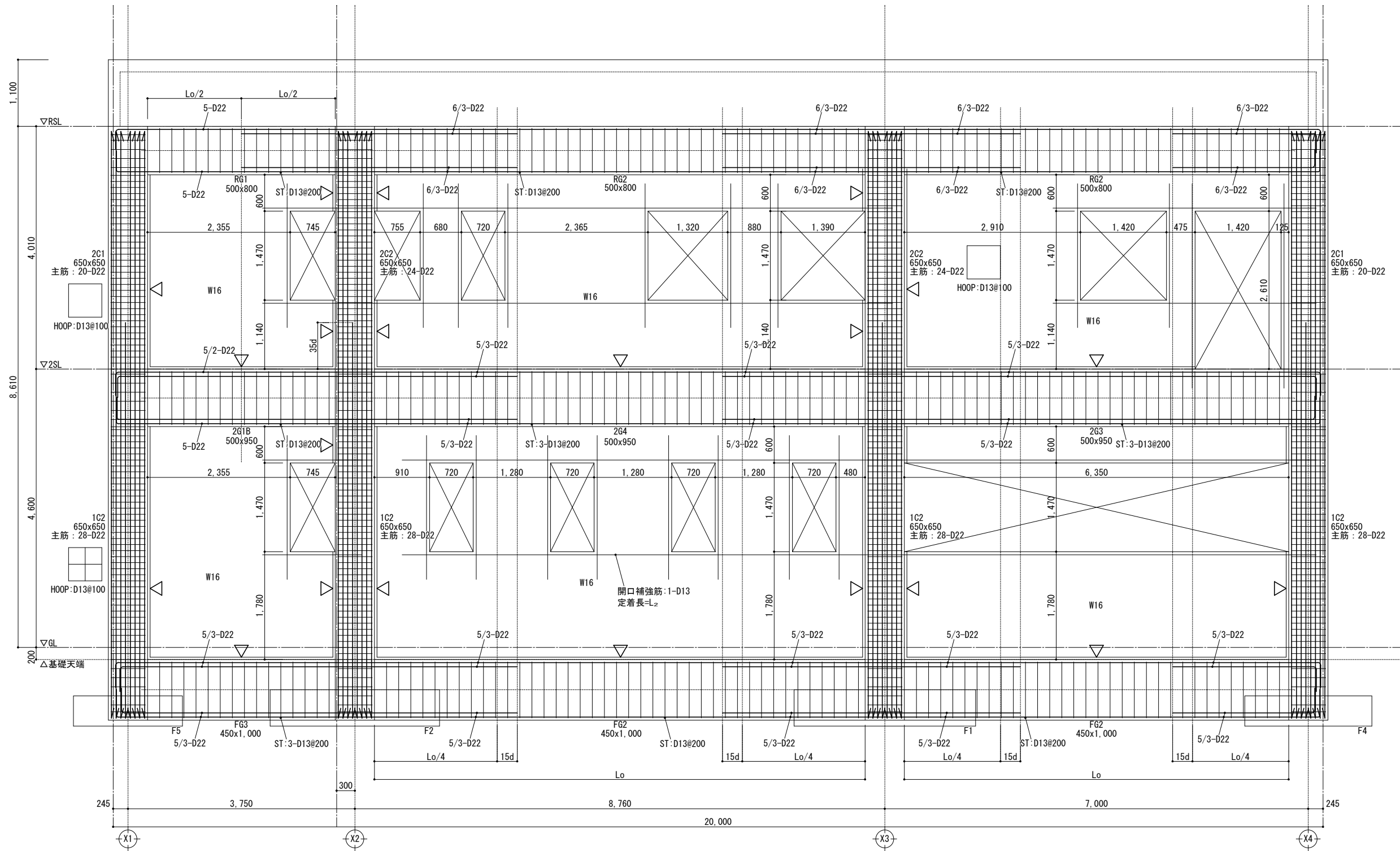
スラブ配筋リスト								
記 号	1S1		2S1		RS1			
厚 サ	150		150		160			
方 向	短辺方向	長辺方向	短辺方向	長辺方向	短辺方向	長辺方向		
上端筋	D13 @ 200	D13 @ 200	D13 @ 200	D13 @ 200	D13 @ 200	D13 @ 200		
下端筋	D13 @ 200	D13 @ 200	D13 @ 200	D13 @ 200	D13 @ 200	D13 @ 200		

基礎リスト				
符号	F1	F1B	F2	F3
B×D	3,000 x 3,000	2,000 x 3,000	2,800 x 2,800	2,400 x 2,400
厚サ	600	600	600	500
ﾊﾞｰｽ筋	15-D22	X=15-D22 Y=10-D22	14-D22	12-D22
ﾊｵﾏ筋	15-D13	X=15-D13 Y=10-D13	14-D13	12-D13
断面図				

基礎リスト			FK1
符号	F4	F5	
B×D	2,100 x 2,100	1,800 x 1,800	
厚サ	500	500	
ﾊﾞｰｽ筋	10-D22	9-D22	
ﾊｵﾏ筋	10-D13	9-D13	
断面図			

一級建築士 登録 第305644号
構造設計一級建築士 交付 第 8430号 中村 康一

	徳島県土整備部営繕課	●工事名 R7営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)	●図面番号 S-10	株式会社橘 建築事務所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明
	設計 R7.7	竣工	●縮尺 1/50	

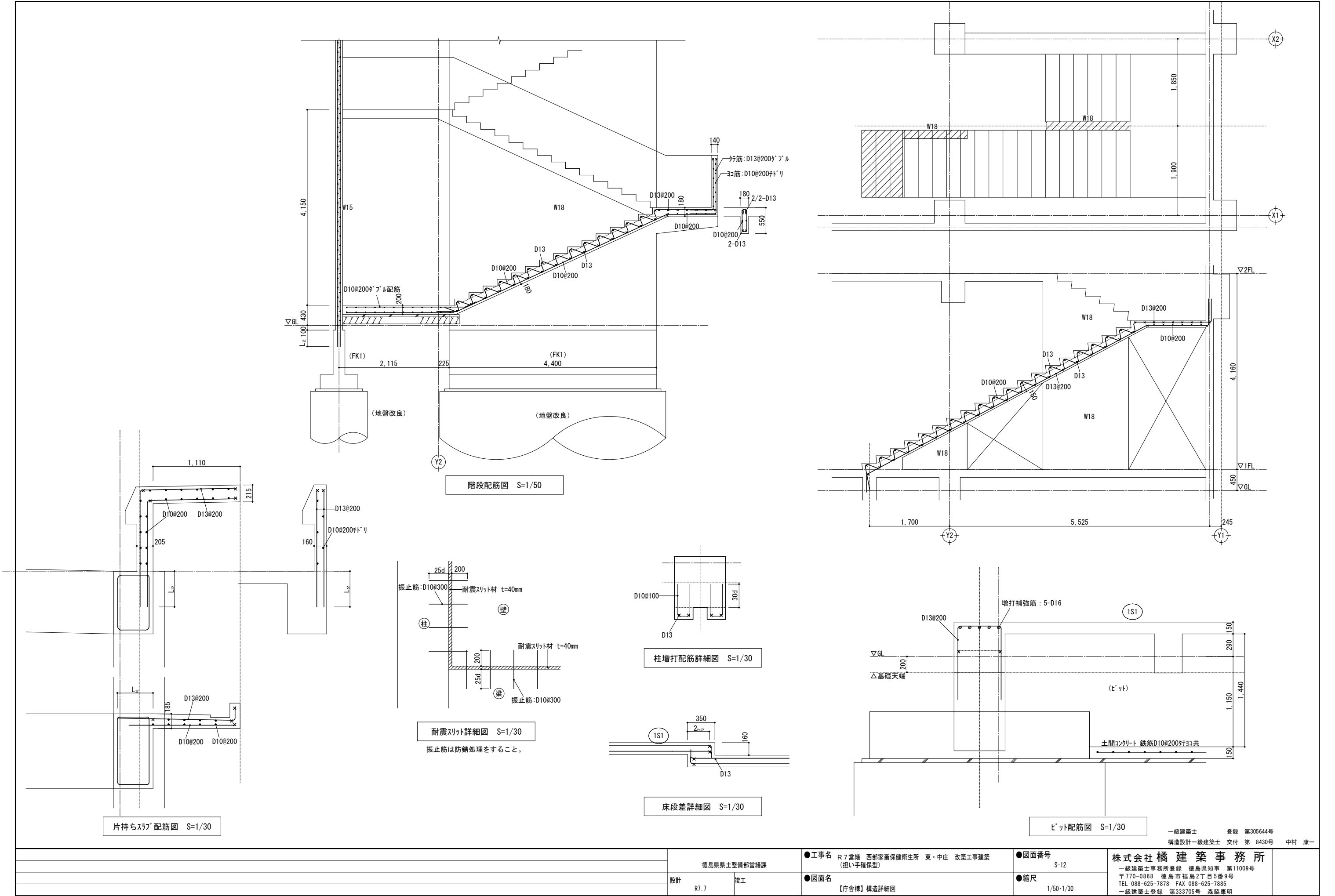


耐震スリット W=40mmを示す。
壁筋の定着長=L₂ (スリット部を除く)

架構配筋図 S=1/50
(Y17L-M)

一級建築士 登録 第305644号
構造設計一級建築士 交付 第 8430号 中村 康一

		徳島県土木整備部営繕課	●工事名	R 7 営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)	●図面番号	S-11	株式会社 橘 建 築 事 務 所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明
			●図面名		●縮尺	1/50	
設計 R7.7		竣工	【庁舎棟】 架構配筋図				



鉄筋コンクリート構造配筋標準図

6－1

I 構造設計概要

1 建築物の構造内容

- (1) 建築場所
- (2) 工事種別 ☐新築 ☐増築 ☐増改築 ☐改築
- (3) 構造設計一級建築士の関与 ☐必要 ☐必要としない
- ☐ 法第20条第一号（高さ60m超）
- ☐ 法第20条第二号（☐ RC造高さ20m超 ☐ S造4階建以上 ☐ 木造高さ13m超 ☐ その他）
- 注 (3) 構造設計一級建築士の関与が義務付けられる建築物については解説書等を参照して確認すること。
- (4) 階数
- 地下 階 地上 階 塔屋 階
- (5) 主要用途
- (6) 増築計画 ☐有（ ）☐無
- (7) 構造計算ルート X方向ルート －（ ） Y方向ルート －（ ）
- (8) 鉄筋の継手及び定義
- 建築基準法施行令36条及び73条による仕様規定に準ずる事。
- XY両方向共ルート 3 及び限界耐力計算の場合は、政令73条の仕様規定によらずJASS、鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説及びRC規準とすることができる。

2 使用建築材料表・使用構造材料一覧表

- (1) コンクリート（レディミクストコンクリート JIS Q 1001, JIS Q 1011, JIA A 5308）

適用箇所	種類	設計基準強度 Fc=N/mm ²	品質基準強度 Fq=N/mm ²	スランプ cm	種類
捨てコンクリート	■普通				
土間コンクリート	■普通				
基礎・基礎梁	■普通				
柱・梁・床・壁	☐ 普通 ☐ 軽量				
	☐ 普通 ☐ 軽量				
	☐ 普通 ☐ 軽量				

☐単位水量は185kg/m³以下、単位セメント量は270kg/m³以上とする。

(2) 鉄筋	種類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋 （JIS G 3112）	☐ SD295			☐ 重ね継手
	☐ SD345			☐ ガス圧接継手
	☐ SD390			☐ 溶接継手
	☐			☐ 機械式継手
	☐			
高強度せん断補強筋	☐ 材種			
	☐ 大臣認定番号 MSRB-			
丸 鋼（JIS G 3112）	☐ SR235			
溶接金網（JIS G 3551）	☐			

3 地盤

- (1) 地盤調査資料と調査計画
- ☐有（ ☐敷地内 ☐近隣 ） ☐無（ 調査計画 ☐有 ☐無 ）
- | 規格番号 | 資料有り | 調査計画 | 資料有り | 調査計画 | 資料有り | 調査計画 |
|-------------|------|------|--------|------|--------|------|
| ボーリング調査 | | | 静的貫入試験 | | 標準貫入試験 | |
| 水平地盤反力係数の測定 | | | 土質試験 | | 物理探査 | |
| 試験堀（支持層の確定） | | | 平板載荷試験 | | 液状化判定 | |
| カラーソニックデング | | | 現場透水試験 | | PS検層 | |
| | | | | | | |
- 注）上記表中の資料が有るものに○を記入する。

4 地業工事

- (1) 直接基礎 ☐ベタ基礎 ☐布基礎 ☐独立基礎 試験堀 ☐有 ☐無
- 深さ GL- m、支持層- 、長期許容支持力度 kN/m² 載荷試験 ☐有 ☐無
- (2) 地盤改良 ☐浅層混合処理工法 ☐深層混合処理工法布基礎
- 深さ GL- m、長期許容支持力度 kN/m² 載荷試験 ☐有 ☐無
- 注）「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針：日本建築センター2002」を参考とする。
- (3) 杭基礎 支持層-

杭 種	材 料	施 工 法	備 考
☐ RC ☐ PRC	PRC（ ☐ Ⅰ種 ☐ Ⅱ種 ☐ Ⅲ種）	☐ 打ち込み	
☐ PHC ☐ H鋼	PHC（ ☐ A種 ☐ B種 ☐ C種）	☐ 埋込み（セメントミルク工法）	
☐ 鋼管 ☐ 摩擦杭	鋼材 ☐ SS400 ☐ SKK400	☐	評定第 号
☐ SC杭 ☐	☐ JIS	☐	年 月 日
☐ 場所打ち コンクリート杭	コンクリートFc N/mm ² Fq N/mm ² スランプ cm以下 セメント量 kg/m ³ 単位水量 kg/m ³ 鉄 筋 主筋 SD HOOP SD	☐ オールケーシング ☐ 拡底杭 ☐ リバースサーキュレーション ☐ アースドリル ☐ ミニアース ☐ BH ☐ 深礎 ☐ 手掘 ☐ 機械掘	評定 号 第 年 月 日

杭仕様 ☐施工計画書承認 ☐杭施工結果報告書

試験杭（☐有 ☐無）（☐打ち込み ☐載荷 ☐孔壁測定） 本

杭 径 (mm)	設計支持力 (kN)	杭の先端の深さ (m)	本 数	特 記 事 項

5 設備関係

- ・建築設備の構造は、構造耐力上安全な構造方法を用いるものとする。
- ・建築設備の支持構造部および緊結金物には、錆止め等、防腐のための有効な措置を講ずること。
- ・建築物に設ける屋上からの突出する水槽・煙突・その他これらに類するものは、風圧・地震力等に対して構造耐力上主要な部分に緊結され、安全であること。
- ・煙突は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造とすること。
- ・設備配管は、地震時等の建物変形に追従できること。また、地震力等に対して適切に支持されていること。
- ・設備機器の架台及び基礎については、風圧・地震力等に対して構造耐力上安全であること。
- ・エレベーターの駆動装置等は、構造体に安全に緊結されていること。
- ・特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。
- ・床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの 1/3 以下とし管の間隔を管径の3倍以上かつ5cm以上を原則とする。
- ・給湯設備は、平成12年建設省告示第1388号第5に規定する構造方法によること。

6 その他

- ・諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
- ・各試験の供試体は公試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
- ・必要に応じて記録写真を撮り保管すること。
- ・本構造配筋基準図は、設計者の責任において使用すること。

II 配筋基準図

1 鉄筋の材料

鉄筋は表 1 により、種類の記号は特記による。

表 1 鉄 筋				
規格番号	規格名称	種類の記号		
JIS G3112	鉄筋コンクリート用棒鋼	SR235	SR295	
		SD295	SD345	SD390

溶接記号は JIS G3551（溶接金網及び鉄筋格子）により、網目の形状、寸法及び鉄線の径は特記による。

2 鉄筋の表示

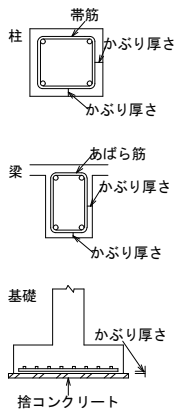
A．特記の表示記号									
鉄筋径	異形鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
表示記号		●	×	∅	●	○	⊙	⊗	⊙

B．鉄筋の表示方法			
	表示方法	備 考	例
異形	n-Dd	n=本数 D=異形鉄筋 d=公称直径	3-D16
	Dd-L@	D=異形鉄筋 d=公称直径 L=距離 @=間隔	D10-200@

3 鉄筋の最小かぶり厚さ及び間隔

- (a) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは特記による。特記がなければ、表3による。
- ただし、柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

表 3 かぶり厚さ		
構 造 部 分 の 種 別		最小かぶり厚さ (mm)
	スラブ、耐力壁以外の壁	仕上げあり 20
		仕上げなし 30
土に接しない部分	柱 梁 耐力壁	屋 内 仕上げあり 30
		仕上げなし 30
	屋 外	仕上げあり 30
		仕上げなし 40
	擁壁、耐圧スラブ	40
	土に接する部分	柱、梁、スラブ、壁 * 40
	基礎、擁壁、耐圧スラブ	* 60
	煙突等高温を受ける部分	60

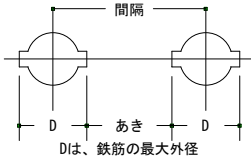


- (注) 1. *印のかぶり厚さは、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は、特記による。
2. 「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、仕上塗材、吹付け又は塗装等の鉄筋の耐久上有効でない仕上げのものを除く。
3. スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨コンクリートの厚さを含まない。
4. 杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭天端からとする。
5. 塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所は、特記による。

- (b) 柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶりの厚さは、最小かぶり厚さに10mmを加えた数値を標準とする。

- (c) 鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

- (d) 鉄筋相互のあきは、下記のうち最大のもの以上とする。
- ただし、特殊な鉄筋継手の場合はあきは、特記による。
- (1) 粗骨材の最大寸法の1.25倍
- (2) 25mm
- (3) 隣り合う鉄筋の平均径の1.5倍



- (e) 鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきは（d）による。

- (f) 貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは、(c) による。

4 鉄筋の末端部

鉄筋の末端部には、次の場合にフックをつける。

- (1) 柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合（図 4. 1 の●印で示す鉄筋）
- (2) 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合（図 4. 1 (b) の●印で示す鉄筋）。ただし、基礎梁を除く。

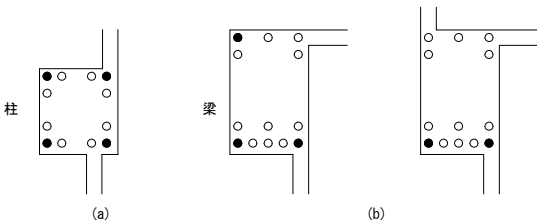


図 4. 1

- (3) 煙突の鉄筋（壁の一部となる場合を含む）。
- (4) 杭基礎のベース筋。
- (5) 帯筋、あばら筋及び幅止め筋。

表 4 鉄筋の折曲げ

折曲げ 角度	折 曲 げ 図	折曲げ内法直径 (D)		
		SD295, SD345 D16以下	D19～D38	SD390 D19～D38
180°		3d以上	4d以上	5d以上
135°				
90°				
135° 及び 90° (幅止め筋)				

- (注) 1. 片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90° フック又は135° フックを用いる場合には、余長は4d以上とする。
2. 90° 未満の折曲げの内法直径は特記による。

2021. 4. 1 訂 一般社団法人 徳島県建築士事務所協会
一級建築士 登録 第305644号
構造設計一級建築士 交付 第 8430号 中村 康一

徳島県県土整備部営繕課		●工事名 R 7 営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)	●図面番号 S-標1	株式会社 橘 建 築 事 務 所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明
設計 R7.7		●図面名 【庁舎棟】RC構造標準図(1)	●縮尺 NON	
竣工				

5. 鉄筋の継手

- (a) 鉄筋の継手は重ね継手、ガス圧接継手又は特殊な鉄筋継手とし、適用は特記による。
- (b) 鉄筋の継手位置は、特記による。
- (c) 鉄筋の重ね継手は、次による。

なお、径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。

- (1) 主筋及び耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、特記による。特記がなければ、40d（軽量コンクリートの場合は50d）と表5. 1の重ね継手長さのうち大きい値とする。
- (2) (1)以外の鉄筋の重ね継手の長さは、表5. 1による。
- (3) 隣り合う継手の位置は、表5. 2による。ただし、壁の場合及びスラブ筋でD16以下の場合は除く。
- なお、先組工法等で、柱、梁の主筋の継手を同一箇所にする場合は、特記による。

表5. 1 鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 (Fc) (N/mm ²)	L ₁ (フックなし)	L _{1n} (フックあり)
SD295	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24, 27	35d	25d
	30, 33, 36	35d	25d
SD345	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24, 27	40d	30d
	30, 33, 36	35d	25d
SD390	21	50d	35d
	24, 27	45d	35d
	30, 33, 36	40d	30d

- (注) 1. L₁、L_{1n}：重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ
2. フックありの場合のL_{1n}は、図5. 1に示すようにフック部分 $\frac{1}{2}$ を含まない。
3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

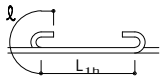


図5. 1 フックありの場合の重ね継手の長さ

表5. 2 隣合う継手の位置

重ね継手	フックありの場合		
	フックなしの場合		
圧接継手の場合			
機械式継手の場合			

6. 鉄筋の定着

- (a) 柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着の長さは、特記による。特記がなければ、40d（軽量コンクリートの場合は50d）表6. 1の定着長さのうち大きい値とする。
- (b) (a)以外の鉄筋の定着の長さは、表6. 1による。

表6. 1 鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 (Fc) (N/mm ²)	フックなし				フックあり			
		L ₁	L ₂	L ₃		L _{1n}	L _{2n}	L _{3n}	
SD295	18	45d	40d	小梁	スラブ	35d	30d	小梁	スラブ
	21	40d	35d			30d	25d		
	24, 27	35d	30d			25d	20d		
	30, 33, 36	35d	30d			25d	20d		
SD345	18	50d	40d	20d	10d	35d	30d	10d	-
	21	45d	35d			30d	25d		
	24, 27	40d	35d			30d	25d		
	30, 33, 36	35d	30d			25d	20d		
SD390	21	50d	40d	10d	150mm以上	35d	30d	10d	-
	24, 27	45d	40d			35d	30d		
	30, 33, 36	40d	35d			30d	25d		

- (注) 1. L₁、L_{1n}：(b)以外の直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ
2. L₂、L_{2n}：割裂破壊のおそれのない箇所への直線定着長さ及びフックあり定着の長さ
3. L₃：小梁及びスラブの下端筋の直線定着長さ。ただし、基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁は除く。
4. L_{3n}：小梁の下端筋のフックあり定着の長さ
5. フックあり定着の場合は、図6. 1に示すようにフック部分 $\frac{1}{2}$ を含まない。また中間部での折り曲げは行わない。
6. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

- (c) 定着の方法は、図6. 1による。

なお、仕口内に縦に折り曲げて定着する鉄筋の定着長さLが、表6. 1のフックあり定着の長さを確保できない場合は、全長を表6. 1に示す直線定着の長さとし、かつ、余長を8d、仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さを表6. 2に示す長さ（かつ、梁主筋の柱内定着においては、原則として、柱せいの3/4倍以上）をのみ込ませる。

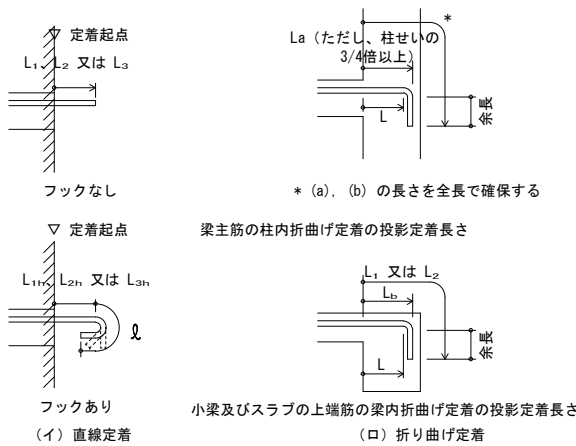


図6. 1 定着の方法

表6. 2 投影定着長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 (Fc) (N/mm ²)	L _a	L _b
SD295	18	20d	15d
	21	15d	15d
	24, 27	15d	15d
	30, 33, 36	15d	15d
SD345	18	20d	20d
	21	20d	20d
	24, 27	20d	15d
	30, 33, 36	15d	15d
SD390	21	20d	20d
	24, 27	20d	20d
	30, 33, 36	20d	15d

- (注) 1. L_a：梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ（基礎梁、片持ち梁及びスラブを含む。）
2. L_b：小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ（片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。）
3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

7. 柱

A. 継手及び定着

- (1) 継手及び圧接中心位置は、梁上端から500mm以上1,500mm以下かつ3/4h_o（h_oは柱の内法高さ）以下とする。
- 重ね継手長さは、L₁とし、定着及び余長は、図7. 1による。
- (2) ただし、柱頭定着長さL₂が確保できない場合は、構造計算等により必要長さの確認を行うものとする。
- (3) 柱頭柱主筋について、梁上端主筋との取合いを考慮し、適切なかぶり厚さを確保する。

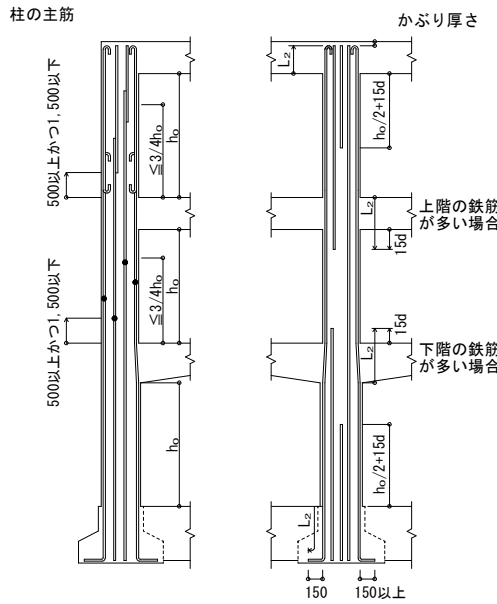


図7. 1

- (注) 1. 柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合には、フックを付ける。
2. 隣り合う継手の位置は、表5. 2による。
3. 継手、定着は、すべての階に適用できる。

B. 中間階の配筋（上、下階で柱幅が異なる場合）

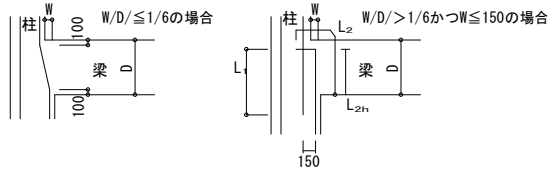


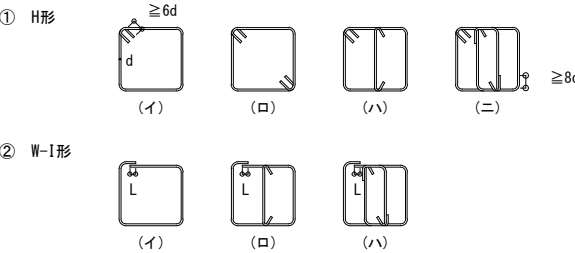
図7. 2

8. 帯筋

A. 形状

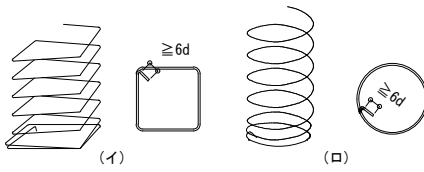
帯筋組立ての形は、下図とし、適用は特記による。ただし、特記がなければ下記による。

- (1) H形を標準とする。
- (2) フック及び継手の位置は、交互とする。
- (3) 溶接する場合の溶接長さLは両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とする。
- (4) SP形において、柱頭及び柱筋の端部は、1.5巻以上の添巻きを行う。
- (5) H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W-I形とする。



(注) 溶接は、鉄筋の組立て前に行う

③ SP形（スパイラル筋）



④ 丸形



⑤ 認定溶接形



図8. 1

鉄筋コンクリート構造配筋標準図 6-3

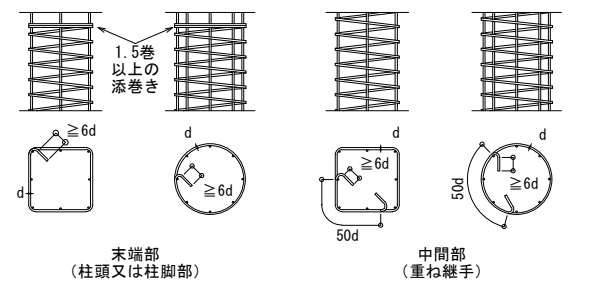


図 8. 2

B. 割付け (帯筋の最大間隔は特記による。)

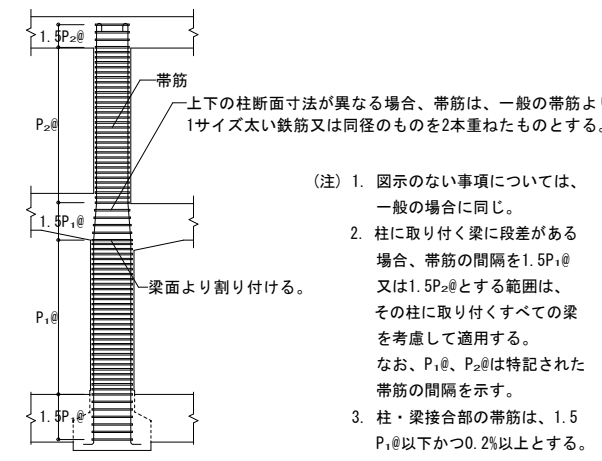


図 8. 3

9. 大梁

A. 大梁主筋の継手及び定着の一般事項
(1) 梁主筋は、原則として柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、(2)により柱内に定着することができる。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、図 9. 1 による。

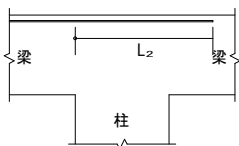


図 9. 1

(2) 梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は、次による。
なお、定着の方法は、6. (c) による。
上端筋：曲げ降ろす。
下端筋：曲げ上げる。

(3) 段違い梁は、図 9. 2 による。

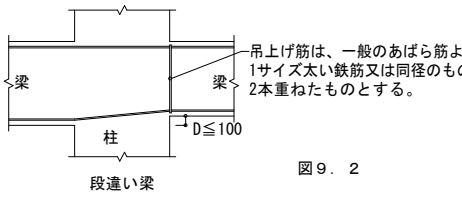
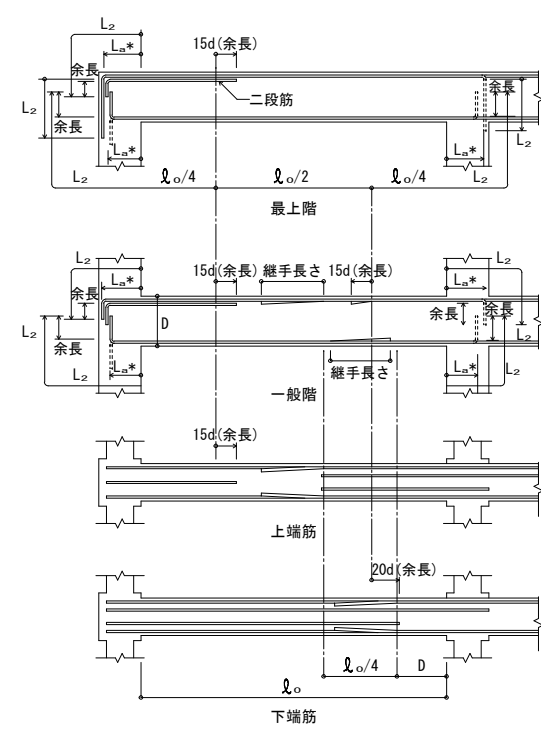


図 9. 2

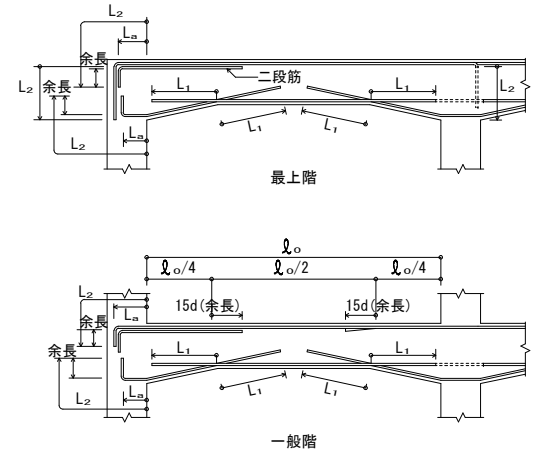
B. ハンチのない場合の重ね継手、定着及び余長



(注) 1. 継手中心位置は次による。
上端筋：中央 $l_o/2$ 以内
下端筋：柱面より梁せい (D) 以上離し、 $l_o/4$ を加えた範囲以内
2. 4. (2) で定めた鉄筋には、フックを付ける。
3. 印は、継手及び余長を示す。
4. 破線は、柱内定着の場合を示す。
※ L_a の数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

図 9. 3

C. ハンチのある場合の定着及び余長



(注) 1. 4. (2) で定めた鉄筋には、フックを付ける。
2. 印は、継手及び余長を示す。
3. 梁内定着の端部下端筋が接近するときは、..... のように引き通すことができる。
4. 破線は、柱内定着の場合を示す。
※ L_a の数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

図 9. 4

10. 小梁及び片持梁

A. 小梁主筋の継手及び定着

(1) 連続小梁

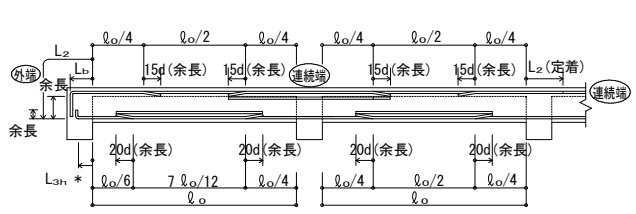
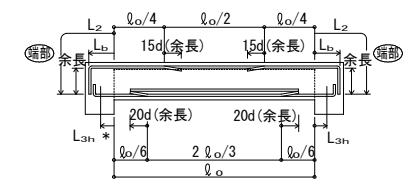


図 10. 1

(2) 単独小梁

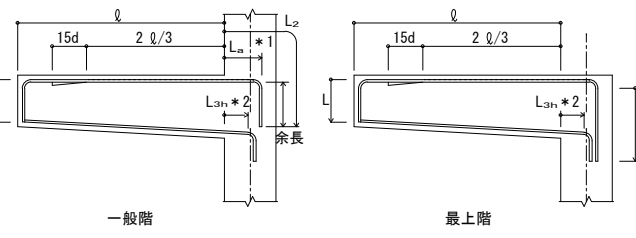


(注) 1. 印は、余長位置を示す。
2. 図示のない事項は、9. 及び 12. による。
3. 梁せいが小さく垂直で余長がとれない場合、斜めにしてもよい。
4. L_a を確保できない場合は、標示 6. (c) によることができる。

図 10. 2

B. 片持梁主筋の定着

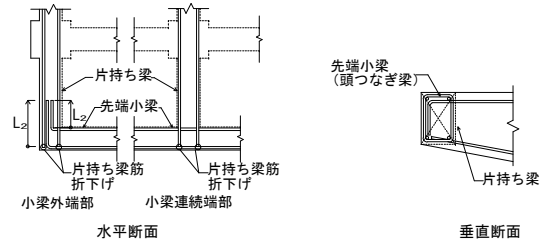
(1) 先端に小梁のない場合



(注) 1. 図示のない事項は 9. による。
2. 印は、余長位置を示す。
3. 先端の折り曲げ長さ L_1 は、梁せいからかぶり厚さを除いた長さとする。
※1. L_a の数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。
※2. L_{3H} を確保できない場合は、標示 6. (c) によることができる。

図 10. 3

(2) 先端に小梁がある場合



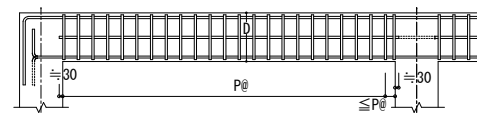
(注) 1. 図示のない事項は、(1) による。
2. 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
3. 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し梁としてよい。

図 10. 4

11. あばら筋

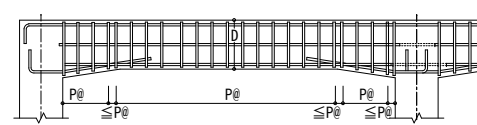
A. あばら筋の割り付け

(1) 間隔が一樣で、ハンチのない場合



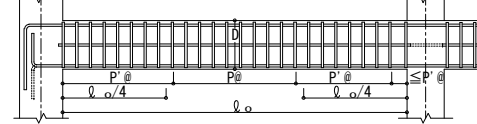
(注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
2. 図中の $P@$ は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

(2) 間隔が一樣で、ハンチのある場合



(注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
2. 図中の $P@$ は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

(3) 梁の端部で間隔の異なる場合



(注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
2. 図中の $P@$ 、 $P\'@$ は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

図 11. 1

		徳島県土木整備部営繕課	●工事名	R 7 営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)	●図面番号	S-標3	株式会社 橘 建 築 事 務 所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明
			●図面名	【庁舎棟】RC構造標準図(3)	●縮尺	NON	
設計	R7.7	竣工					

鉄筋コンクリート構造配筋基準図 6-4

B. あばら筋、腹筋及び幅止め筋の一般事項

- (1) あばら筋の種類、径及び間隔は、特記による。
- (2) 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10-1,000@ 程度とする。
- (3) 腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とする。
- (4) あばら筋組立ての形及びフックの位置

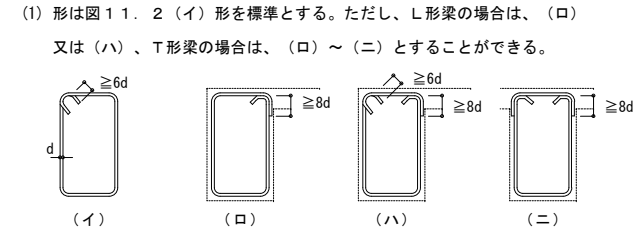


図 1 1. 2

(5) 腹筋及び幅止め筋

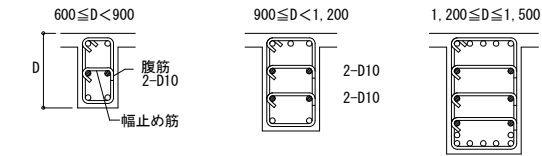


図 1 1. 3

1 2. 基礎梁

A. 一般事項

- (1) 梁筋は、原則として柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着する。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、図 1 2. 1 による。
- (2) 梁筋を柱内に定着する場合は、9. A. (2) による。

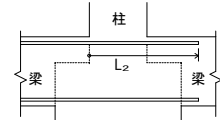


図 1 2. 1

B. 独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長

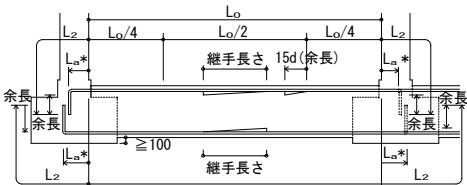


図 1 2. 2

- (注) 1. 図示のない事項は 9. による。
2. 印は、継手及び余長を示す。
3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
4. L_a の数値は、原則として、柱せいの 3/4 倍以上とする。

C. 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長

(耐圧スラブが付く場合は D. による)

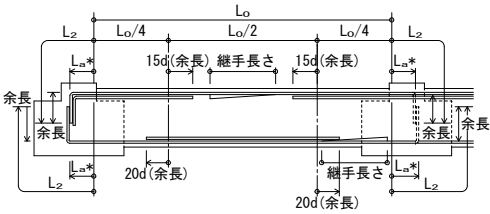


図 1 2. 3

- (注) 1. 図示のない事項は 9. による。
2. 印は、継手及び余長を示す。
3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
4. L_a の数値は、原則として、柱せいの 3/4 倍以上とする。

D. 連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長

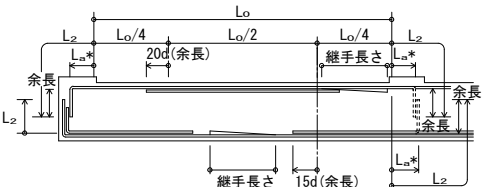


図 1 2. 4

- (注) 1. 図示のない事項は 9. による。
2. 印は、継手及び余長を示す。
3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
4. L_a の数値は、原則として、柱せいの 3/4 倍以上とする。

E. 基礎接合部の補強

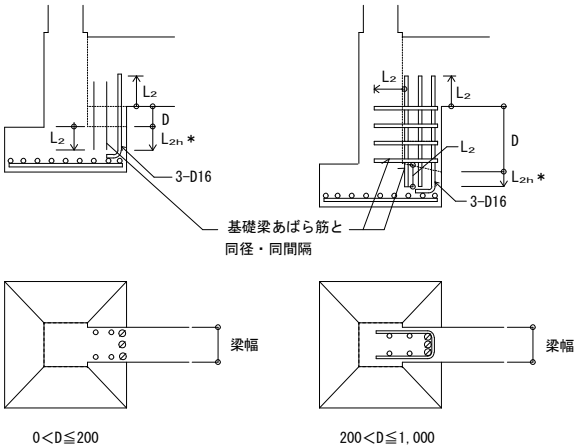


図 1 2. 5

- (注) 1. L_{2H} を確保できない場合は、6. (c) によることができる。

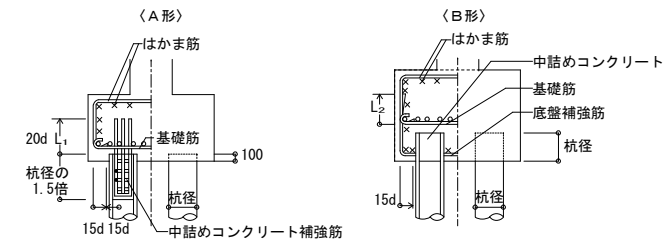
1 3. 基礎

A. 杭基礎の場合

既製コンクリート杭の杭頭補強の方法は、図 1 3. 1 の A 形又は B 形とし、適用は特記による。特記がなければ B 形とする。

なお、中詰めコンクリートは、基礎のコンクリートと同じ調合のコンクリートを使用する。

既製コンクリート杭以外の場合は、特記による。



- (注) 1. 中詰めコンクリート補強筋は、次による。
- ・杭径 300φ 以下 4-D13
 - ・杭径 350~400φ 6-D13
 - ・杭径 450~600φ 8-D13
 - ・帯筋 D10-100@
2. 中詰めコンクリート補強筋は、フックをつけない

図 1 3. 1

B. 直接基礎（独立基礎）の場合の配筋は、図 1 3. 2 による。

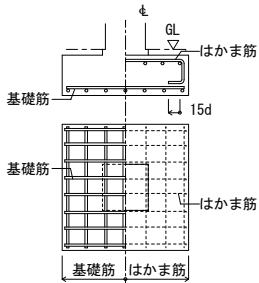


図 1 3. 2

C. 直接基礎（連続基礎）の場合の配筋は、図 1 3. 3 による。

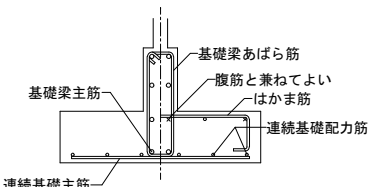


図 1 3. 3

1 4. スラブ

A. 一般事項

- (1) 配筋は、中央から割付け、端部は定められた間隔以下とする。
- (2) 鉄筋の重ね継手長さは、 L_1 とする。

B. 定着長さ及び受け筋

定着長さ及び受け筋は、図 1 4. 1 による。ただし、引き通すことができない場合は、図 1 4. 2 により梁内に定着する。

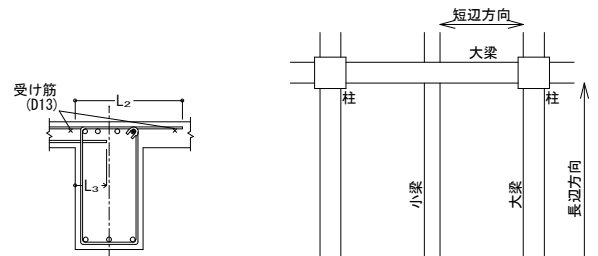
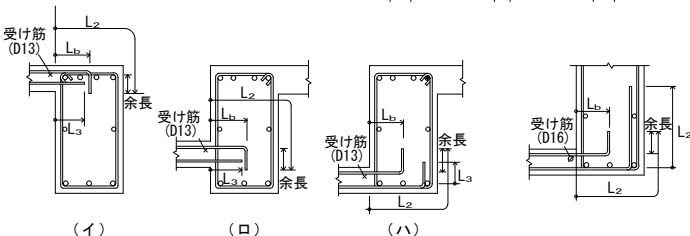


図 1 4. 1



一般スラブの場合

耐圧スラブの場合

図 1 4. 2

- (注) 1. L_b を確保できない場合は、6. (c) によることができる。

1 5. 壁

A. 一般事項

- (1) 壁配筋の重ね継手は L_1 、定着の長さは L_2 とする。
- (2) 重ね継手及び定着の長さが取れない場合は、監督職員と協議する。
- (3) 幅止め筋は、縦横とも D10-1,000@ 程度とする。
- (4) 原則として、柱及び梁内に壁筋の継手を設けてはならない。

B. 壁の基準配筋は下表により、種別は特記による。

種 別	縦筋及び横筋	断 面 図 (mm)
W12	D10-200@シングル	120
W15A	D10-150@シングル	150
W15B	D10-100@シングル	150
W18A	D10-200@ダブル	180
W18B	D10-150@ダブル	180
W20A	D10-200@ダブル	200
W20B	D10-150@ダブル	200

- (注) 壁筋の配筋順序は、規定しない。

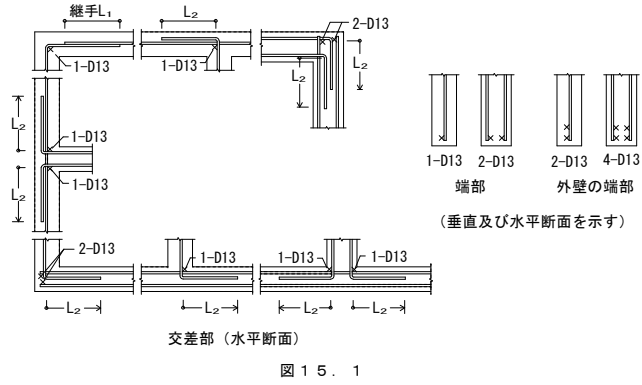
鉄筋コンクリート構造配筋標準図 6-5

C. 片持ちスラブ形階段を受ける壁の配筋は、下表により、種別は特記による。

種 別	縦筋及び横筋	断 面 図 (mm)	階段の配筋種別
KW1	縦筋 D13-200@ダブル	180	KA1
	横筋 D10-200@ダブル		KA3
KW2	縦筋 D13-150@ダブル	200	KA2
	横筋 D10-200@ダブル		KA4

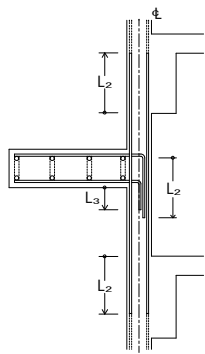
(注) 縦筋は、横筋の外側に配筋する。

D. 壁の交差部及び端部の配筋は、図15.1による。



16. 階段

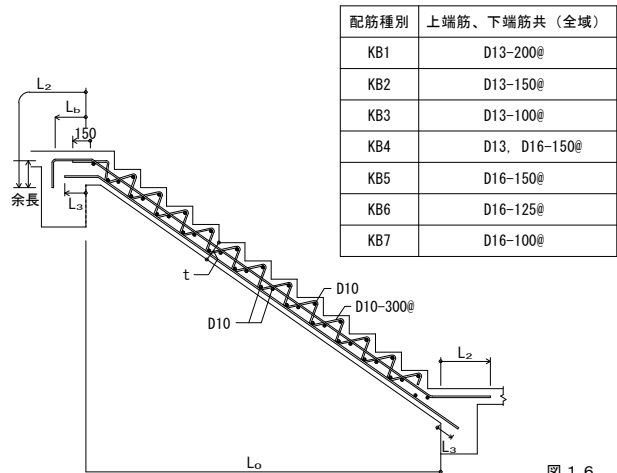
A. 片持ちスラブ形



- (注) 1. 壁配筋は15. C. による。
2. 階段主筋は、壁の中心線を超えてから縦に下ろす。
3. スラブ配筋筋の継手及び定着の長さは、6. のL3とする。

配筋種別	KA1	KA2
配筋図		
配筋種別	KA3	KA4
配筋図		

B. 二辺固定スラブ形



鉄筋コンクリート構造配筋標準図 6-6

D. パラペットの配筋は、下表による。

コンクリート厚さ	方向	配筋	先端補強筋
特記による	縦	特記による。	
	横	特記による。	

E. 土間スラブの打継ぎ補強

基礎梁とスラブを一体打ちとしないで、打継ぎを設ける場合の補強を示す。
(特記がなければ、図18.5による。)

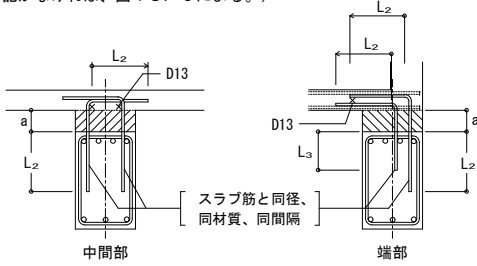


図18.5

F. 土間コンクリートの補強

土間コンクリートの補強筋は、特記による。
なお、基礎梁との接合部は、図18.6による。

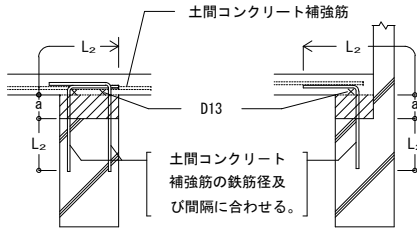
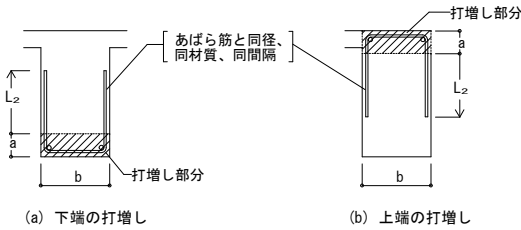


図18.6

- (1) 土間コンクリートとは、土に接するスラブのうち、床荷重を直接支持地盤へ伝達できるものをいい、それ以外は、土間スラブとして、梁及び柱を介して基礎へ荷重を伝達するものとする。
- (2) aが300mm以下に限る。

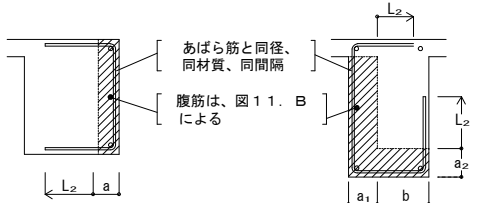
G. 梁打増し補強

梁の打増しは、図18.6により、打増し幅が70mm以上の場合に適用する。



(a) 下端の打増し

(b) 上端の打増し



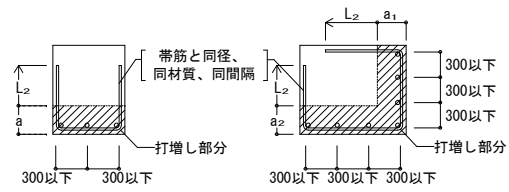
(c) 側面の打増し

(d) 2方向の打増し

図18.7

H. 柱打増し補強

(a) 柱の打増しは、図18.8より、打増し幅が70mm以上の場合に適用する。
軸補強筋は、特記による。



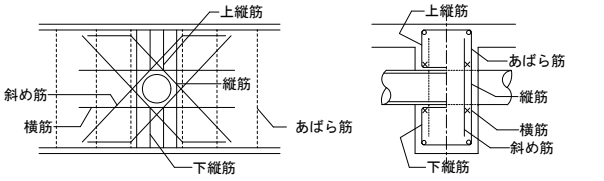
(a) 1方向の打増し

(b) 2方向の打増し

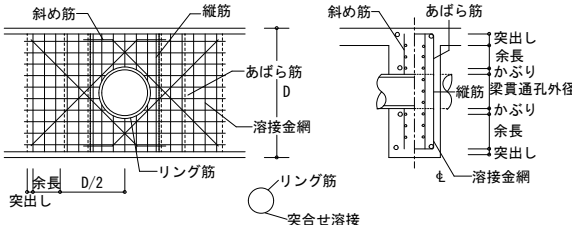
図18.8

I. 梁貫通孔の補強

1. 梁貫通孔補強筋の名称などは図18.9による。



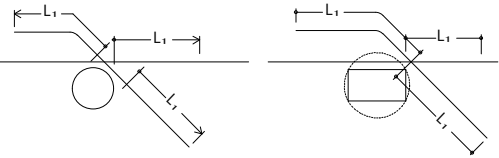
(H形)



(MH形及びM形)

図18.9

2. 孔の径は、梁せいの 1/3 以下とし、孔が円形でない場合はこれの外接円とする。
3. 孔の上下方向の位置は、梁せい中心付近とし、梁中央部下端は梁下端より1/30の範囲に設けてはならない。
4. 孔の中心位置の限度は、柱及び直交する梁（小梁）の面から原則として 1.5 D（D は梁せい）以上離す。ただし、基礎梁、壁付帯梁は除く。
5. 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
6. 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
7. 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは図18.10による。
8. 孔の径が梁せいの 1/10 以下、かつ、150mm未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げるにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。
9. 溶接金網の余長は1格子以上とし、突出しは10mm以上とする。
10. 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋1-13φのリング筋を取り付ける。
なお、リング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。
11. 溶接金網の割付け始点は、横筋ではあばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。



貫通孔が円形の場合

貫通孔が四角形の場合

図18.10

(1) H形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	カ縦筋	配筋図
H1	2-2-D13	なし	なし	なし	
H2		2-2-D13			
H3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H4	4-2-D16				
H5	4-2-D16	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H6	4-2-D19				
H7	4-2-D22				

(注).....は、一般部分のあばら筋を示す。

(2) M形配筋

配筋種別	縦筋	溶接金物	リング筋	配筋図
M1	2-2-D13	なし	なし	
M2	4-2-D13			
M3	4-2-D13	2-6φ-100@	13φ	
M4	6-2-D13			

(注).....は、一般部分のあばら筋を示す。

(3) MH形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	溶接金物	配筋図
MH1	2-2-D13	なし	なし	
MH2		2-2-D13		
MH3	2-2-D13	2-2-D13	2-6φ-100@	
MH4	4-2-D13			
MH5	4-2-D16			
MH6	4-2-D16	4-2-D13	2-6φ-100@	
MH7	4-2-D19			

(注).....は、一般部分のあばら筋を示す。

(注) 採用する配筋については、特記による。

大臣認定による既製品を使用する場合は、適用条件は、すべて認定内容による。

J. コンクリートブロック帳壁との取合い

(a) 控壁の配筋

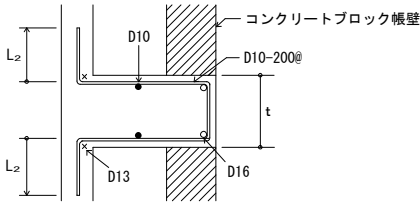


図18.11

(b) 帳壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強

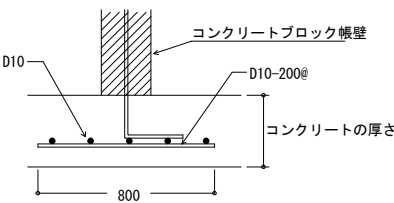


図18.12

構造特記仕様書	
§1 一般事項	選択項目は ◎ 印を適用し、○ 印が無い場合は * 印を適用する。 ○ 印が複数ある場合は、共に適用する。

§ 2 構造計算ルート

2-2 鉄筋の継手及び定着

構造計算ルール別による主筋等の継手重ね長さと柱に取り付け梁の定着長さ

- ・ 建築基準法施行令第73条(政令第73条)による仕様規定
- ・ 日本建築学会 JASS5、鉄筋コンクリート連配筋指針、同解説
- ・ 日本建築学会 鉄筋コンクリート構造計算規程、同解説

XI両方向共にルール3及び限界耐力計算の場合は、政令第73条の仕様規定によらずJASS5、鉄筋コンクリート連配筋指針、同解説及び鉄筋コンクリート構造計算規程、同解説とすることができ。

3-1 山留め、根切り

3-2 埋戻し土、盛土、残土処分

埋戻し土	* 根切り土の中の良土	・ 搬入良土
盛土	* 根切り土の中の良土	・ 搬入良土
残土処分	・ 場内地均し	* 場外搬出処分(⊗ 自由 ・ 指定場所)

注(1) アンカーボルト支持用フレームの、あと施工アンカーを打込む部分は100以上とする。

(2) 端部aは100以上とする。

4-4=既製コンクリート杭

1) 杭種

・PHC 杭	・A種	・B種	・C種
・ST 杭	・A種	・B種	・C種
・SC 杭	・	・	・
・PRC 杭	・I 種	・II 種	・Ⅲ種
・節杭	・A種	・B種	・C種

2) 工法

・打撃工法	・油圧ハンマー	・ディーゼルハンマー
・埋込み工法	・プレボーリングセメントミルク注入工法	
	杭周固定液 * あり	・なし
	・中掘拡大根固め工法(認定工法)	
	・回転埋設根固め工法(認定工法)	

杭打地業共通事項

1) [・ 杭長決定用先行杭 ・ 試験堀] ・ 行う (本) ・ 行わない

2) 載荷試験 ・ 行う (箇所、長期設計耐力の3倍を確認する) * 行わない

3) SL塗布 ・ 行う * 行わない

溶接部の検査（第三者機関による）

- ・ 抜取り検査
- ・ 引張り試験（JISZ3120）
- 1検査ロットにつき * 3本 ・
- ◎ 超音波探傷試験（JISZ3062） 熱間研抜き試験
- 1検査ロットにつき ・ 30 箇所 ・

・ 不合格となった溶接部は切り取って再溶接を行う。また残り全数に対して超音波探傷試験を行う。

1検査ロットは1組の作業班が1日に施工した溶接箇所の数量で200箇所以内

梁貫通補強
補強筋は原則として工場製品(評定品)を使用する。
その他
鉄筋の組立は適切な位置にスペーサーを使用し、組立後は形状保持のための養生を行う。
コンクリートを2回打する部材は、初回の打設後に鉄筋の清掃を行う。
コンクリート打設前に工事監督者の検査を受け不備な箇所は修正を行う。

7-3 普通ボルト、アンカーボルト

1) 材質 ・ SS400 ・ S490 (M 以上) ⊙ SNR400 ・ SNR490 (M 以上)

2) 大臣認定柱脚(メーカー仕様による) ⊙ 使用する ・ 使用しない
(IS' -S)

7-5 溶接材料

1) アーク溶接に使用する溶接棒、ワイヤ及びフラックスは母材の種類、寸法、及び溶接条件に
応じたものを選定する。

2) ガスシールドアーク溶接に使用するシールドガスは溶接に相応したものとする。

7-6 スクラップ形状 ・スクラップ工法 * ノンスクラップ工法

7-7 継手

7-8 溶接手法及び管理
使用する溶接ワイヤー、入熱量及びバス間温度等の仕様については鉄建協又は全構協の仕様で、専任の管理技術者により管理を行うこと。

7-9 デッキプレート＝(単位:mm)＝

1) 床用	高さ・	板厚・		
2) 合成スラブ用	高さ・	板厚・		
3) 型枠用	高さ・	板厚・	形版	タイプ
4) 防錆処理	・ プライマー	・ 亜鉛メッキ	・ Z12	・ Z27

3) 溶融亜鉛メッキ ・ 行う ・ 行わない

7-11 溶接部の検査(受入検査) * 行う ・ 行わない

- 1) 受入検査を行う第三者検査機関は、建築主、設計者、工事監理者又は工事施工者(元請)との直接契約による。
- 2) 第三者検査機関は(社)日本溶接協会によるCIW検査事業者認定種別における超音波探傷検査部門の認定を取得した事業者とし、当該工事の鉄骨製作工場の社内検査を行っていない事業者とする。
- 3) 受入検査は目視による外観検査と超音波探傷検査とする。
- 4) 外観検査の合格判定は国土交通省告示1464号による。ただし告示に定めのないものは日本建築学会「JASS6 6付則」鉄骨精度基準による。
- 5) 超音波探傷検査は母材厚6mm以上の突合せ継手を対象とし、合格判定は日本建築学会「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規程・同解説」による。
- 6) 工事溶接に対し第三者検査機関による検査箇所数は下表による。

- 7) 現場溶接の場合は第三者機関による検査を100% 行う。
- 8) 不合格と判定された溶接部はすべて補修を行い、再検査して合格とならねばならない。
- 9) ずれ・食い違いの補修方法は、独立行政法人 建築研究所監修「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」を参考にする。

§ 8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板・PC板工事

8-1	コンクリートブロック				
1)	種類	・ A 種	・ B 種	・ C 種	
2)	厚さ mm	・ 100	・ 120	・ 150	・ 190
8-2	押出成形セメント板				
1)	使用箇所	・ 床	・ 屋根	◎ 外壁	・ 内壁
2)	厚さ mm	◎ 60	・ 100	・ 120	・ 150
3)	外壁取り付け構法				・ 175

§ 9 設備・非構造部材

- 1) 建築設備の構持は、構造耐力上安全な構造方法を用いるものとする。
- 2) 建築設備の支持・支持構造部および突出物金物には、錆止め等、防腐のための有効な措置を講じること。
- 3) 建築物に設ける屋上から突出する水槽・煙突・その他これらに類するものは、風圧・地震力等に対して構造耐力上主要な部分に緊結され、安全であること。
- 4) 煙突は、鉄筋に對するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造とすること。
- 5) 設備配管は、地震時等の建物変形に追従でき、また、地震力等に対して適切に支持されていること。
- 6) 設備機器の架台及び基礎については、風圧・地震力等に対して構造耐力上安全であること。
- 7) エレベーターの駆動装置等は、構造体に安全に緊結されていること。
- 8) テレ記以外の梁貫通管は原則として設けない、設ける場合は設計者の承認を得ること。
- 9) 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚の1/3以下とし、管の間隔を管径の3倍以上かつ50cm以上に原則とする。
- 10) 給湯設備の転倒防止対策は、平成12年建設省告示第1388号に準じること。検査時に検査書類を提出のこと。
- 11) 天井・外壁・間仕切壁等非構造部材は建物の変形に追従し、地震等の外力によって脱落しない仕様とすること。

●工事名 R7営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築
(担い手確保型)

● 図面名

【車庫・倉庫棟】構造特記仕様書

号

NON

株式会社橘建築事務所
一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号
〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号
TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885
一級建築士登録 第333705号 森脇康明

(※参考)

エルマッドS工法(GBRC性能証明第11-14号 改3(更1)) 特記仕様書
— スラリー系機械攪拌式ブロック状地盤改良工法 —

1. 工法概要

本工法は、セメント系固化材液を用いて現地土を流動化処理することで、ブロック状の均質な地盤改良体を築造する工法である。

2. 一般事項

本工法は、本特記仕様書によるほか下記の参考資料による。
『2018年版 建築物のための改良地盤の設計および品質管理指針』
(財)日本建築センター・ベターリビング

3. 特記事項

改良体の形状、寸法、及び配置は、設計図書による。ただし土質や地盤の状況により設計仕様を変更した方が適切と判断される場合は、監督員の承認を受けて変更することができる。

本工事における改良体の設計基準強度 (σ_{28}) は下記の通りとする。
 $F_c = (\quad 0.45 \quad N/mm^2)$

- ・長期設計地耐力 : LFe= 150 kN/m^2
- ・推定配合量 : 170 kg/m^3
- ・使用予定硬化材料 : セメント系固化材
- ・改良長(1回につき) : 0.6~6.0m
- ・施工管理装置 : 改良体の出来形・電気比抵抗値
攪拌時間もしくは羽根切り回数を記録
- ・攪拌混合装置 : ローター式バケットミキサー もしくは
(砂質土)ミキシングバケット・スケルトンバケット
- ・供試体の採取方法 : 未固化試料採取 または、頭部コア・全長コア
- ・造成工事業者 : 建築技術審査証明書を取得した専門業者の責任施工

4. 施工計画

工事に先だち下記事項を記載した施工計画書を監督員に提出し承諾を受ける。

- ① 工事概要
- ② 計画・設計の条件
- ③ 施工計画 (施工機械・作業計画・材料計画・工程計画)
組織編成表
工程
使用機械
使用材料
施工手順
作業手順
- ④ 施工管理計画
- ⑤ 品質管理計画
- ⑥ 安全管理計画
- ⑦ 技術資料
- ⑧ その他

5. 配合計画

(1) 配合強度

次式を用いて求める。
 $X_f = at \times F_c$

X_f : 配合強度
 at : 変動係数・採取ヶ所数による割増係数
 F_c : 設計基準強度

割増係数 (at) 合格率90%

採取ヶ所数 N	1	2	3	4~6	7~8	9~
変動係数 0.25	0.25	2.163	1.918	1.815	1.719	1.651
変動係数 0.30	0.30	2.287	1.988	1.868	1.756	1.680
変動係数 0.35	0.35	2.425	2.064	1.923	1.794	1.711

(2) 室内配合試験

室内配合試験用サンプル採取 1箇所

- 室内試験用土砂採取の上、改良対象土について下記の試験を行い、試験結果と配合強度を基に添加量を決定する。
- ①単位体積重量・含水比・粒度組成
 - ②試験線 (JGS0821による供試体の製作)
 - イ. 推定算定式を用い、必要固化材量・水量を求める。
 - ロ. 所定量の土・固化材・水を添加し、ソイルミキサーにて混合する。
- ・材令3日・材令7日の一軸圧縮試験
一軸圧縮試験は、JIS A 1108による。
- ・六価クロム溶出試験を行い、基準値以内であることを確認する。

6. 施工要領

基本的な施工手順を以下に示す。施工の障害になる事項が判明した場合は別途検討する。

- ① 施工位置を確認する。
- ② 掘削
- ③ 掘削完了・計測
- ④ 流動化処理工程 (計測初期値セット)
- ⑤ 流動化処理工程 (造成)
- ⑥ 流動化処理工程 (品質管理)
- ⑦ 未固化試料採取
- ⑧ 造成完了
- ⑨ 施工に対して質疑が生じた場合は、ただちに監督員と協議しその指示を受ける。

7. 施工管理

施工管理には、改良寸法と混合状態がリアルタイムに表示される管理装置を用いる。

- (1) 支持層を目視にて確認
- (2) 改良寸法の計測
- (3) 固化材及び添加水の計量
- (4) 混合状態及び出来形を管理装置にて確認
 - ・電気比抵抗値測定センサーにて比抵抗が20Ω以内であること。
 - ・攪拌時間が1m³ 当り1.5分以上であること。もしくは、バケットミキサーを使用時は回転計にて羽根切り回数が1000回/m³ に達しているか確認する。
- (5) 改良天端レベルの確認

8. 配合管理

- (1) 本工法に用いる固化材は、セメントおよびセメント系固化材とする。
- (2) 一回に施工する改良体積 (B×L×H) を計測し、必要な固化材量と水量を算出する。

9. 品質管理

- (1) 頭部もしくは深部サンプラーの圧縮試験用の供試体は50φ×100Hとする。
- (2) 供試体の作成は原則として検査対象150m³ に1ヵ所または一日1回とするが、監督員と協議の上決定する場合がある。
- (3) 材齢28日で一軸圧縮試験を行う。
- (4) 検査手法Aによる品質検査とする。
 $X_n \geq X_L = F_c + k_a \cdot \sigma_d + F_c + k_a [F_c \times V_d / (1 - I, 3V_d)]$
 X_n : Nヶ所の一軸圧縮強度の平均値
 X_L : 合格判定値
 F_c : 設計基準強度
 k_a : 合格判定係数
 σ_d : 標準偏差
 V_d : 変動係数 (25%)

抜取箇所数 N	1	2	3	4~6	7~8	9~
合格判定係数 k_a	1.9	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3

- (5) 材令28日強度は合格判定値を上回る事を確認する。
- (6) 合格判定値を下回る場合は、その原因を調査し、監督員と協議のうえ適切な処置を施す。

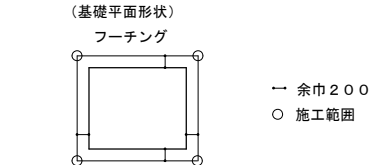
10. 報告書等

工事完了後、以下の項目について報告書を作成し、監督員に提出する。

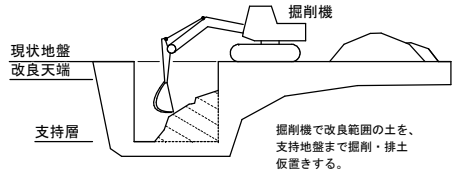
- (1) 工事日報
- (2) 施工順序の記録
- (3) 工事写真
- (4) 一軸圧縮試験結果

標準施工手順

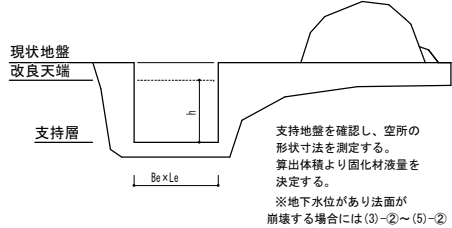
(1) 施工位置の確認



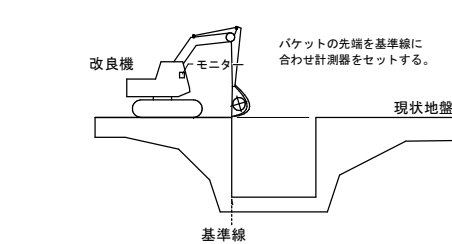
(2) 掘削工程



(3) 掘削完了・計測

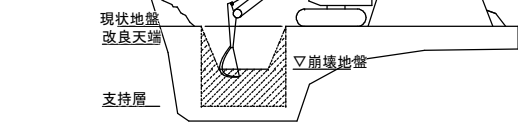


(4) 流動化処理工程 (計測初期値セット)

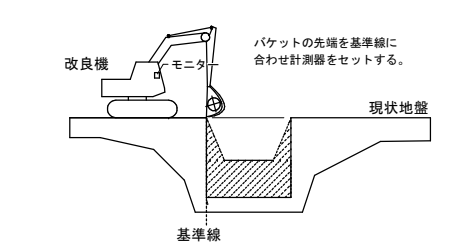


崩壊の危険性が高い場合の施工手順

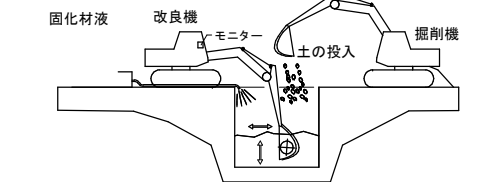
- (2) より→
- (3) ~2
掘削面が崩壊する為、改良範囲内をのり面を付けながら、所定量の排土を行う。
掘削完了後に所定の固化材液を投入する。



(4) ~2 流動化処理工程 (計測初期値セット)

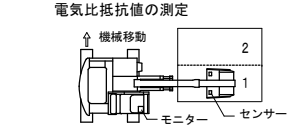


(5) 流動化処理工程 (造成)



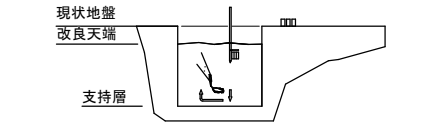
仮置き土を入れ戻しつつ、固化材液 (もしくは固化材と水) を投入し、改良機のバケットミキサーで土と混合攪拌する。混合ローターが所定の時間もしくは羽根切回数を満たし、かつ電気比抵抗値分布が横方向に均一になるまで、混合攪拌する。

(6) 流動化処理工程 (品質管理)



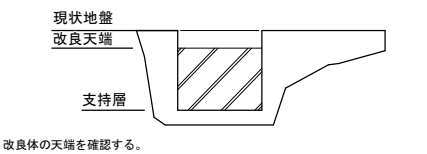
バケット部のセンサーにより、改良体全体の混合度をモニタリングする。

(7) 試料採取 (品質管理)

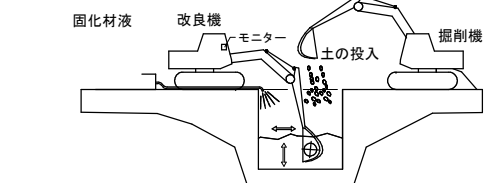


流動化処理工程完了後、頭部もしくは深部サンプラーを挿入し一軸圧縮強度試験用の供試体採取する。

(8) 造成完了



(5) ~2 流動化処理工程 (造成)



- ①1次攪拌混合・・・所定の改良範囲まで崩壊地盤以下の現位置土と固化材液を攪拌混合する。
- ②2次攪拌混合・・・仮置き土を所定量入れ戻しながら固化材液を攪拌混合する。
- ③改良体全体の攪拌混合
 - ・・・改良体全体を上下前後に攪拌混合し、全体が均質であることをモニターで確認する。→ (6)へ

一級建築士 登録 第305644号
構造設計一級建築士 交付 第 8430号 中村 康一

	徳島県土整備部営繕課	●工事名 R 7 営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)	●図面番号 S-02	株式会社 橘 建 築 事 務 所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明
	設計 R7.7	竣工	●図面名 【車庫・倉庫棟】地盤改良特記仕様書	
			●縮尺 NON	

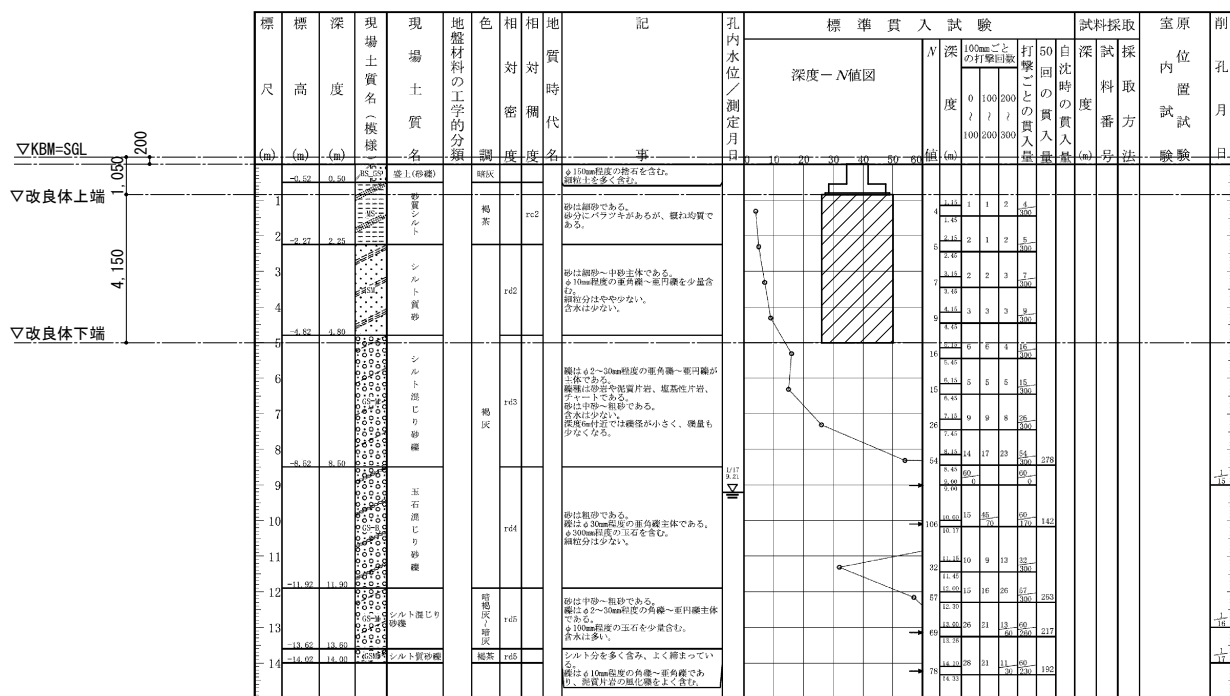
土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 查 名 R 6 當繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 地質解析調査業務

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名 No. 1		調査位置 徳島県三好郡東みよし町中庄		北緯 34° 02' 10.23"	
発注機関 徳島県土木整備部				調査期間 2025年 1月 15日 ~ 2025年 1月 17日	
調査者名 株式会社エス・ピー・シー TEL 0883-52-1621		主任技師 竹田 一貴 資格番号 第24558号		代表人 竹田 一貴 資格番号 第24558号	
調査内容 RIM -0.02m		地盤配 水圧計 鉛直		使用機 東邦地下工機D-1型	
総掘孔長 14.00m		方位 		エンジン クボタ ER-80	
角度 				ポンプ 東邦地下工機B-3型	



柱状図(1) $S=1/150$

(車庫倉庫棟)

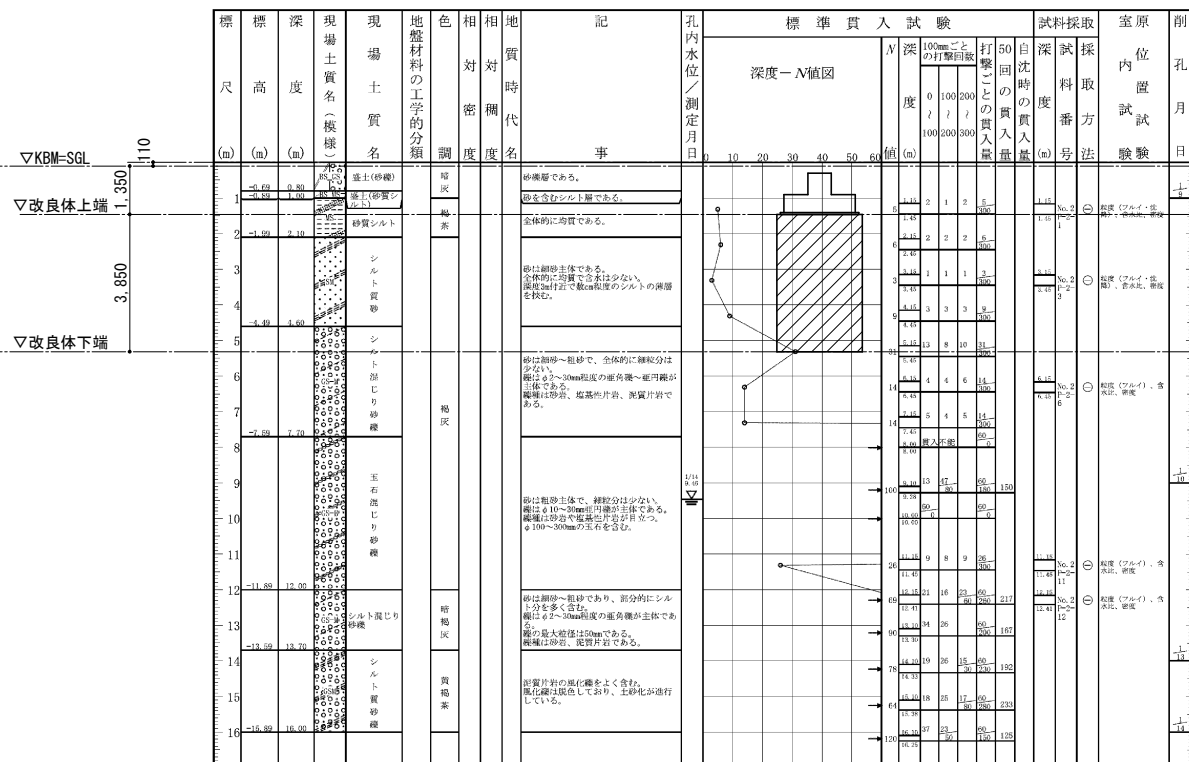
土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 查 名 R 6 營繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 地質解析調查業務

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	No.2	調査位置	徳島県三好郡東みよし町中庄						北緯	34° 02' 10.39"	
発注機関	徳島県土木総務部							測定期間	2025年 1月 9日 〜 2025年 1月 14日		
調査業者名	株式会社エヌ・ピー・シー 電話 0883-52-1621							現代理人	竹田 一貴 第24558号		
角								主任技師	竹田 一貴 第24558号		
口 径 横 断	KBM 0.11m							地盤地質	清水平①		
総 掘 孔 長	16.00m							試 験 機	東邦地下工機D-1型		
度								エンジン	クボタ EK-8		
方 位								ポンプ	東邦地下工機BQ-3型		



柱状图(2) S=1/150

(庁舎棟)

一級建築士 登録 第305644号

構造設計一級建築士 交付 第 8430号 中村 康一

●工事名 R7営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築
(担い手確保型)

●図面番号 S-03

株式会社橘建築事務所
 橘建築士事務所登録 鎌倉県知事 第11000号

一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号
〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号
TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885
一級建築士登録 第333705号 森脇康明

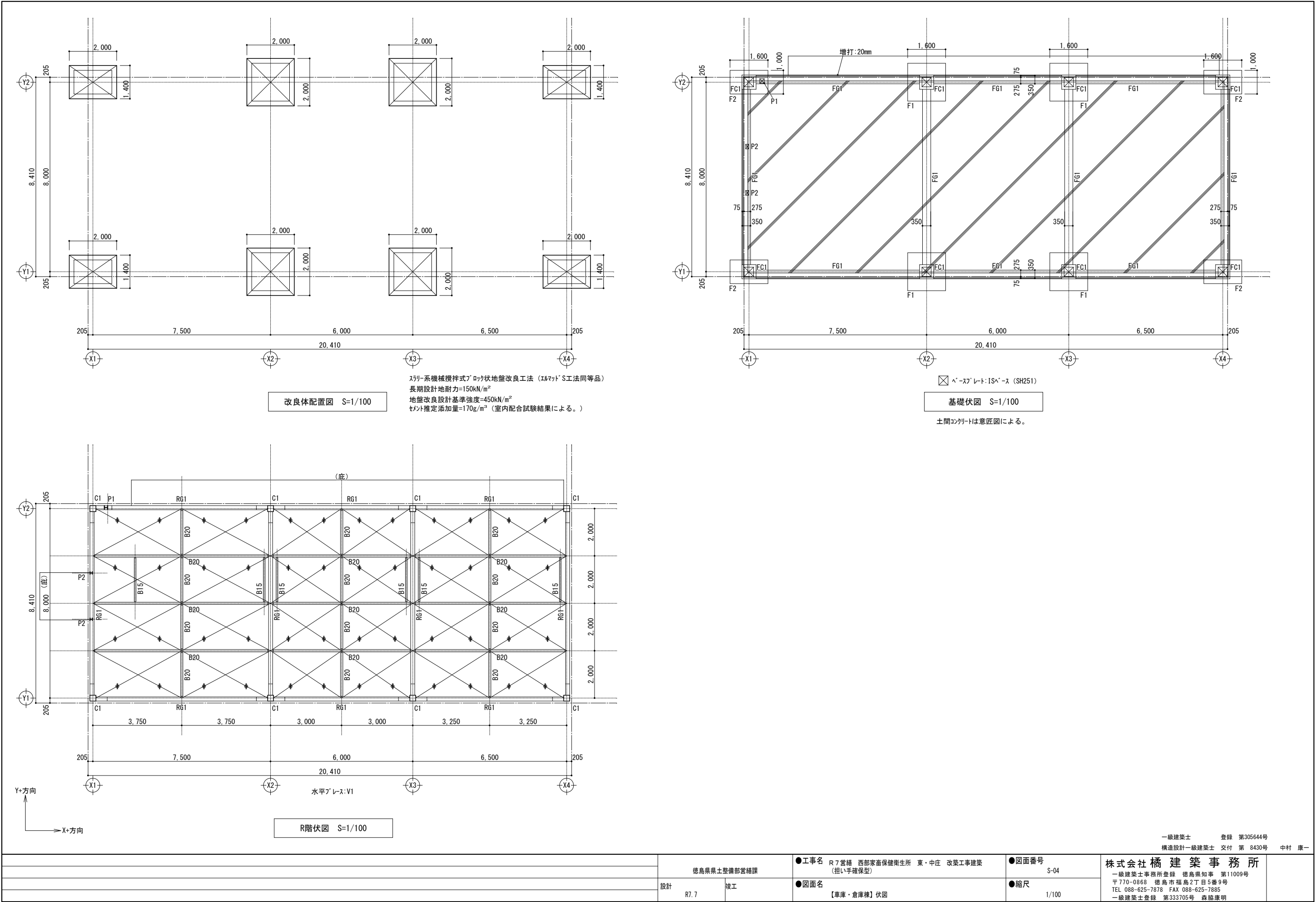
徳島県県土整備部営繕課

●図面名

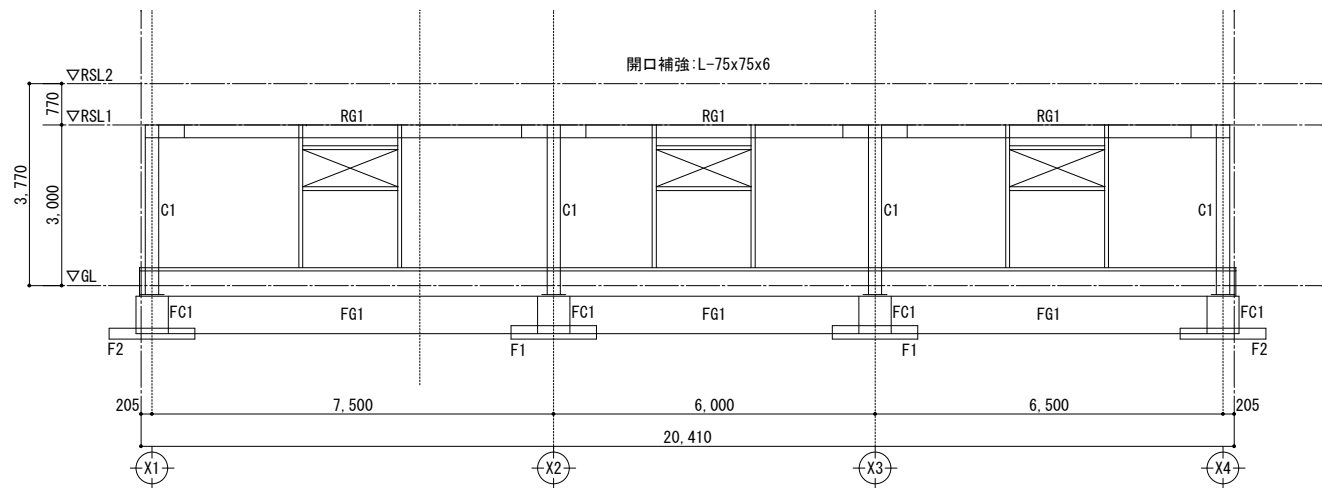
柱状区

設計

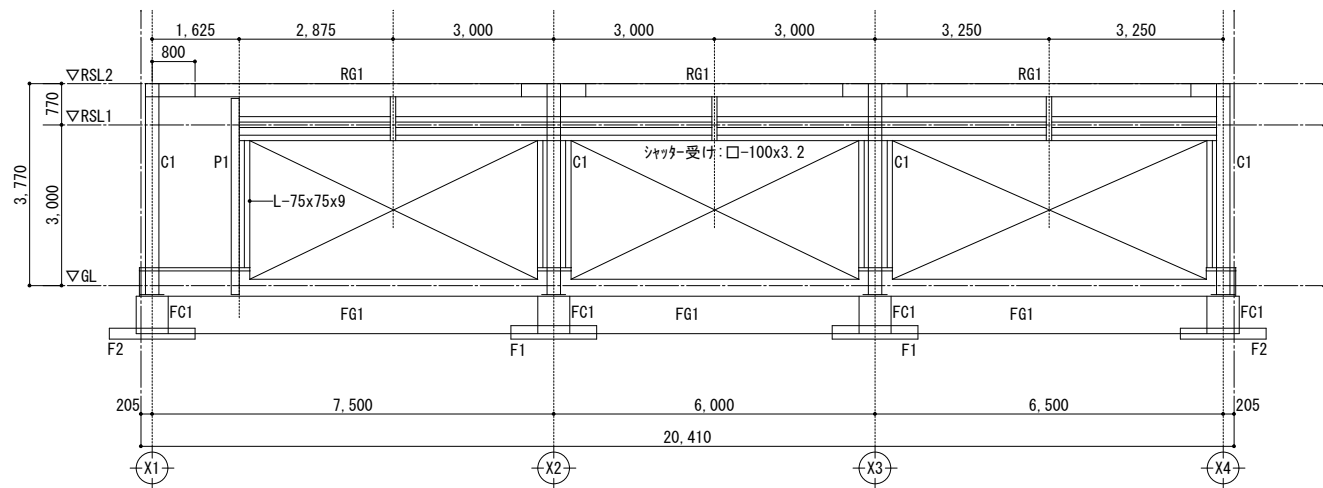
竣工



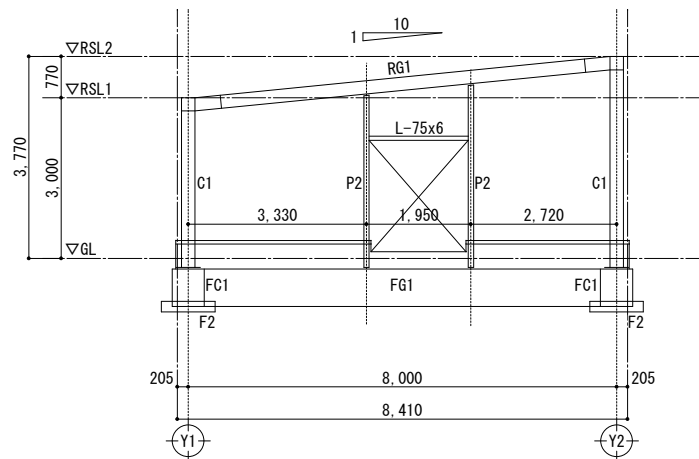
		徳島県土木整備部営繕課		●工事名	R 7 営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)	●図面番号	S-04	株式会社橘 建 築 事 務 所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明		
				●図面名	【車庫・倉庫棟】伏図	●縮尺	1/100			
設計		竣工								
R7.7										



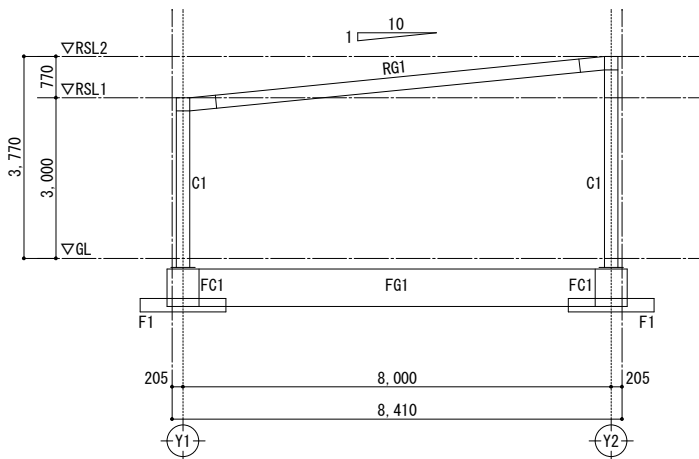
Y1軸組図 S=1/100



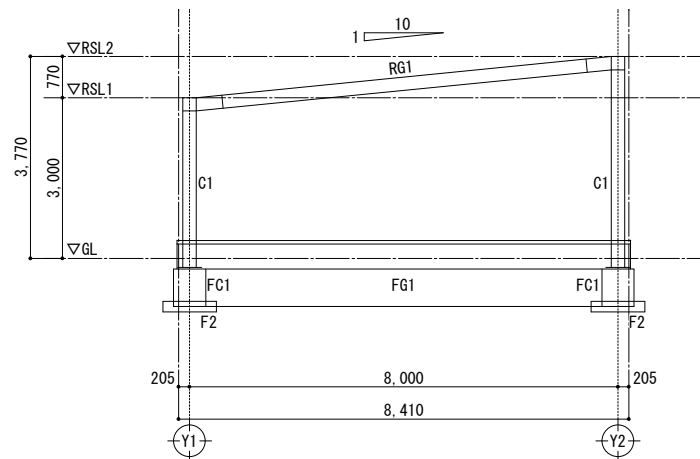
Y2軸組図 S=1/100



X1軸組図 S=1/100



X3軸組図 S=1/100



X4軸組図 S=1/100

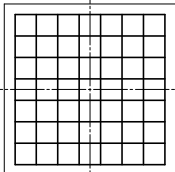
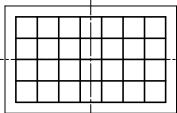
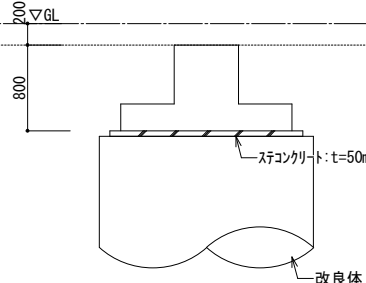
一級建築士 登録 第305644号
構造設計一級建築士 交付 第 8430号 中村 康一

		徳島県土整備部営繕課	●工事名 R 7 営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)	●図面番号 S-05	株式会社 橘 建 築 事 務 所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明
			●図面名 【車庫・倉庫棟】軸組図	●縮尺 1/100	
設計 R7.7	竣工				

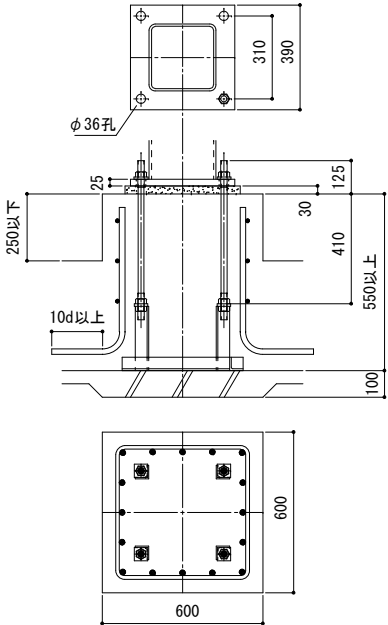
鉄骨部材リスト											
符号	サイズ	鋼種	柱脚	符号	サイズ	鋼種		符号	サイズ	鋼種	
C1	□-250x9	BCR295	SH251	R61	H-244x175x7x11	SS400		B15	H-150x75x5x7	SS400	V1
								B20	H-200x100x5.5x8	SS400	
P1	H-175x150x150x7x10	SS400									
P2	H-100x100x6x8	SS400									

梁断面リスト		
符号	FG1	
b×D	350×700	
部分	全断面	
上筋	3-D22	
腹筋	2-D10	
下筋	3-D22	
S, T	D10@200	
幅止筋	D10@1000	
断面図		

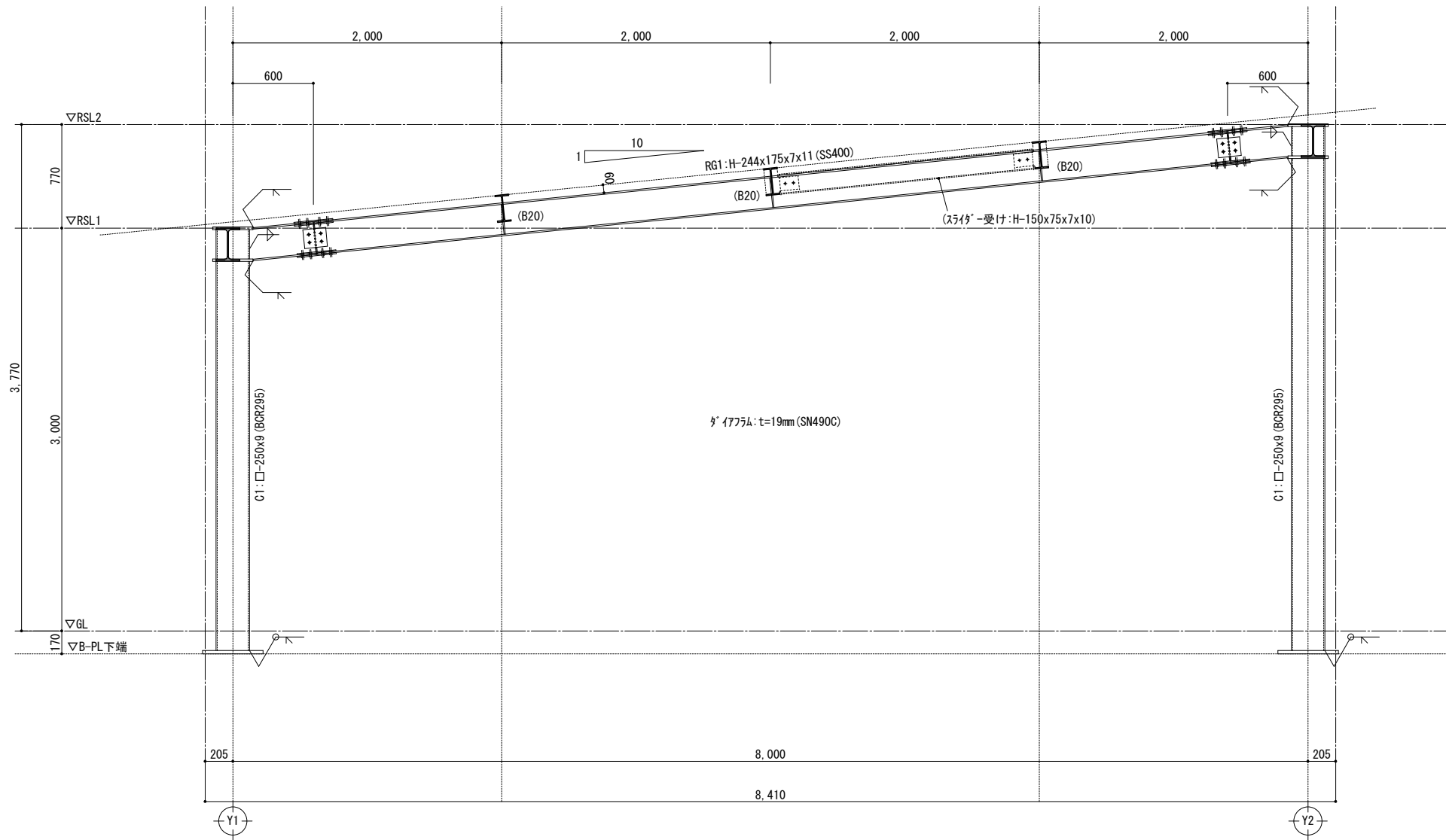
柱断面リスト		
符号	FC1	
b×D	600×600	
部分	全断面	
X方向	5-D19	
Y方向	5-D19	
HOOP	D13@150	
幅止筋	-	
断面図		

独立基礎リスト				レベル図
符号	F1	F2		
B×D	1600 x 1600	1600 x 1000		
厚サ	250	200		
ベ-ス筋	8-D16	X:8-D16/Y:5-D16		
断面図				

柱脚部材リスト (S=1/20)	
柱脚記号	SH251
柱寸法	□250×250
アンカーボルト	4-M24
ベースプレート	390×390×25
柱形断面	最小: 600×600 最大: 750×750
最小コンクリート強度	21N/mm ²
柱主筋	16-D19 16-D22 12-D25
帯筋	D13@150
回転剛性	21,000kN・m/rad



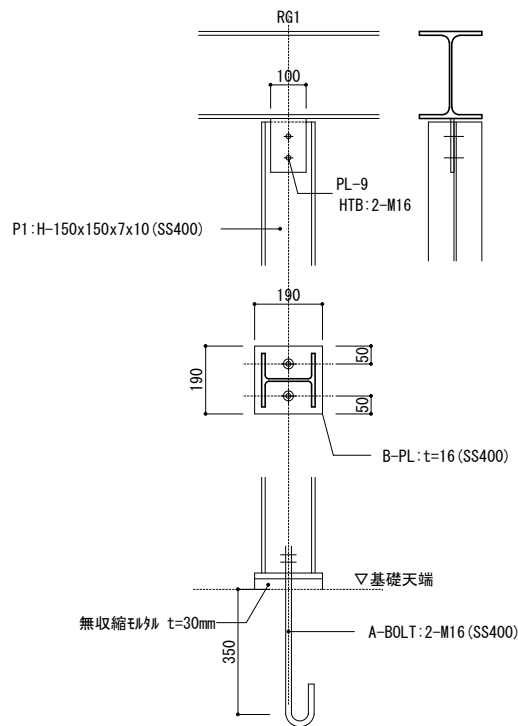
コンクリート強度: Fc=21N/mm²
鉄筋: D10~D16=SD295, D19~=SD345



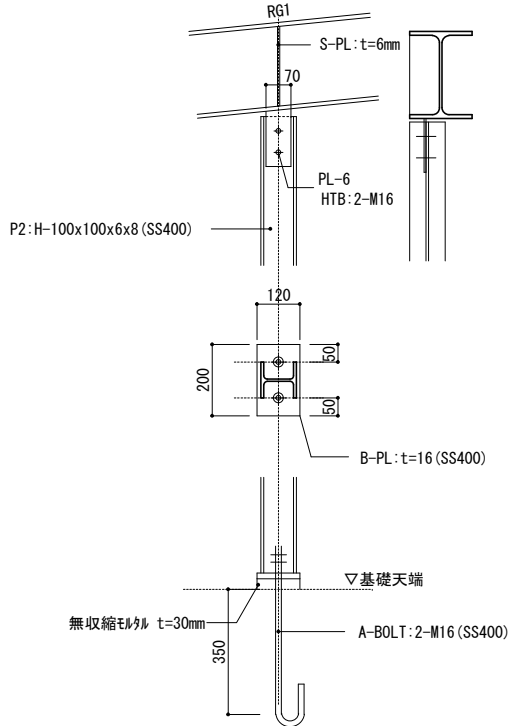
鉄骨架構図 S=1/30

一級建築士 登録 第305644号
構造設計一級建築士 交付 第 8430号 中村 康一

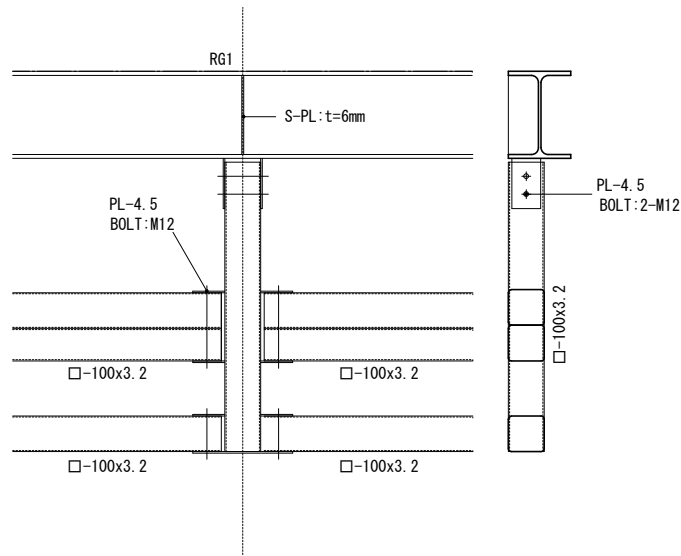
	徳島県土整備部営繕課	●工事名 R 7 営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)	●図面番号 S-07	株式会社 橘 建 築 事 務 所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明
	設計 R7.7	竣工	●縮尺 1/30	



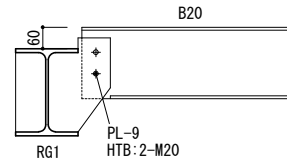
P1接合詳細図 S=1/15



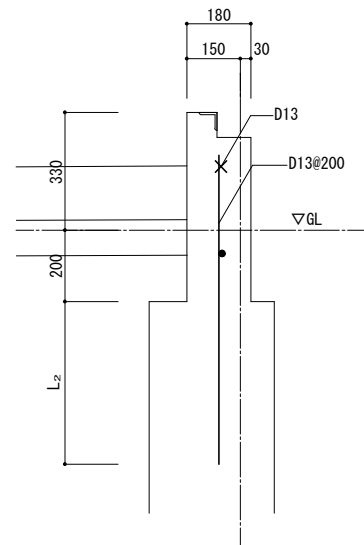
P2接合詳細図 S=1/15



シャッター受け接合詳細図 S=1/15



RG1-B20接合リスト S=1/15



基礎巾木配筋図 S=1/15

一級建築士 登録 第305644号
構造設計一級建築士 交付 第 8430号 中村 康一

	徳島県土木整備部営繕課	●工事名 R7営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)	●図面番号 S-08	株式会社橘建築事務所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明	
	設計 R7.7	竣工	●縮尺 1/15		

鉄骨構造標準図 7－1（基礎配筋標準図）

I 構造設計概要

1 建築物の構造内容

- (1) 建築場所
- (2) 工事種別 ☐新築 ☐増築 ☐増改築 ☐改築
- (3) 構造設計一級建築士の関与 ☐必要 ☐必要としない
- ☐ 法第20条第一号（高さ60m超）
- ☐ 法第20条第二号（☐ RC造高さ20m超 ☐ S造4階建以上 ☐ 木造高さ13m超 ☐ その他）
- 注(3)構造設計一級建築士の関与が義務付けられる建築物については解説書等を参照して確認すること。

- (4) 階数 地下 階 地上 階 塔屋 階
- (5) 主要用途
- (6) 増築計画 ☐有（ ）☐無
- (7) 構造計算ルート X方向ルート ー（ ） Y方向ルート ー（ ）
- (8) 鉄筋の継手及び定義
- 建築基準法施行令36条及び73条による仕様規定に準ずる事。
- XY両方向共ルート 3 及び限界耐力計算の場合は、政令73条の仕様規定によらずJASS(2018)、鉄筋コンクリート造配筋指針・図解説及びRC基準2018とすることができ。

2 使用建築材料表・使用構造材料一覧表

- (1) コンクリート（レディミクストコンクリート JIS Q 1001, JIS Q 1011, JIS A 5308）

適用箇所	種類	設計基準強度 Fc=N/mm ²	品質基準強度 Fq=N/mm ²	スランプ cm	種類
捨て・土間コンクリート用	■普通				
基礎・基礎梁	■普通				
デッキ上コンクリート用	■普通				

☐単位水量は185kg/m³以下、単位セメント量は270kg/m³以上とする。

(2) 鉄筋	種類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋 (JIS G 3112)	☐ SD295			☐ 重ね継手
	☐ SD345			☐ ガス圧接継手
	☐ SD390			☐ 溶接継手
	☐			☐ 機械式継手
	☐			
高強度せん断補強筋	☐ 材種			
	☐ 大臣認定番号			
丸 鋼 (JIS G 3112)	☐ SR235			
溶接金網 (JIS G 3551)	☐			

(3) 鉄骨					
種 類		使用箇所	現場溶接	備考	
☐ SS400	☐ SM400 ☐ SN400A, B, C	大梁、小梁、間柱、BPL	☐ 有 ☐ 無	JIS G3101	
☐ STKR400	☐ STKR490 ☐	柱	☐ 有 ☐ 無		
☐ BCR295	☐ BCP235 ☐	柱	☐ 有 ☐ 無		
☐ SM490A	☐ SM490B ☐ SN490C	ダイヤフラム	☐ 有 ☐ 無	JIS G3136	
☐ SSC400	☐		☐ 有 ☐ 無	JIS G3350	

ボルト ☐使用箇所の詳細については別添図示とする。

- ☐ 高力ボルト
- ☐ 普通: F10T ☐ 特殊: S10T 認定品（☐M12 ☐M16 ☐M20 ☐M22 ☐M24）
- ☐ 溶融亜鉛メッキ高力ボルトF8T

- ☐ 中ボルト M M
- ☐ アンカーボルト
- ☐ SS400 M
- ☐ ABR400 M
- ☐ ABR490 M
- ☐ ABM400 M
- ☐ ABM490 M
- ☐ 大臣認定柱脚（メーカー仕様による）

- ☐ 頭付きスタッドボルト
- φ＝ L＝ mm 使用箇所（☐柱 ☐大梁 ☐小梁）
- φ＝ L＝ mm 使用箇所（☐柱 ☐大梁 ☐小梁）

3 地盤

- (1) 地盤調査資料と調査計画
- ☐有（☐敷地内 ☐近隣）☐無（☐調査計画 ☐有 ☐無）

規格番号	資料有り	調査計画		資料有り	調査計画		資料有り	調査計画
ボーリング調査			静的貫入試験			標準貫入試験		
水平地盤反力係数の測定			土質試験			物理探査		
試験堀（支持層の確定）			平板載荷試験			液状化判定		
スクリューテスト試験			現場透水試験			PS検層		

注）上記表中の資料が有るものに○を記入する。

4 地業工事

- (1) 直接基礎 ☐ベタ基礎 ☐布基礎 ☐独立基礎 試験堀 ☐有 ☐無
- 深さ GL－ m、支持層－、長期許容支持力度 kN/m² 載荷試験 ☐有 ☐無
- (2) 地盤改良 ☐浅層混合処理工法 ☐深層混合処理工法布基礎
- 深さ GL－ m、長期許容支持力度 kN/m² 載荷試験 ☐有 ☐無
- 注）「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針：日本建築センター2018」を参考とする。
- (3) 杭基礎 支持層－

杭 種	材 料	施 工 法	備 考
☐ RC ☐ PRC	PRC（ ☐ Ⅰ種 ☐ Ⅱ種 ☐ Ⅲ種）	☐ 打ち込み	
☐ PHC ☐ H鋼	PHC（ ☐ ⅠA種 ☐ Ⅱ種 ☐ Ⅲ種）	☐ 埋込み（セメントミルク工法）	
☐ 鋼管 摩擦杭	鋼材 ☐ SS400 ☐ STK400	☐	評定第 号
☐ SC杭 ☐	☐ JIS	☐	年 月 日
☐ 場所打ちコンクリート杭	コンクリートFc N/mm ² Fq N/mm ² スランプ cm以下 セメント量 kg/m ³ 単位水量 kg/m ³ 鉄 筋 主筋 SD HOOP SD	☐ オールケーシング ☐ 拡底杭 ☐ リバースサーキュレーション ☐ アースドリル ☐ ミニアース ☐ BH ☐ 深礎 ☐ 手掘 ☐ 機械掘	評定 号 年 月 日

- 杭仕様 ☐施工計画書承認 ☐杭施工結果報告書
- 試験杭（☐有 ☐無）（☐打ち込み ☐載荷 ☐孔壁測定） 本

杭径 (mm)	設計支持力 (kN)	杭の先端の深さ (m)	本 数	特 記 事 項

5 設備関係

- ・建築設備の構造は、構造耐力上安全な構造方法を用いるものとする。
- ・建築設備の支持構造部および緊結金物には、錆止め等、防腐のための有効な措置を講ずること。
- ・建築物に設ける屋上からの突出する水槽・煙突・その他これらに類するものは、風圧・地震力等に対して構造耐力上主要な部分に緊結され、安全であること。
- ・煙突は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造とすること。
- ・設備配管は、地震時等の建物変形に追従できること。また、地震力等に対して適切に支持されていること。
- ・設備機器の架台及び基礎については、風圧・地震力等に対して構造耐力上安全であること。
- ・エレベーターの駆動装置等は、構造体に安全に緊結されていること。
- ・特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。
- ・床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの 1/3 以下とし管の間隔を管径の3倍以上かつ5cm以上を原則とする。

6 その他

- ・諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
- ・各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
- ・必要に応じて記録写真を撮り保管すること。
- ・本構造配筋標準図は、設計者の責任において使用すること。

II 配筋標準図

1 鉄筋の材料

鉄筋は表 1 により、種類の記号は特記による。

表 1 鉄 筋		種 類 の 記 号			
規 格 番 号	規 格 名 称				
JIS G3112	鉄筋コンクリート用棒鋼	SR235	SR295	SD295	SD345 SD390

溶接金網は JIS G3551（溶接金網及び鉄筋格子）により、網目の形状、寸法及び鉄線の径は特記による。

2 鉄筋の表示記号

表 2 鉄 筋 記 号								
鉄筋径	異形鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29 D32
表 示 記 号	●	×	○	●	○	◎	⊗	◎

3 鉄筋の最小かぶり厚さ及び間隔

- (a) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは下表による。ただし、柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

表 3 かぶり厚さ		最小かぶり厚さ (mm)
構 造 部 分 の 種 別		
土に接しない部分	スラブ、耐力壁以外の壁	仕上げあり 20 仕上げなし 30
	柱、梁、耐力壁	屋 内 仕上げあり 30 仕上げなし 30
		屋 外 仕上げあり 30 仕上げなし 40
		擁壁、耐圧スラブ 40
	土に接する部分	柱、梁、スラブ、壁 *40
	煙突等高温を受ける部分	*60

- (注) 1. *印のかぶり厚さは、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は、特記による。

2. 「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、仕上塗材、吹付け又は塗装等の鉄筋の耐久上有効でない仕上げのものを除く。

3. スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨コンクリートの厚さを含まない。

4. 杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭天端からとする。

5. 塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所は、特記による。

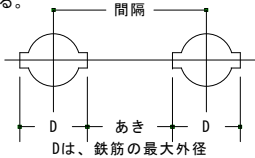
- (b) 柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶりの厚さは、最小かぶり厚さに10mmを加えた数値を標準とする。

- (c) 鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

- (d) 鉄筋相互のあきは、下記のうち最大のもの以上とする。

ただし、特殊な鉄筋継手の場合のあきは、特記による。

- (1) 粗骨材の最大寸法の1.25倍
- (2) 25mm
- (3) 隣り合う鉄筋の平均径の1.5倍
- (e) 鉄骨鉄筋コンクリート造の基礎、主筋と平行する鉄骨とのあきは (d) による。
- (f) 貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは、(c) による。



4 鉄筋の末端部

鉄筋の末端部には、次の場合にフックをつける。

- (1) 根巻き柱脚の主筋で末端部が頂部にあるもの。
- (2) 杭基礎のベース筋。
- (3) 帯筋、あばら筋及び幅止め筋。

表 4 鉄筋の折曲げ		SD295	SD345	SD390	
折曲げ角度	折 曲 げ 図	D16以下	D19～D38		
180°		D	3d以上	5d以上	
135°		D	3d以上	5d以上	
90°		D	3d以上	5d以上	
135°及び90° (幅止め筋)		D	3d以上	5d以上	

5 鉄筋の継手

- (a) 鉄筋の継手は重ね継手、ガス圧接継手又は特殊な鉄筋継手とし、適用は特記による。
- (b) 鉄筋の継手位置は、特記による。
- (c) 鉄筋の重ね継手は、次による。

なお、径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。

- (1) 主筋及び耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、特記による。特記がなければ、40d（軽量コンクリートの場合は50d）と表 5. 1 の重ね継手長さのうち大きい値とする。

- (2) (1)以外の鉄筋の重ね継手の長さは、表 5. 1による。

- (3) 隣り合う継手の位置は、表 5. 2による。ただし、壁の場合及びスラブ筋でD16以下の場合は除く。

なお、先組工法等で、柱、梁の主筋の継手を同一箇所にはける場合は、特記による。

表 5. 1 鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 (Fc) (N/mm ²)	L ₁ （フックなし）	L _{1n} （フックあり）
SD295	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24, 27	35d	25d
	30, 33, 36	35d	25d
SD345	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24, 27	40d	30d
	30, 33, 36	35d	25d
SD390	21	50d	35d
	24, 27	45d	35d
	30, 33, 36	40d	30d

- (注) 1. L₁、L_{1n}：重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ
2. フックありの場合のL_{1n}は、図 5. 1 に示すようにフック部分 1/2 を含まない。
3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

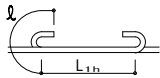


図 5. 1 フックありの場合の重ね継手の長さ

表 5. 2 隣合う継手の位置

重ね継手	フックありの場合	
	フックなしの場合	
圧接継手の場合		
機械式継手の場合		

6. 鉄筋の定着

表 6. 1 鉄筋の定着の長さ

(注) 1. L_1 、 L_{1h} : (b) 以外の直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ
2. L_2 、 L_{2h} : 割裂破壊のおそれのない箇所への直線定着長さ及びフックあり定着の長さ
3. L_3 : 小梁及びスラブの下端筋の直線定着長さ。ただし、基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁は除く。
4. L_{3h} : 小梁の下端筋のフックあり定着の長さ
5. フックあり定着の場合は、図 6. 1 に示すようにフック部分 $\bar{L}$ を含まない。また中間部での折り曲げは行わない。
6. 軽量コンクリートの場合は、表の値に 5d を加えたものとする。
(c) 定着の方法は、図 6. 1 による。

Figure 1 consists of two diagrams, (a) and (b), illustrating pipe connection methods. Diagram (a) shows a pipe with a fixed start point (定着起点) and a hookless (フックなし) connection. The connection length is labeled as L_1 , L_2 , or L_3 . Diagram (b) shows a pipe with a hook (フック) and a connection length (L_a) that is at least $3/4$ of the pipe diameter (ただし、柱せいの $3/4$ 倍以上). The connection length is labeled as L . Both diagrams show the connection length (L) and the overall length (L_a).

* (a), (b) の長さを全長で確保する

Figure 1 consists of two diagrams illustrating beam bending and projection length determination. Diagram (イ) 直線定着 (Straight Fixing) shows a beam bent 180 degrees against a wall. The distance from the wall to the start of the bend is labeled L_{1h} , L_{2h} , or L_{3h} . The radius of the bend is labeled l . Diagram (ロ) 折り曲げ定着 (Bent Fixing) shows a beam bent 180 degrees. The distance from the wall to the start of the bend is labeled L_1 or L_2 . The distance from the wall to the end of the bend is labeled L_b . The distance from the wall to the end of the straight section is labeled L . The distance from the wall to the end of the bent section is labeled 定着 (Fixing).

図 6. 1 定着の方法

表 6. 2 投影定着長さ

7. 基礎

Figure 7 illustrates the reinforcement details for pile caps, divided into two types: (A) and (B). Both diagrams show a cross-section of a pile cap with reinforcement bars (D13-300 longitudinal, D10-100 transverse) and a base reinforcement. The pile diameter is indicated as 杭径. The concrete layer thickness is 100mm for Type A and 150mm for Type B. The reinforcement layout is shown in detail, including the base reinforcement and the longitudinal bars.

(注) 1. 中詰めコンクリート補強筋は、次による。
 ・杭径300φ 以下 4-D13
 ・杭径350~400φ 6-D13
 ・杭径450~600φ 8-D13
 ・帯筋 D10-100@

2. 中詰めコンクリート補強筋は、フックをつける

图 7.2

图 7.3

8. 基礎梁

图 8.1

图 8.1

図 8. 2

图 8.2

图 8.3

图 8.4

图 8.5




$0 < D \leq 200$
 $200 < D \leq 1,000$

Technical drawing of a shaft with a keyway. The drawing shows a cross-section of the shaft with a keyway. The dimensions and tolerances are indicated as follows:

- Overall length: 30 ± 0.1
- Keyway width: 10 ± 0.1
- Keyway depth: 5 ± 0.1
- Keyway position: 10 ± 0.1
- Keyway tolerance: 0.1

图 8.6

9. 基礎柱

① H形 $\geq 6d$

(イ) (ロ)

② W-1形 (注) 溶接は、鉄筋の組立て前に行う

(イ)

☒ 10. 1

(1) H形配筋

(注)は、一般部分のあばら筋を示す。

Figure 11.1.1 consists of two diagrams illustrating reinforcement details for a rectangular section. The left diagram is a cross-section showing a central circular void. It features diagonal reinforcement bars (斜め筋), horizontal reinforcement bars (横筋), and vertical reinforcement bars (縦筋). The top and bottom reinforcement bars are labeled as top reinforcement (上縦筋) and bottom reinforcement (下縦筋). The right diagram is a longitudinal section showing the reinforcement bars and stirrups (あばら筋) around the central void. It also labels the top reinforcement (上縦筋), bottom reinforcement (下縦筋), and the stirrups (あばら筋).

图 11.1

图 11.2

(注) 採用する配筋については、特記による。
大臣認定による既製品を使用する場合は、すべて認定内容による。

鉄骨構造標準図 7－3 (溶接A)		6 仕口部溶接図示例		1 すみ肉溶接	1－2 K型すみ肉溶接	1－3 断続すみ肉溶接
特記事項		柱H形鋼の場合 柱角形鋼管の場合		1 表		
1 適用範囲				1 表		
1. 本標準図は「溶接工作基準・同解説、Iアーク溶接、IVサブマージアーク自動溶接、IVガスシールド半自動溶接：日本建築学会」に従い、工場溶接を行う場合に適用する。				1 表		
2. 特に設計者の指示がある場合はそれに従う。				1 表		
3. 本図によらない場合は、設計者の承認を受ける。				1 表		
4. 本構造標準図は、設計者の責任において使用すること。				1 表		
2 適用鋼材				1 表		
溶接法 鋼材の記号 板厚 (mm)				1 表		
M SS400 SSC400 STKR400 STK400 STK490 2.3～6				1 表		
M SS400 SM490YA STKR400 STK490 6～25				1 表		
M SM400A SM490B SN400B・C SN490B・C 6～32				1 表		
NG SM490A SM520B SN400B・C SN490B・C 6～38				1 表		
G SN400B・C BCR295 BCP235 BCP295 6～45				1 表		
S SN400B・C SN490B・C 6～45				1 表		
SM400B SM400C・SM520C SM570 6～50				1 表		
予熱は、鉄骨工事技術指針に従い行うものとする。技術指針に該当しない鋼材については、必要な試験を行った上、適切な熱管理のもとで準用してよい。				1 表		
3 適用溶接法と記号		7 エンドタブ、裏あて金、補強隅肉、スカーラップ		2 レ型突合せ	3 レ型突合せ	4 K型突合せ
M アーク手溶接		・ 突合わせ溶接の両端にはエンドタブを取付け、アークの開始および終了点とする。 寸法は下図による。		1 表		
NG ノンガスシールドアーク半自動溶接		・ 裏あて金の厚さは、母材の厚さ6mmの場合6mm、25mmまでは9mm、25mm以上は12mmとする。		1 表		
G ガスシールドアーク半自動溶接		・ スチール製エンドタブに替えてフラックススタブ・セラミックスタブを監督員の承諾を得て使用する事ができる。		1 表		
S サブマージアーク自動溶接				1 表		
C 突合せ溶接				1 表		
P 部分溶け込み溶接				1 表		
F すみ肉溶接				1 表		
T T継ぎ手				1 表		
L 角継ぎ手				1 表		
B 突合せ継ぎ手				1 表		
I I形				1 表		
V V形				1 表		
レ レ形				1 表		
K K形				1 表		
X X形				1 表		
B 裏あて金				1 表		
1 片面溶接				1 表		
2 両面溶接 MC、NGC、GC、は、表はつりをする。				1 表		
(例) MC－TL－B1＝アーク手溶接突合せ－レ形T継ぎ手－裏あて金付き片面溶接				1 表		
4 溶接姿勢				1 表		
F 下向姿勢				1 表		
H 水平又は、横向姿勢				1 表		
V 立向姿勢				1 表		
O 上向姿勢				1 表		
手溶接における姿勢は、特記あるものを除き、原則として下向とする。				1 表		
5 その他				1 表		
1. 使用板厚は半自動、自動溶接の場合は6mm以上とする。				1 表		
2. 手溶接において、1層目の溶接を行う棒径は4mm以下とする。				1 表		
3. 寸法の許容誤差で図示したもの以外は、下記による。				1 表		
a 開先角度は、-3° ～+5° とする。				1 表		
b 裏あて金のすきまは0とし許容誤差は、-0～+1とする。				1 表		
c 重ね継ぎ手のすきまは0とし許容誤差は、-0～+2とする。				1 表		
d グループ溶接部の相互の目違いは0とし、許容誤差は、-1～+1とする。				1 表		
e 突き合わせ溶接及び部分溶け込み溶接の余盛の高さは、特記なき場合は、右記詳細図によるものとする。				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		
				1 表		

徳島県土木整備部営繕課		●工事名 R 7 営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)	●図面番号 S-標3	株式会社 橘 建 築 事 務 所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明
設計 R7. 7		竣工	●縮尺 NON	

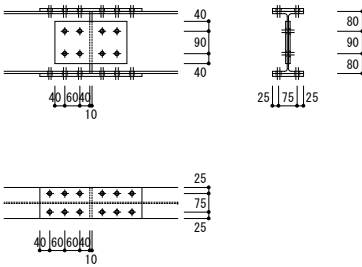
鉄骨構造標準図 7-4 (接合部)

H型鋼標準接合部

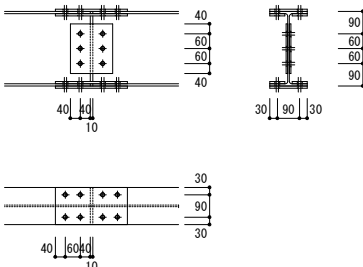
特記事項

- 許容耐力設計において、存在応力が本標準図の許容耐力以内である事を確認すること。
- 本標準図は保有耐力接合を示す標準図である。
- 孔径はボルト軸径+2mm以内とする。
- 鋼材の材質は SS400、SN400A・B・Cとする。
- 高力ボルトは S10T、F10Tとする。
- 亜鉛メッキを施した場合には本表は使用できない。
- 大梁の内法長さが本表に示す最小長さ以下の場合せん断耐力が不足するため本表は使用できない。
- 別途設計をした場合本標準図は使用しなくても良い。
- 継手部添板の切断はガス手動切断・シャー切断をしてはならない。

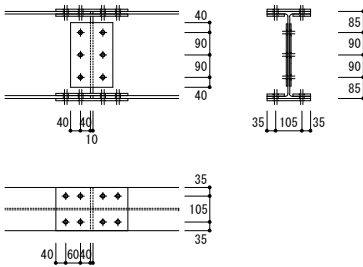
H-250×125×6×9



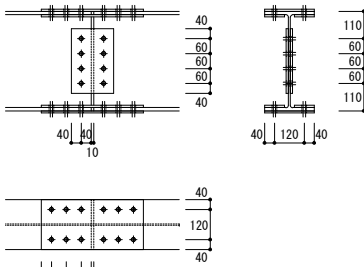
H-300×150×6.5×9



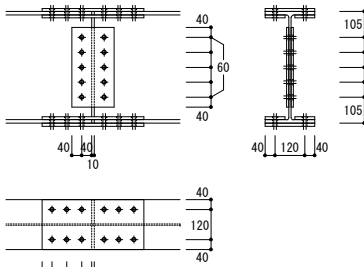
H-350×175×7×11



H-400×200×8×13



H-450×200×9×14



高力ボルト	母材と同等品					使用可能な梁の最小長さ
全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	24	M16	2	12	125	
ウェブ	8	M16	2	6	290	0.80m

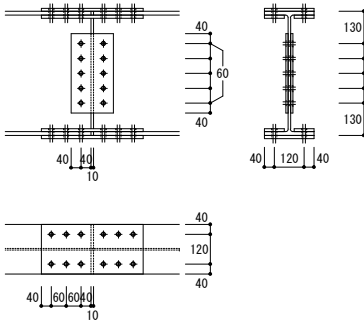
高力ボルト	母材と同等品					使用可能な梁の最小長さ
全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	16	M16	2	9	150	
ウェブ	6	M16	2	6	170	0.97m

高力ボルト	母材と同等品					使用可能な梁の最小長さ
全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	16	M20	2	9	175	
ウェブ	6	M20	2	6	170	1.25m

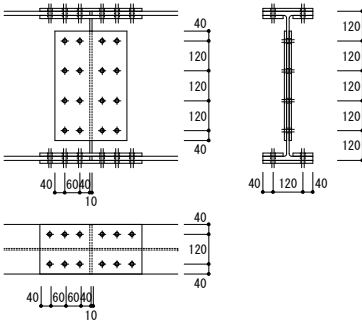
高力ボルト	母材と同等品					使用可能な梁の最小長さ
全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	24	M20	2	9	200	
ウェブ	8	M20	2	9	170	1.52m

高力ボルト	母材と同等品					使用可能な梁の最小長さ
全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	24	M20	2	12	200	
ウェブ	10	M20	2	9	170	1.56m

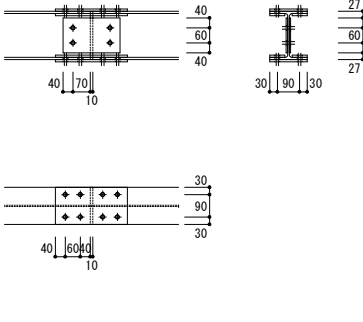
H-500×200×10×16



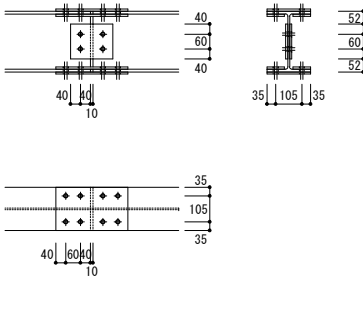
H-600×200×11×17



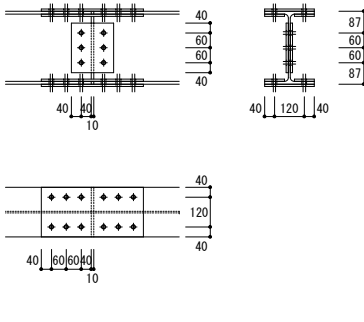
H-194×150×6×9



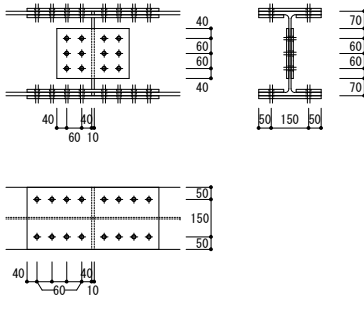
○H-244×175×7×11



H-294×200×8×12



H-340×250×9×14



高力ボルト	母材と同等品					使用可能な梁の最小長さ
全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	24	M20	2	12	200	
ウェブ	10	M20	2	9	170	1.57m

高力ボルト	母材と同等品					使用可能な梁の最小長さ
全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	24	M20	2	12	200	
ウェブ	16	M20	2	9	290	1.46m

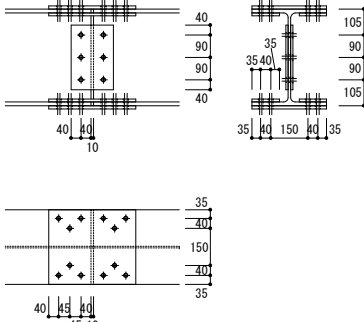
高力ボルト	母材と同等品					使用可能な梁の最小長さ
全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	16	M16	2	9	150	
ウェブ	4	M16	2	6	230	0.95m

高力ボルト	母材と同等品					使用可能な梁の最小長さ
全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	16	M20	2	9	175	
ウェブ	4	M20	2	9	170	1.17m

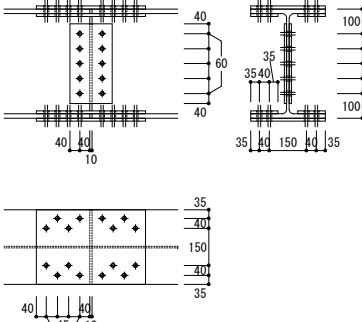
高力ボルト	母材と同等品					使用可能な梁の最小長さ
全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	24	M20	2	9	200	
ウェブ	6	M20	2	9	170	1.36m

高力ボルト	母材と同等品					使用可能な梁の最小長さ
全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	32	M20	2	12	250	
ウェブ	12	M20	2	9	290	1.65m

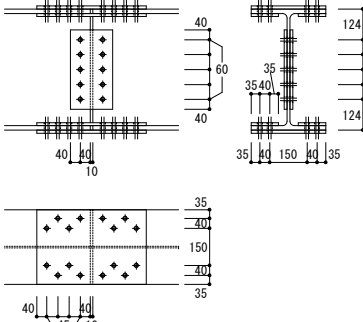
H-390×300×10×16



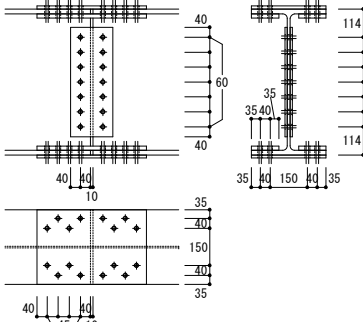
H-440×300×11×18



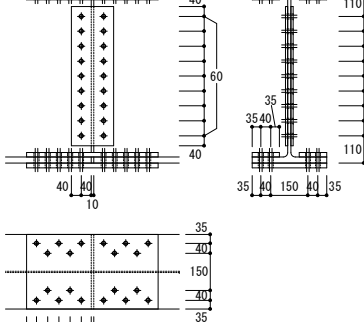
H-488×300×11×18



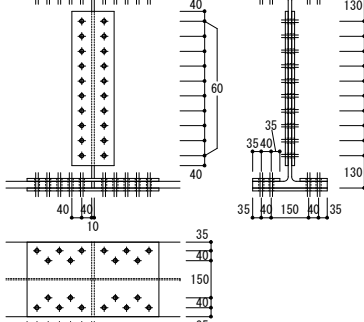
H-588×300×12×20



H-700×300×13×24



H-800×300×14×26



高力ボルト	母材と同等品					使用可能な梁の最小長さ
全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	24	M22	2	12	300	
ウェブ	6	M22	2	9	170	1.98m

高力ボルト	母材と同等品					使用可能な梁の最小長さ
全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	32	M22	2	12	300	
ウェブ	10	M22	2	9	170	2.33m

高力ボルト	母材と同等品					使用可能な梁の最小長さ
全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	32	M22	2	12	300	
ウェブ	10	M22	2	12	170	2.27m

高力ボルト	母材と同等品					使用可能な梁の最小長さ
全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	32	M22	2	12	300	
ウェブ	14	M22	2	9	170	2.52m

高力ボルト	母材と同等品					使用可能な梁の最小長さ
全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	40	M22	2	19	300	
ウェブ	18	M22	2	9	170	2.95m

高力ボルト	母材と同等品					使用可能な梁の最小長さ
全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	40	M22	2	19	300	
ウェブ	20	M22	2	12	170	3.01m

2022.4.1 訂 一般社団法人 徳島県建築士事務所協会
一級建築士 登録 第305644号
構造設計一級建築士 交付 第 8430号 中村 康一

徳島県土整備部営繕課

設計

竣工

●工事名 R7営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築
(担い手確保型)

●図面名

【車庫・倉庫棟】鉄骨構造標準図(4)

●図面番号 S-標4

●縮尺

NON

株式会社 橘 建 築 事 務 所

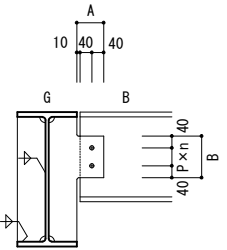
一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号
〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号
TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885
一級建築士登録 第333705号 森脇康明

鉄骨構造標準図 7-5

小梁接合部

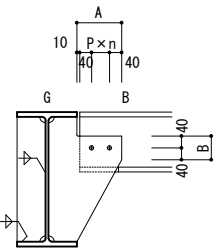
特記事項

- 鋼材の材質は SS400 SN400A・B・Cとする。
- ガセットプレートの材質は、大梁と同じものとする。
- 高力ボルトは S10T・F10Tとする。
- 大梁の横補剛材として使用する場合は別途計算の上決定する必要がある。
- 本標準図は小梁の接合部を示すものであるが、別途設計を行う場合は本図を用いなくてよい。
- 本標準図に記載されている耐力は参考値であって、本図を用いる場合は、耐力の確認を行うこと。
- ボルト孔明けは、ドリル明けとする。
- 小梁のたわみ量は算定していません。



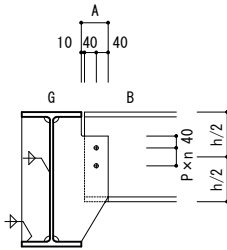
H-200×100
H-194×150 以上の場合

タイプ
A



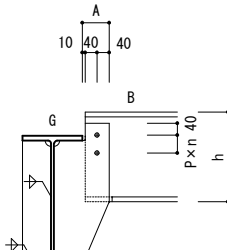
H-175×90
H-148×100 以下の場合

タイプ
B

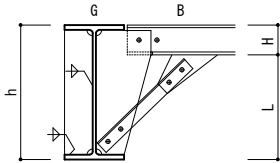


H-200×100
H-194×150 以上の場合

タイプ
C



タイプ
D



方杖材 θ=45°
2LS-65×65×6
HTB 4-M16
b材取付はA-Eによる。

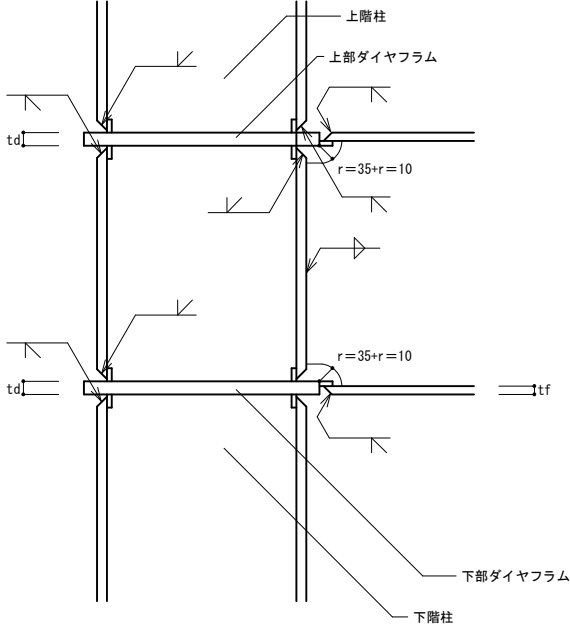
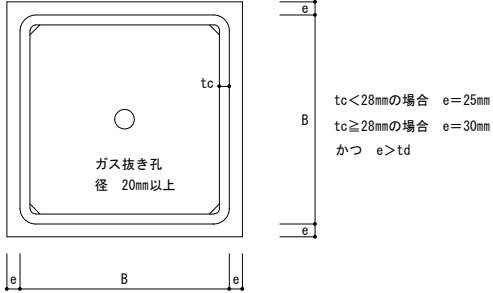
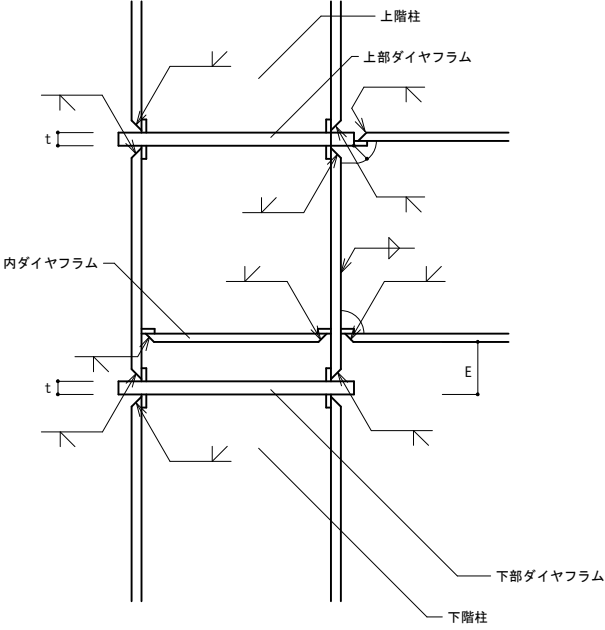
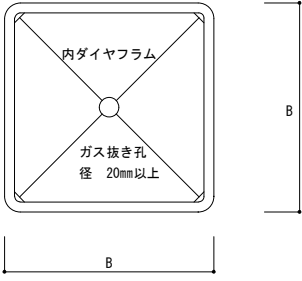
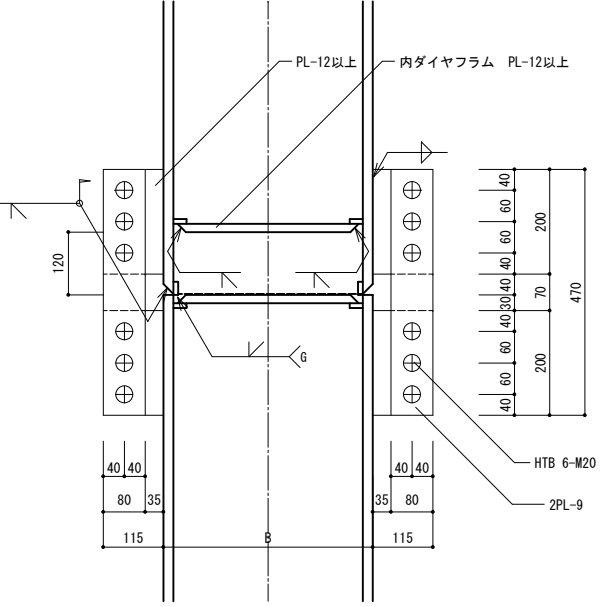
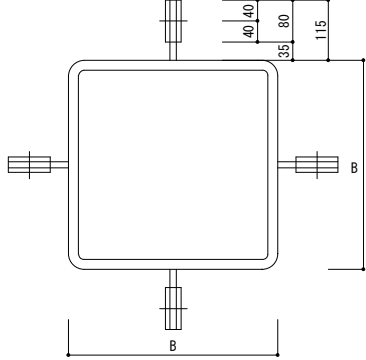
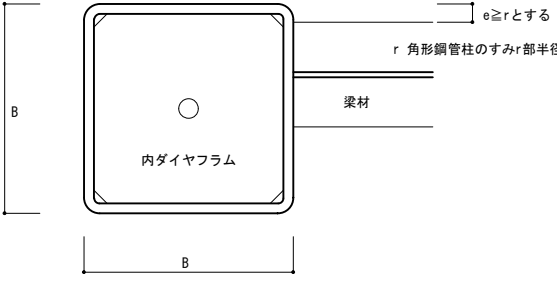
タイプ
E

記号	タイプ	細幅ｼｰｽﾞ 小梁 (B)	許容せん断耐力	大梁 (G)	HTB		G. P				記号	タイプ	中幅ｼｰｽﾞ 小梁 (B)	許容せん断耐力	大梁 (G)	HTB		G. P			
					N×径	許容せん断耐力	t	許容せん断耐力	P×n	A×B						N×径	許容せん断耐力	t	許容せん断耐力	P×n	A×B
BJ01		H-100×50×5×7	※[30.80]	H-298×149 H-244×175 以下	2-M16	[59.23]	6.0	[39.13]	60×1	150×80	BJ51		H-148×100×6×9	[60.88]	H-298×149 H-244×175 以下	2-M16	[59.23]	6.0	※[33.70]	60×1	150×80
BJ02				H-300×150 H-294×200 以上	2-M16	[59.23]	9.0	[58.70]	60×1	150×80	BJ52				H-300×150 H-294×200 以上	2-M16	[59.23]	9.0	※[50.55]	60×1	150×80
BJ03		H-125×60×6×8	[49.46]	H-298×149 H-244×175 以下	2-M16	[59.23]	6.0	※[45.93]	60×1	150×80	BJ53		H-194×150×6×9	[76.10]	H-298×149 H-244×175 以下	2-M16	[59.23]	6.0	※[56.53]	60×1	90×140
BJ04				H-300×150 H-294×200 以上	2-M16	[59.23]	9.0	[68.89]	60×1	150×80	BJ54				H-300×150 H-294×200 以上	2-M16	※[59.23]	9.0	[84.79]	60×1	90×140
BJ05	A	H-150×75×5×7	[53.45]	H-298×149 H-244×175 以下	2-M16	[59.23]	6.0	※[52.72]	60×1	150×80	BJ55		H-244×175×7×11	[112.88]	H-298×149 H-244×175 以下	2-M20	[92.38]	6.0	※[52.18]	60×1	90×140
BJ06				H-300×150 H-294×200 以上	2-M16	[59.23]	9.0	[79.09]	60×1	150×80	BJ56				H-300×150 H-294×200 以上	2-M20	[92.38]	9.0	※[78.27]	60×1	90×140
BJ07		H-175×90×5×8	[63.87]	H-298×149 H-244×175 以下	2-M16	※[59.23]	6.0	[59.52]	60×1	150×80	BJ57		H-294×200×8×12	[147.84]	H-300×150 H-294×200 以上	3-M20	[138.57]	9.0	※[109.25]	60×2	90×200
BJ08				H-300×150 H-294×200 以上	2-M16	※[59.23]	9.0	[89.29]	60×1	150×80	BJ58		H-340×250×9×14	[182.63]	H-350×175 H-340×250 以上	4-M20	[184.76]	9.0	※[140.23]	60×3	90×260
BJ09	D	H-200×100×5.5×8	[73.74]	H-298×149 H-244×175 以下	2-M16	[59.23]	6.0	※[56.53]	60×1	90×140	BJ59		H-390×300×10×13	[242.78]	H-400×200 H-390×300 以上	4-M22	[223.59]	12.0	※[178.28]	60×3	90×260
BJ10				H-300×150 H-294×200 以上	2-M16	※[59.23]	9.0	[84.79]	60×1	90×140	BJ60		H-440×300×11×18	[283.00]	H-450×200 H-440×300 以上	5-M22	[279.48]	12.0	※[217.42]	60×4	90×320
BJ11		H-248×124×5×8	※[75.19]	H-298×149 H-244×175 以下	3-M16	[88.85]	6.0	[79.35]	60×2	90×200	BJ61		H-482×300×11×15	[306.92]	H-500×200 H-482×300 以上	6-M22	[335.38]	12.0	※[256.55]	60×5	90×380
BJ12				H-300×150 H-294×200 以上	3-M16	[88.85]	9.0	[119.03]	60×2	90×200	BJ62		H-488×300×11×18	[306.92]	H-600×200 H-582×300 以上	6-M22	[335.38]	12.0	※[256.55]	60×5	90×380
BJ13		H-250×125×6×9	[90.23]	H-298×149 H-244×175 以下	3-M16	[88.85]	6.0	※[79.35]	60×2	90×200	BJ63		H-582×300×12×17	[413.09]	H-600×200 H-582×300 以上	7-M22	[391.28]	12.0	※[295.69]	60×6	90×440
BJ14				H-300×150 H-294×200 以上	3-M16	※[88.85]	9.0	[119.03]	60×2	90×200	BJ64		H-588×300×13×20	[413.09]	H-600×200 H-582×300 以上	7-M22	[391.28]	12.0	※[295.69]	60×6	90×440
BJ15		H-298×149×5.5×8	※[107.62]	H-298×149 H-294×200 以上	3-M20	[138.57]	9.0	[109.25]	60×2	90×200	BJ65		H-692×300×13×20	[513.46]	H-700×300 H-692×300 以上	9-M22	[503.08]	16.0	※[498.61]	60×8	90×560
BJ16		H-300×150×6.5×9	[127.19]	H-300×150 H-294×200 以上	3-M20	[138.57]	9.0	※[109.25]	60×2	90×200	BJ66		H-700×300×13×24	[513.46]	H-700×300 H-692×300 以上	9-M22	[503.08]	16.0	※[498.61]	60×8	90×560
BJ17		H-346×174×6×9	※[130.45]	H-346×174 H-340×250 以上	4-M20	[184.76]	9.0	[140.23]	60×3	90×260	BJ67		H-792×300×14×22	[613.84]	H-800×300 H-792×300 以上	11-M22	[614.87]	16.0	※[602.97]	60×10	90×680
BJ18		H-350×175×7×11	[152.19]	H-350×175 H-340×250 以上	4-M20	[184.76]	9.0	※[140.23]	60×3	90×260	BJ68		H-800×300×14×26	[613.84]	H-800×300 H-792×300 以上	11-M22	[614.87]	16.0	※[602.97]	60×10	90×680
BJ19		H-396×199×7×11	※[167.41]	H-396×199 H-390×300 以上	5-M20	[230.95]	9.0	[171.22]	60×4	90×320	BJ69		H-890×299×15×23	[755.52]	H-900×300 H-890×300 以上	12-M22	※[670.77]	19.0	[777.99]	60×11	90×740
BJ20		H-400×200×8×13	[191.33]	H-400×200 H-390×300 以上	5-M20	[230.95]	9.0	※[171.22]	60×4	90×320	BJ70		H-900×300×16×28	[805.89]	H-900×300 H-890×300 以上	12-M22	※[670.77]	19.0	[777.99]	60×11	90×740
BJ21		H-446×199×8×12	[226.11]	H-446×199 H-440×300 以上	5-M20	[230.95]	9.0	※[171.22]	60×4	90×320	注：1. 小梁に小梁（2次小梁）がつく場合は大梁（G）を小梁と読みかえる。 2. 図中[]内の数値は参考許容せん断力とし※印は最低値を示す。 3. H-100×50、H-125×60、H-150×75、H-175×90、H-148×100の取付方法は、Bタイプ又はEタイプとする。										
BJ22		H-450×200×9×14	[254.38]	H-450×200 H-440×300 以上	5-M20	[230.95]	12.0	※[228.29]	60×4	90×320											
BJ23		H-496×199×9×14	[273.94]	H-496×199 H-482×300 以上	6-M20	[277.14]	12.0	※[269.60]	60×5	90×380											
BJ24		H-500×200×10×16	[304.38]	H-500×200 H-482×300 以上	6-M20	[277.14]	12.0	※[269.60]	60×5	90×380											
BJ25		H-600×200×11×17	[389.23]	H-600×200 H-582×300 以上	8-M20	[277.14]	12.0	※[269.60]	60×7	90×500											

耐力の単位:kN

2022.4.1 訂 一般社団法人 徳島県建築士事務所協会
一級建築士 登録 第305644号
構造設計一級建築士 交付 第 8430号 中村 康一

		徳島県県土整備部営繕課	●工事名 R7営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)	●図面番号 S-標5	株式会社 橘 建 築 事 務 所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明
	設計 R7.7	竣工	●図面名 【車庫・倉庫棟】鉄骨構造標準図(5)	●縮尺 NON	

鉄骨構造標準図 7－6（角形鋼管柱仕口）		柱頭部（ダイヤフラムに段差のない場合）詳細図	柱頭部（ダイヤフラムに段差のある場合）詳細図	柱現場継ぎ手 詳細図
特記事項 1. 本標準図は、冷間（熱間）成形角形鋼管を柱として使用した場合の基準を示す。 2. 次項に記載する鋼材を使用しない場合は、別途設計による。 3. 使用する鋼材の材質 a 角形鋼管柱材質 SM400 SS400 SN400B SM490A SS490 SN490B・C b 製造方法 冷間プレス成形角形鋼管 BCP235（SN400BC） 冷間プレス成形角形鋼管 BCP325（SN490BC） 冷間ロール成形角形鋼管 BCR295（SN400B） 熱間成形角形鋼管 SHC400B/C（SN400級） 熱間成形角形鋼管 SHC490B/C（SN490級） 冷間成形角形鋼管 STKR400 STKR490 c ベースプレート等 ・露出柱脚 ・根巻柱脚 ・埋込柱脚 露出柱脚の場合 ・認定品（ ） ・在来工法 4. ダイヤフラム等 使用材料 SS400 SN400（B・C） SM490A SN490（B・C） 加工方法 工場製作 鋳造製ダイヤフラム 5. JIS規格等 冷間プレス成形角形鋼管（BCP） 国土交通大臣認定品 冷間ロール成形角形鋼管（BCR） 国土交通大臣認定品 熱間成形角形鋼管 建築センター評定品 冷間成形角形鋼管（STKR） JIS G 3466 6. ベースプレート等の設置 ・アンカーボルトの設置は、指定各社の施工基準に基づき正確に設置すること。 ・鋼管柱とベースプレートとの接合は、各社の施工基準に基づき入念な施工を行うものとする。 ・アンカーボルトの設置は、特記なき限りA種先付け工法とする。 ・アンカーボルトの設置は、施工業者の責任施工とする。 ・ベースプレートとコンクリートの空隙部は、特記なき限り無収縮グラウト注入とする。 ・露出型固定柱脚は、メーカー毎で、剛性・強度が異なるため変更の際に注意すること。 7. STKR・BCP・BCRには互換性がないので注意すること。 8. 溶接部は全て製作所（社内検査）におけるUT検査を行うこと。 9. 鋼材の使用区分について （参考） a 角形鋼管柱を使用した鉄骨造架構 柱材・梁材・接合用板材 SN400B SN490B SS400 ダイヤフラム・ベースプレート SN400C SN490C 小梁・間柱・根太母屋材 SN400A SN490A SS400 b 角形鋼管柱を使用した鉄骨造架構 柱材・梁材・接合用板材 SN400B SN490B SS400 ベースプレート SN400C SN490C 小梁・間柱・根太母屋材 SN400A SN490A SS400		 ・ダイヤフラムに使用する鋼板は、SN400C、SN490Cとする。 ・t>取り付く大梁フランジの最大厚さ+6mm を越える厚さかつ柱板厚以上。  tc<28mmの場合 e=25mm tc≧28mmの場合 e=30mm かつ e>td	 ・E=100mm未満の場合は、2段ダイヤフラム方式は採用しない。 ・ダイヤフラムに使用する鋼板は、SN400C、SN490Cとする。 ・tは取り付く大梁フランジの最大厚さ+6mm を越える厚さかつ柱板厚以上。  ・内ダイヤフラムの厚さは、取り付く梁のフランジ厚さ以上で強度は、取り付く部材の最も優れた材質とする。	 柱 板厚・ボルト数は最低量を示したものであり、組み立てる部材の重量を考慮して設計してください。 当仮設継ぎ手は、8.0×8.0スパンで4階までは可能である。 
		角形鋼管柱・梁仕口 詳細図		
		 e≧rとする r 角形鋼管柱のすみr部半径		

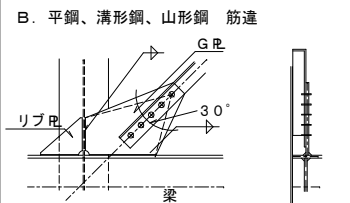
2022. 4. 1 訂 一般社団法人 徳島県建築士事務所協会
一級建築士 登録 第305644号
構造設計一級建築士 交付 第 8430号 中村 康一

	徳島県土整備部営繕課	●工事名 R 7 営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築（担い手確保型）	●図面番号 S-標6	株式会社橘 建 築 事 務 所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇康明
	設計 R7.7	竣工	●縮尺 NON	

鉄骨構造標準図 7ー7

(筋かい)

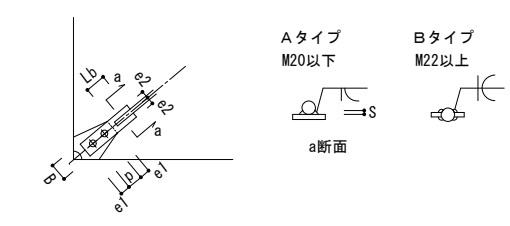
- A. ターンバックル筋違 JIS A5540
- 1) ターンバックルボルト
JIS A 5542の規格品、性能評定品。
材質 SS400 (JIS G3101)
種類 羽子板ボルトJIS記号 : S
- 2) ターンバックル胴
JIS A 5541の規格品、性能評定品。
材質 SS400 (JIS G3101), ST
KM11A, 12A, 13A,
14A (JIS G3445)
種類 1種 (割枠式 JIS記号 : ST)
2種 (パイプ式 JIS記号 : PT)
- 3) 接合用高力ボルトは S10T及び F10Tとする。
- 4) ターンバックルボルトの羽子板部分に製造メーカーの略号を刻印にて明示すること。
- 5) 筋かい端部の接合はせん断接合である。



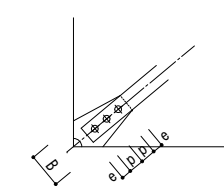
- 1) 使用鋼材 SS400・SN400A・B
- 2) 筋違端部板の面内力だけでは力が伝達されない場合は、必ず水平あるいは鉛直のスチフナーをもうけ変形を防止し、十分な力を伝達させる対策を講じなければならない。
- 3) ガセットプレートの縁は第一ボルトの位置から筋違の軸線の左右各30度の線を切ってはならない。止むを得ずこれを切る場合は偏心による複合応力度の検討を行わなければならない。
- 4) 原則として梁は持出継手とし、ガセットプレートは梁心に合わせて溶接する。止むを得ず偏心する場合は局部変形防止の設計を行わなければならない。
- 5) すみ肉溶接の有効長さには、一辺の長さ 10S 以下は算入しない。
- 6) ガセットプレートの取付く部材厚はS以上とする。
- 7) トルシア形高力ボルトは S10T または、六角高力ボルトは F10T とする。
- 8) 特記なき寸法はmmとする。
- 9) ガセットプレートを突合せ溶接とする場合は詳細設計を行うものとする。
- 10) 柱梁とガセットプレートの接合部を変更する場合は詳細設計を行うものとする。
- 11) プレースの付く柱脚では引抜力はアンカーボルトで、水平力及び偏心力は根巻き鉄筋コンクリートによって処理するものとする。止むを得ず実施出来ない場合は引抜力水平力及び偏心力に対するアンカーボルトの設計を行わなければならない。
- 12) 本標準図に記載されていないものは別途詳細設計を行うこと。

壁面プレース (床面プレースもこれに準ずる)

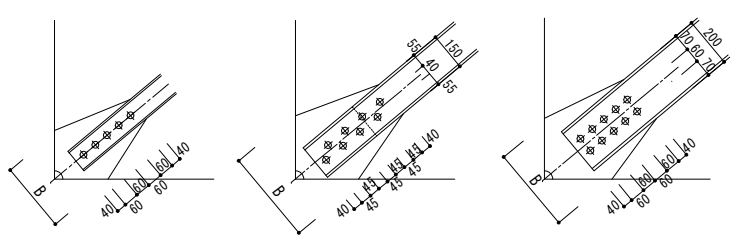
丸 鋼



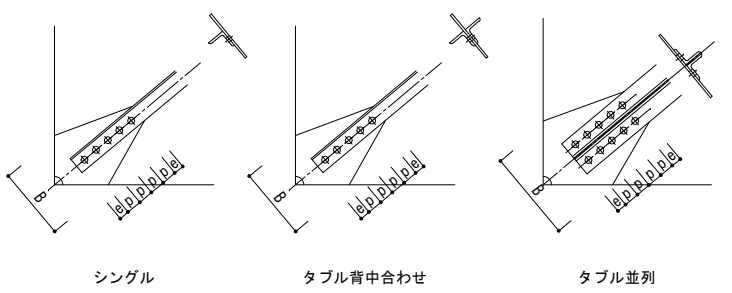
平 鋼



溝 形 鋼



山 形 鋼

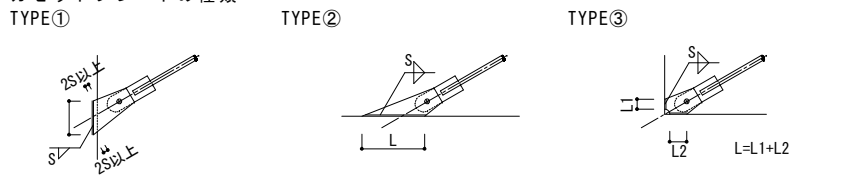


丸 鋼 (JISターンバックル筋かい)

e2は、平鋼を使用した場合の値

採 用 部 材	引張耐力 (kN)	gtxB 厚 x 幅	HTB (F10T)	p (mm)	e1 (mm)	e2 (mm)	Lb (mm)	S (mm)	溶接長 L (mm)		
									TYPE①	TYPE②	TYPE③
M12	21.0	6×60	1-M12	-	35	19.0	40	6	60	42	54
M14	28.7	6×60	1-M16	-	40	25.0	50	6	64	44	56
M16	38.6	9×70	1-M16	-	45	25.0	55	8	80	56	72
M18	48.1	9×70	1-M20	-	50	32.5	60	8	80	56	72
M20	60.6	9×80	1-M20	-	50	32.5	75	8	102	67	83
M22	74.7	12×80	1-M22	-	55	37.5	85	10	101	71	91
M24	87.7	12×90	2-M20	50	50	37.5	85	10	118	79	99
M27	113.8	12×90	2-M20	50	50	45.0	90	10	152	96	116
M30	139.3	12×100	2-M22	55	55	45.0	95	10	186	113	133
M33	172.6	12×110	2-M22	55	55	50.0	110	10	229	135	155

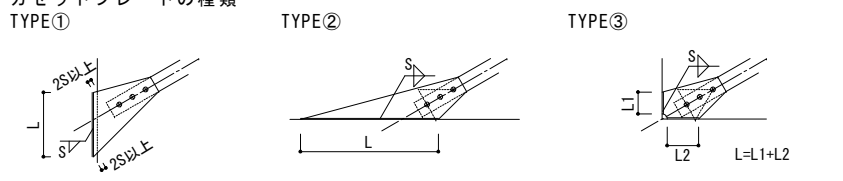
ガセットプレートの種類



平 鋼

採 用 部 材	引張耐力 (kN)	gtxB 厚 x 幅	HTB (F10T)	p (mm)	e (mm)	S (mm)	溶接長 L (mm)		
							TYPE①	TYPE②	TYPE③
FB- 65×6	66.4	6×65	2-M16	60	40	6	117	71	83
FB- 75×6	80.5	6×75	2-M16	60	40	6	142	83	95
FB- 65×9	99.5	9×65	3-M16	60	40	8	131	82	98
FB- 75×9	120.7	9×75	3-M16	60	40	8	159	96	112
FB- 90×9	144.1	9×90	3-M20	60	40	8	190	111	127
FB-100×9	165.2	9×100	3-M20	60	40	8	218	125	141
FB- 90×12	192.0	12×90	3-M20	60	40	10	202	121	141
FB-100×12	220.3	12×100	4-M20	60	40	10	232	136	156
FB- 90×16	256.1	12×115	4-M20	60	40	10	270	155	175
FB-100×16	293.7	12×130	5-M20	60	40	10	309	175	195

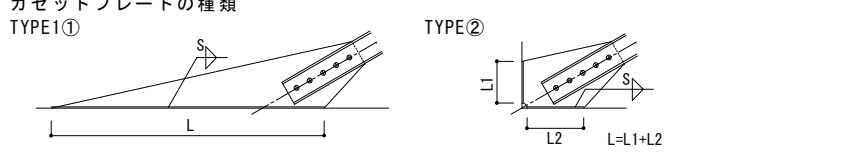
ガセットプレートの種類



溝 形 鋼

採 用 部 材	引張耐力 (kN)	gtxB 厚 x 幅	列	HTB (F10T)	S (mm)	溶接長 L (mm)		
						TYPE①	TYPE②	
[- 100×50×5×7.5	219.4	9×130	1	5-M20	8	161	177	
[- 125×65×6×8	322.6	9×180	1	6-M20	8	229	245	
[- 150×75×6.5×10	415.5	9×240	千鳥	8-M20	8	290	306	
[- 150×75×9×12.5	545.6	9×300	千鳥	9-M20	8	375	391	
[- 200×90×8×13.5	692.8	12×300	2	10-M20	10	472	488	
2[-100×50×5×7.5	509.4	12×205	1	5-M20	10	288	308	
2[-125×65×6×8	743.2	16×220	1	6-M20	13	327	353	
2[-150×75×6.5×10	1023.5	16×305	千鳥	8-M20	13	440	456	
2[-150×75×9×12.5	1311.7	16×380	千鳥	10-M20	13	557	583	
2[-200×90×8×13.5	1614.4	19×405	2	12-M20	16	563	595	

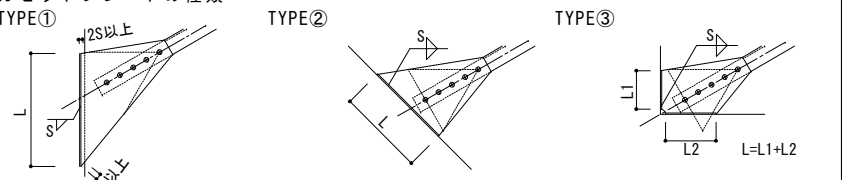
ガセットプレートの種類



山 形 鋼 (シングル)

採 用 部 材	引張耐力 (kN)	gtxB 厚 x 幅	HTB (F10T)	p (mm)	e (mm)	S (mm)	溶接長 L (mm)		
							TYPE①	TYPE②	TYPE③
L- 65×65×6	128.8	9×90	5-M16	60	40	8	170	101	117
L- 75×75×6	153.5	9×95	5-M16	60	40	8	202	117	133
L- 75×75×9	220.8	9×125	5-M16	60	40	8	291	162	178
L- 75×75×12	274.7	9×160	5-M20	60	40	8	361	197	213
L- 90×90×7	202.4	9×120	4-M20	60	40	8	267	150	166
L- 90×90×10	295.4	9×165	5-M20	60	40	8	389	211	227
L- 90×90×13	374.8	12×160	6-M20	60	40	10	395	218	238
L-100×100×7	230.0	9×135	4-M20	60	40	8	303	168	184
L-100×100×10	336.6	9×185	5-M20	60	40	8	443	238	254
L-100×100×13	415.7	12×180	6-M20	60	40	10	438	239	259

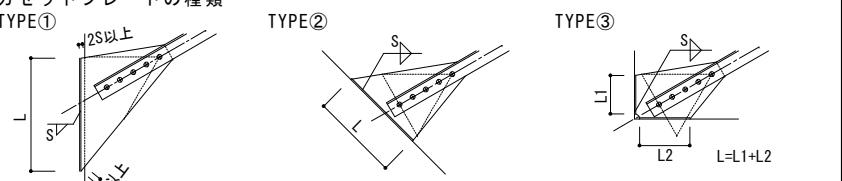
ガセットプレートの種類



山 形 鋼 (ダブル背中合わせ)

採 用 部 材	引張耐力 (kN)	gtxB 厚 x 幅	HTB (F10T)	p (mm)	e (mm)	S (mm)	溶接長 L (mm)		
							TYPE①	TYPE②	TYPE③
2L- 65×65×6	303.4	9×165	5-M16	60	40	8	399	216	232
2L- 75×75×6	359.9	9×190	5-M16	60	40	8	473	253	269
2L- 75×75×9	504.2	12×205	5-M20	60	40	10	531	286	306
2L- 75×75×12	655.3	12×255	5-M20	60	40	10	689	365	385
2L- 90×90×7	502.7	12×205	4-M20	60	40	10	529	285	305
2L- 90×90×10	692.8	12×270	5-M20	60	40	10	729	385	405
2L- 90×90×13	887.3	12×340	7-M20	60	40	10	933	487	507
2L-100×100×7	568.6	12×225	5-M20	60	40	10	598	319	339
2L-100×100×10	790.8	12×305	6-M20	60	40	10	832	436	456
2L-100×100×13	1009.7	12×385	8-M20	60	40	10	1062	551	571

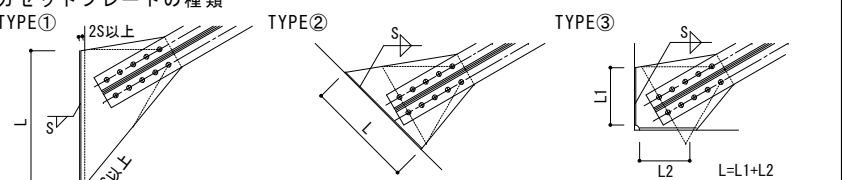
ガセットプレートの種類



山 形 鋼 (ダブル並列)

採 用 部 材	引張耐力 (kN)	gtxB 厚 x 幅	HTB (F10T)	p (mm)	e (mm)	S (mm)	溶接長 L (mm)		
							TYPE①	TYPE②	TYPE③
2L- 65×65×6	257.5	9×160	5x2-M16	60	40	8	339	186	202
2L- 75×75×6	306.9	9×185	5x2-M16	60	40	8	404	218	234
2L- 75×75×9	441.7	9×250	5x2-M16	60	40	8	581	307	323
2L- 75×75×12	549.4	9×315	5x2-M20	60	40	8	722	377	393
2L- 90×90×7	404.8	9×240	4x2-M20	60	40	8	533	283	299
2L- 90×90×10	590.8	9×330	5x2-M20	60	40	8	777	405	421
2L- 90×90×13	749.6	12×320	6x2-M20	60	40	10	789	415	435
2L-100×100×7	459.9	9×270	4x2-M20	60	40	8	605	319	335
2L-100×100×10	673.1	9×370	5x2-M20	60	40	8	885	459	475
2L-100×100×13	831.4	12×355	6x2-M20	60	40	10	875	458	478

ガセットプレートの種類



ISベース柱脚工法設計・施工標準図

(SH:角型鋼管用 非保有耐力接合タイプ) 1/3

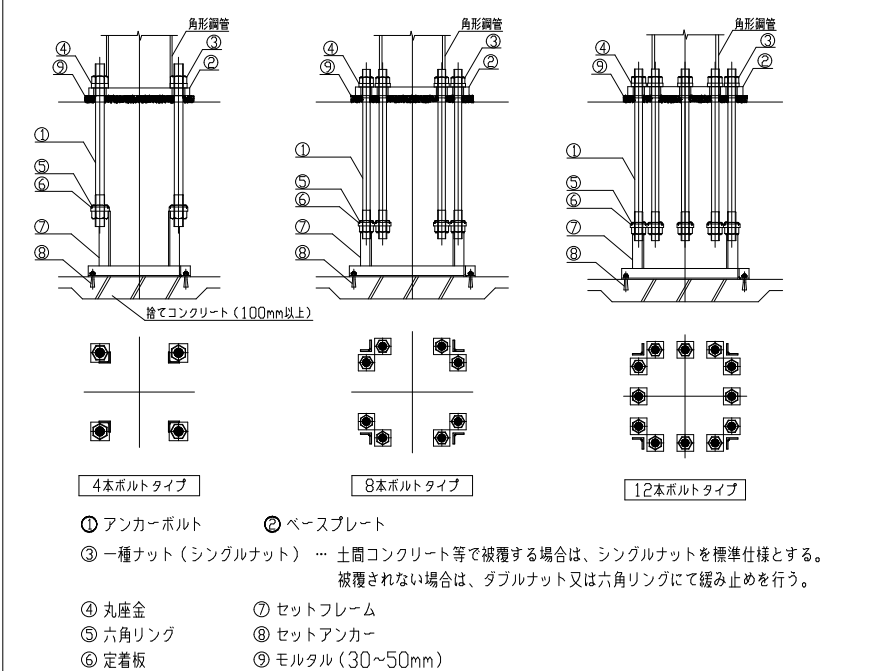
一般財団法人 日本建築センター 鋼構造評定委員会評定 BCJ評定—ST0282-02（2022年12月16日）

国土交通大臣認定番号（アンカー用ボルトセット） ※（ ）はミルメーカーと加工工場を示す。			
MBLT-0116	M24～M48（朝日工業・アイエスケー中島工場）	MBLT-0180	M24～M48（朝日工業・アイエスケー前橋工場）
MBLT-0144	M30～M48（JFE条鋼・アイエスケー中島工場）	MBLT-0181	M30～M48（JFEスチール・アイエスケー前橋工場）
MBLT-0164	M52～M76（JFE条鋼・アイエスケー前橋工場）		

適用柱材
F値=235N/mm ² , 275N/mm ² , 295N/mm ² , 325N/mm ²
2023年11月作成

アイエスケー株式会社
(大阪本社) TEL 06-6449-0881
FAX 06-6449-0877
(東京支店) TEL 03-3433-0844
FAX 03-3433-0847

1. 構造概要



3. アンカー用ボルトセット

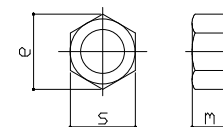
3-1. アンカーボルト

材料：大臣認定材料（ISB740C, ISB740E, ISB800B）

品番	呼び径	ピッチ	db			L	Ls
			ISB740C	ISB740E	ISB800B		
A1	M24	3.0	22.0	-	-	595	100
A22	M30	3.5	28.0	-	-	685	115
A23						785	
A32						725	
A33	M36	4.0	33.15	33.0	-	775	130
A34						825	
A35						925	
A43	M42	4.5	38.92	38.8	-	945	145
A44						1045	
A52						1015	
A53	M48	5.0	45.0	-	-	1115	160
A62						1200	
A72						1265	
A81	M56	5.5	-	52.0	-	1230	205
A82						1330	
A91						1295	
A92	M64	6.0	-	60.0	-	1395	215
AA1						1360	
AA2						1460	
AB1	M72	6.0	-	-	-	1425	235
AC1						1490	

3-2. ナット

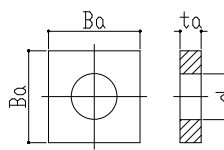
種類：1種六角ナット JIS B 1181
強度区分：JIS B 1052 8 (M48以下)
強度区分：JIS B 1052 10 (M52以上)



呼び径	m	s	e
M24	19	36	41.6
M30	24	46	53.1
M36	29	55	63.5
M42	34	65	75.0
M48	38	75	86.5
M52	42	80	92.4
M56	45	85	98.1
M60	48	90	104.0
M64	51	95	110.0
M68	54	100	115.0
M72	58	105	121.0
M76	61	110	127.0

3-4. 定着板

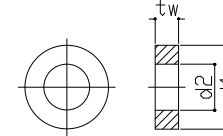
材質：一般構造用圧延鋼材 SS400 (M48以下)
溶接構造用圧延鋼材 SM490A (M52以上)



呼び径	品番	Ba	ta	d
M24	P1	50	9	26
M30	P2	65	12	32
M36	P3	75	16	38
M42	P4	85	19	44
M48	P5	95	22	50
M52	P6	115	25	54
M56	P7	120	25	58
M60	P8	130	28	62
M64	P9	135	32	66
M68	PA	140	32	70
M72	PB	150	36	74
M76	PC	155	36	78

3-3. 丸座金

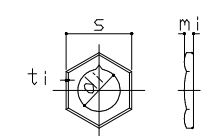
材質：一般構造用圧延鋼材 SS400



呼び径	品番	d1	d2	tw
M24	C1	52	25	9
M30	C2	58	31	12
M36	C3	68	37	16
M42	C4	78	43	19
M48	C5	90	50	19
M52	C6	100	54	25
M56	C7	108	58	28
M60	C8	114	62	32
M64	C9	120	66	36
M68	CA	128	70	36
M72	CB	134	74	36
M76	CC	140	78	36

3-5. 六角リング

材質：JIS G3131 SPHC

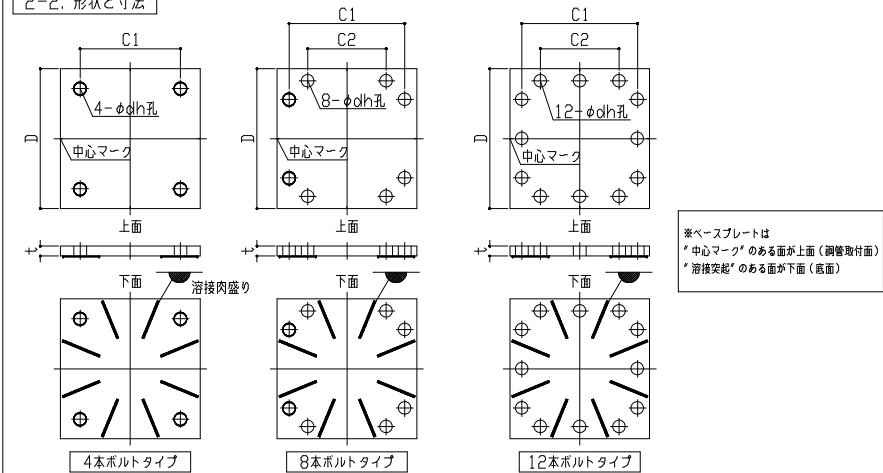


呼び径	S	di	mi	ti
M24	36	22.5	5	1.6
M30	46	28.9	7	2.0
M36	55	33.6	8	2.0
M42	65	39.2	9	2.3
M48	75	45.7	10	2.3
M52	80	49.9	11	2.8
M56	85	52.6	12	2.8
M60	90	56.6	12	3.2
M64	95	60.3	13	3.2
M68	100	64.3	14	3.2
M72	105	68.2	14	3.6
M76	110	72.2	15	3.6

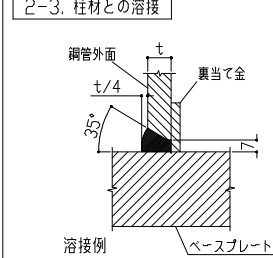
2. ベースプレート

2-1. 材質 JIS G 3136 SN490B (t=40mm以下の場合のみ使用)
建築構造用認定鋼板 TMCP325B (板厚の制限なしで使用)

2-2. 形状と寸法



2-3. 柱材との溶接



柱材とベースプレートの溶接は、完全溶け込み溶接とする。

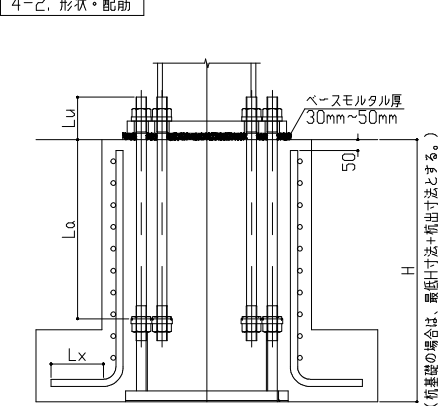
※溶接施工に関しては、
「日本建築学会；建築工事標準仕様書 JASS 6鉄骨工事」に準じる。

※柱材のめっき仕様について
柱材をめっきする場合は、弊社までご相談ください。

4. コンクリート柱形

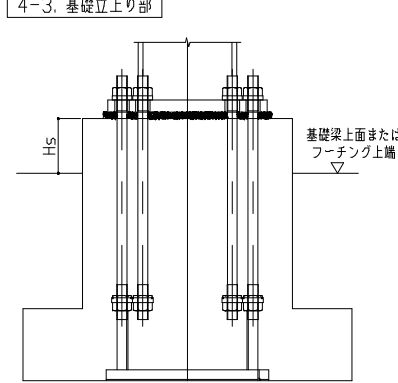
4-1. 使用材料 コンクリート：F_c=21N/mm² 以上（鋼管サイズφ550以下）
F_c=24N/mm² 以上（鋼管サイズφ600以上）
鉄筋：JIS G 3112 SD295A (D16以下)
JIS G 3112 SD345 (D19～D25)
JIS G 3112 SD390 (D29以上)

4-2. 形状・配筋



- 主筋頂部のフックは、設けないことを標準とする。
- トップフープは、シングルを標準とする。
- Lxは、使用する主筋呼び径の10倍以上とする。
- 主筋、帯筋の径・本数は、標準柱形の場合を示す。
- 柱形の幅（bc）を標準柱形より拡げた場合、検討が必要。
- 柱形を拡げる場合や、柱芯が偏心する場合は、弊社までご相談ください。

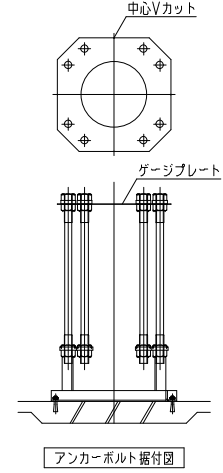
4-3. 基礎立上り部



- 柱形の配筋が標準の場合
基礎立上り高さ（Hs）は、250mm以下とする。
- 立上り高さ（Hs）が250mmを超える場合は、
検討が必要となるため、弊社までご相談ください。

5. 施工

※（ ）は、元請施工範囲を示す。
6. [コンクリート打設前検査] は、契約内容による。



- 施工打合せ
- （捨てコンクリートの打設）…捨てコン厚さは100mm以上とする。
- （墨出し）…柱芯を明示する。
- アンカーボルト据付
- （配筋・型枠）
ゲージプレートを外したり、上に物を置いたり、乗ったりしない。
アンカーボルト、セットフレーム等と鉄筋を拘束しない。
アンカーボルトに熱を加えない。
- [コンクリート打設前検査]
- （コンクリート打設）
- （鉄骨建方・アンカーボルトの本締め）
まんじゅう高さは（30～50mm）とする。
まんじゅうに使用する材料に規定はない。
まんじゅうの大きさは施工マニュアルを参照。
- ベースモルタルの充てん…ISグラウト以外は使用不可。
- ナットの緩み確認
- （充てん型枠脱型・廃棄）

6. 施工管理

- ISベースの施工（アンカーボルトの据付及びベースモルタルの充てん）は、弊社が認定した施工者が行う。
- 施工は、施工マニュアルに準じて行い、施工後「チェックシート」により許容範囲内にあることを確認する。
- 材料は弊社にて支給する。支給品以外の材料を使用した場合、ISベースの性能を保証できない場合がある。
- アンカー用ボルトセットは大臣認定材である。形状・寸法・材質の変更、切り欠き・溶接などの加工は認められない。

一級建築士 登録 第305644号
構造設計一級建築士 交付 第 8430号 中村 康一

徳島県土整備部営繕課		●工事名 R7営繕 西部家畜保健衛生所 東・中庄 改築工事建築 (担い手確保型)	●図面番号 S-標8	橋 建 築 事 務 所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第333705号 森脇隆明
設計 R7.7	竣工	●図面名 【車庫・倉庫棟】鉄骨構造標準図(8)	●縮尺 NON	

ISベース柱脚工法設計・施工標準図
(SH:角型鋼管用 非保有耐力接合タイプ)2/3

一般財団法人 日本建築センター 鋼構造評定委員会評定 BCU評定—ST0282-02（2022年12月16日）

国土交通大臣認定番号（アンカー用ボルトセット）※（ ）はミルメーカーと加工工場を示す。				
MBLT-0116	M24～M48（朝日工業・アイエスケー中島工場）	MBLT-0180	M24～M48（朝日工業・アイエスケー前橋工場）	
MBLT-0144	M30～M48（JFE条鋼・アイエスケー中島工場）	MBLT-0181	M30～M48（JFEスチール・アイエスケー前橋工場）	
MBLT-0164	M52～M76（JFE条鋼・アイエスケー前橋工場）			

適用柱材（F値=235N/mm ² , 275N/mm ² , 295N/mm ² , 325N/mm ² ）
□150×150～□550×550

2023年11月作成

アイエスケー株式会社

（大阪本社）

TEL 06-6449-0881

FAX 06-6449-0877

（東京支店）

TEL 03-3433-0844

FAX 03-3433-0847

採用	柱脚記号	鋼管サイズ (mm)	適用柱サイズ (mm) ※柱材は、指定JIS規格品または大臣認定品とする。				ベースプレート					アンカーボルト			コンクリート柱形（標準）							最低H寸法 (mm)
			柱材の基準強度 (N/mm ²)				D (mm)	C1 (mm)	C2 (mm)	dh (mm)	t (mm)	本数-呼び径 (品番)	Lu (mm)	La (mm)	bc (最小～最大) (mm)	主筋 (径-本数を選択する)	帯筋	Lx (mm)	コンクリート強度 (N/mm ²)	※杭基礎の場合は (最低H寸法+杭出寸法)		
			235	275	295	325																
	SH151	□150	t = 12	-	8 ≦ t ≦ 12	9 ≦ t ≦ 12	290	210	-	φ36	25	4-M24 (A1)	125	410	500～530	12-D16	8-D19	8-D22	D13φ150	10d以上	21以上	550以上
	SH171	□175	9 ≦ t ≦ 12	-	6 ≦ t ≦ 12	6 ≦ t ≦ 12	310	230	-	φ36	25	4-M24 (A1)	125	410	520～530	12-D16	8-D19	8-D22	D13φ150	10d以上	21以上	550以上
	SH172		t = 12	-	t = 12	9 ≦ t ≦ 12	320	230	-	φ42	32	4-M30 (A22)	135	480	540～620	12-D19	8-D22	8-D25	D13φ150	10d以上	21以上	650以上
	SH201	□200	8 ≦ t ≦ 16	6 ≦ t ≦ 16	6 ≦ t ≦ 16	6 ≦ t ≦ 16	340	260	-	φ36	25	4-M24 (A1)	125	410	550～650	12-D19	12-D22	8-D25	D13φ150	10d以上	21以上	550以上
	SH202		12 ≦ t ≦ 16	9 ≦ t ≦ 16	8 ≦ t ≦ 16	8 ≦ t ≦ 16	350	260	-	φ42	32	4-M30 (A22)	135	480	570～650	12-D19	12-D22	12-D25	D13φ150	10d以上	21以上	650以上
	SH203		t = 16	12 ≦ t ≦ 16	12 ≦ t ≦ 16	12 ≦ t ≦ 16	360	260	-	φ50	36	4-M36 (A32)	155	490	580～750	16-D19	16-D22	12-D25	D13φ150	10d以上	21以上	650以上
	SH204		-	t = 16	t = 16	t = 16	390	300	170	φ42	36	8-M30 (A23)	135	580	600～750	16-D19	12-D22	12-D25	D13φ150	10d以上	21以上	750以上
○	SH251	□250	6 ≦ t ≦ 19	6 ≦ t ≦ 16	6 ≦ t ≦ 19	6 ≦ t ≦ 12	390	310	-	φ36	25	4-M24 (A1)	125	410	600～750	16-D19	16-D22	12-D25	D13φ150	10d以上	21以上	550以上
	SH252		8 ≦ t ≦ 19	9 ≦ t ≦ 16	6 ≦ t ≦ 19	6 ≦ t ≦ 19	400	310	-	φ42	28	4-M30 (A22)	135	480	620～750	16-D19	16-D22	12-D25	D13φ150	10d以上	21以上	650以上
	SH253		12 ≦ t ≦ 19	9 ≦ t ≦ 16	9 ≦ t ≦ 19	9 ≦ t ≦ 19	420	310	-	φ50	32	4-M36 (A33)	155	540	630～840	20-D19	16-D22	16-D25	D13φ150	10d以上	21以上	700以上
	SH254		16 ≦ t ≦ 19	12 ≦ t ≦ 16	12 ≦ t ≦ 19	12 ≦ t ≦ 19	450	350	220	φ42	36	8-M30 (A23)	135	580	650～840	20-D19	16-D22	16-D25	D13φ150	10d以上	21以上	750以上
	SH255	□300	-	-	16 ≦ t ≦ 19	16 ≦ t ≦ 19	460	350	200	φ50	40	8-M36 (A34)	155	590	660～840	24-D19	20-D22	16-D25	D13φ150	10d以上	21以上	750以上
	SH301		6 ≦ t ≦ 19	9 ≦ t ≦ 19	6 ≦ t ≦ 22	6 ≦ t ≦ 16	450	360	-	φ42	28	4-M30 (A23)	135	580	670～750	16-D19	12-D22	12-D25	D13φ100	10d以上	21以上	750以上
	SH302		9 ≦ t ≦ 19	9 ≦ t ≦ 19	8 ≦ t ≦ 22	8 ≦ t ≦ 19	460	360	-	φ50	32	4-M36 (A33)	155	540	680～840	20-D19	16-D22	16-D25	D13φ100	10d以上	21以上	700以上
	SH303		12 ≦ t ≦ 19	12 ≦ t ≦ 19	9 ≦ t ≦ 22	9 ≦ t ≦ 19	490	400	270	φ42	36	8-M30 (A23)	135	580	700～840	20-D19	20-D22	16-D25	D13φ100	10d以上	21以上	750以上
	SH304	□350	t = 19	16 ≦ t ≦ 19	14 ≦ t ≦ 22	16 ≦ t ≦ 19	500	400	250	φ50	40	8-M36 (A35)	155	690	710～980	-	20-D22	16-D25	D13φ100	10d以上	21以上	850以上
	SH305		-	t = 19	19 ≦ t ≦ 22	-	550	420	250	φ58	50	8-M42 (A43)	175	680	760～1070	-	24-D22	20-D25	D13φ100	10d以上	21以上	850以上
	SH351		9 ≦ t ≦ 22	9 ≦ t ≦ 19	9 ≦ t ≦ 19	9 ≦ t ≦ 16	500	410	-	φ42	28	4-M30 (A23)	135	580	720～840	20-D19	16-D22	12-D25	D13φ100	10d以上	21以上	750以上
	SH352		12 ≦ t ≦ 22	9 ≦ t ≦ 22	9 ≦ t ≦ 25	9 ≦ t ≦ 22	550	460	330	φ42	36	8-M30 (A23)	135	580	760～1000	28-D19	24-D22	20-D25	D13φ100	10d以上	21以上	750以上
	SH353	□350	16 ≦ t ≦ 22	12 ≦ t ≦ 22	12 ≦ t ≦ 25	12 ≦ t ≦ 22	570	470	320	φ50	40	8-M36 (A35)	155	690	780～1070	-	24-D22	20-D25	D13φ100	10d以上	21以上	850以上
	SH354		t = 22	16 ≦ t ≦ 22	16 ≦ t ≦ 25	16 ≦ t ≦ 22	590	480	310	φ58	45	8-M42 (A43)	175	680	810～1160	28-D22	24-D25	20-D29	D13φ100	10d以上	21以上	850以上
	SH355		-	t = 22	22 ≦ t ≦ 25	t = 22	630	500	310	φ66	55	8-M48 (A52)	195	720	910～1240	32-D22	28-D25	24-D29	D13φ100	10d以上	21以上	900以上
	SH356		-	t = 22	22 ≦ t ≦ 25	t = 22	630	500	310	φ66	70	8-M48 (A52)	195	720	910～1240	32-D22	28-D25	24-D29	D13φ100	10d以上	21以上	900以上
	SH401	□400	9 ≦ t ≦ 25	12 ≦ t ≦ 22	9 ≦ t ≦ 22	9 ≦ t ≦ 19	570	470	-	φ50	32	4-M36 (A35)	155	690	800～920	24-D19	20-D22	16-D25	D13φ100	10d以上	21以上	850以上
	SH402		9 ≦ t ≦ 25	12 ≦ t ≦ 25	9 ≦ t ≦ 25	9 ≦ t ≦ 22	600	510	380	φ42	36	8-M30 (A23)	135	580	810～1000	28-D19	24-D22	24-D25	D13φ100	10d以上	21以上	750以上
	SH403		16 ≦ t ≦ 25	12 ≦ t ≦ 25	12 ≦ t ≦ 25	12 ≦ t ≦ 25	620	520	370	φ50	40	8-M36 (A35)	155	690	840～1120	28-D22	20-D25	20-D29	D13φ100	10d以上	21以上	850以上
	SH404		19 ≦ t ≦ 25	16 ≦ t ≦ 25	14 ≦ t ≦ 25	16 ≦ t ≦ 25	640	530	360	φ58	45	8-M42 (A44)	175	780	860～1230	32-D22	24-D25	20-D29	D13φ100	10d以上	21以上	950以上
	SH405	□400	t = 25	19 ≦ t ≦ 25	19 ≦ t ≦ 25	19 ≦ t ≦ 25	680	550	360	φ66	55	8-M48 (A53)	195	820	940～1260	36-D22	28-D25	24-D29	D13φ100	10d以上	21以上	1000以上
	SH406		-	t = 25	t = 25	t = 25	810	620	430	φ66	70	8-M48 (A53)	195	820	1060～1260	-	36-D25	32-D29	D13φ100	10d以上	21以上	1000以上
	SH451	□450	9 ≦ t ≦ 25	12 ≦ t ≦ 22	9 ≦ t ≦ 22	9 ≦ t ≦ 16	620	520	-	φ50	32	4-M36 (A35)	155	690	850～980	28-D19	20-D22	16-D25	D13φ100	10d以上	21以上	850以上
	SH452		9 ≦ t ≦ 32	12 ≦ t ≦ 28	9 ≦ t ≦ 25	9 ≦ t ≦ 22	650	560	430	φ42	36	8-M30 (A23)	135	580	870～1110	28-D22	24-D25	24-D29	D13φ100	10d以上	21以上	750以上
	SH453		12 ≦ t ≦ 32	12 ≦ t ≦ 32	9 ≦ t ≦ 28	9 ≦ t ≦ 28	670	570	420	φ50	40	8-M36 (A35)	155	690	890～1160	28-D22	24-D25	20-D29	D13φ100	10d以上	21以上	850以上
	SH454		16 ≦ t ≦ 32	12 ≦ t ≦ 32	12 ≦ t ≦ 28	12 ≦ t ≦ 32	690	580	410	φ58	45	8-M42 (A44)	175	780	910～1240	32-D22	28-D25	20-D29	D13φ100	10d以上	21以上	950以上
	SH455	□450	22 ≦ t ≦ 32	16 ≦ t ≦ 32	16 ≦ t ≦ 28	16 ≦ t ≦ 32	730	600	410	φ66	55	8-M48 (A53)	195	820	960～1260	32-D25	28-D29	24-D32	D13φ100	10d以上	21以上	1000以上
	SH456		28 ≦ t ≦ 32	22 ≦ t ≦ 32	19 ≦ t ≦ 28	19 ≦ t ≦ 32	730	600	410	φ66	80	12-M48 (A52)	205	720	1020～1260	36-D25	32-D29	28-D32	D13φ100	10d以上	21以上	900以上
	SH501	□500	12 ≦ t ≦ 38	12 ≦ t ≦ 32	9 ≦ t ≦ 28	9 ≦ t ≦ 25	720	620	470	φ50	40	8-M36 (A35)	155	690	940～1240	32-D22	28-D25	24-D29	D13φ100	10d以上	21以上	850以上
	SH502		16 ≦ t ≦ 38	12 ≦ t ≦ 36	12 ≦ t ≦ 28	12 ≦ t ≦ 32	740	630	460	φ58	45	8-M42 (A44)	175	780	970～1260	28-D25	24-D29	20-D32	D13φ100	10d以上	21以上	950以上
	SH503		22 ≦ t ≦ 38	19 ≦ t ≦ 36	16 ≦ t ≦ 28	19 ≦ t ≦ 38	800	660	430	φ70	55	8-M52 (A62)	235	850	1050～1260	40-D25	32-D29	28-D32	D13φ100	10d以上	21以上	1050以上
	SH504		32 ≦ t ≦ 38	25 ≦ t ≦ 36	25 ≦ t ≦ 28	25 ≦ t ≦ 38	870	680	420	φ80	65	8-M60 (A82)	255	950	1140～1260	44-D25	36-D29	28-D32	D13φ100	10d以上	21以上	1150以上
	SH505	□500	-	32 ≦ t ≦ 36	t = 28	28 ≦ t ≦ 38	960	760	500	φ80	80	8-M60 (A82)	255	950	1280～1790	52-D25	40-D29	36-D32	D16φ100	10d以上	21以上	1150以上
	SH506		-	t = 36	-	36 ≦ t ≦ 38	960	690	410	φ88	90	8-M68 (AA2)	275	1050	1310～1730	48-D25	40-D29	32-D32	D16φ100	10d以上	21以上	1300以上
	SH551	□550	12 ≦ t ≦ 40	16 ≦ t ≦ 36	12 ≦ t ≦ 28	9 ≦ t ≦ 28	790	680	510	φ58	45	8-M42 (A44)	175	780	1040～1260	40-D22	32-D25	28-D29	D13φ100	10d以上	21以上	950以上
	SH552		16 ≦ t ≦ 40	16 ≦ t ≦ 40	12 ≦ t ≦ 28	12 ≦ t ≦ 38	830	700	510	φ66	50	8-M48 (A53)	195	820	1090～1260	40-D25	32-D29	28-D32	D13φ100	10d以上	21以上	1000以上
	SH553		25 ≦ t ≦ 40	19 ≦ t ≦ 40	19 ≦ t ≦ 28	19 ≦ t ≦ 40	φ880	730	490	φ74	60	8-M56 (A72)	245									